

## 近畿地方整備局土木工事標準設計図集の制定について

標記について、下記のとおり通知します。

なお、この図集は、平成17年2月1日から適用し、近畿地方建設局土木工事標準設計図集を制定する通達（昭和50年建近達第10号（技））は廃止します。

### 記

近畿地方整備局土木工事標準設計図集を次のように制定する。

#### （目的）

- 1．近畿地方整備局土木工事標準設計図集（以下「図集」という。）は、近畿地方整備局（港湾空港関係を除く。）の施工する土木工事の共通的な構造物で国土交通省土木構造物標準設計に定められていない構造物について別冊のとおり標準化し、もって近畿地方整備局管内土木工事における構造物の規格化並びに業務の簡素化を図ることを目的とする。

#### （取扱い）

- 2．図集の取扱いは次の各号によるものとする。

一．図集に集録された工種を採用した場合においては、設計・積算は当該工種の方法に基づいて行い、その略称を設計図書の所用欄に記入するものとし、当該工種の図面は原則として、その都度設計図書に添付しなくてもよい。

ただし、図集に集録された工種と図集に集録されていない他の工種との相互関係を明確にさせる必要がある場合、及びその他必要と認める場合には、当該2種の図面はその都度設計書等に添付するものとする。

二．国土交通省土木構造物標準設計の改定又は追加制定により図集と重複することとなった場合は、国土交通省土木構造物標準設計を採用するものとする。

# 土木工事標準設計図集

国土交通省 近畿地方整備局

## 図 面 目 次

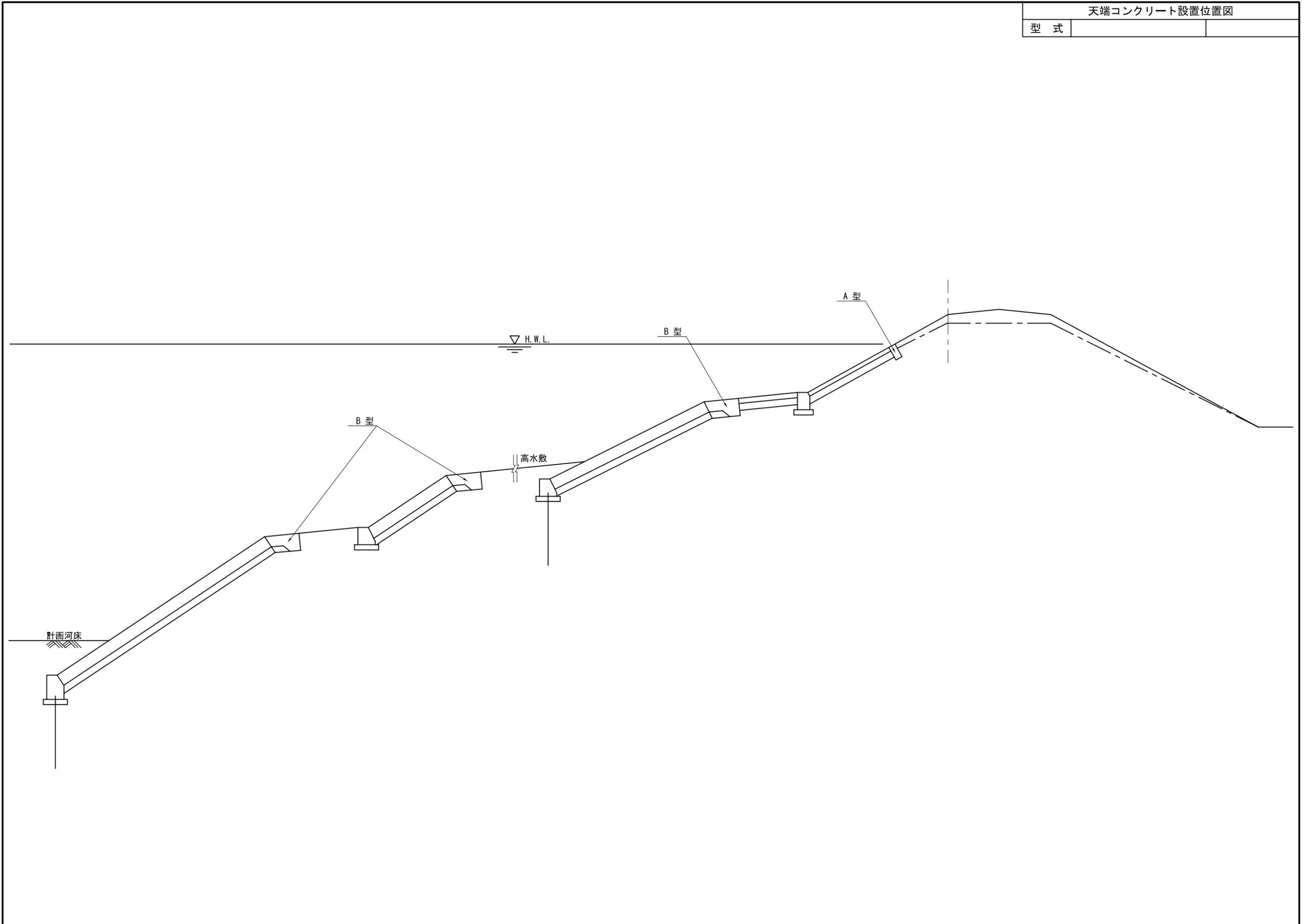
1 - 1	河川護岸天端コンクリート .....	1 - 1 - 1
1 - 2	河川護岸基礎コンクリート .....	1 - 2 - 1
1 - 3	河川護岸遮水シート .....	1 - 3 - 1
1 - 4	河川矢板護岸笠コンクリート .....	1 - 4 - 1
4	ガードレール基礎図 .....	4 - 1
5	距離標（路面標） .....	5 - 1
6	区画線 .....	6 - 1
8	河川標識 .....	8 - 1
9	境界標示板 .....	9 - 1
10	用地境界杭 .....	10 - 1
11	歩道切下げ標準図 .....	11 - 1
12	歩道舗装 .....	12 - 1
13 - 1	受変電設備 .....	13 - 1 - 1
13 - 2	配電設備 .....	13 - 2 - 1
13 - 3	予備発電設備 .....	13 - 3 - 1
14	道路照明設備 .....	14 - 1
15	道路管理設備 .....	15 - 1

1 6	道路標識 .....	1 6
1 6 - 1	総則 .....	1 6 - 1
1 6 - 2	道路標識の設置体系 .....	1 6 - 4
1 6 - 3	道路標識の設置計画 .....	1 6 - 8
1 6 - 4	標示板・文字の寸法等 .....	1 6 - 1 0
1 6 - 5	標示板設置の留意事項 .....	1 6 - 1 4
1 6 - 6	標識柱 .....	1 6 - 1 5
1 6 - 7	基礎 .....	1 6 - 1 7
1 6 - 8	案内標識の留意点 .....	1 6 - 1 8
1 6 - 9	道路の付属施設の案内 .....	1 6 - 2 3
1 6 - 1 0	交通バリアフリー法対応案内標識 .....	1 6 - 2 4
1 6 - 1 1	補助標識の設置 .....	1 6 - 2 6
1 6 - 1 2	その他案内標識 .....	1 6 - 2 7
1 6 - 1 3	案内標識設置の留意点 .....	1 6 - 2 9
1 6 - 1 4	歩行者案内標識 .....	1 6 - 3 5
1 6 - 1 5	表示面の更新 .....	1 6 - 3 7
1 6 - 1 6	レイアウト図 .....	1 6 - 3 9
1 6 - 1 7	構造図 路側式 [ タイプ A ] .....	1 6 - 1 6 5
1 6 - 1 8	構造図 片持式 ( オーバーハング式 ) [ タイプ B ] .....	1 6 - 1 7 3
1 6 - 1 9	構造図 門型式 ( オーバーヘッド式 ) 単管型 [ タイプ C ] .....	1 6 - 2 4 5
1 6 - 2 0	構造図 門型式 ( オーバーヘッド式 ) トラス型 [ タイプ D ] .....	1 6 - 2 6 7
1 6 - 2 1	標識板背面構造図 ( 参考図 ) .....	1 6 - 3 9 5
1 6 - 2 2	取付金具 .....	1 6 - 3 9 9
1 6 - 2 3	基礎及び応力一覧表 .....	1 6 - 4 1 1
1 6 - 2 4	案内標識目標地一覧表 .....	1 6 - 4 2 9
1 6 - 2 5	歩行者標識参考図例 .....	1 6 - 4 4 1
1 7	遮音壁 .....	1 7 - 1
1 8	橋梁排水構造物 .....	1 8 - 1
1 9	落下物防止柵 .....	1 9 - 1

# 1 - 1 . 河川護岸天端コンクリート

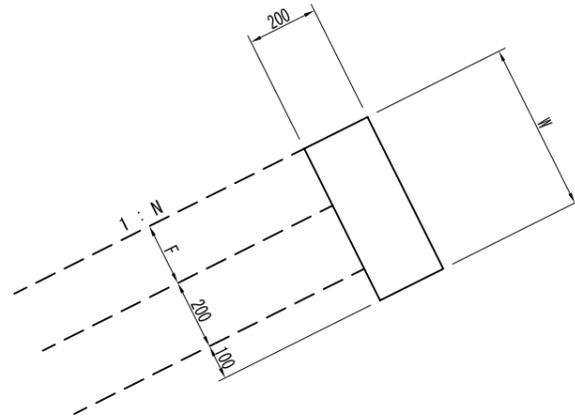
天端コンクリート設置位置図

型式



天端コンクリート		
型 式	A型, B型	
S=1/20		

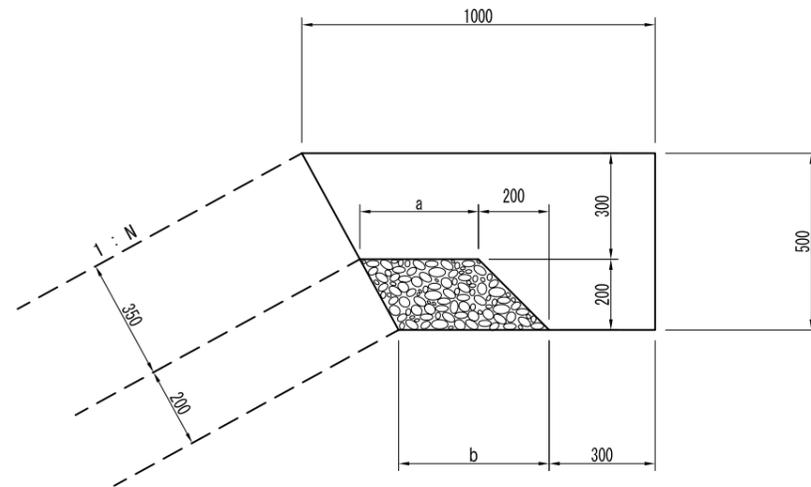
A 型



記 号	F (mm)	W (mm)
A - 1	120	420
A - 2	180	480
A - 3	350	650
A - 4	120	230
A - 5	180	290

- (注) 1) コンクリートは18-8-40とする。  
 2) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。  
 3) A-4及びA-5は遮水シートを設ける場合とする。

B 型



記 号	N	a (mm)	b (mm)
B - 1	1.0	200	200
B - 2	1.2	250	280
B - 3	1.5	300	370
B - 4	1.8	330	420
B - 5	2.0	350	450

- (注) 1) コンクリートは18-8-40とする。  
 2) クラッシュランはRC-40 (再生クラッシュラン) 又はC-40とする。  
 3) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。  
 4) 小段に勾配がある場合にも適用してよい。  
 5) 特殊な場合は別途考慮する。  
 6) a, b, はmmを四捨五入して10mm単位としている。

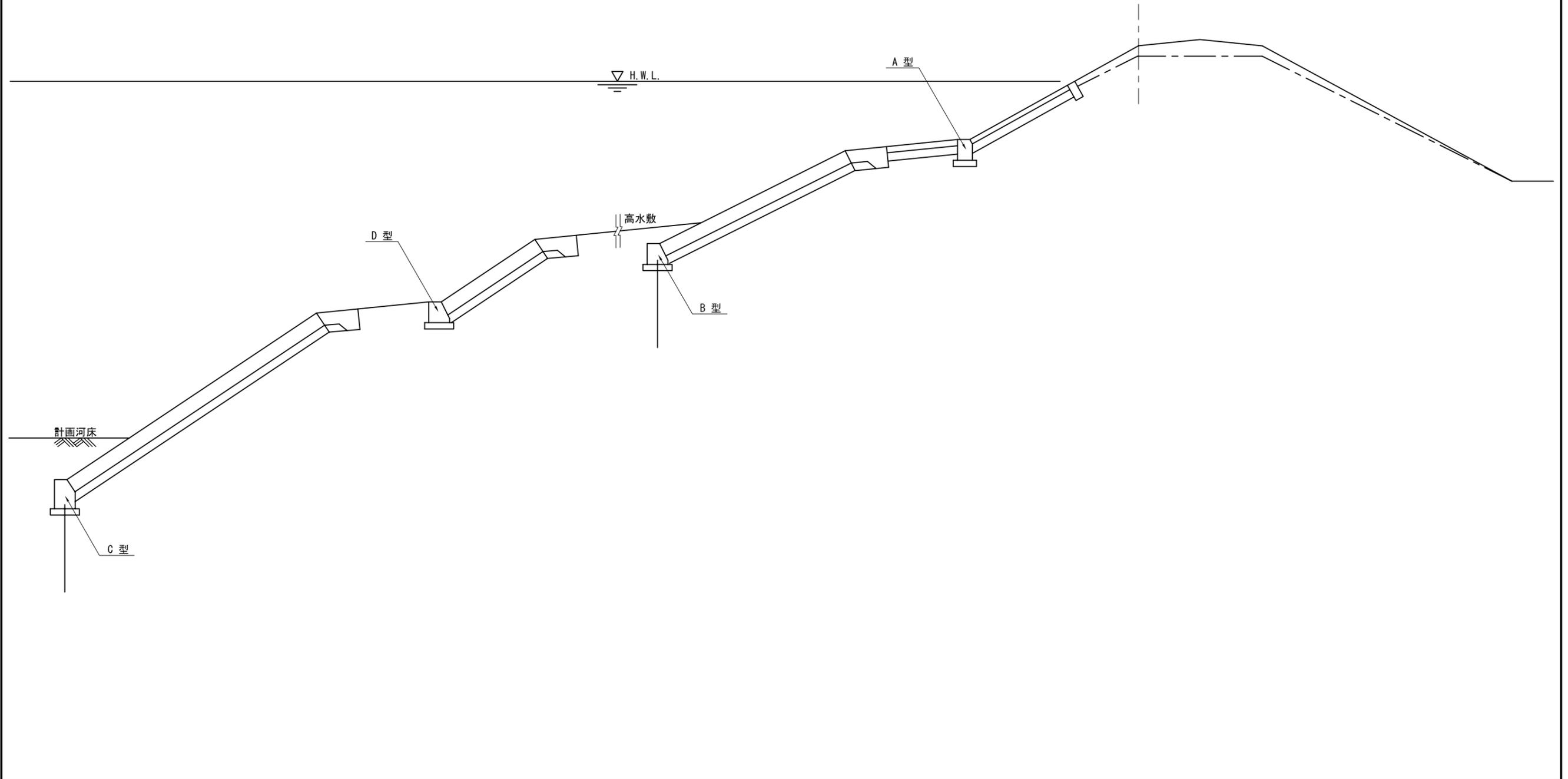
$$a = 1.000 - (0.3 \times 1 / N + 0.2 + 0.3)$$

$$b = 1.000 - (0.5 \times 1 / N + 0.3)$$

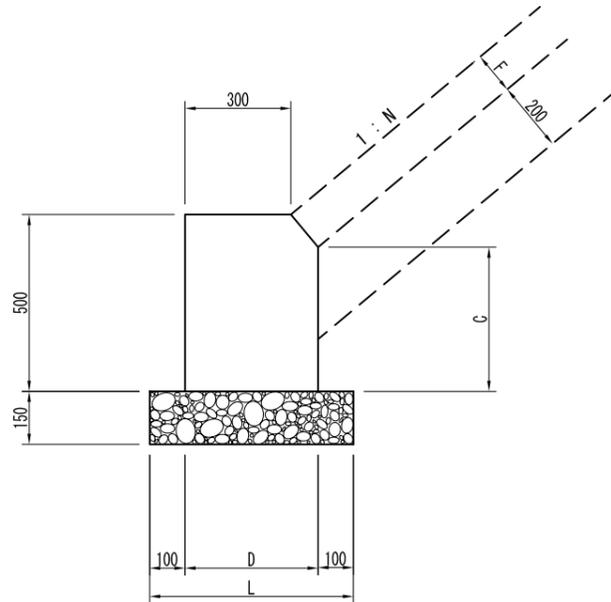
## 1 - 2. 河川護岸基礎コンクリート

基礎コンクリート設置位置図

型 式



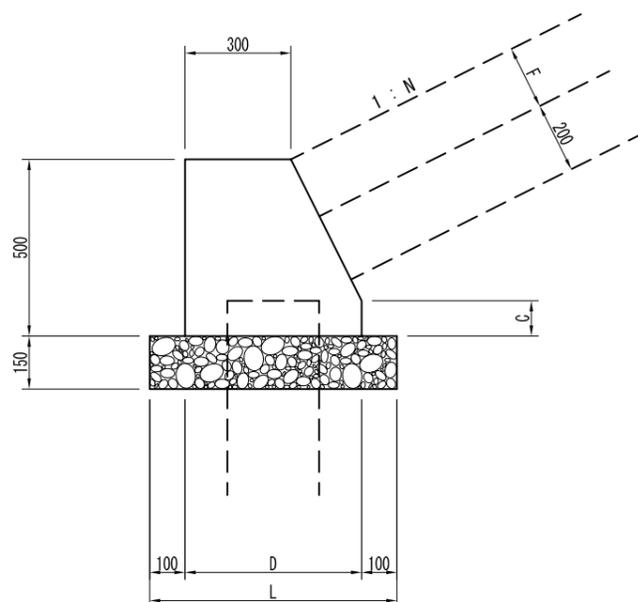
A 型 . . . . .（鋼矢板又は杭を使用しない場合）



記 号	F (mm)	N	C (mm)	D (mm)	L (mm)
A - 1	120	1.0	420	380	580
A - 2		1.2	410	380	580
A - 3		1.5	400	370	570
A - 4		1.8~2.0	390	350	550
A - 5	180	1.0	370	430	630
A - 6		1.2	360	420	620
A - 7		1.5	350	400	600
A - 8		1.8~2.0	340	380	580

- (注) 1) コンクリートは18-8-40とする。  
 2) クラッシュランはRC-40（再生クラッシュラン）又はC-40とする。  
 3) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。

B 型 . . . . .（鋼矢板又は杭を使用する場合）



記 号	F (mm)	N	C (mm)	D (mm)	L (mm)
B - 1	120 180	1.0	300	500	700
B - 2			240	560	760
B - 3		1.5	260	500	700
			190	560	760
B - 4	1.8~2.0	200	500	700	
		110	560	760	
			100	500	700
			0	560	760

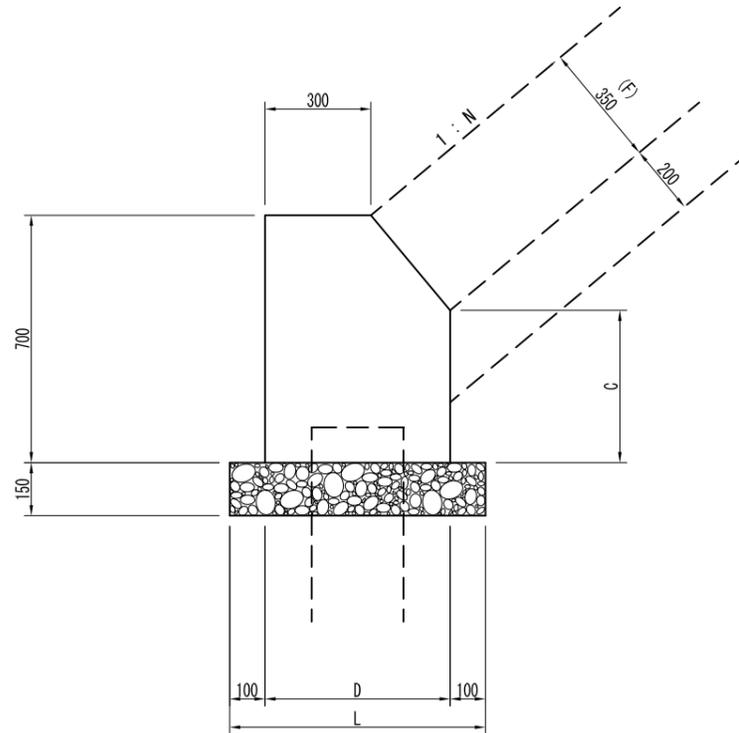
- (注) 1) 表中下段数値は、鋼矢板を使用する場合の値である。  
 2) コンクリートは18-8-40とする。  
 3) クラッシュランはRC-40（再生クラッシュラン）又はC-40とする。  
 4) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。  
 5) 使用する鋼矢板は、IIW型を標準とする。  
 6) 使用する杭は、杭径φ250以下を標準とする。  
 ただし、杭配置によっては補強鉄筋が必要となる場合がある。

基礎コンクリート（低水護岸）

型 式 C型, D型

S=1/20

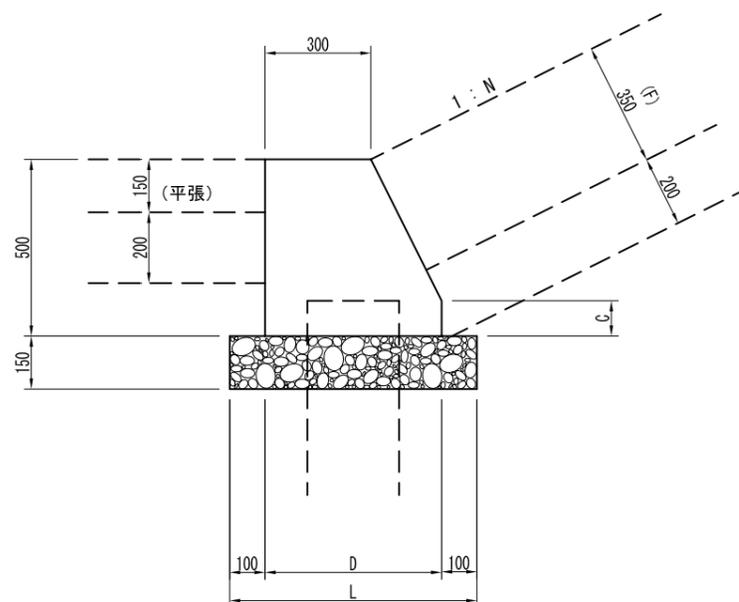
C 型



記 号	F (mm)	N	C (mm)	D (mm)	L (mm)
C - 1	350	1.0	450	550	750
C - 2			440	560	760
C - 3		1.5	430	520	720
C - 4			390	560	760
		1.8~2.0	400	500	700
			310	560	760
			300	500	700
			180	560	760

- (注) 1) 表中下段数値は、鋼矢板を使用する場合の値である。  
 2) コンクリートは18-8-40とする。  
 3) クラッシュランはRC-40（再生クラッシュラン）又はC-40とする。  
 4) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。  
 5) 使用する鋼矢板は、IIW型を標準とする。  
 6) 使用する杭は、杭径φ250以下を標準とする。  
 ただし、杭配置によっては補強鉄筋が必要となる場合がある。

D 型 . . . （上段に適用する）



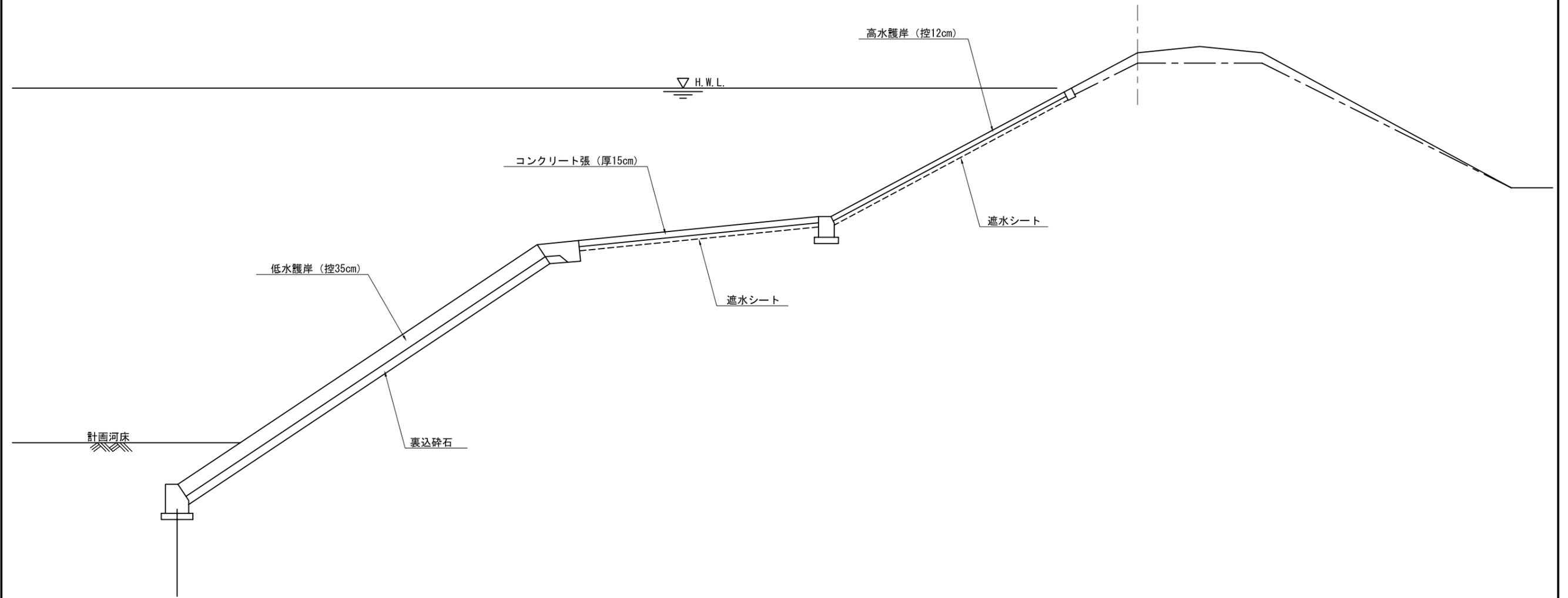
記 号	F (mm)	N	C (mm)	D (mm)	L (mm)
D - 1	350	1.0	250	550	750
D - 2			240	560	760
D - 3		1.5	230	520	720
D - 4			190	560	760
		1.8~2.0	200	500	700
			110	560	760
			100	500	700
			0	560	760

- (注) 1) 表中下段数値は、鋼矢板を使用する場合の値である。  
 2) コンクリートは18-8-40とする。  
 3) クラッシュランはRC-40（再生クラッシュラン）又はC-40とする。  
 4) 目地間隔はブロック張等に準じて設け、標準は10mとする。  
 5) 使用する鋼矢板は、IIW型を標準とする。  
 6) 使用する杭は、杭径φ250以下を標準とする。  
 ただし、杭配置によっては補強鉄筋が必要となる場合がある。

## 1 - 3. 河川護岸遮水シート

遮水シート設置位置図

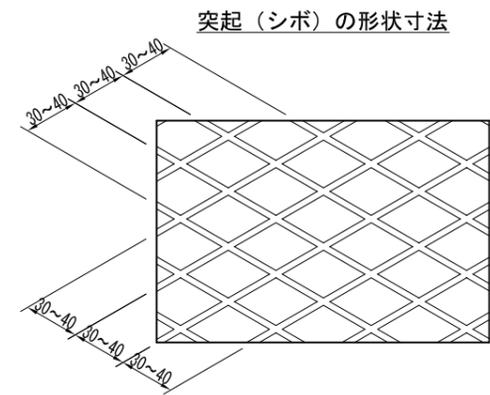
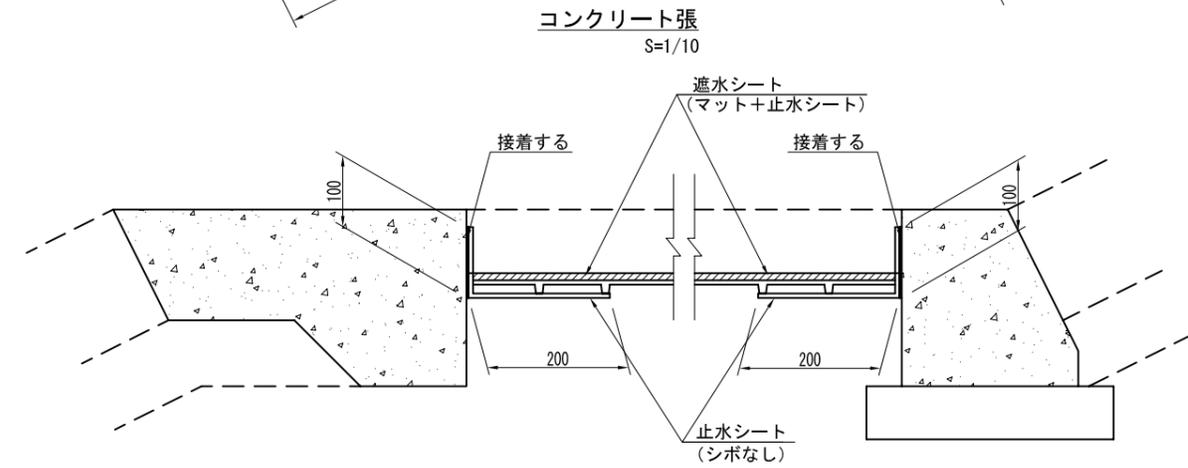
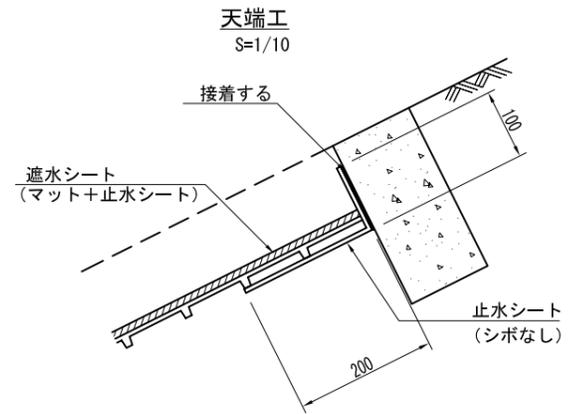
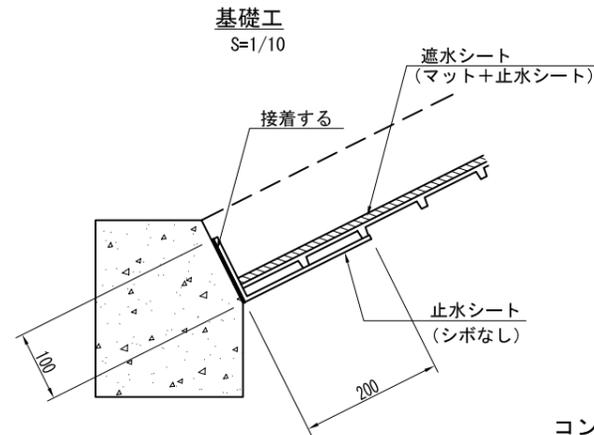
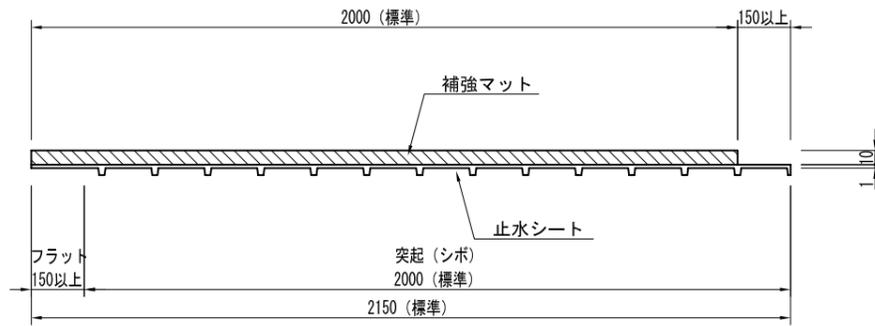
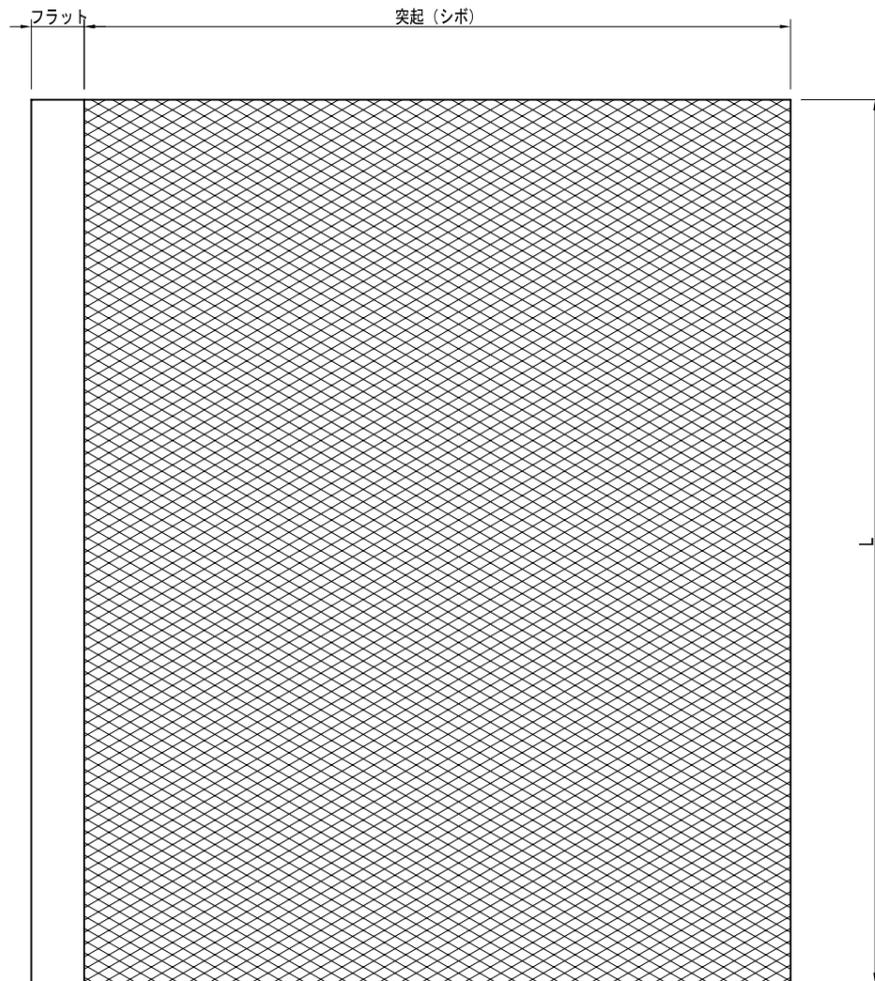
型 式	
-----	--



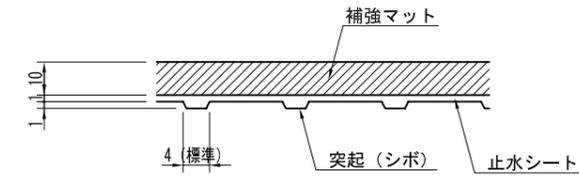
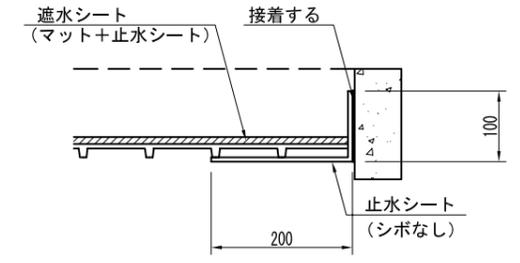
遮水シート構造詳細図

型式

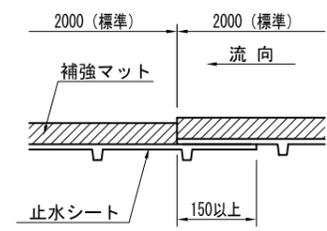
S=1/20



横帯工又は小口止め工 S=1/10



重ね代

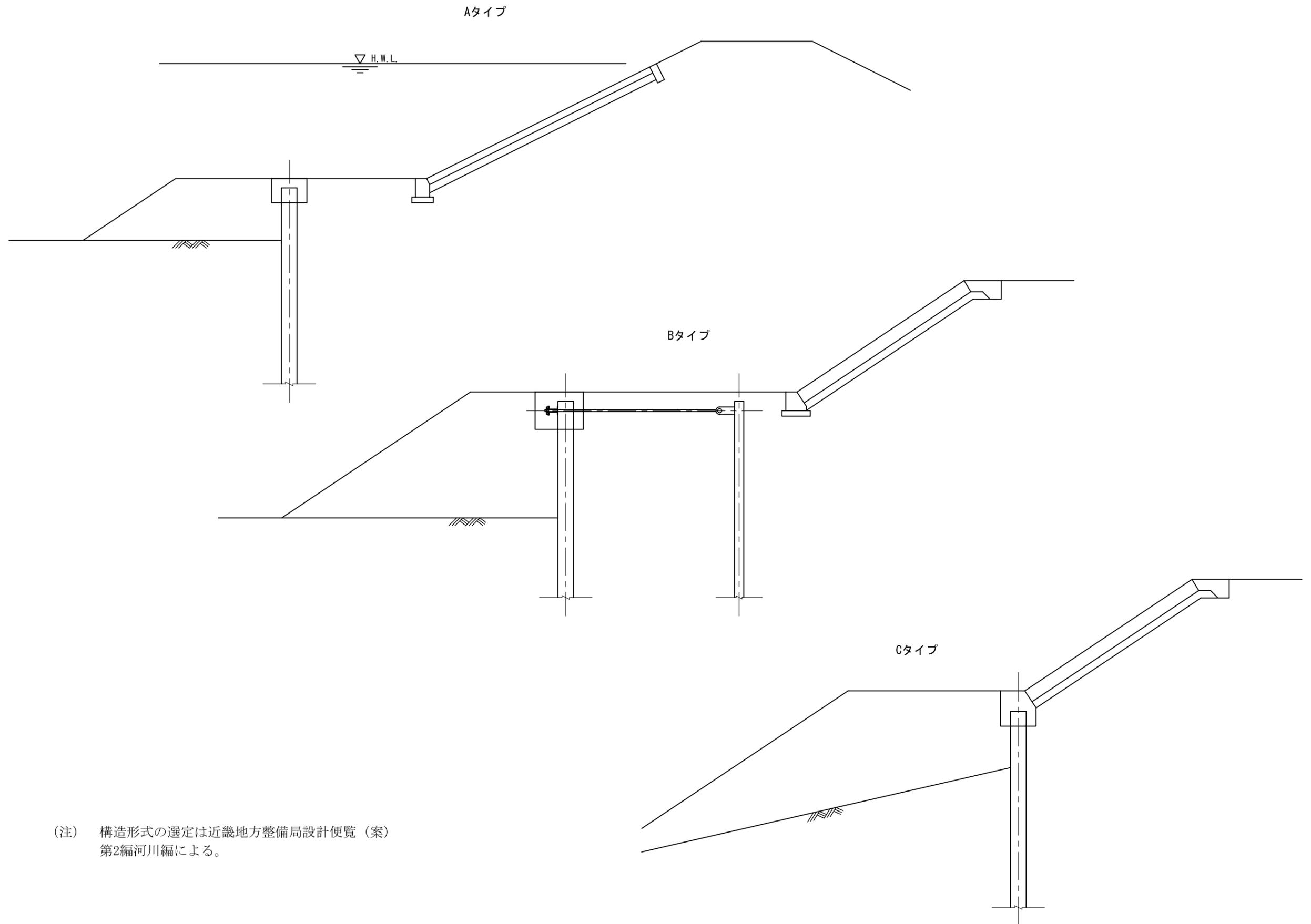


(注) 突起 (シボ) は菱形を標準とする。

## 1 - 4 . 河川矢板護岸笠コンクリート

矢板護岸構造形式図

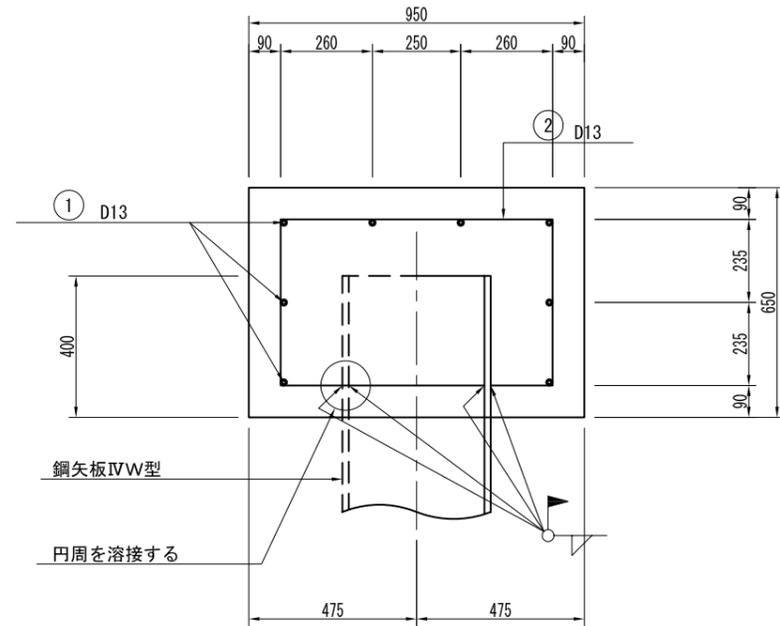
型 式	
-----	--



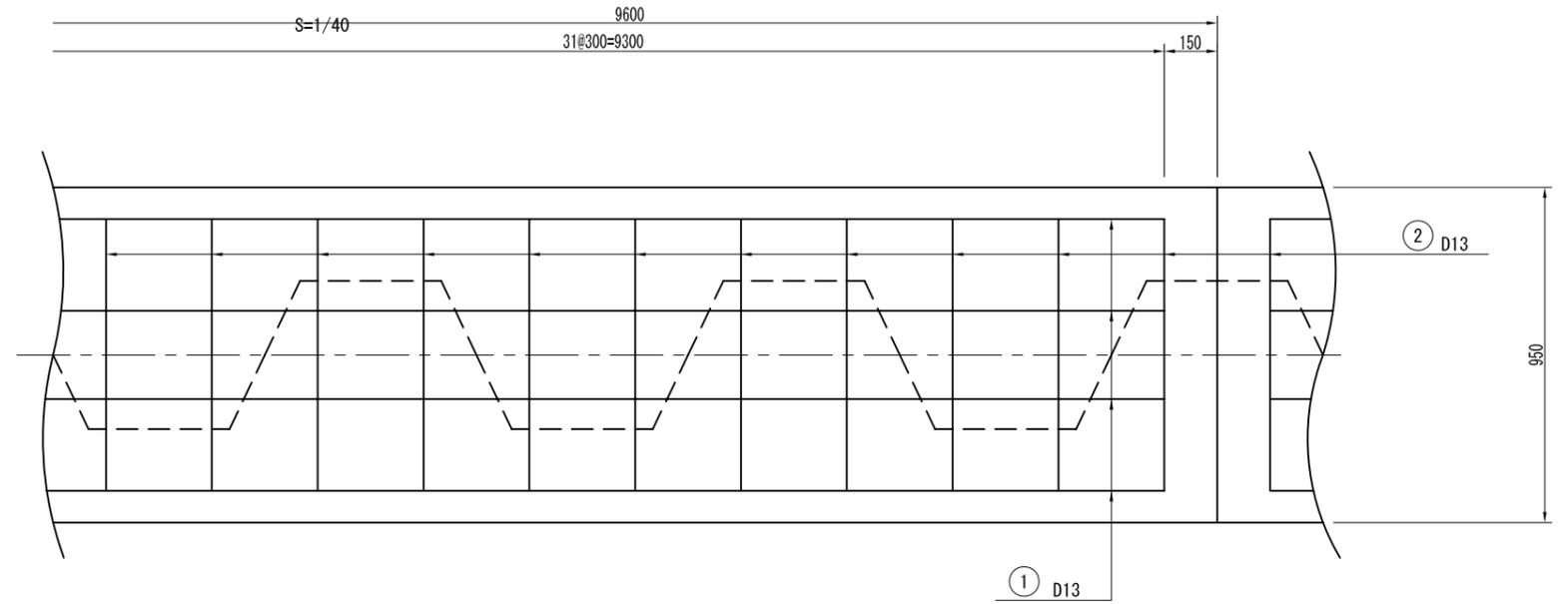
(注) 構造形式の選定は近畿地方整備局設計便覧 (案) 第2編河川編による。

矢板護岸笠コンクリート	
型 式	Aタイプ
	S=1/20

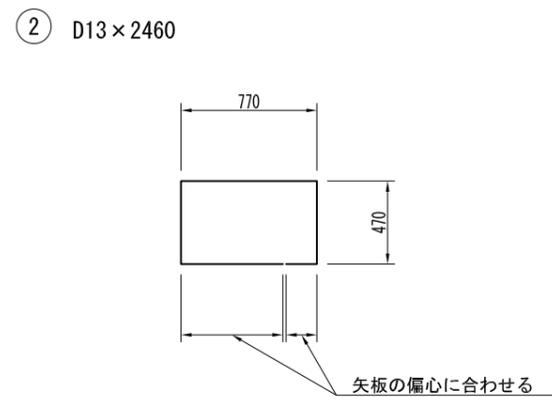
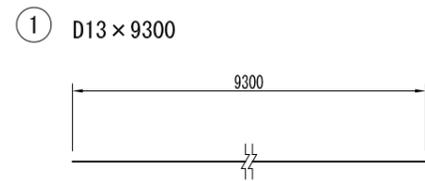
断面図



平面図



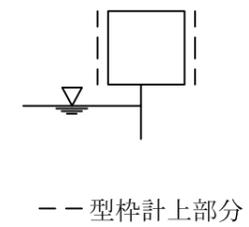
鉄筋加工図



数量表

		(1 m 当り)	
コンクリート (24-8-40)			0.62 m <sup>3</sup>
型 枠			1.30 m <sup>2</sup>
鉄 筋 (SD345 D13)	① 8本 ② 32本		15.87 kg

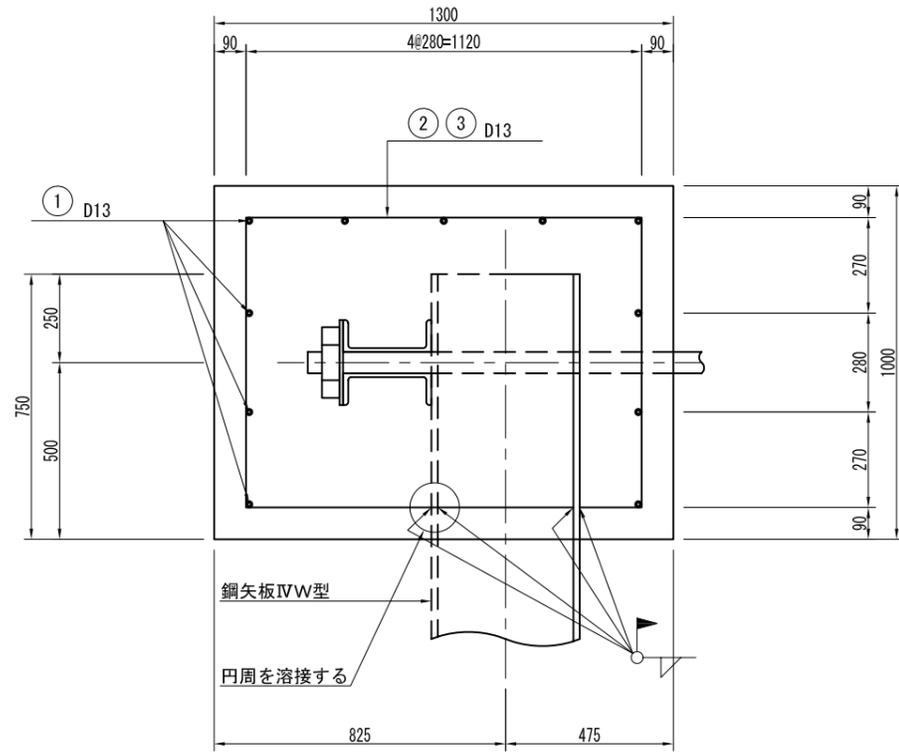
型枠計上図



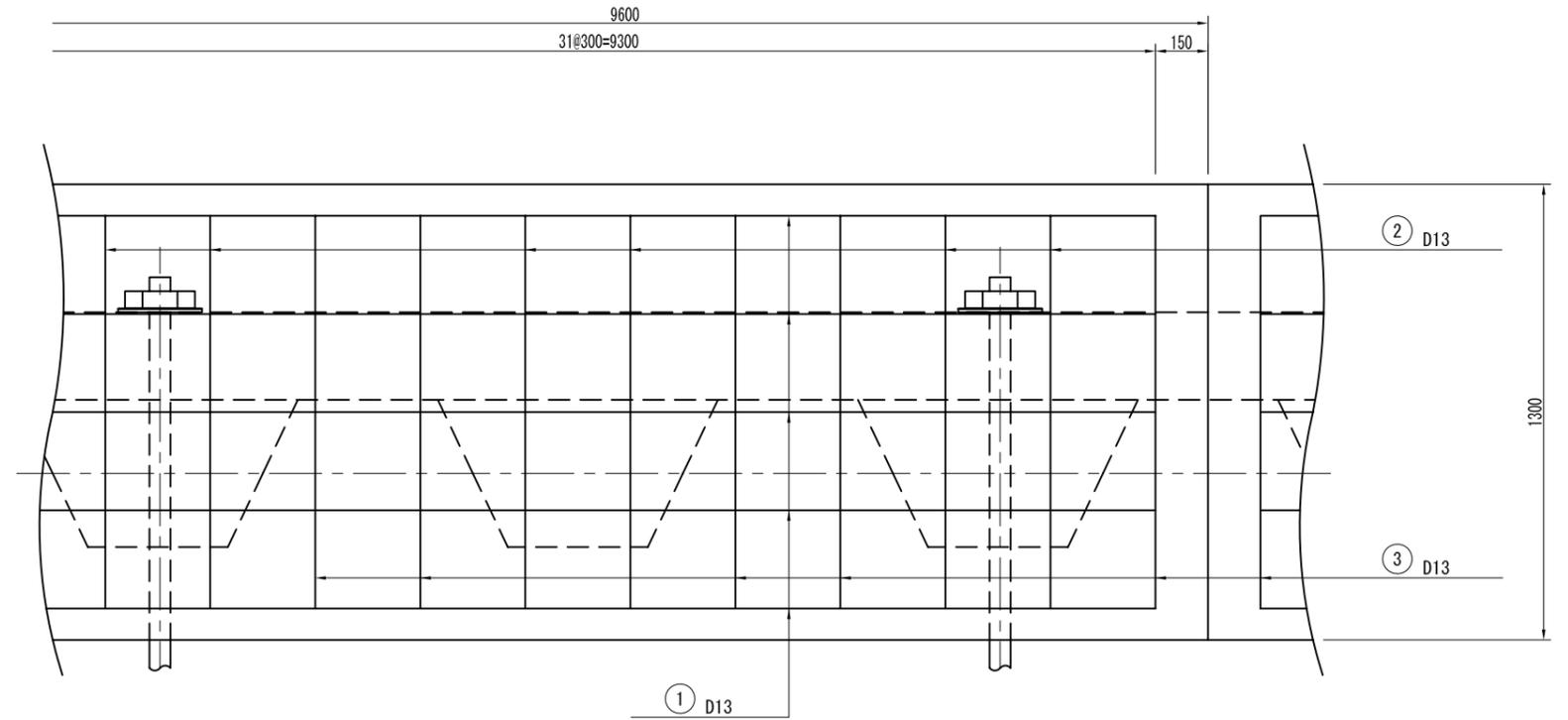
- (注) 1) 底面に施工上型枠が必要な場合は、別途計上すること。  
 2) 使用する鋼矢板に応じて、笠コンクリートの形状寸法を変更すること。

矢板護岸笠コンクリート	
型式	Bタイプ
S=1/20	

断面図

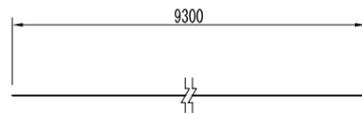


平面図

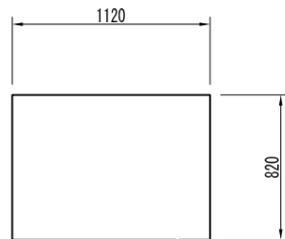


鉄筋加工図

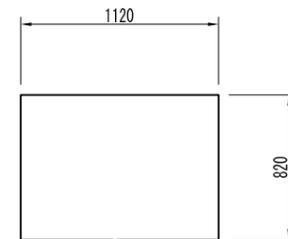
① D13×9300



② D13×3860



③ D13×3860



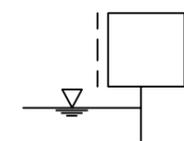
矢板の偏心に合わせる

矢板の偏心に合わせる

数量表

		(1 m 当り)
コンクリート	(24-8-40)	1.30 m <sup>3</sup>
型 枠		2.00 m <sup>2</sup>
鉄 筋	(SD345 D13)	23.41 kg
	① 11本	
	② 16本	
	③ 16本	

型枠計上図

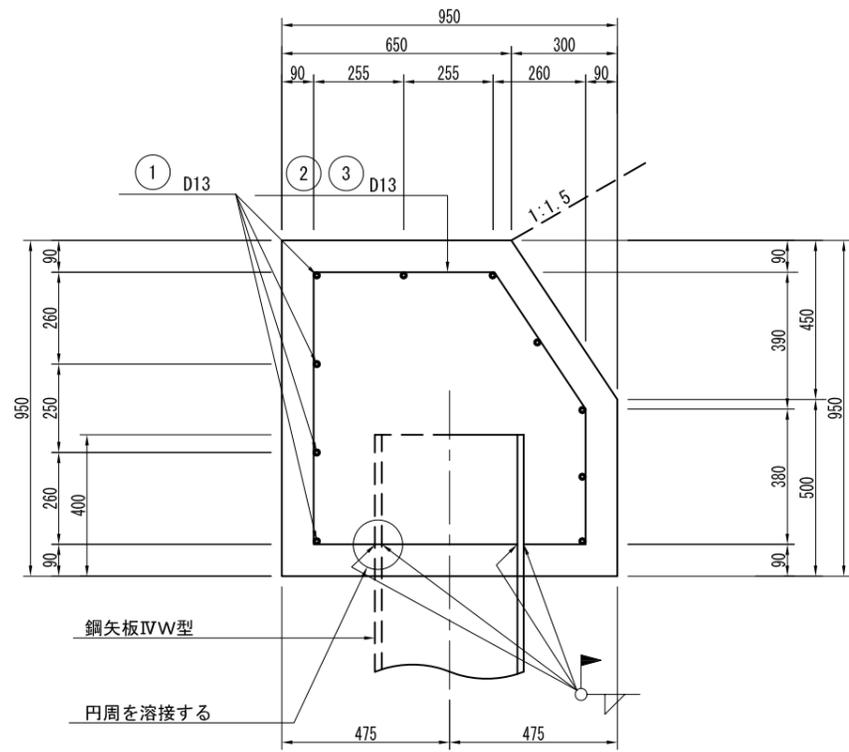


--- 型枠計上部分

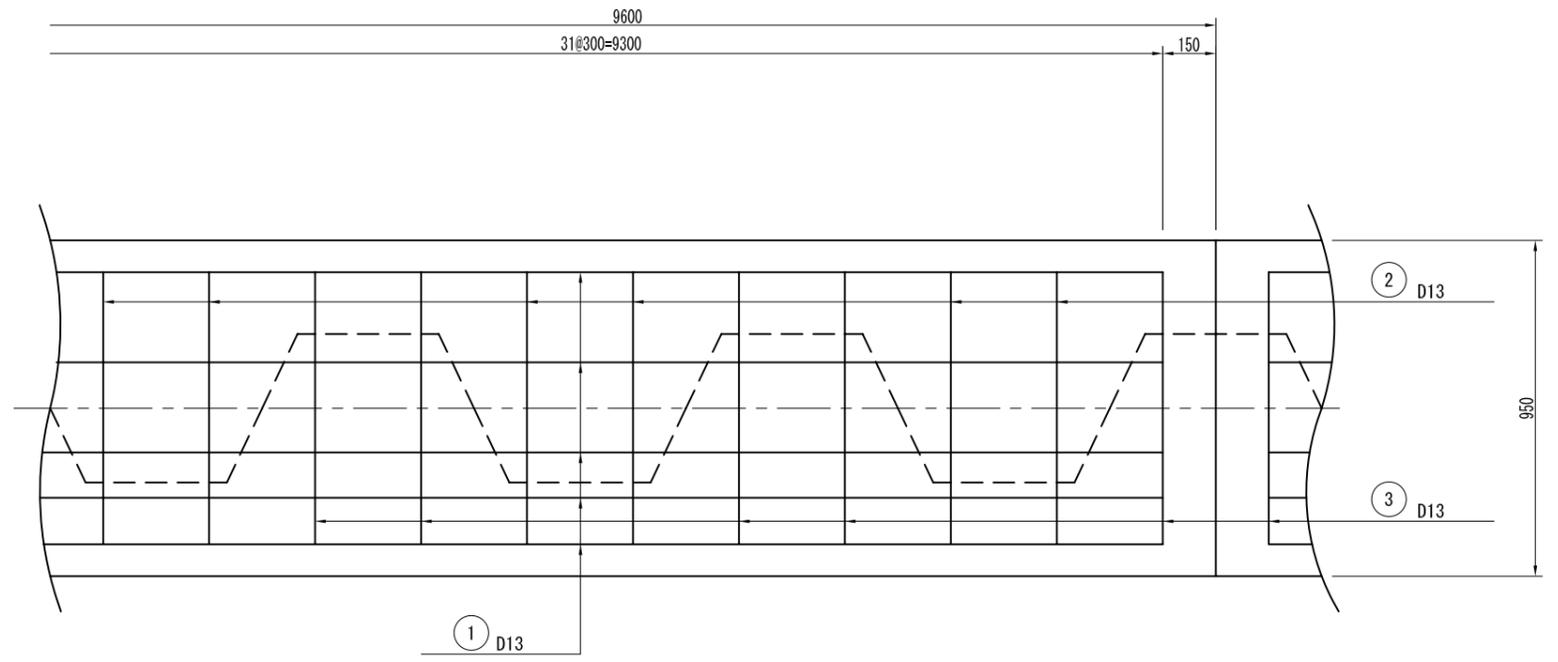
- (注) 1) 底面に施工上型枠が必要な場合は、別途計上すること。  
 2) 使用する鋼矢板及び腹起し材に応じて、笠コンクリートの形状寸法を変更すること。

矢板護岸笠コンクリート	
型式	Cタイプ
S=1/20	

断面図

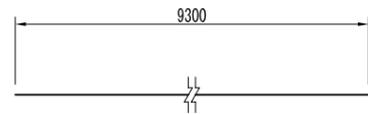


平面図

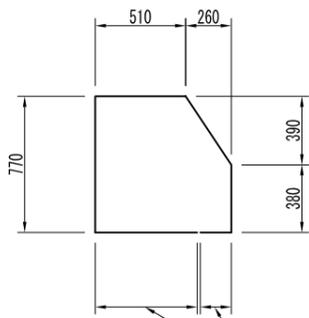


鉄筋加工図

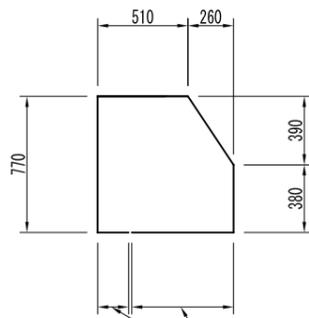
① D13×9300



② D13×2880



③ D13×2880



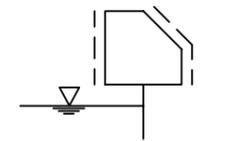
矢板の偏心に合わせる

矢板の偏心に合わせる

数量表

		(1 m 当り)
コンクリート	(24-8-40)	0.84 m <sup>3</sup>
型 枠		1.99 m <sup>2</sup>
鉄 筋	① 10本	19.19 kg
	② 16本	
	③ 16本	
(SD345 D13)		

型枠計上図



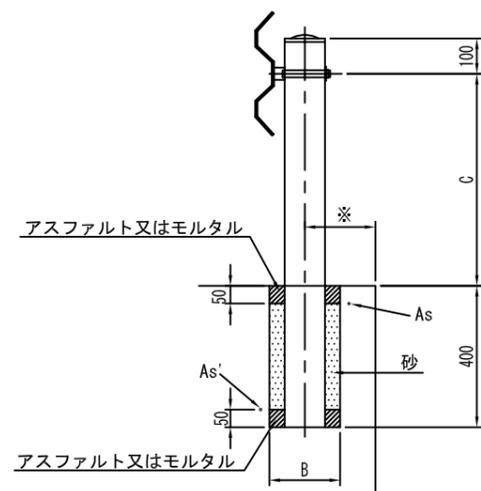
--- 型枠計上部分

- (注) 1) 底面に施工上型枠が必要な場合は、別途計上すること。  
 2) 使用する鋼矢板及び法面勾配に応じて、笠コンクリートの形状寸法を変更すること。

## 4. ガードレール基礎図

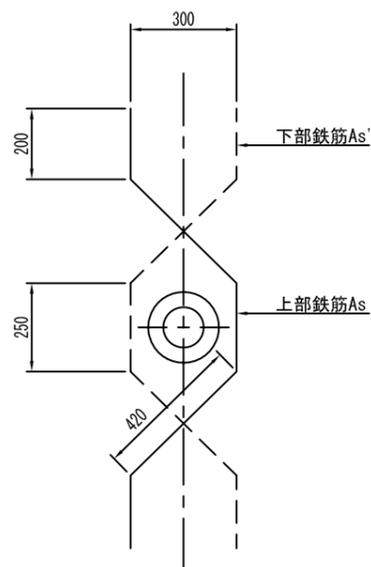
ガードレール基礎図		
型 式	一般構造物用	補強鉄筋必要
		単位 mm

タイプA

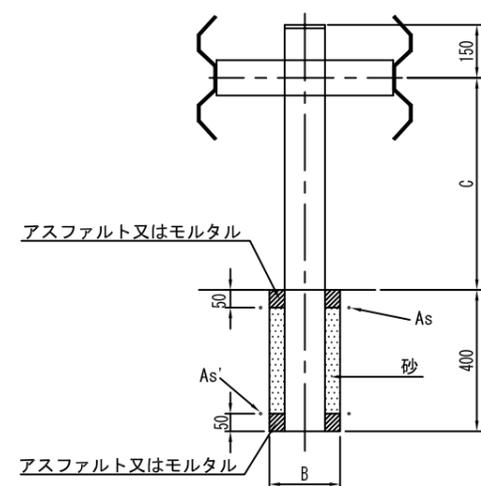


※200以上 (コンクリート強度18N/mm<sup>2</sup>)  
 ※170以上 (コンクリート強度21N/mm<sup>2</sup>)

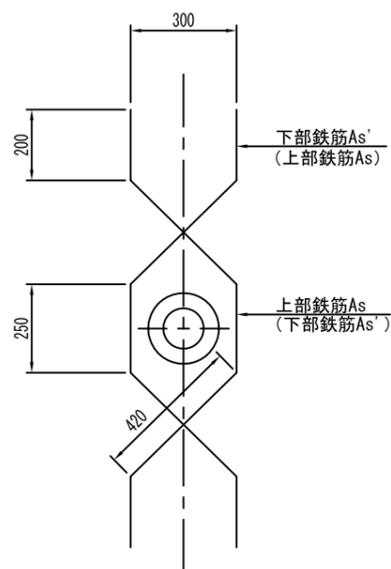
タイプA補強鉄筋詳細



タイプB



タイプB補強鉄筋詳細



基礎寸法及び材料表

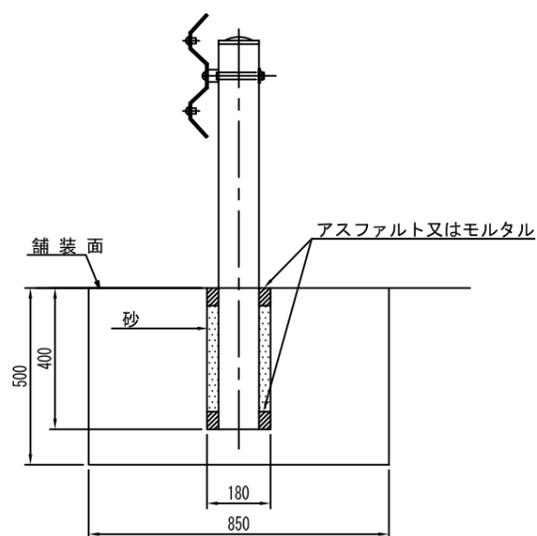
種 別	寸 法 表 (mm)				材料表 (10ヶ所当り) kg	
	C	B	As (上)	As' (下)	鉄筋 SD295A	
路 肩 用	SS	1300 675	200	1D22	1D13	60.13
	SA	1300 675	200	1D22	1D13	60.13
	SB	675	200	1D22	1D13	60.13
	SC	675	200	1D13	1D13	29.66
	A	600	200	1D13	1D13	29.66
	B	600	180	1D13	1D13	29.66
	C	600	180	1D13	1D13	29.66
分 離 帯 用	SSm	675	200	2D22	2D13	120.26
	SAm	600	200	2D13	2D13	59.32
	SBm	600	180	2D13	2D13	59.32
	SCm	600	180	2D13	2D13	59.32
	Am	600	180	2D13	2D13	59.32
	Bm	600	180	2D13	2D13	59.32
	Cm	600	180	2D13	2D13	59.32

- (注) 1) 補強筋の基礎寸法及び材料は車両用防護柵標準仕様・同解説 H16.3 (社団法人日本道路協会) に準拠した。  
 2) 種別のSS, SAの寸法表C欄の上段の数値は上段ビームを、下段の数値は下段ビームの寸法を示す。  
 3) 橋梁部には使用しない。

鉄筋表

径 mm	長 さ mm	単位重量kg/m	1 本 当 重 量 kg
D13	1490	0.995	1.483
D22	1490	3.04	4.530

ガードレール



※連続基礎とする。

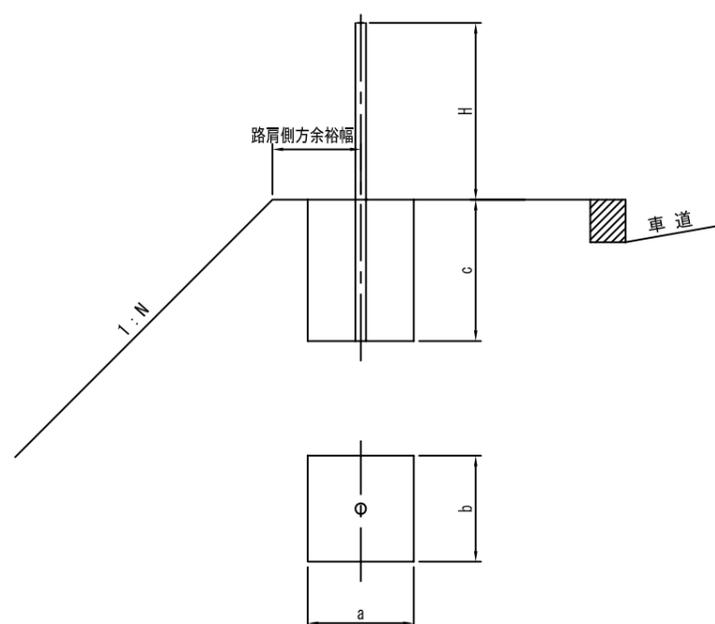
材料表 (10m当り)

コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	型 枠
m <sup>3</sup> 4.25	m <sup>2</sup> 10.0

- (注) 1. 種別B, Cについて、土中式が障害物等により使用できない場合に用いる。  
 2. 形状寸法は車両用防護柵標準仕様・同解説 H16.3 (社団法人日本道路協会) の計算例を参考とした。

歩道用防護柵

P 種



種 別	設置目的	H	コンクリートブロックの寸法		
			a	b	c
P	転落防止	1100	300	300	800※ (450)
	横断防止	800	300	300	400
SP	転落防止	1100	300	連続基礎	900※ (500)

- (注) 1. 基礎寸法は、防護柵の設置基準・同解説 H16.3 (社団法人日本道路協会) に準拠した。  
 2. ※値は、路肩側方余裕100mm以上500mm未満、のり勾配1:1.5より緩やかで中位以上の耐震力を有する土質条件 (N値10程度の砂質地盤) の場合である。  
 3. ( ) 内値は、路肩側方余裕500mm以上で中位以上の耐震力を有する土質条件 (N値10程度の砂質地盤) の場合である。

## 5. 距離標（路面標）

## 1. 設置要領等

## (1) 標示内容

- ① 1km標 : 標示は、ルートマーク及び距離程の数値のみとする。  
(【注】起点名、から・まで、kmについては標示しない)
- ② 1km標の付加情報 : 下記の情報表示が必要な箇所についてのみ、付加情報を提供する。  
但し、標示は距離案内または地先名のどちらか片方とする。
- 1) 距離案内が必要な箇所
- ・106系の方面及び距離標識の補完機能としての位置付けであり、106系の標識設置間隔が10km程度の箇所について、その中間位置の箇所に「主要地名」及び「主要地までの距離」を標示する。
  - ・その他、案内標識の補完上で重要な箇所については、上記に準じて標示できる。
- 2) 地先名案内が必要な箇所
- ・101系の行政境界標識の補完機能としての位置付けであり、行政区間が長い路線(5km以上)では、行政境界より概ね5km間隔の箇所に、「市町村名」及び「地先名」を標示する。
  - ・その他、案内標識の補完上で重要な箇所については、上記に準じて標示できる。
- ③ 100m標 : 標示は、距離程(○○○、○)の数値のみとする。

## (2) 設置位置等

- ① 1km標 : 道路構造により以下のように区分する。
- 1) 歩道設置済の多車線道路については、上・下線両側に設置する。  
標示面数は、それぞれの進行方向1面とする。
- 2) 自動車専用道路またはそれに準ずる道路については、中央分離帯のみに設置する。  
標示面数は、それぞれの進行方向1面とし、可能な限り1本の支柱で上・下線の標示(両面標示)とする。
- 3) 2車線道路については、千鳥配置とする。  
標示面数は、それぞれの進行方向1面とする。
- ② 100m標 : 基本的には、1km標と同様とするが、100m標については道路管理施設であり、適宜設置位置を検討しても構わない。

## (3) 設置方式等

- ① 1km標 :
- ・単柱式(板横型)を標準とする。
  - ・但し、都市部等で歩行空間の阻害及び歩道除雪等に支障が無い区間で、かつ景観への配慮が必要な区間(ある程度連続する区間)については三角支柱方式でも構わない。

・歩行者空間の阻害、または歩道除雪の障害の発生する恐れのある区間については、上記方式以外のシール式や添架式等での対応でも構わない。

- ② 100m標 : シール式またはペイント式とする。

## (4) 距離程の取扱い

距離程の取扱いは以下のとおりとする。

- ・距離程については、現在使用している距離程(管理図等に明示されている数値)をそのまま標示する。
- ・重複区間については、上位路線の距離程のみを標示する。
- ・バイパスが部分供用中の区間では、距離程数値の前(または上)に「Bp」を付加標示する。

## 2. 設置にあたっての留意事項

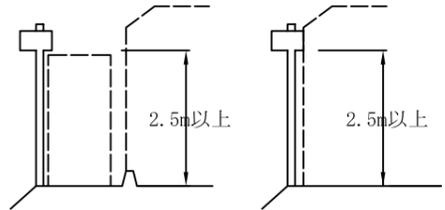
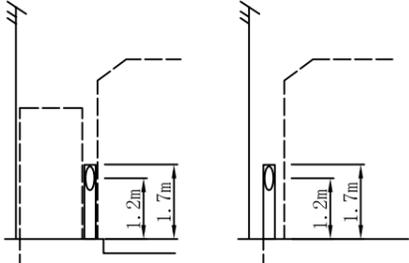
## (1) 道路利用者への配慮

- ・歩道上の設置は、歩行空間の阻害にならないように配慮する。
- ・沿道からの道路利用にとって障害にならないように配慮する。
- ・標示面は視認性に配慮する。(一般的には70°程度の角度)

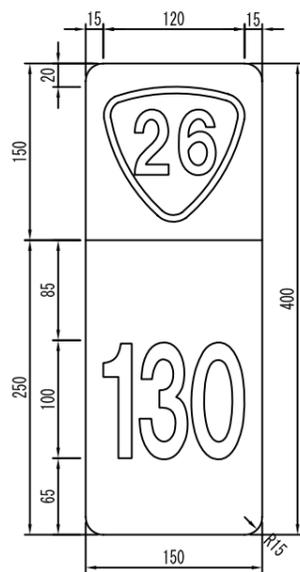
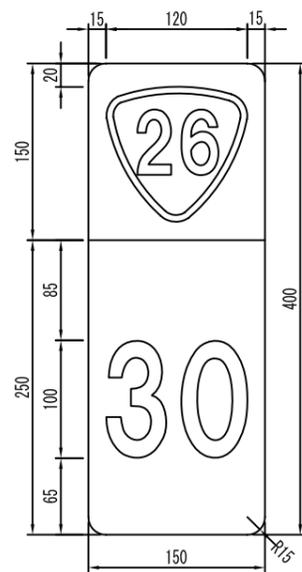
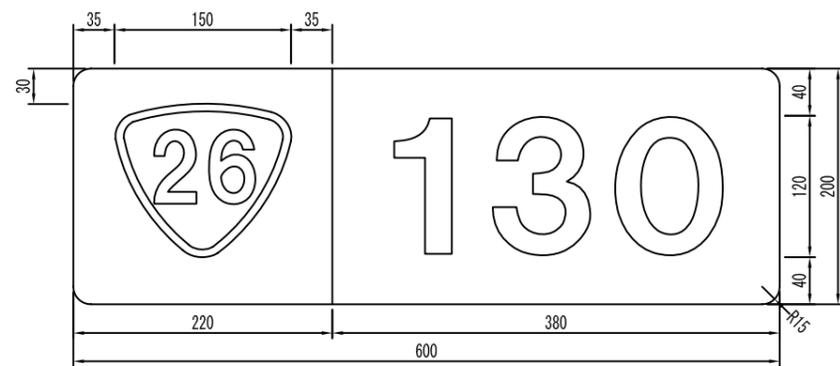
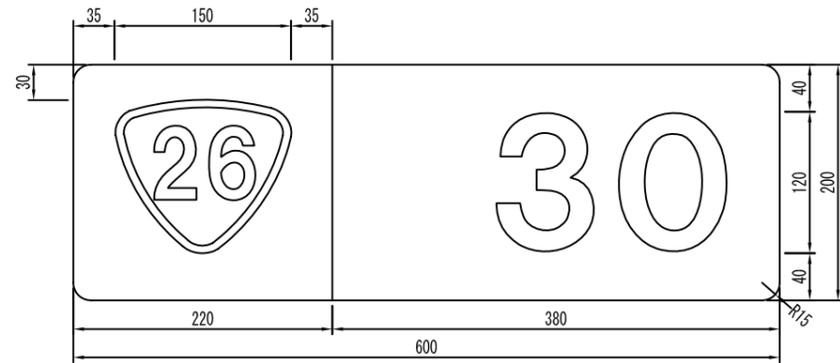
## (2) 道路管理面での配慮

- ・建築限界内の設置を避ける。
- ・歩道除雪の支障にならないように配慮する。
- ・100m標は、道路管理施設とし整備する。

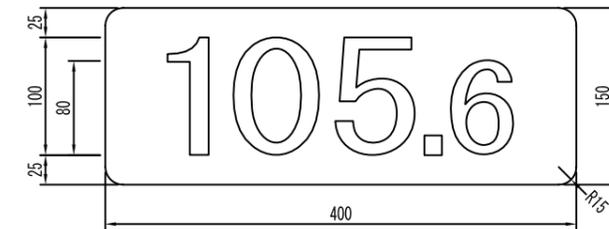
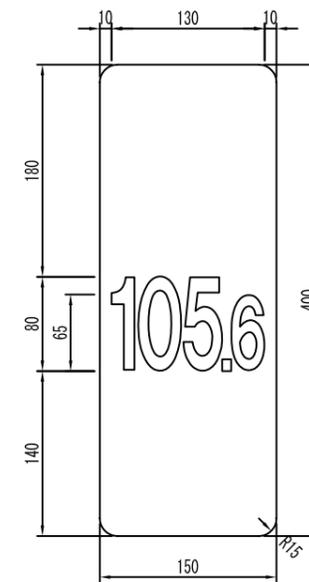
新しい地点標設置要領要約表

距離程の取扱い		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の距離程数値及び位置等そのまま使用する。 ただし、ブレイキ区間長が特別大きい区間については、補番による修正を行う。</li> <li>・ バイパス整備済区間のバイパス部補番の前には、「B」を付す。</li> <li>・ バイパス部分供用中区間の地点標には「Bp」を付す。</li> </ul>			
表示形式	①キロメートル標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準：板型の横型 (横0.6m×縦0.2m)</li> <li>・ 標準：三角支柱形式 (横0.15m×縦0.4m×支柱高1.7m)</li> </ul>			
	②100m標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路管理施設であり、適宜設置位置を検討しても構わない。</li> <li>・ シール式またはペイント式とする。</li> </ul>			
内容表示	①キロメートル標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示は路線番号、起点からの距離程数値のみ表示する。 (kmはいれない)</li> </ul>			
	②100m標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起点からの距離程数値のみ表示する。(mはいれない)</li> </ul>			
色彩等	②100m標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支柱外側：事務所で決定。・ 表示面は広角プリズム型反射シート。 (キロメートル標のみの適用とする。)</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線番号：ベース  淡い赤 (RE-3MBT) 参考</li> <li>・ 距離表示：ルート番号  青 (BL-100BL) //</li> <li>                  : ベース  あさぎ色 (GR-005WT) //</li> <li>                  : 文字  青 (BL-100BL) //</li> <li>・ 付加情報：ベース  やまぶき色 (OR-17LT) //</li> <li>                  : ベース  淡い黄色 (YL-100LY) //</li> </ul>			
標準設置場所		歩道有区間：歩車道境界部の歩道内      歩道無区間：保護路肩			
設置イメージ図	・ キロメートル標	歩道有区間	歩道無区間	歩道有区間	歩道無区間
					
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示する情報は当該路線の重要地、主要地までの距離や、地先名に関する情報となる。</li> </ul>			

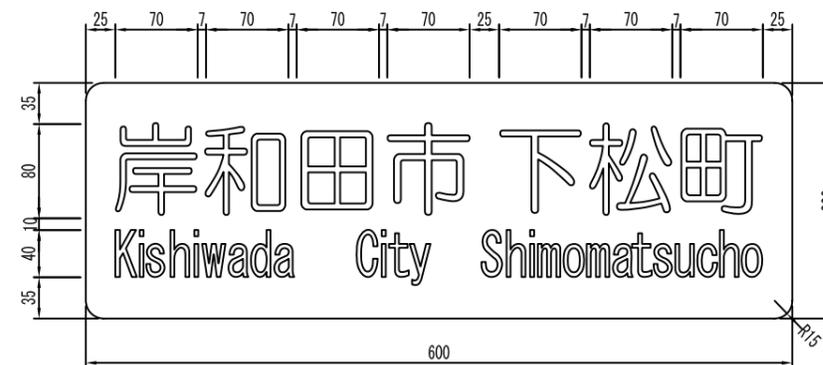
キ口標



100m標



付加情報板



基礎天端への作用力に応じた基礎の形状

地点標の基礎は、表示板・支柱等の自重及び風荷重を考慮して設計するものとする。地点標の施工は、他の構造物及び交通に影響することなく、安全かつ確実に行わなければならない。

[解説]

1) 地点標の基礎

地点標の基礎の設計は「道路付属物の基礎について」（昭和50年7月15日付け建設省道企第52号建設省道路局企画課長通達）によるものとする。

この設計法は、道路橋示方書IV下部構造編(昭和55年5月)、7章ケーソン基礎の設計を一部修正して用いたもので、設計上次の事項を仮定としている。

- 基礎周辺地盤はN値10程度の砂質地盤で、地盤反力係数は深さとともに増大するものと考え、三角形分布を採用する。
- 基礎前面地盤の単位体積重量 $1.7t/m^3$ とし、受動土圧係数は3.53とする。なお、底面地盤のせん断抵抗力は無視する。
- 地点標の取付方法は固定構造とする。

2) 設計荷重

(1) 基礎の設計に用いる設計外力としては、自重と風荷重を考慮するものとし、風荷重は短期荷重として扱う。

(2) 設計風速は次の値を標準とする。

路側式の道路標識、道路反射鏡等・・・・・・・・・・・・・・40m/sec

オーバーハング、オーバーヘッド式の道路標識、道路情報提供装置等・・・・・・・・50m/sec

①風荷重の算式は次式による。

$$P = 1/16 \cdot V^2 \cdot C_D \cdot A$$

ここで、 P=風荷重 (kg)

V=設計風速 (m/sec)

A=受圧面積 (有効投影面積：m<sup>2</sup>)

C<sub>D</sub>=抗力係数で下記を標準とする。

支柱に対して 0.7

板に対して 1.2

(3) 基礎形状について

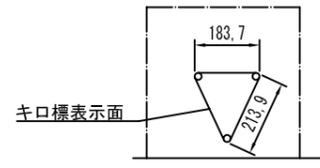
基礎天端への作用力に応じた基礎の形状の標準を右表に示す。

H(t) M (t·m)	0.02	0.03	0.04	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40	1.50	
0.04	60																							
0.06	70	70	80																					
0.08	80	80	80	80																				
0.10	90	90	90	90																				
0.15	100	100	100	100	110																			
0.20		110	110	110	120																			
0.25		120	120	120	120																			
0.30			120	120	120	120	130																	
0.35				120	120	130	130																	
0.40					130	130	140	140																
0.45					130	140	140	140	150															
0.50					140	140	140	150	150															
0.60					140	150	150	160	160	160	160													
0.70					150	150	160	160	160	150	160	160												
0.80					160	160	150	160	160	160	160	160	170											
0.90					160	150	160	160	160	170	170	170	180	180										
1.00					160	160	160	170	170	170	170	180	180	190	190									
1.10					160	160	170	170	170	170	180	180	190	190										
1.20						170	170	170	180	180	180	180	190	190	190									
1.30						170	180	180	180	180	180	180	190	190	180	190								
1.40						180	180	180	180	190	190	190	190	190	190	190	190							
1.50							180	180	180	190	190	190	190	190	190	190	160	170						
1.60							190	190	190	190	190	180	180	190	190	160	170	170						
1.70							190	190	190	180	180	190	190	190	170	170	170	180						
1.80							190	190	180	180	190	190	190	190	170	170	170	180	180	180				
1.90								180	190	190	190	190	170	170	170	170	180	180	180	180	180			
2.00								190	190	190	190	190	170	170	170	180	180	180	180	190	190	190	190	190
2.20								190	190	170	170	170	170	170	180	180	180	180	190	190	190	190	160	160
2.40									170	170	170	180	180	180	190	190	190	190	190	190	190	170	170	170
2.60									180	180	180	180	190	190	190	190	190	170	170	170	170	170	170	180
2.80										180	180	190	190	190	190	170	170	170	170	180	180	180	180	180
3.00											190	190	190	190	170	170	170	170	180	180	180	180	180	180
3.20												190	170	170	170	180	180	180	180	180	180	190	190	190
3.40													170	170	180	180	180	180	180	180	190	190	190	190
3.60													180	180	180	180	180	180	190	190	190	190	190	190
3.80														180	180	190	190	190	190	190	190	170	170	170
4.00															190	190	190	190	170	170	170	170	170	170
4.20																190	190	190	170	170	170	170	170	180
4.40																190	170	170	170	180	180	180	180	180
4.60																170	170	170	180	180	180	180	180	180
4.80																170	180	180	180	180	180	180	180	190
5.00																180	180	180	180	180	180	190	190	190
5.20																	180	180	190	190	190	190	190	190
5.40																	180	190	190	190	190	190	190	190
5.60																	190	190	190	190	190	190	190	190
5.80																		190	190	190				
6.00																			190					

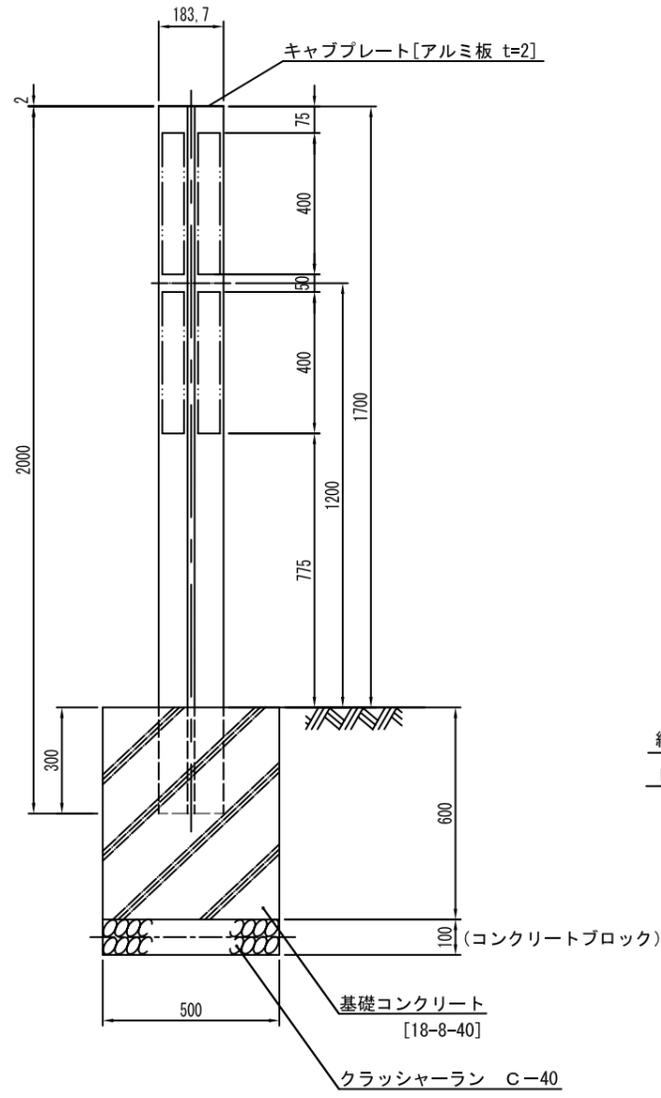
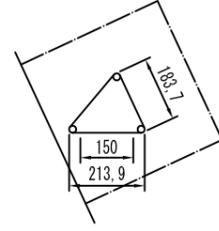
地点標 [キロメートル標] 設置詳細図		
型式	三角立柱式	[土中式]

S=1/10

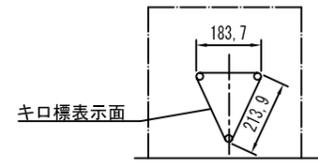
NK2 [片面表示]  
NK2-1 [両面表示]



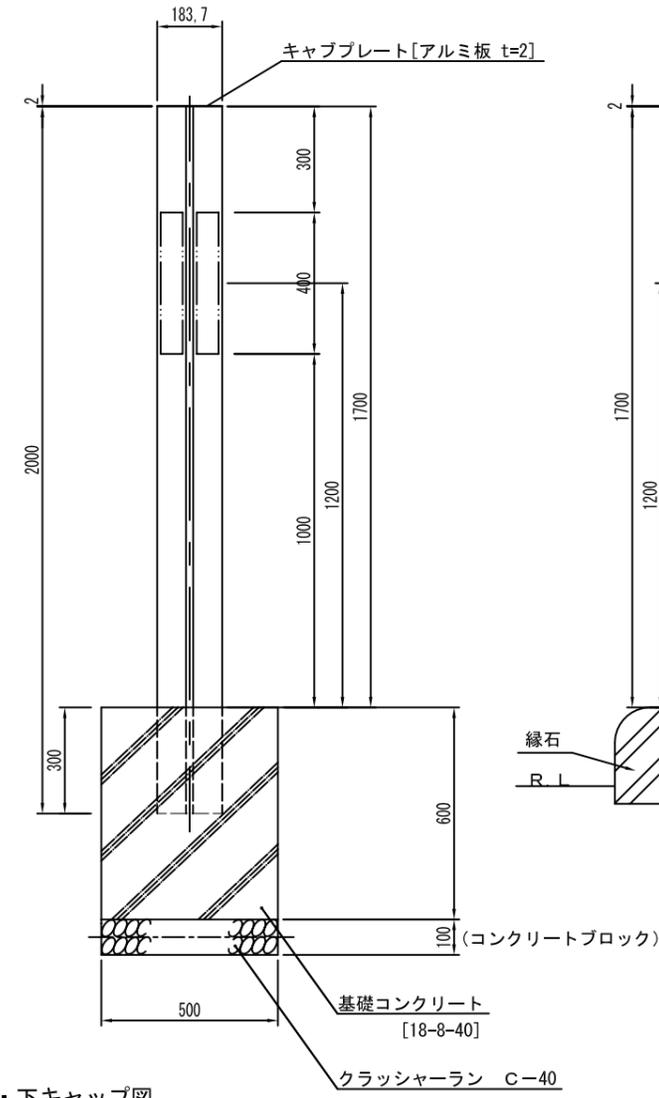
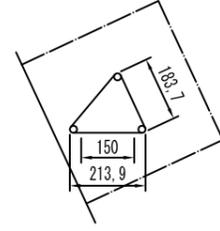
→ 進行方向 [車道側]



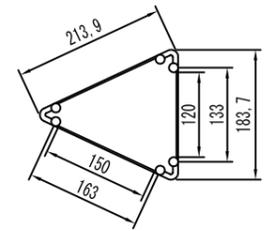
NK1 [片面表示]  
NK1-1 [両面表示]



→ 進行方向 [車道側]

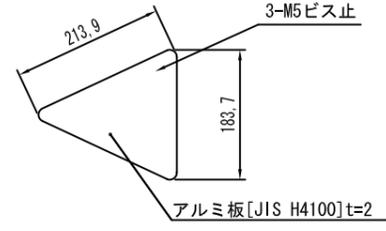


支柱断面図



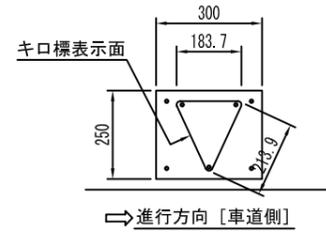
S=1/5

上・下キャップ図



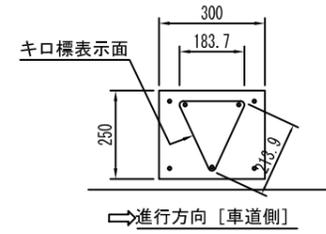
地点標 [キロメートル標] 設置詳細図		
型式	三角立柱式	[ベース式]

S=1/10



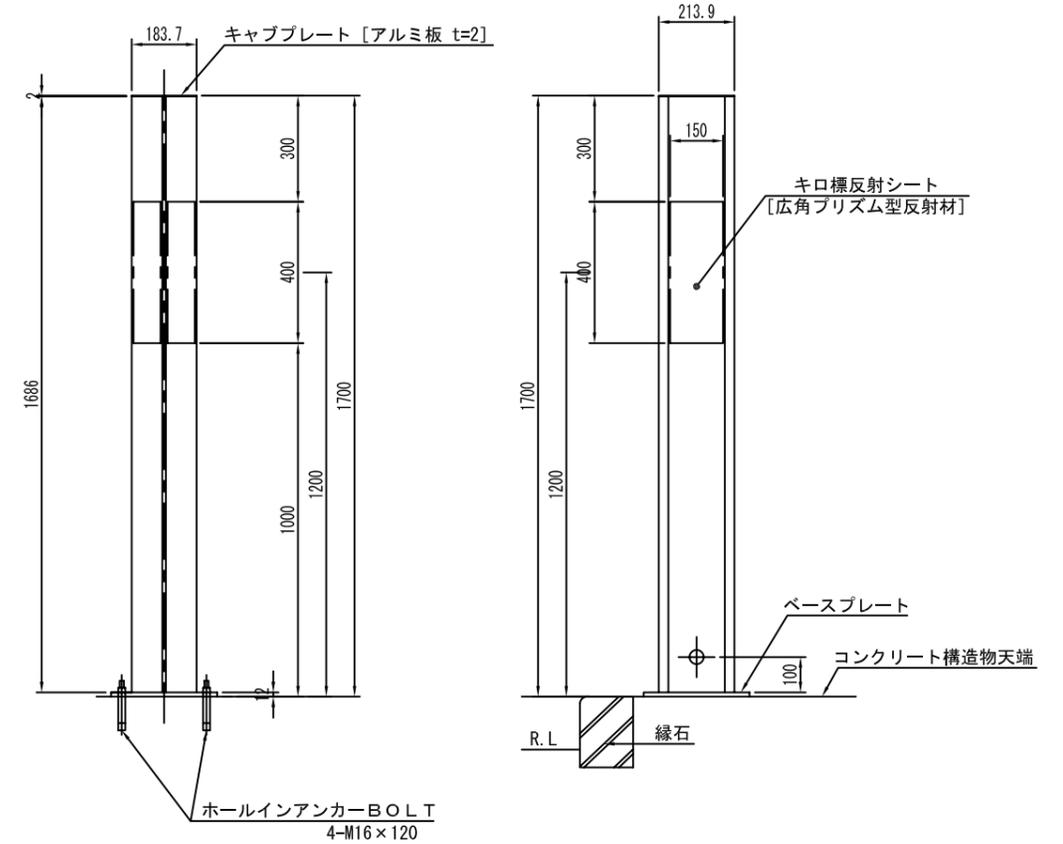
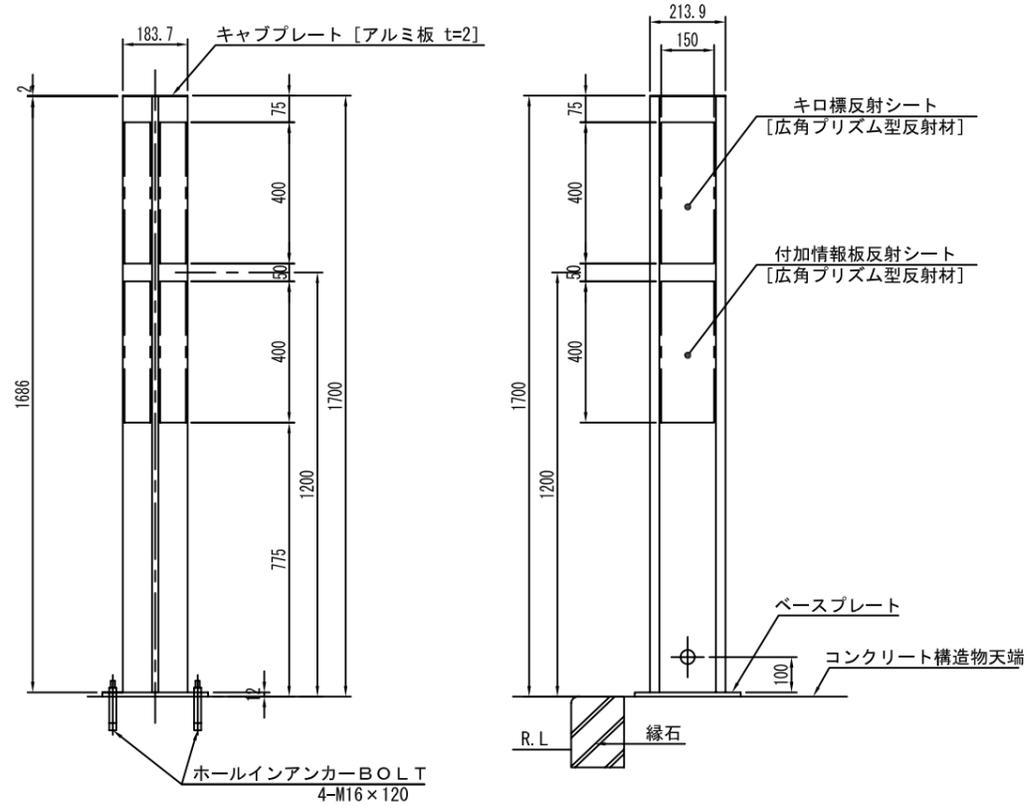
NK B2 [片面表示]

NK B2-1 [両面表示]



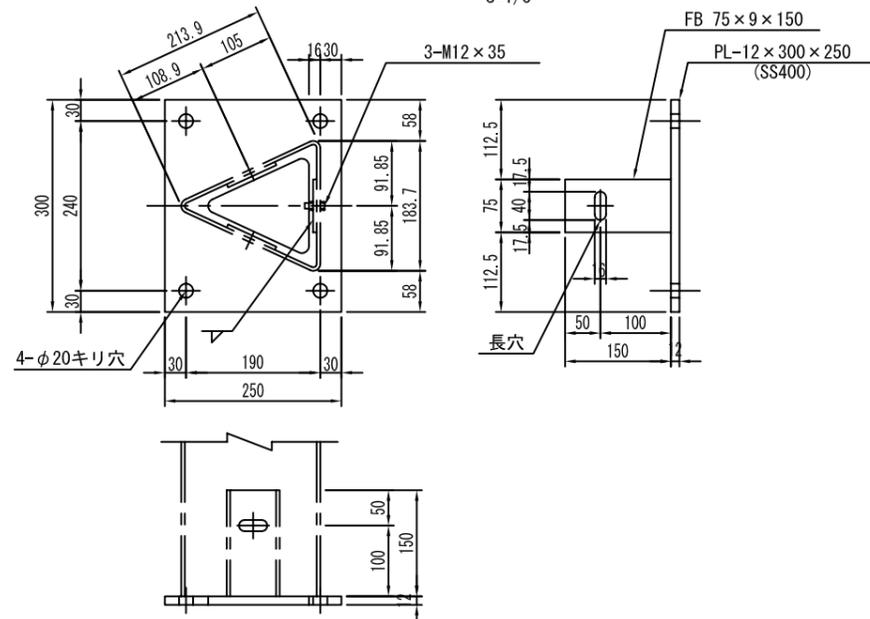
NK B1 [片面表示]

NK B1-1 [両面表示]



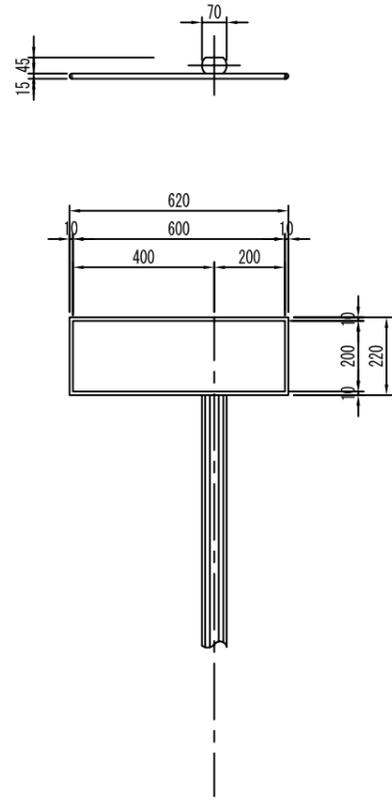
ベースプレート詳細図

S=1/5

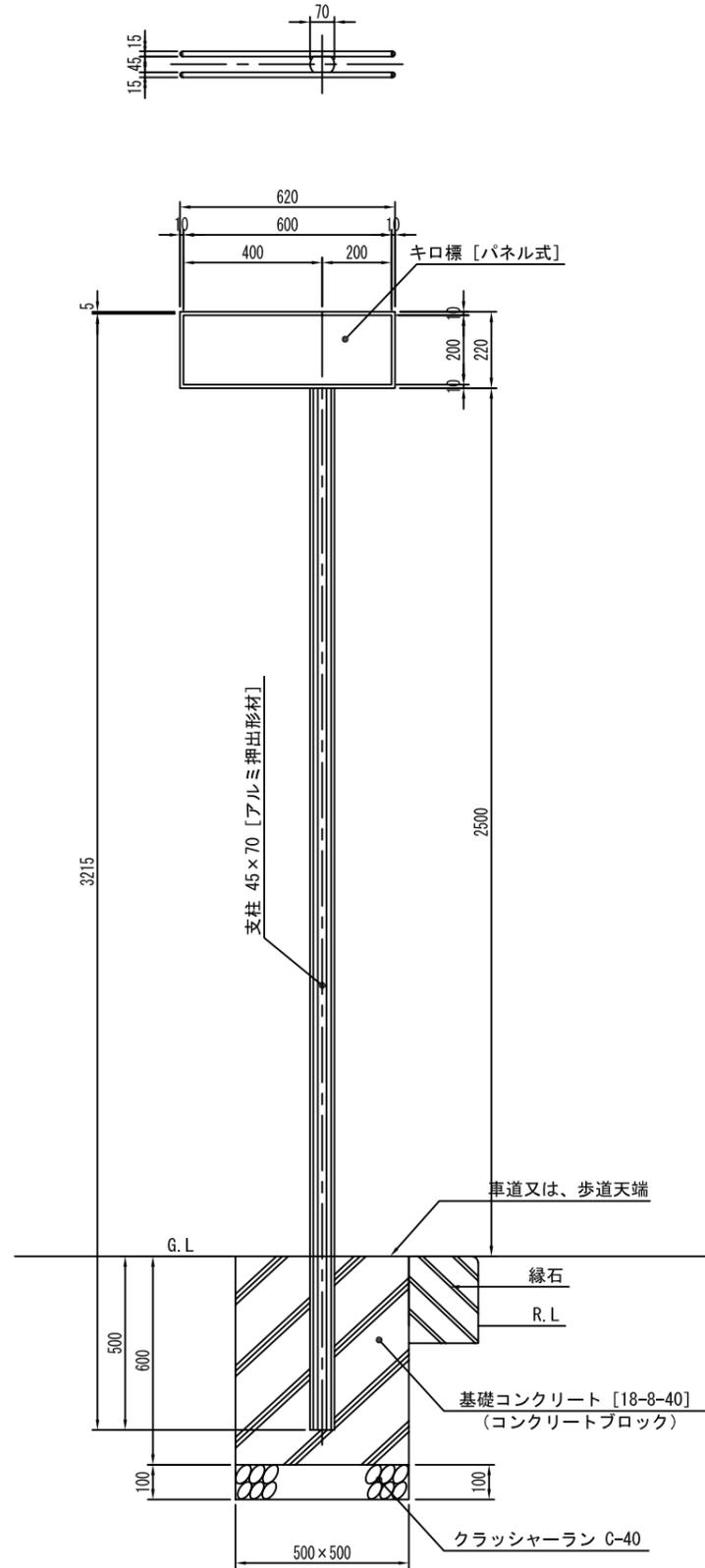


地点標 [キロメートル標] 設置詳細図		
型式	単柱パネル式	[土中式]
S=1/10		

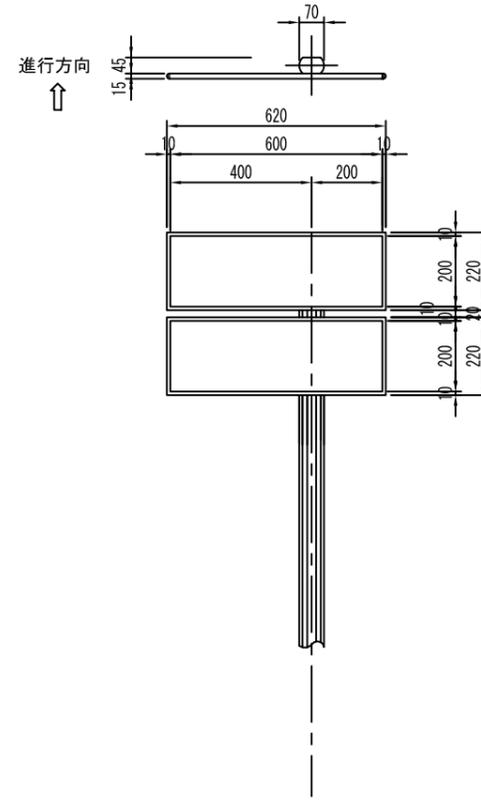
NK4-1



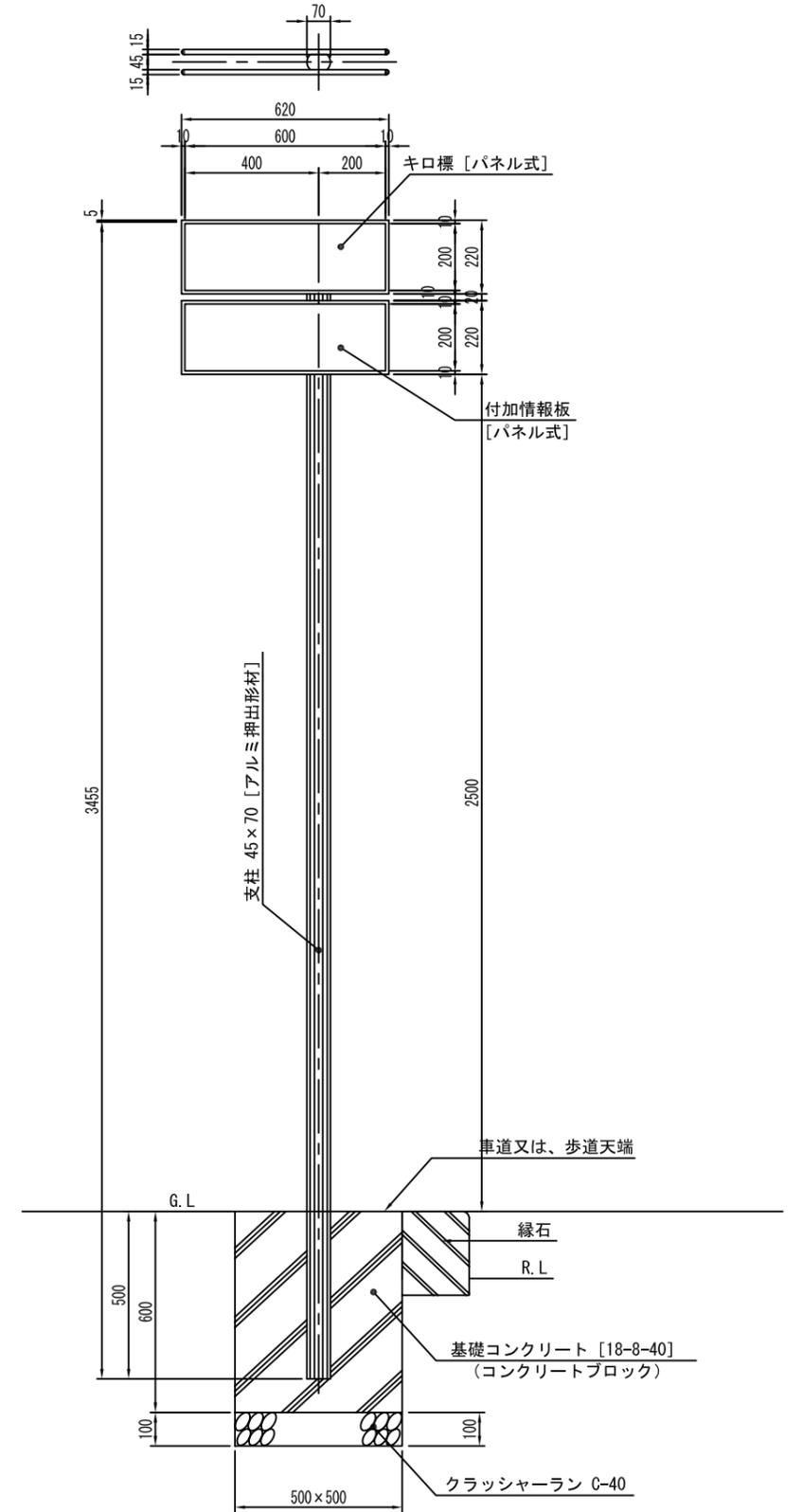
NK4-2



NK5-1

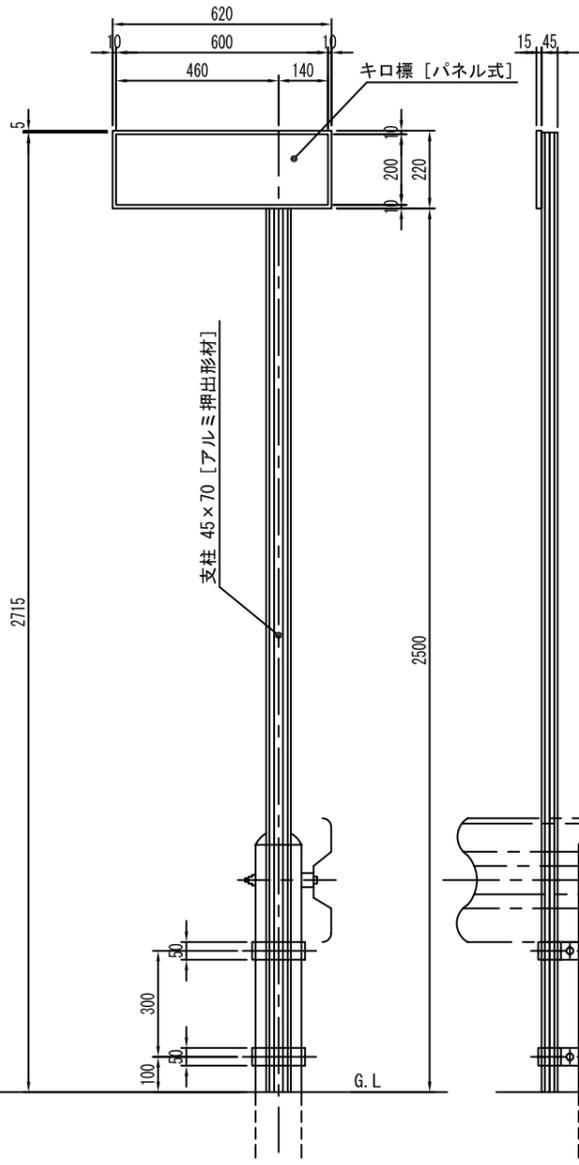
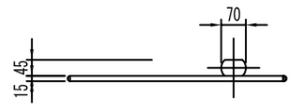


NK5-2

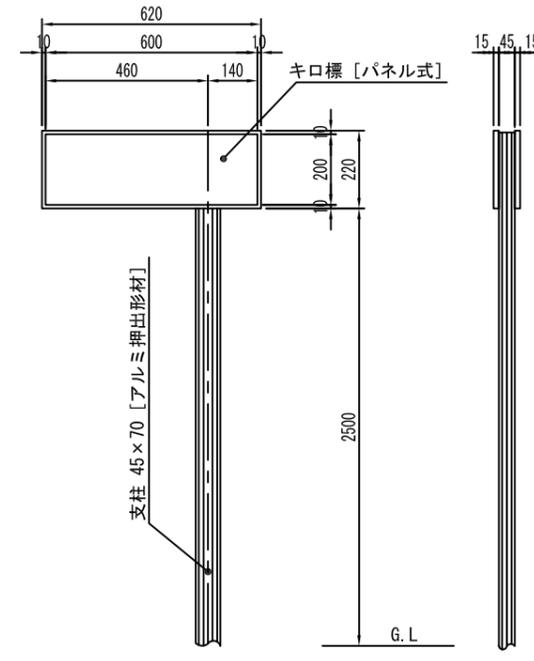


地点標 [キロメートル標] 設置詳細図		
型式	単柱パネル式	[Gr柱添架式]
S=1/10		

NK4G-1

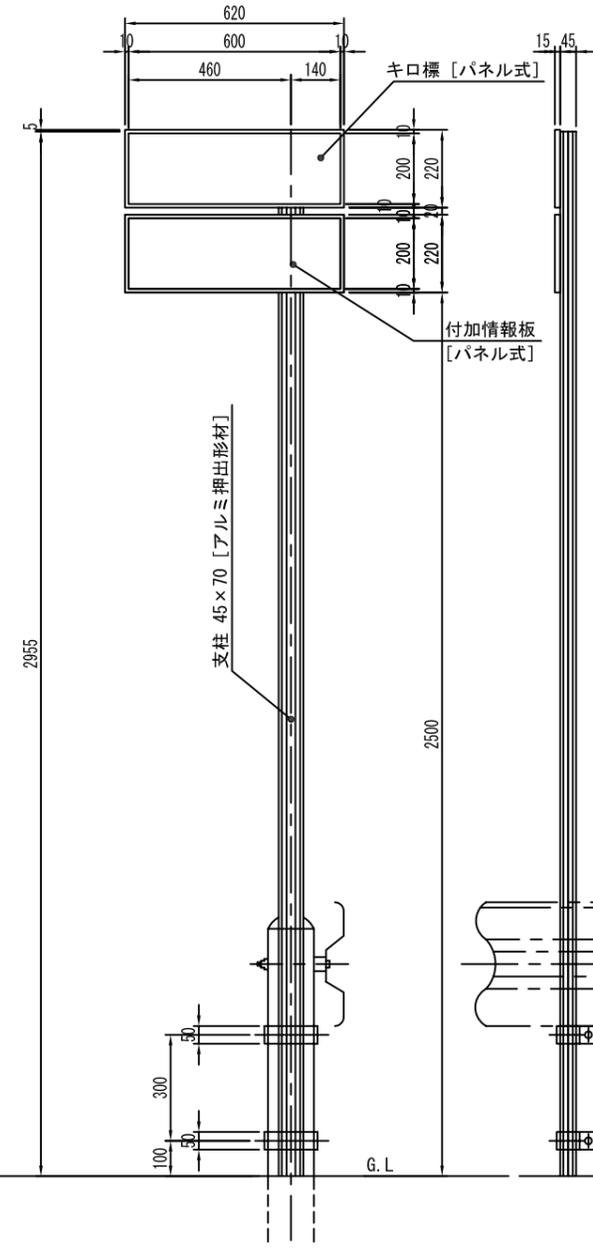
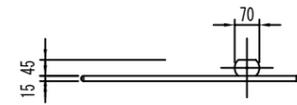


NK4G-2

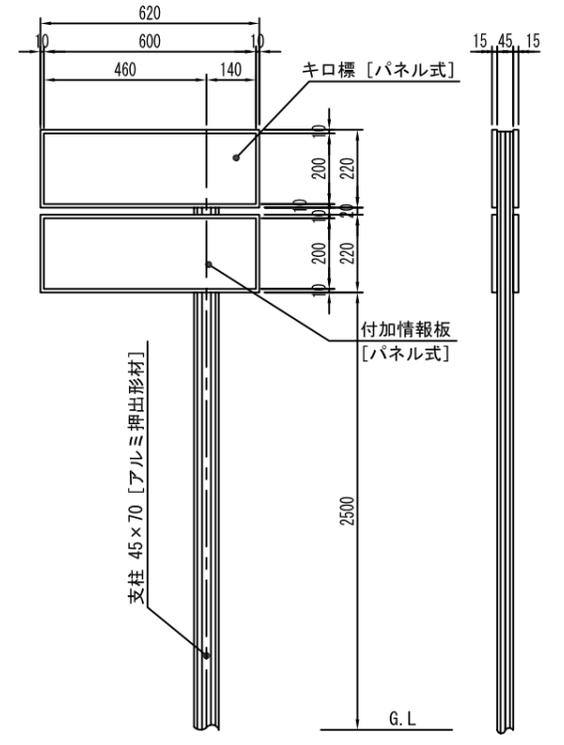


進行方向  
↑

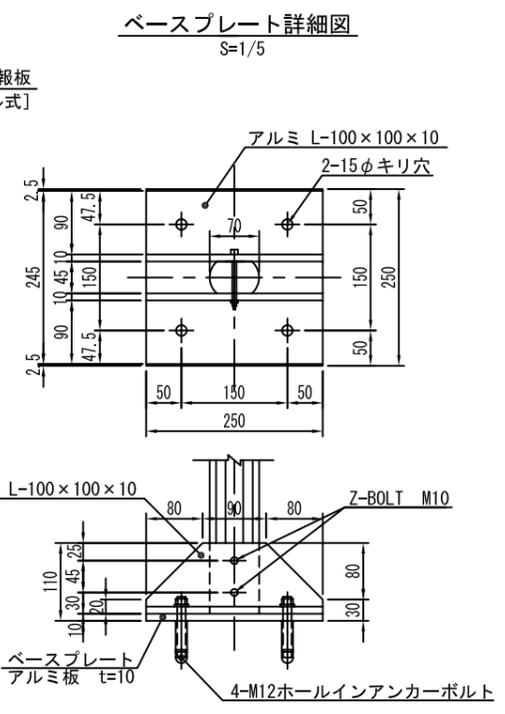
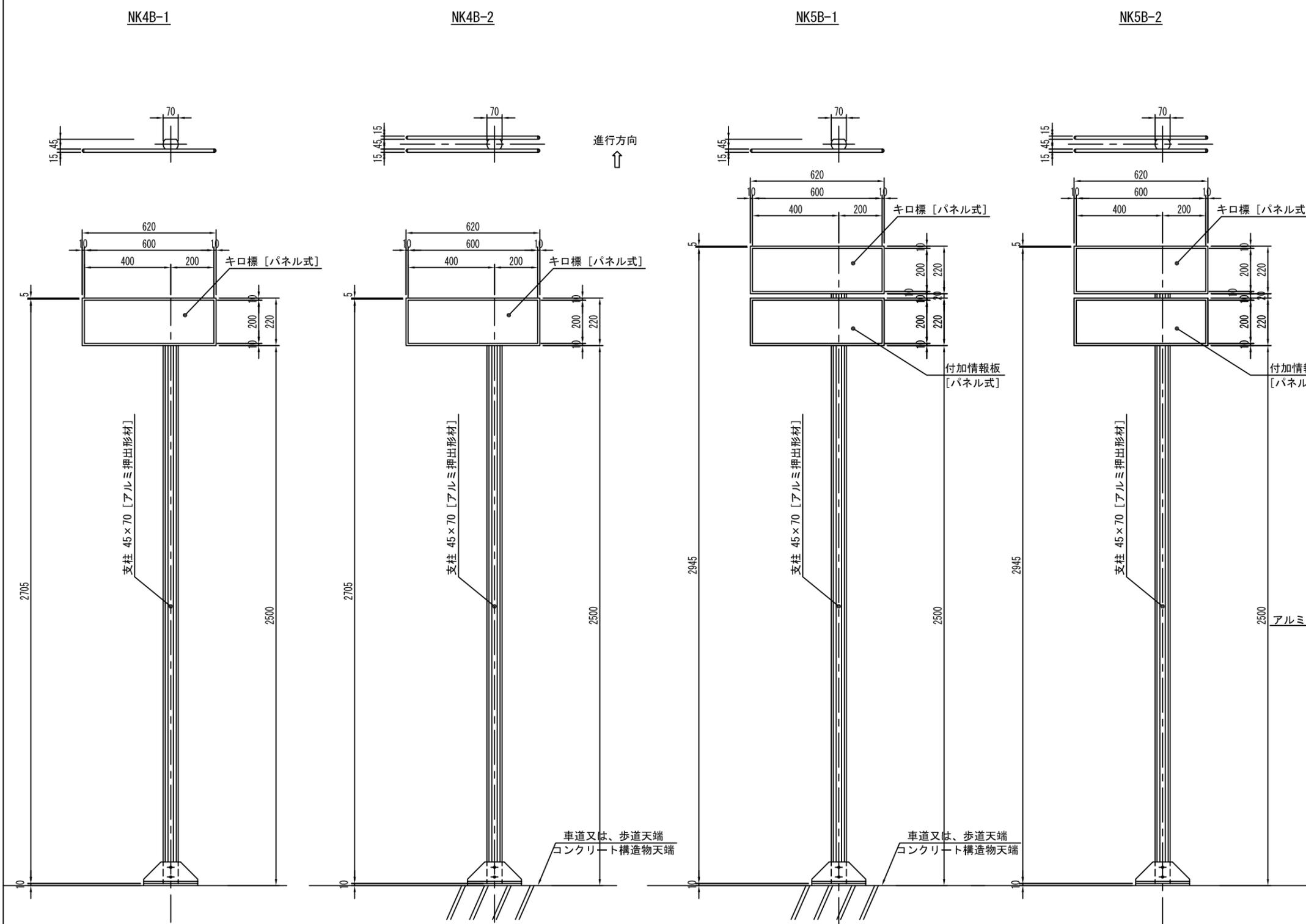
NK5G-1



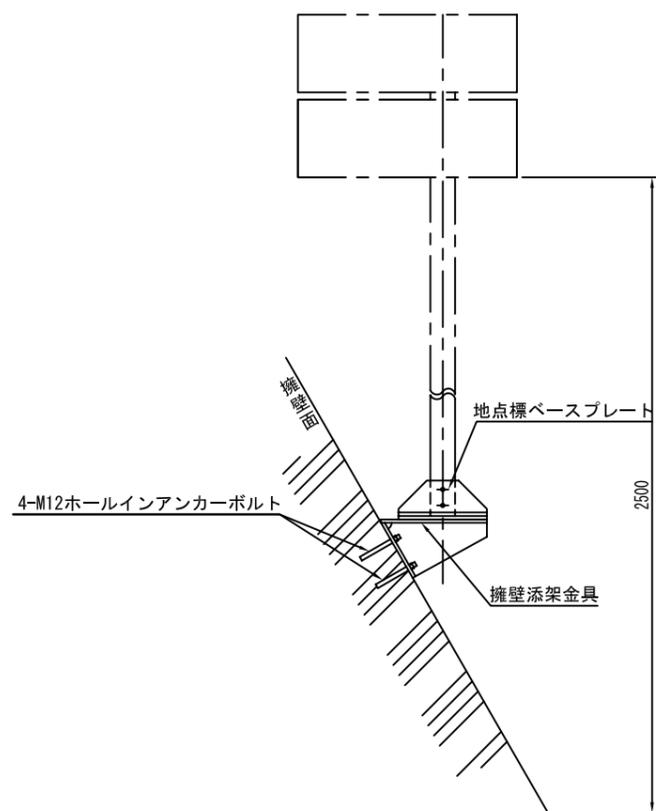
NK5G-2



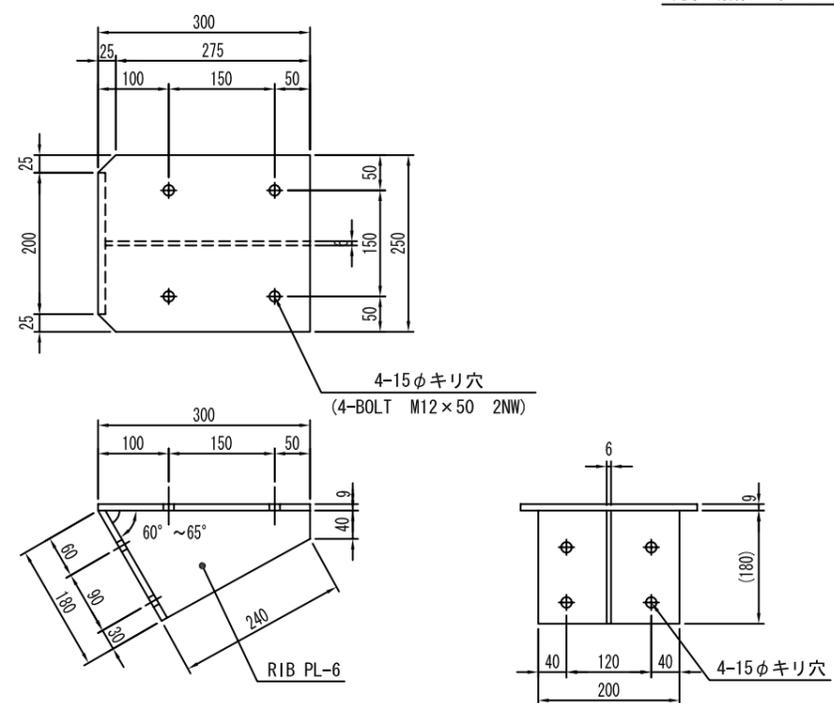
地点標 [キロメートル標] 設置詳細図		
型式	単柱パネル式	[ベース式]
S=1/10		



地点標擁壁部設置詳細図  
S=1/10



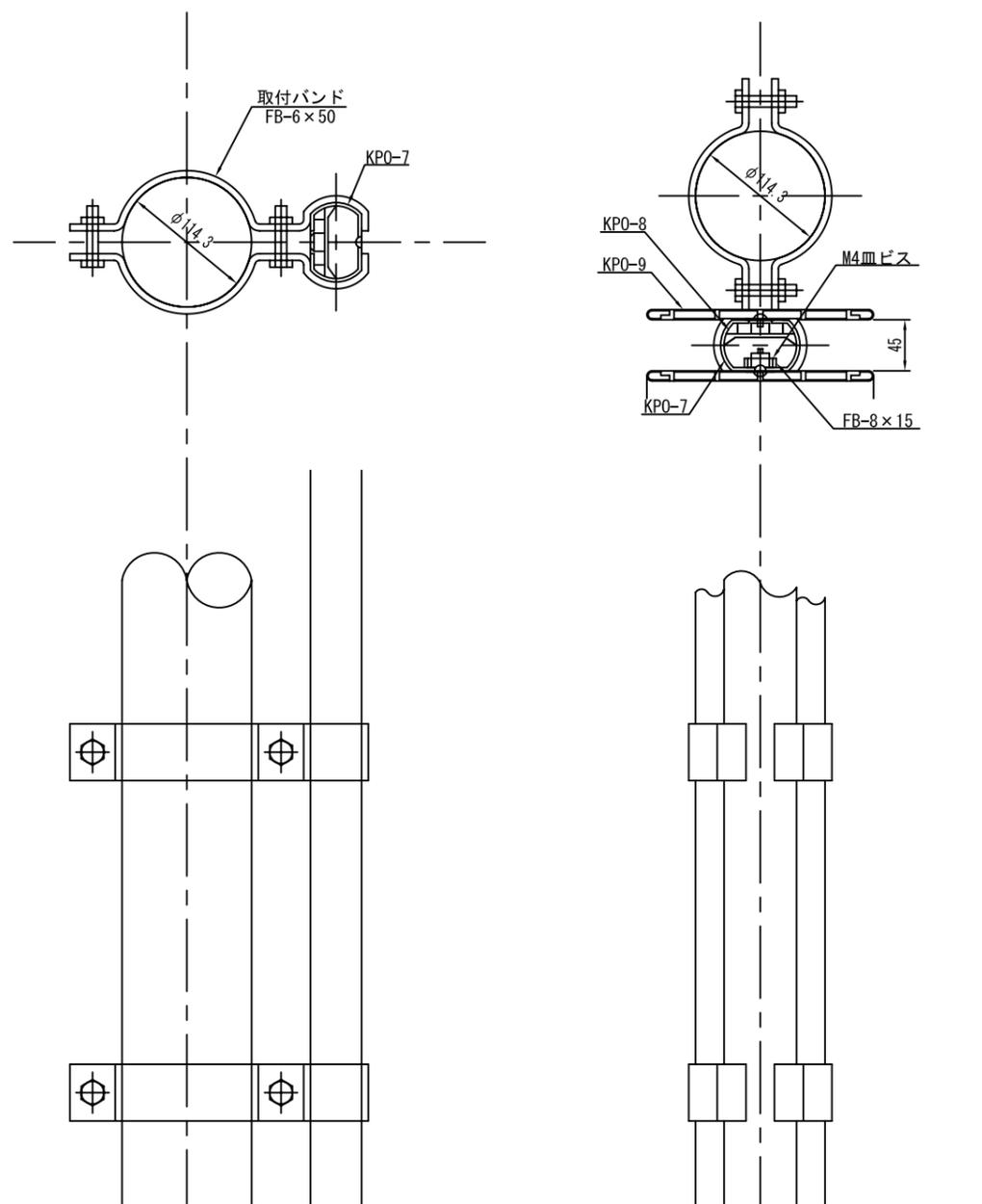
擁壁添架金具詳細図  
S=1/5



外側：溶融亜鉛メッキ仕上げする

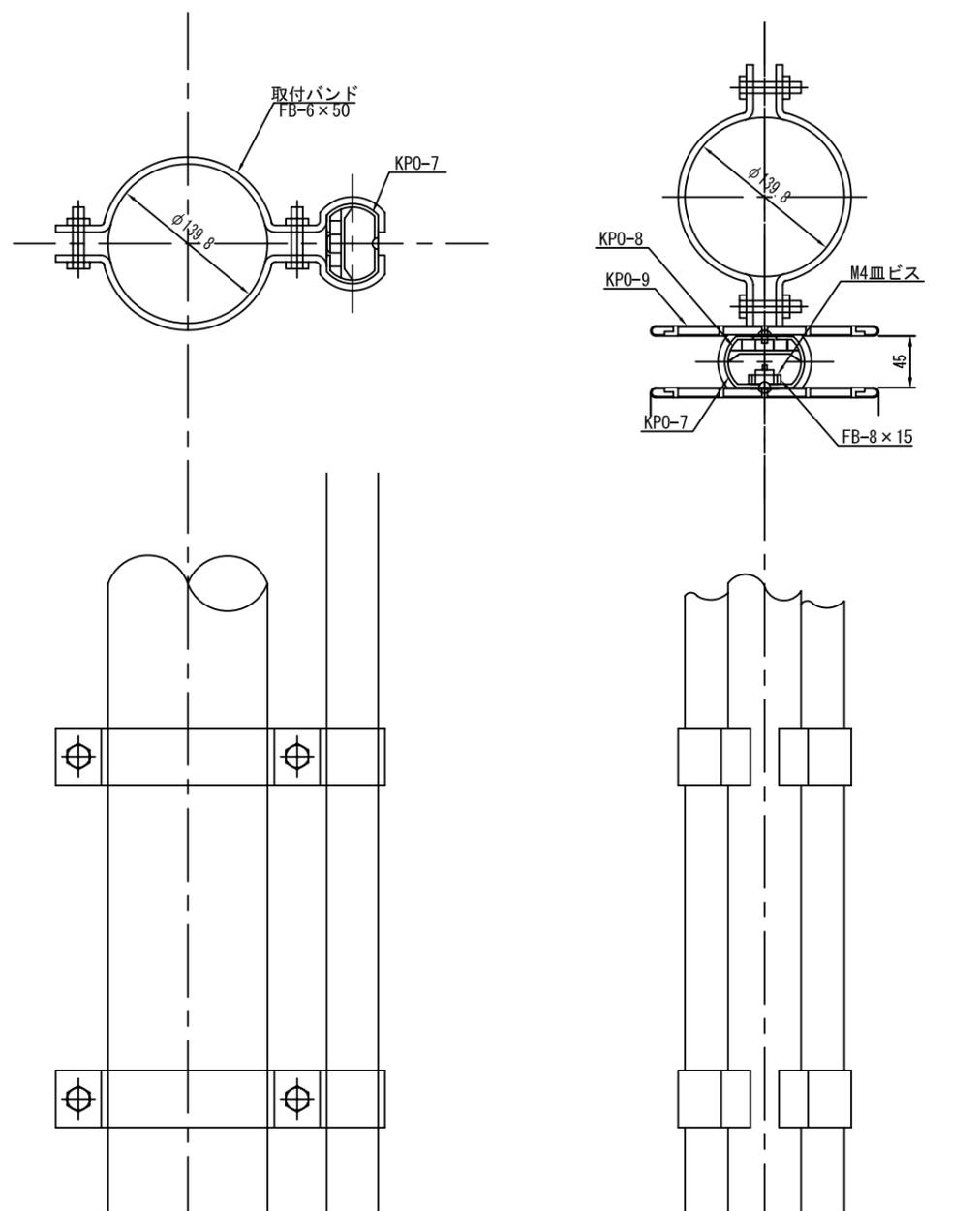
Gr柱添架金具詳細図 S=1/3

[支柱 : 114.3φ用]

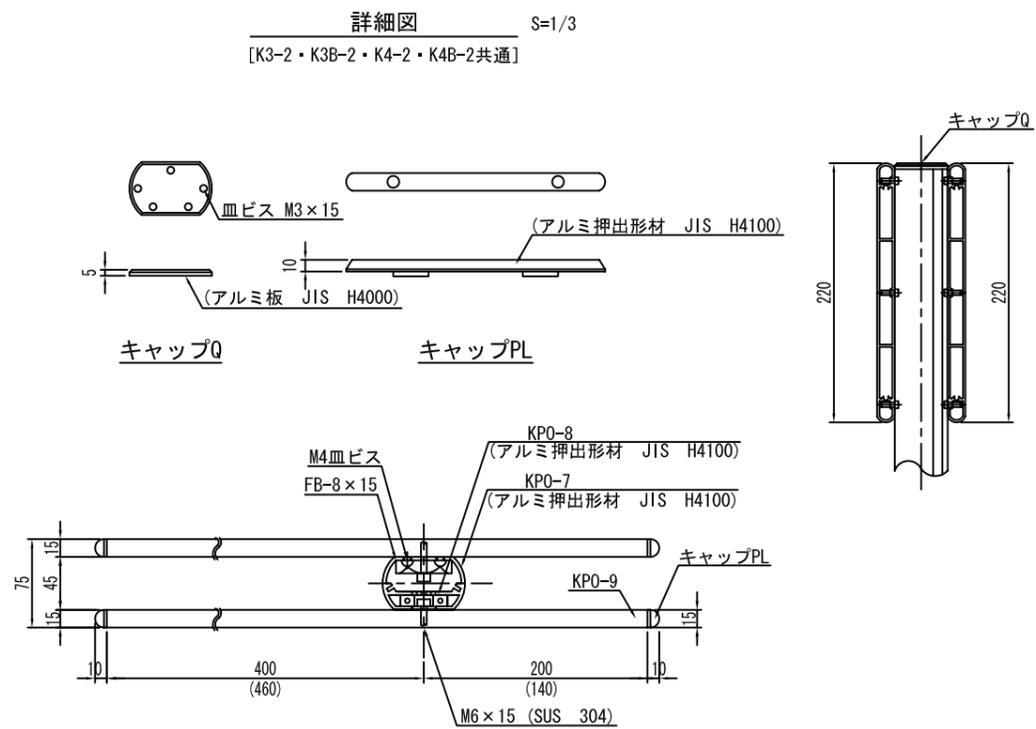
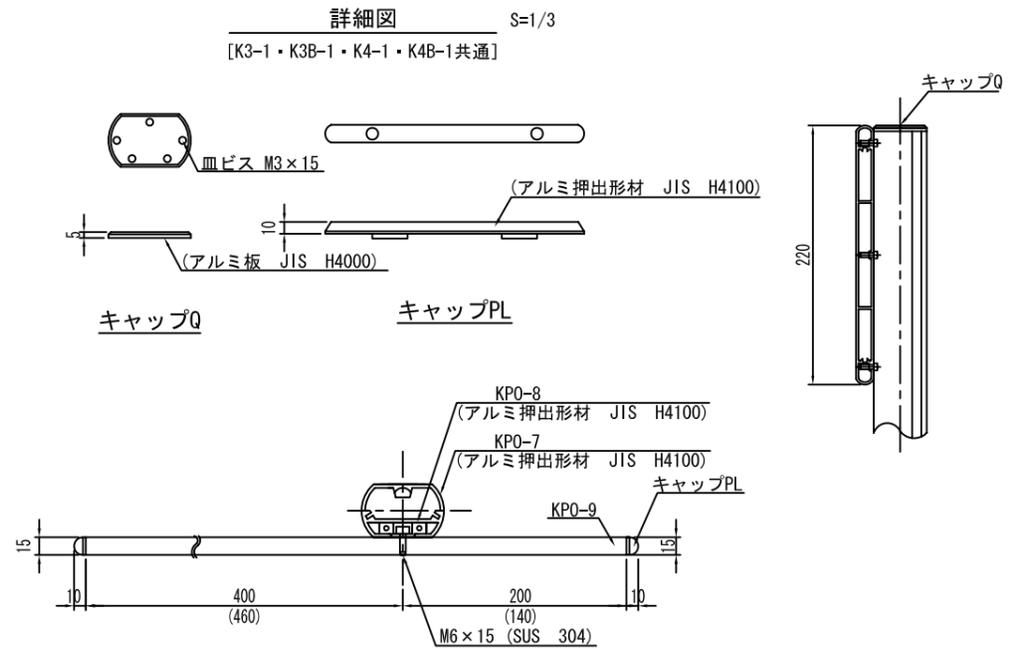


Gr柱添架金具詳細図 S=1/3

[支柱 : 139.8φ用]



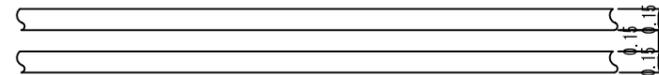
1. 支柱、パネルはアルマイト処理とする。(カラーアルマイトTBF9+12)
1. キャップPL、Qはフッソ樹脂塗装とする。
1. ボルトはSUS304(ステンレス製品)とする。



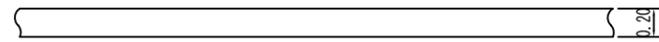
( )内寸法はGr柱添架式の時の寸法とする

## 6. 区画線

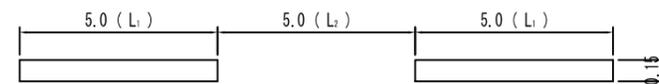
6-1 車道中央線(実線2本) 単位:m



6-2 車道中央線(実線1本) 単位:m

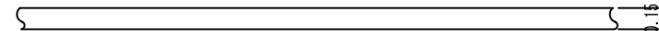


6-3 車道中央線(破線) 単位:m



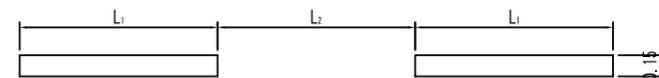
(注) 設計速度の大きい自動車専用道路に接続する場合は別途定める。

6-4 車線境界線(実線) 単位:m



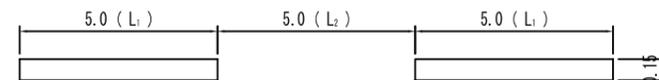
6-5 車線境界線(破線) 単位:m

(1)~(3) 下記



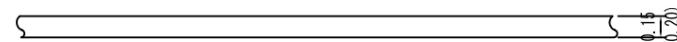
(注) L1 L2  
 (1) 8.0 12.0 設計速度80km/h以上の自動車専用道路  
 (2) 6.0 9.0 都市部、地方部及び(1)を除く自動車専用道路  
 (3) 4.0 6.0 塗り替えの際の場合は既設の(L1+L2)を暫定的に比率だけを標準に合わせる。

(特例) 下記



(特例) 曲線半径の小さい曲線部又は縦断勾配の急な箇所等、特に区画線の連続性を良好に保つ必要のある区間、あるいは都市部にあつて交差点間隔の特に狭い地域等。

6-6 車道外側線 単位:m



(注) ( )書は設計速度80km/h以上の自動車専用道路

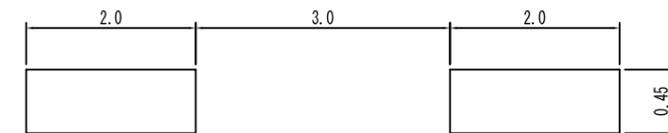
6-7 本線と路側駐車場との境界線、導流標示 (タイヤチェーン脱着場等) 単位:m



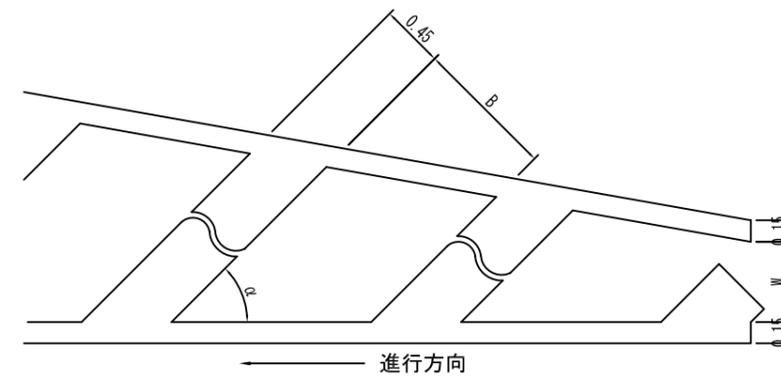
6-8 本線とバス停との境界線、導流標示 単位:m



6-9 本線と変速車線、登坂車線との境界線、導流標示 単位:m



6-10 導流標示、車線数変更標示、路上障害物接近標示 単位:m

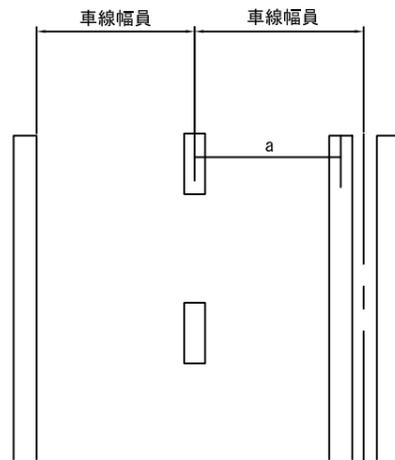
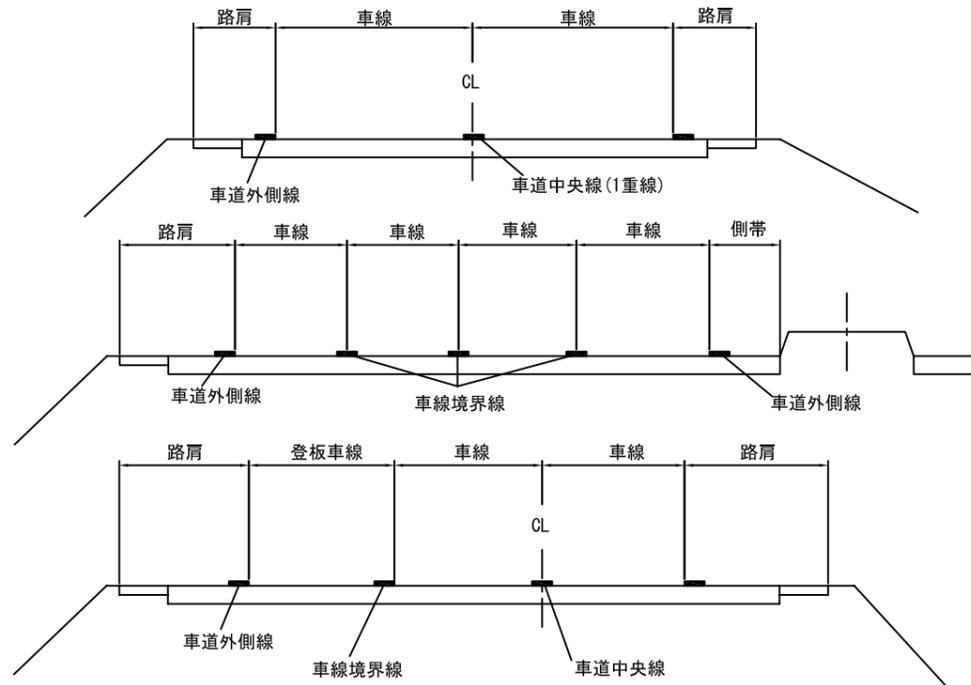


0.15 < W ≤ 1.0 のとき B = 1.0  
 1.0 < W ≤ 2.0 のとき B = 1.5  
 2.0 < W のとき B = 2.0  
 α = 30°、45° または 90°

(注) 加熱溶融式の場合厚さは、t=1.5mmとする。

6-11 幅員構成を定める路面標示の設置位置

路面標示の設置位置の原則

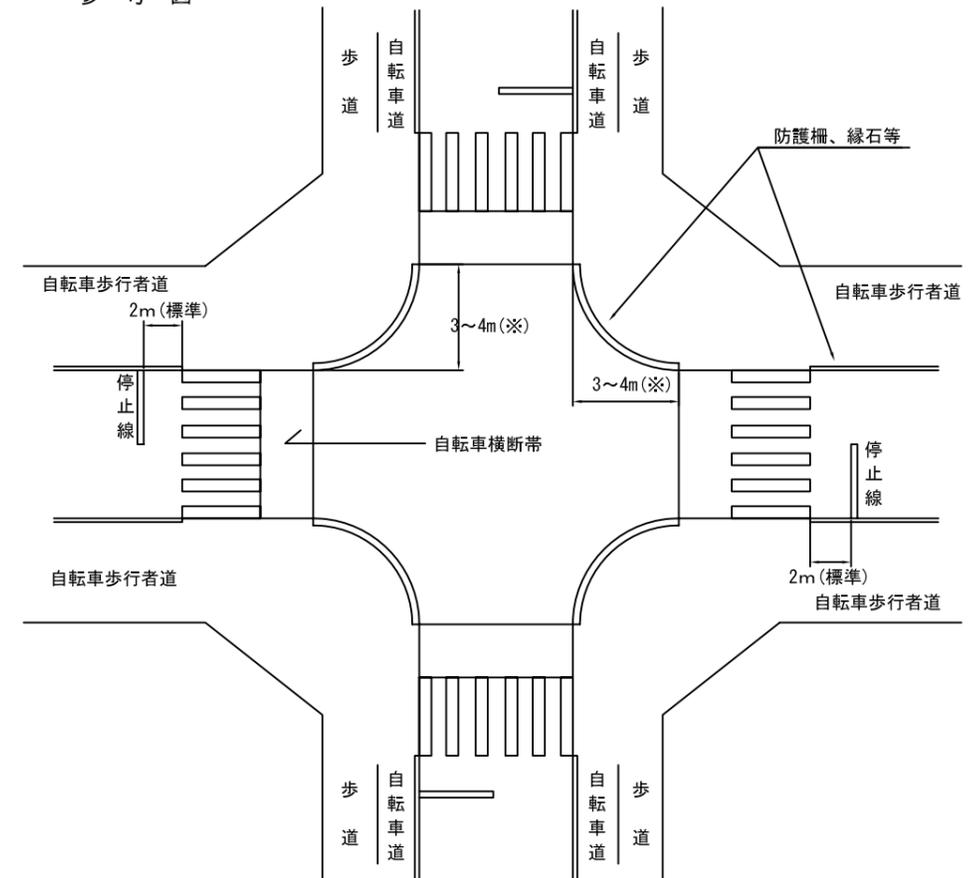


- (注) 1) 車道中央線(実線)の適用について  
 新設又は改築の4車線以上の道路で、やむを得ず中央帯を設けず車道中央線を引く場合には、実線2本の設置が望ましい。この場合、車線幅員は車道中心線からとるものとする。したがって中央寄りの車線については、実質的な通行幅(右図のa)が減少することになるが、路肩幅員の余裕等条件が許せば車線幅員を拡げて必要な通行幅を確保することができる。
- 2) 車道外側線の適用について、  
 車道外側線は、車線幅員に含まない。

6-12 自転車横断帯

道路の新設、改築にあたって自転車横断帯を設置する場合は大型自動車の左折時における歩行者、自転車の安全を図るため、下の参考図に示すように歩道等の巻き込み部に縁石等による段差を有する部分、もしくは防護柵を設ける部分を確保するものとする。

参考図



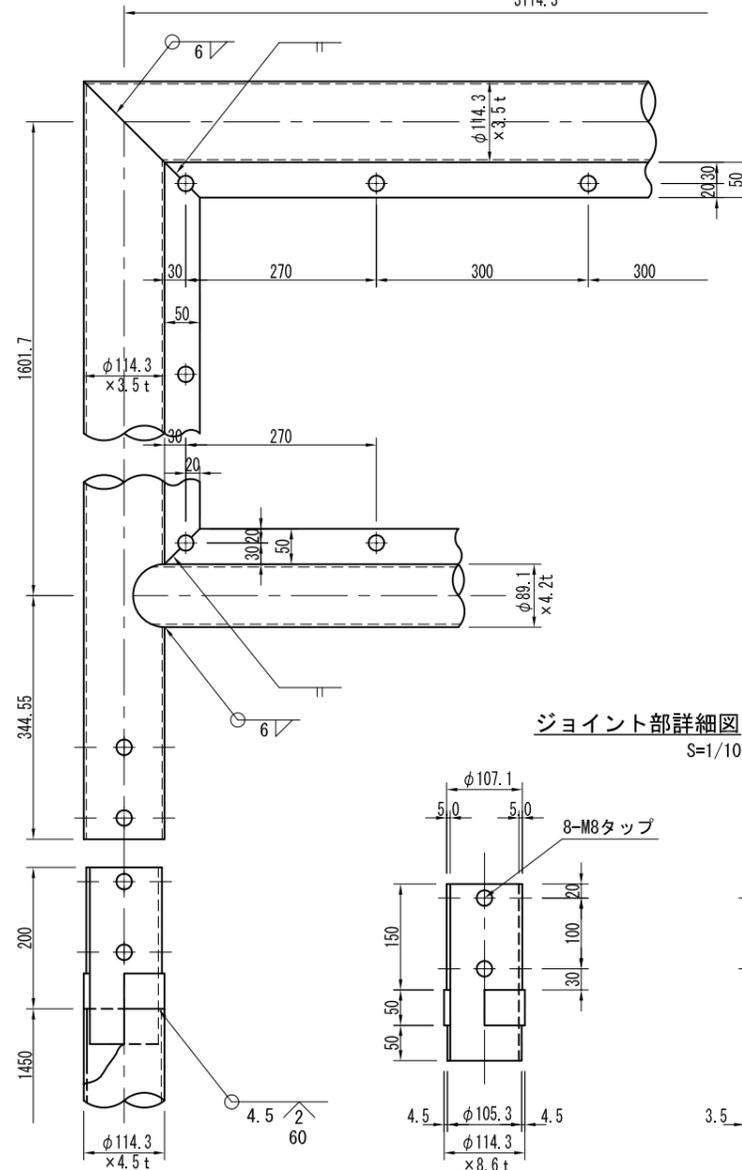
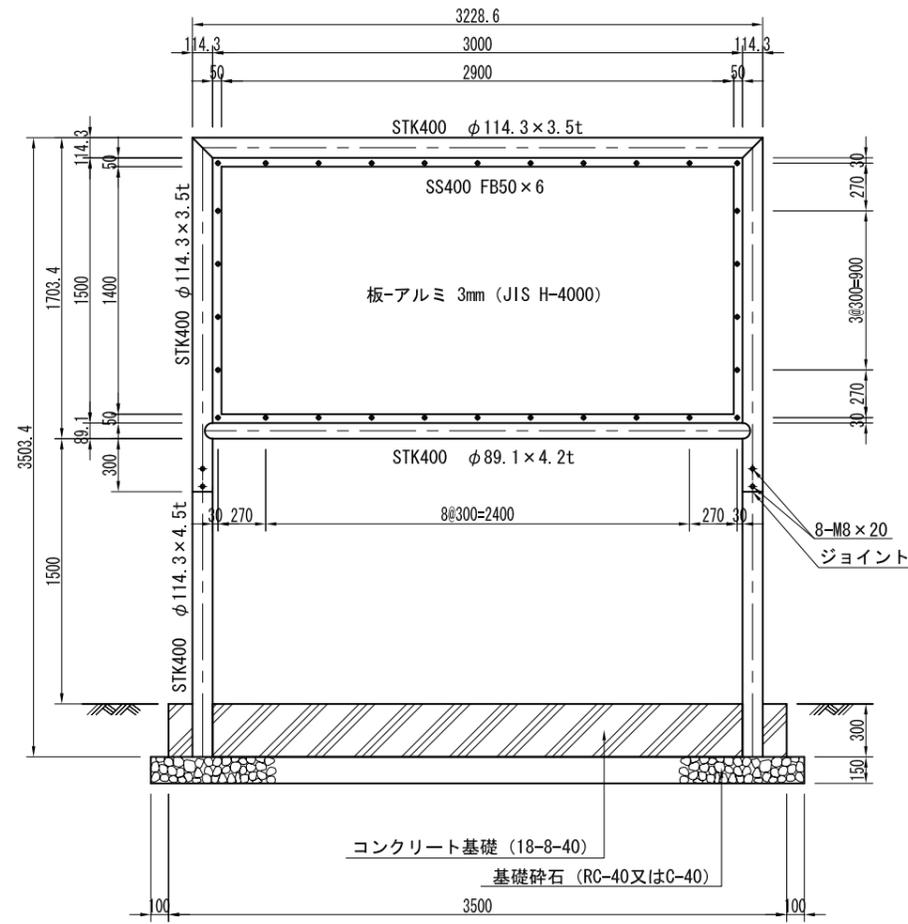
※横断歩道を取付部の歩道縁石延長線上から3~4m(自動車一台分)程度後退させることが、幹線道路相互の平面交差では望ましい。

## 8. 河川標識

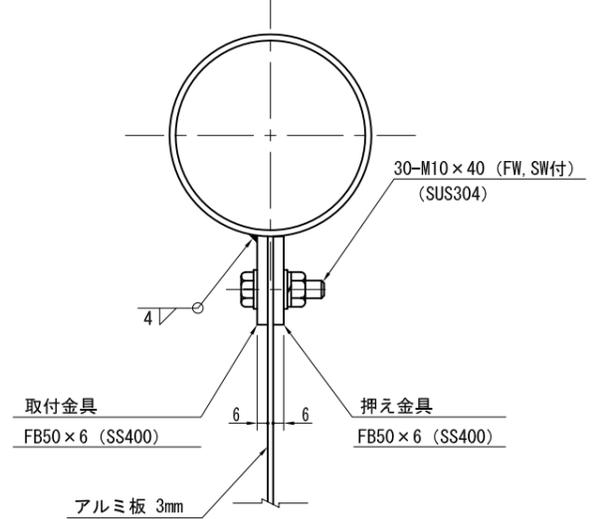
河川名標識図	
型式	A型

S=1/40

詳細図  
S=1/10



標識取付部詳細図  
S=1/4



材料表

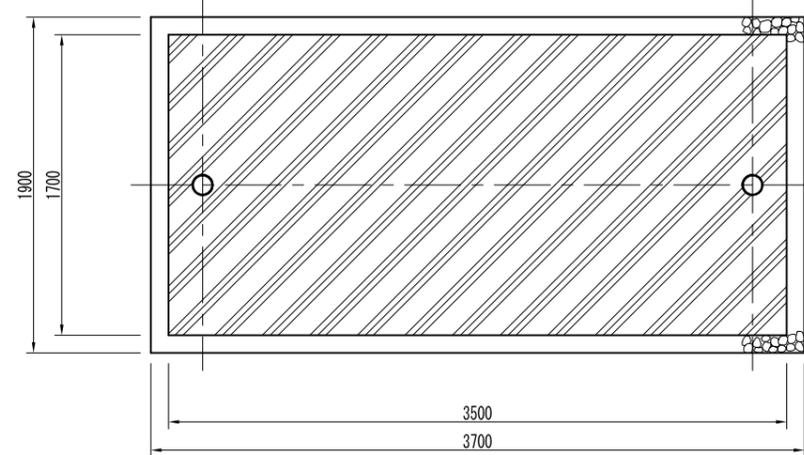
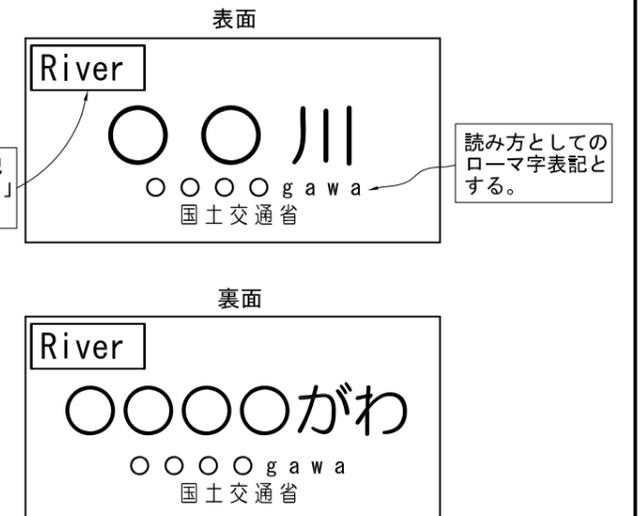
支柱

鋼材	規格	単位質量	長さ	本数	質量
鋼	φ114.3×4.5t	12.20	1450	2	35.38
	φ114.3×3.5t	9.56	3228.6	1	30.87
	φ114.3×3.5t	9.56	2003.4	2	38.31
	φ114.3×8.6t	22.40	250	2	11.20
	φ89.1×4.2t	8.79	3050	1	26.81
	FB50×6	2.36	3000	4	28.32
	FB50×6	2.36	1500	4	14.16
材	M10×40			30	
	M8×20			16	
合計					185.05kg

基礎

規格	質量
コンクリート	300×3500×1700 1.79m <sup>3</sup>
型枠	3.12m <sup>2</sup>
基礎砕石	150×3700×1900 1.05m <sup>3</sup>

標識板 (記入例)



(注) 基礎形状は、現地条件に応じて変更すること

材料仕様

材料	規格	仕上げ
支柱	STK400 φ114.3×8.6t	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
	STK400 φ114.3×4.5t	
	STK400 φ114.3×3.5t	
	STK400 φ89.1×4.2t	
取付金具	SS400 FB50×6	支持枠に全溶接 溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
押え金具	SS400 FB50×6	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
ボルト	SUS304 M10×40	
ジョイントボルト	SUS304 M8×20	
標識板	アルミ 3mm JIS H-4000	素地 - 緑色反射シート 文字 - 白色反射シート シートは真空加熱圧着
		漢字・ひらがな - ナールD ローマ字 - ヘルベチカ・デミボールド 「△△川 (裏面はひらがな)」 「□□gawaまたは□□kawa」 「国土交通省」の3段書きとし、裏面の河川名はひらがなを用いる。 字の大きさは全体のバランスを考慮し決定する。

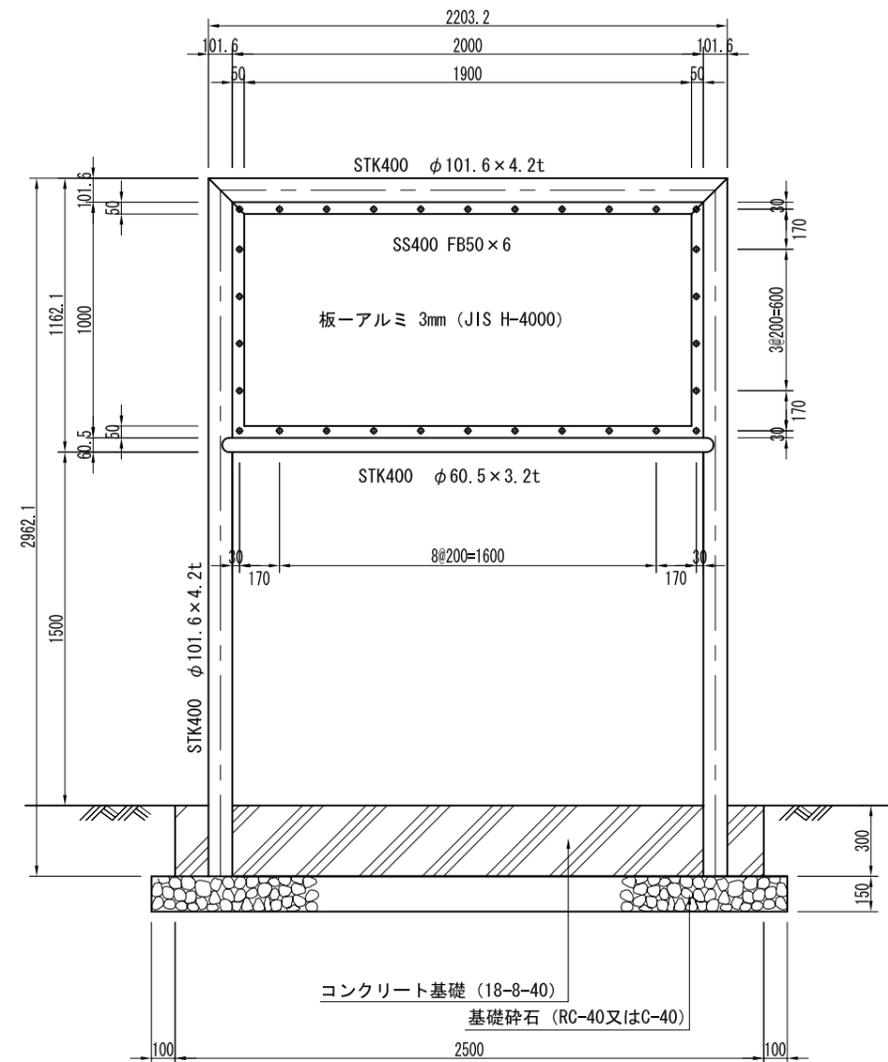
左上には、英語表記として「RIVER」の表記を入れる。

読み方としてのローマ字表記とする。

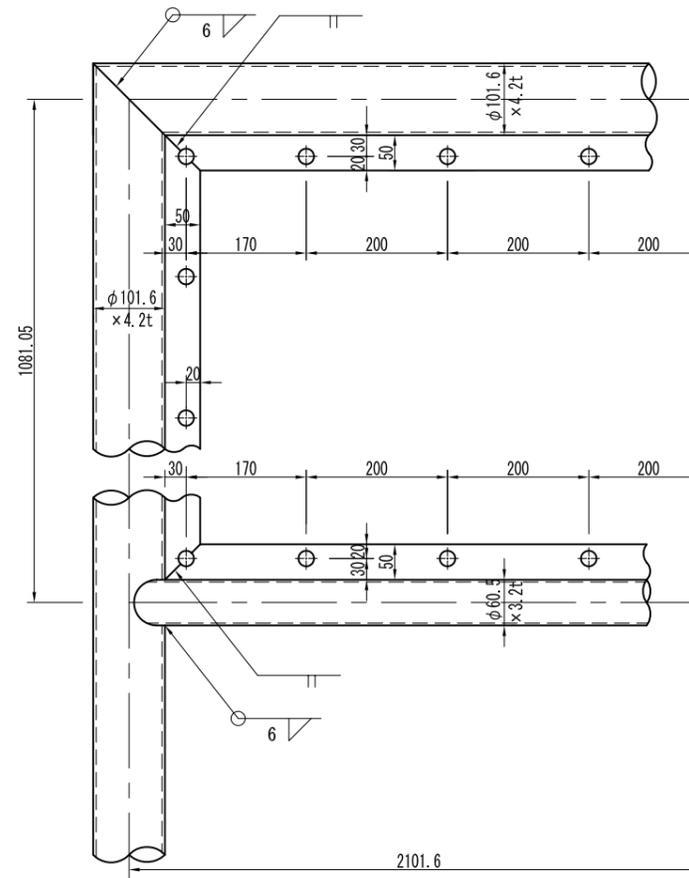
河川名標識図

型式 B型

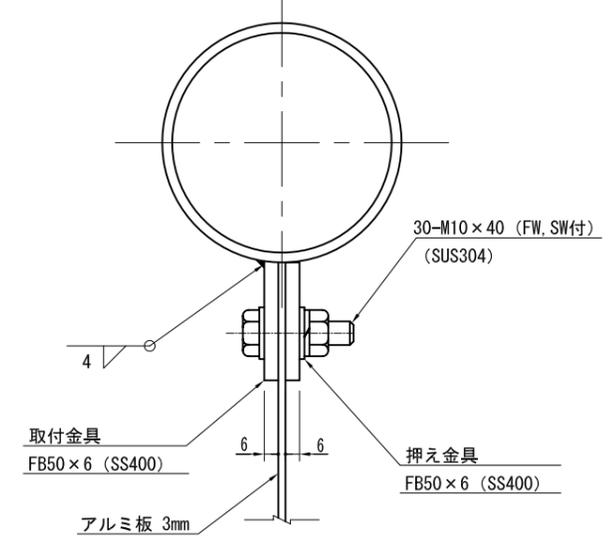
S=1/30



詳細図 S=1/10



標識取付部詳細図 S=1/3



材料表

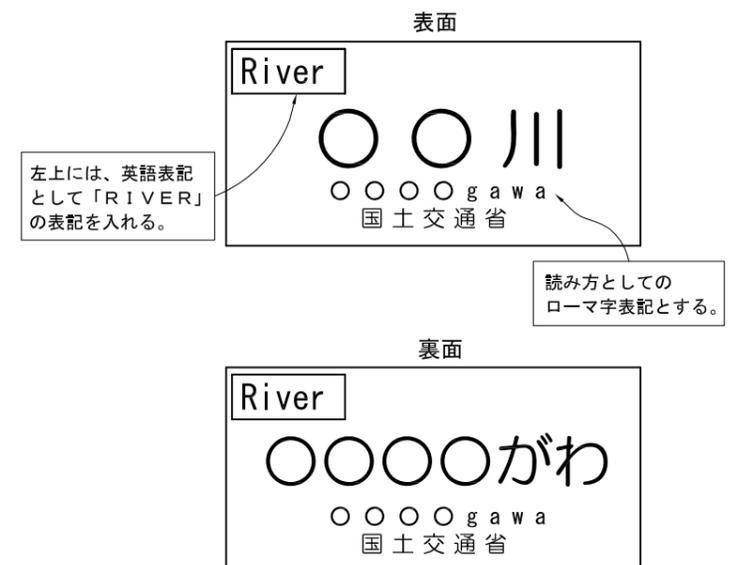
支柱

材	規格	単位質量	長さ	本数	質量
鋼	φ101.6×4.2t	10.10	2203.2	1	22.25
	φ101.6×4.2t	10.10	2962.1	2	59.83
	φ60.5×3.2t	4.52	2020	1	9.13
	FB50×6	2.36	2000	4	18.88
	FB50×6	2.36	1000	4	9.44
材	M10×40			30	
	合計				119.53kg

基礎

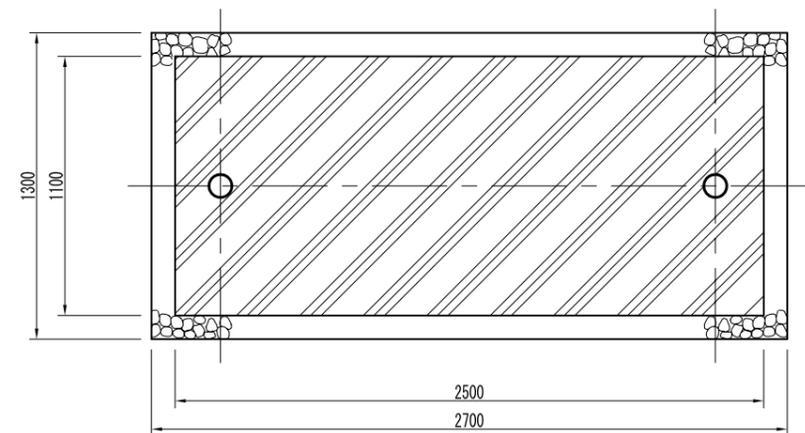
規格	単位質量	長さ	質量
コンクリート		300×2500×1100	0.83m³
型枠			2.16m²
基礎砕石		150×2700×1300	0.53m³

標識板(記入例)



材料仕様

材料	規格	仕上げ
支柱	STK400 φ101.6×4.2t	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
	STK400 φ60.5×3.2t	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
取付金具	SS400 FB50×6	支持枠に全溶接 溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
押え金具	SS400 FB50×6	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
ボルト	SUS304 M10×40	
標識板	アルミ3mm JIS H-4000	素地 - 緑色反射シート 文字 - 白色反射シート シートは真空加熱圧着  漢字・ひらがな - ナールD ローマ字 - ヘルベチカ・デミボールド 「△△川(裏面はひらがな)」 「□□gawaまたは□□kawa」 「国土交通省」の3段書きとし、裏面の河川名はひらがなを用いる。 字の大きさは全体のバランスを考慮し決定する。

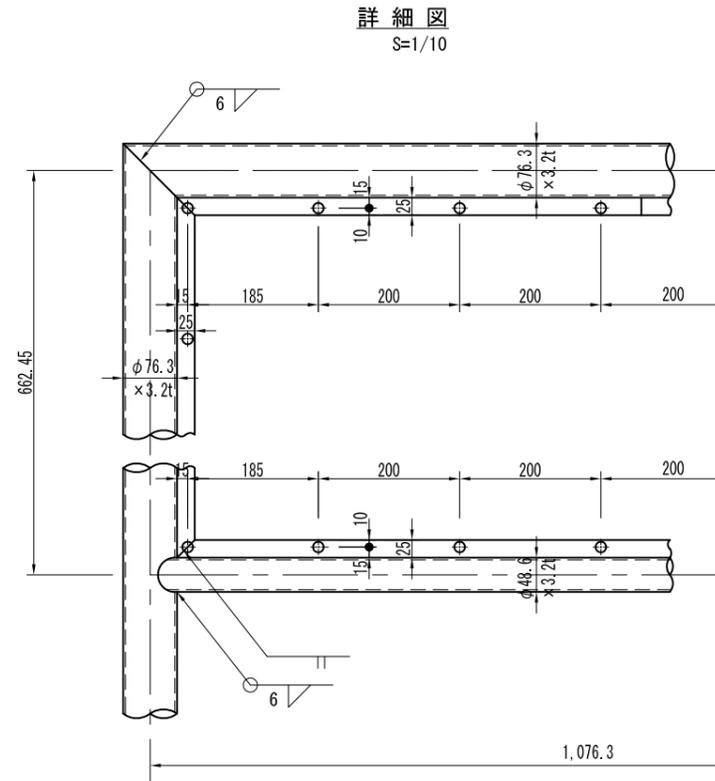
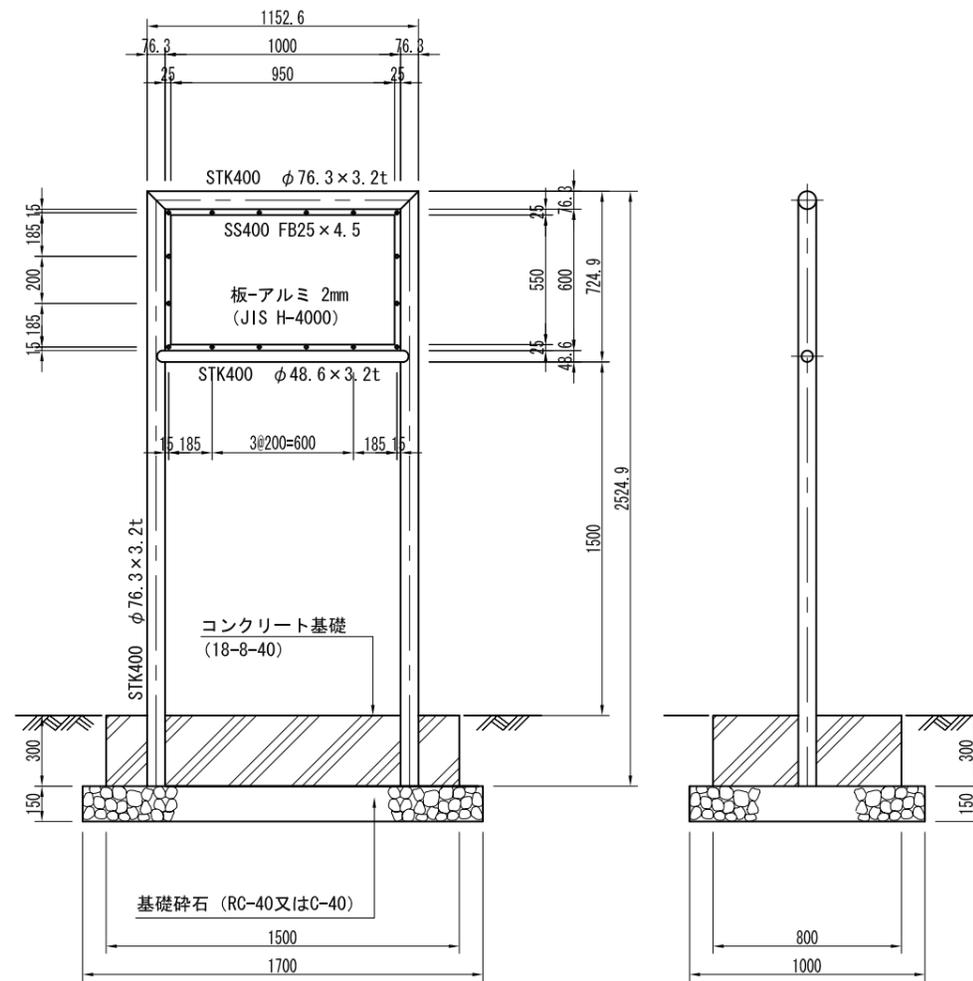


(注) 基礎形状は、現地条件に応じて変更すること

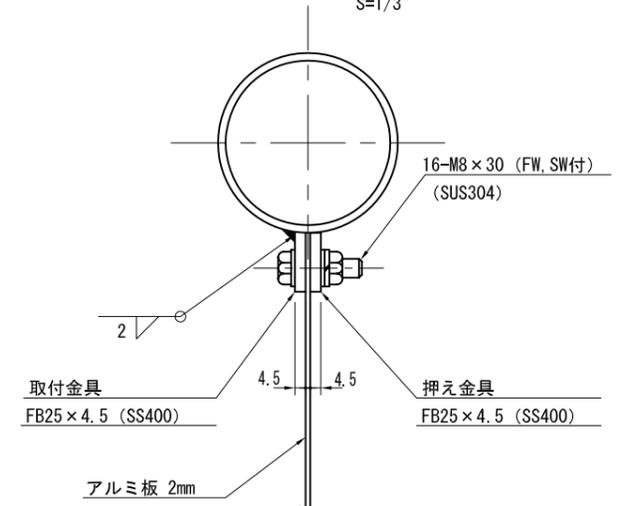
河川管理境界標識図

型式

S=1/30



標識取付部詳細図 S=1/3



材料表

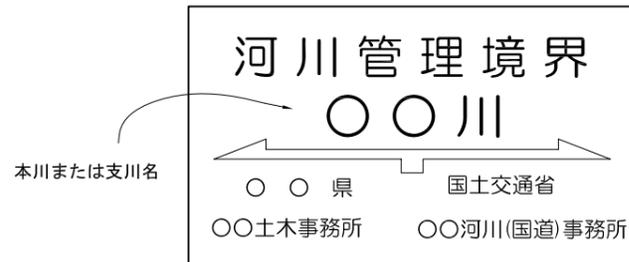
支柱

鋼材	規格	単位質量	長さ	本数	質量
	φ76.3×3.2t	5.77	1152.6	1	6.65
	φ76.3×3.2t	5.77	2524.9	2	29.14
	φ48.6×3.2t	3.58	1015	1	3.63
	FB25×4.5	0.883	1000	4	3.53
	FB25×4.5	0.883	600	4	2.12
	M8×30			16	
合計					45.07kg

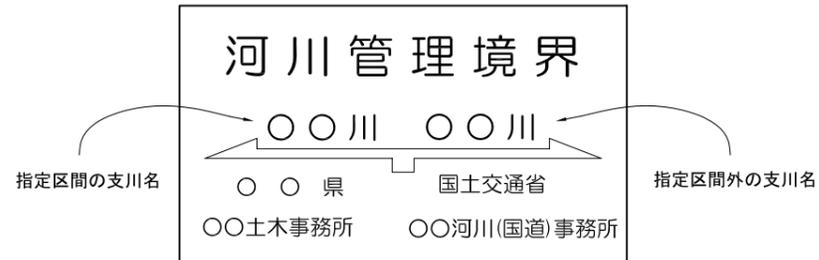
(注) 基礎形状は、現地条件に応じて変更すること

標識板仕様

本川または支川の中途に境界がある場合



直轄管理区間に合流する支川の合流点が境界となる場合

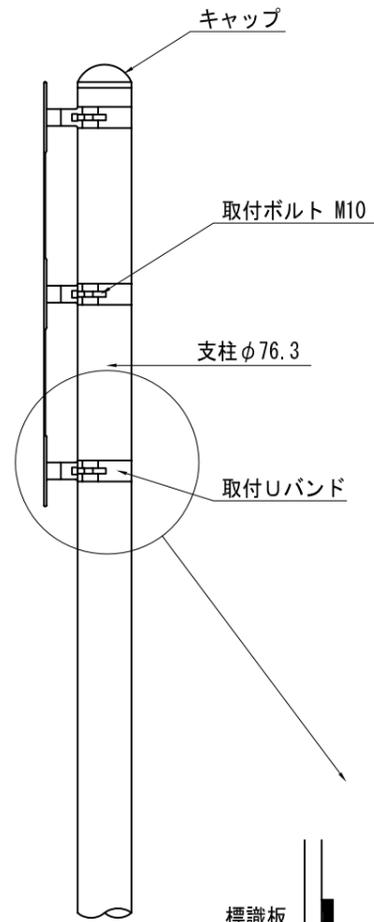
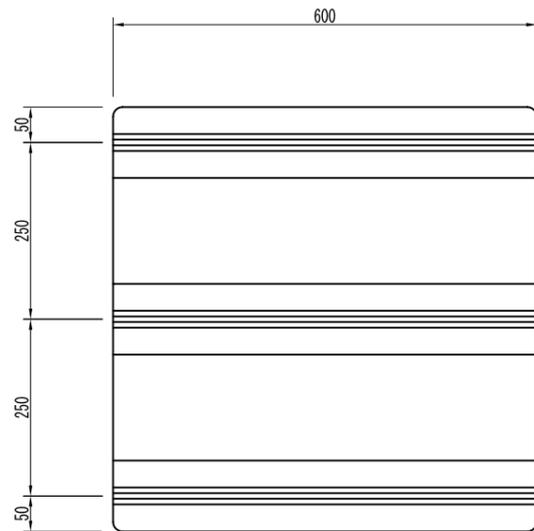


材料仕様

材料	規格	仕上げ
支柱	STK400 φ76.3×3.2t	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
	STK400 φ48.6×3.2t	
取付金具	SS400 FB25×4.5	支持棒に全溶接 溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
押え金具	SS400 FB25×4.5	溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
ボルト	SUS304 M8×30	
標識板	アルミ 2mm JIS H-4000	素地 - 白色無反射シート 文字 - 濃紺色反射シート 矢印 - 赤色反射シート シートは真空加熱圧着 漢字・ひらがな - ナールD 字の大きさは全体のバランスを考慮し決定する。

基礎

規格		
コンクリート	300×800×1500	0.36m <sup>3</sup>
型枠		1.38m <sup>2</sup>
基礎砕石	150×1000×1700	0.26m <sup>3</sup>



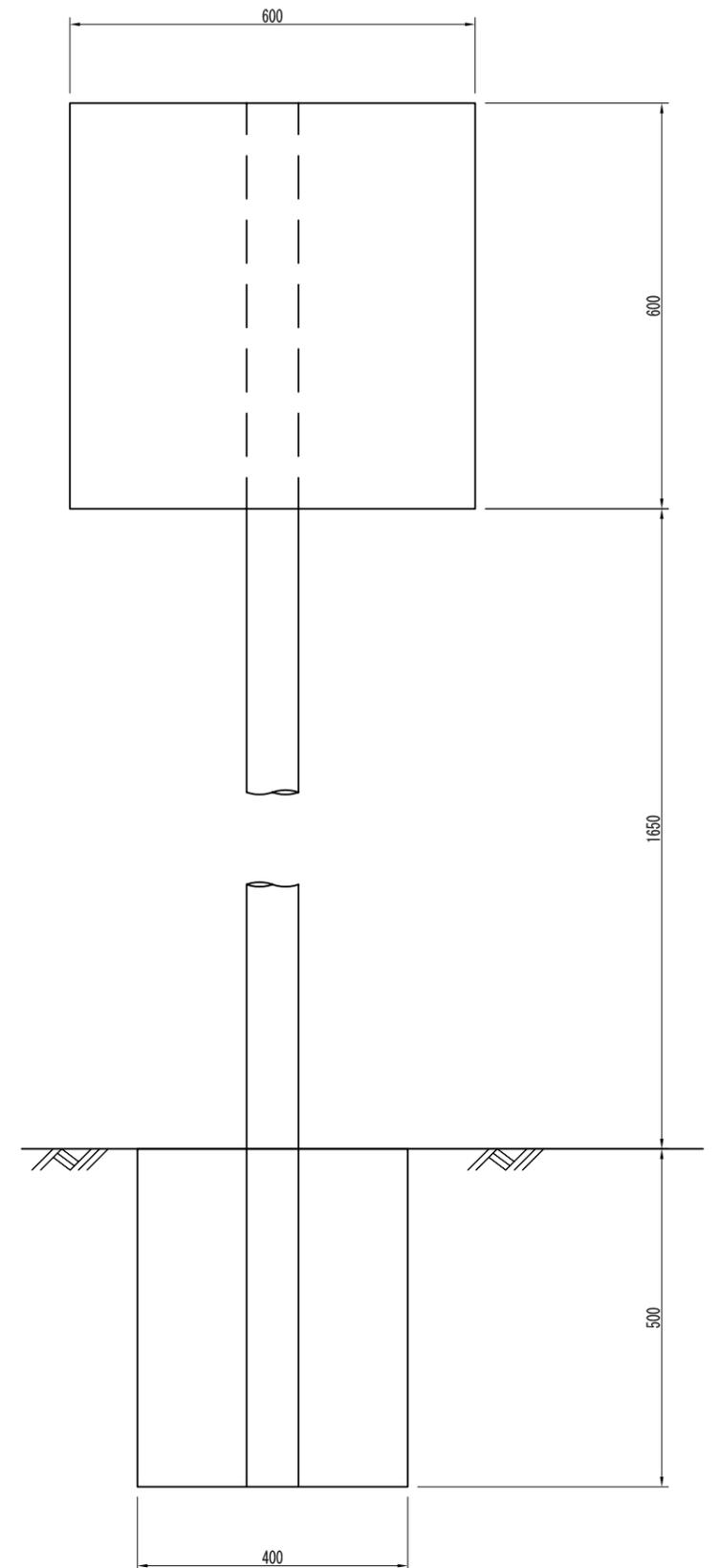
詳細図

標識板

支柱

取付ボルト

取付Uバンド



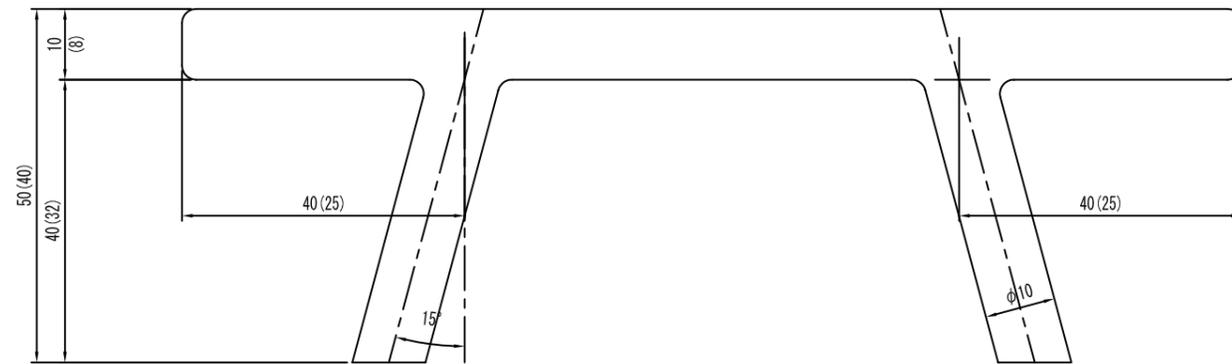
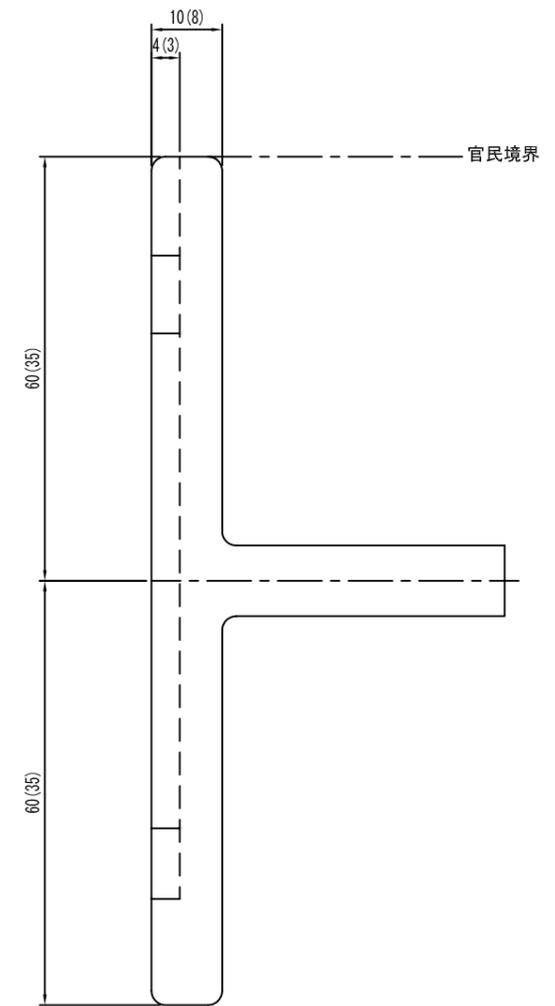
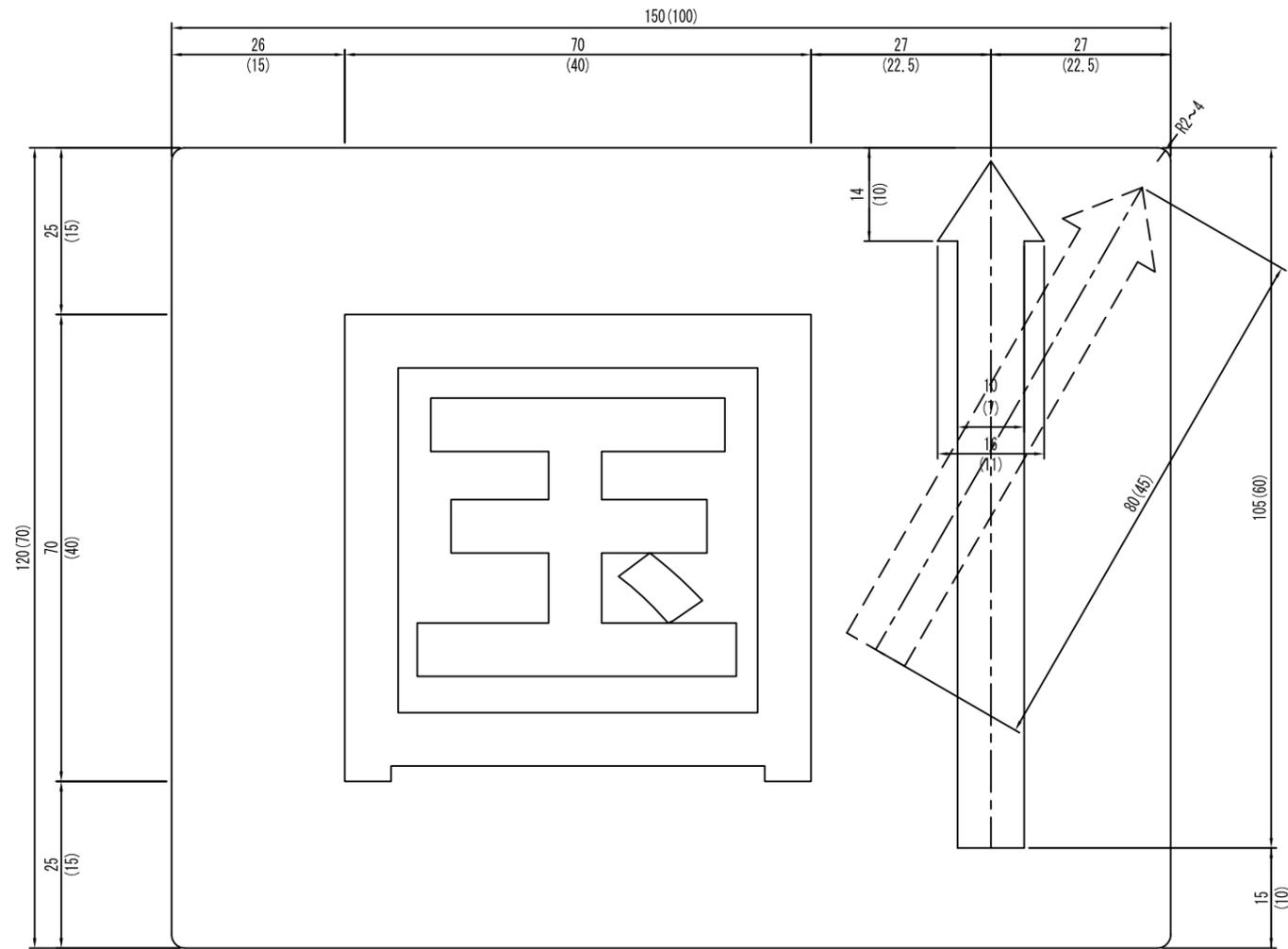
材料仕様

材 料	規 格
標 識 板	アルミ 2mm JIS H4000 素地：無放射シート
支 柱	STK400 φ76.3×3.2t×2,750 溶融亜鉛メッキ JIS H8641 HDZ55
取付金具	アルミUバンドφ76.3用
ボ ル ト	SUS304 M10×30

(注) 基礎形状は、現地条件に応じて変更すること

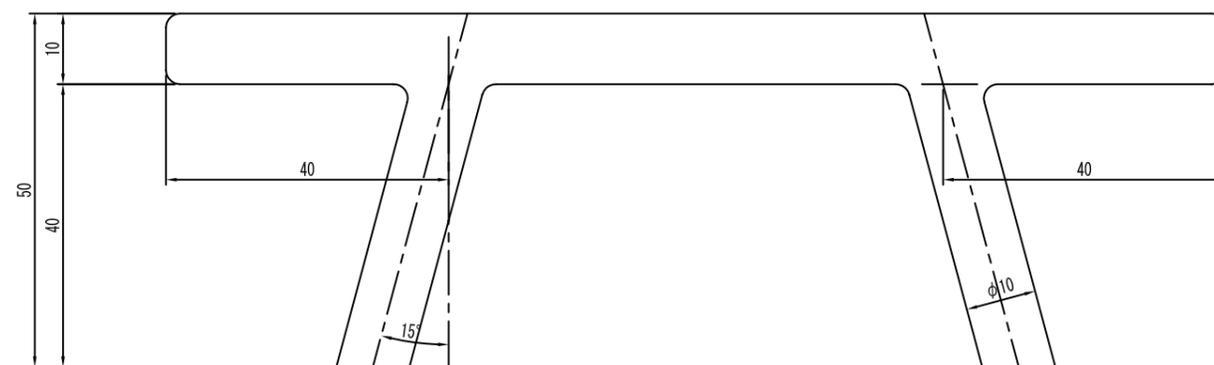
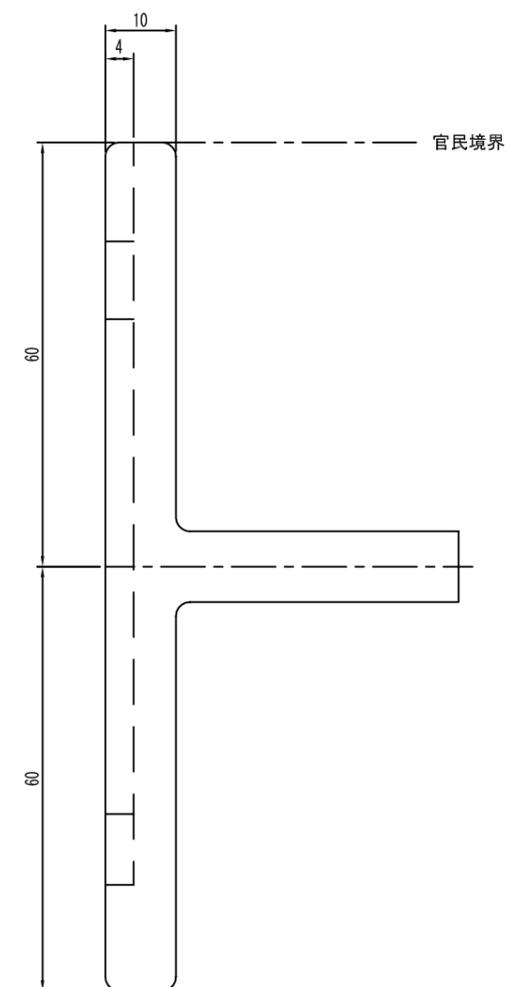
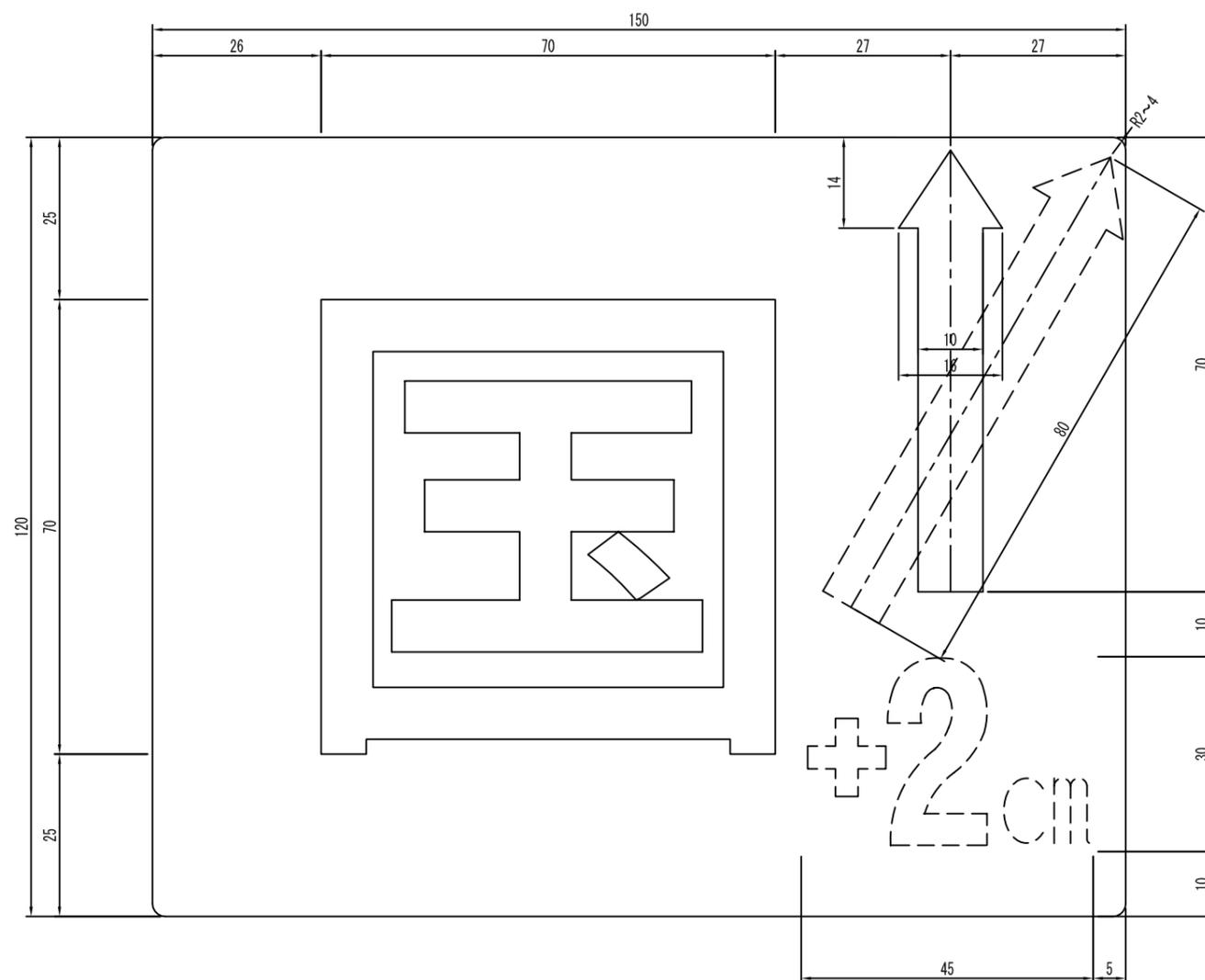
## 9. 境界標示板

コンクリート構造物埋設用境界標示板

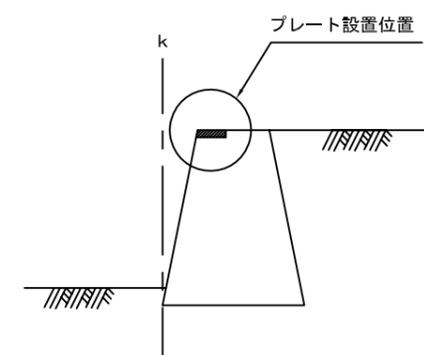


- (注) 1) 材 質：アルミ鑄鉄 (A. L. C.)  
 2) 大きさ：( ) の寸法は側溝側壁に埋設する場合、その天端幅が12cm以下の場合。  
 3) 設 置：既設構造物に取付ける場合ビス止の構造としてもよい。

コンクリート構造物埋設用境界標示板  
擁壁に設置する場合の例



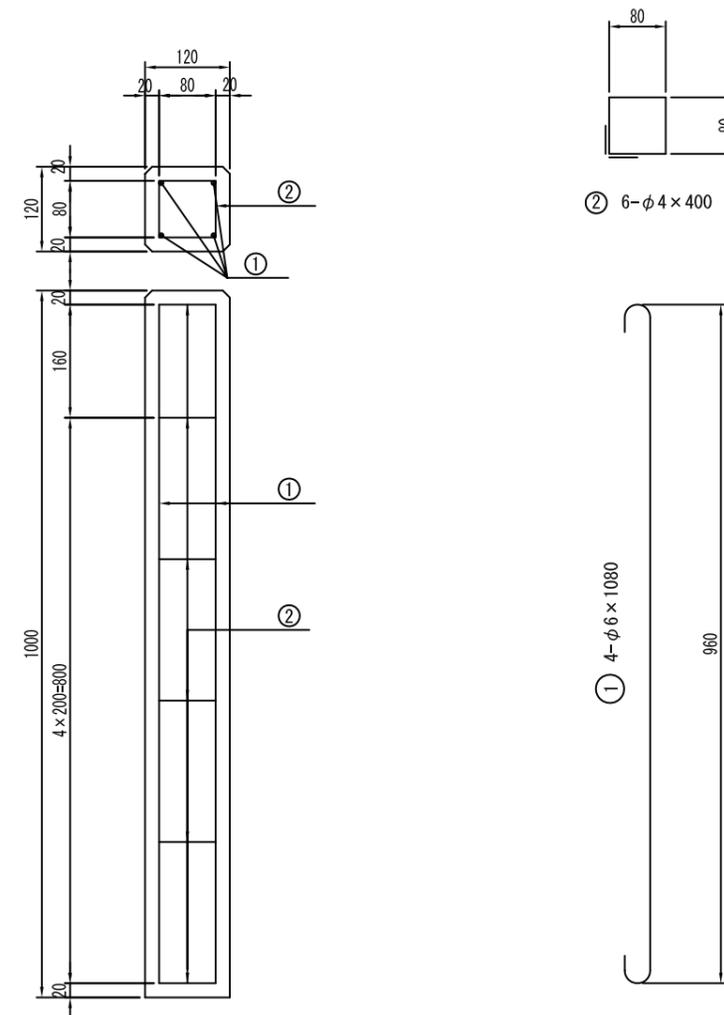
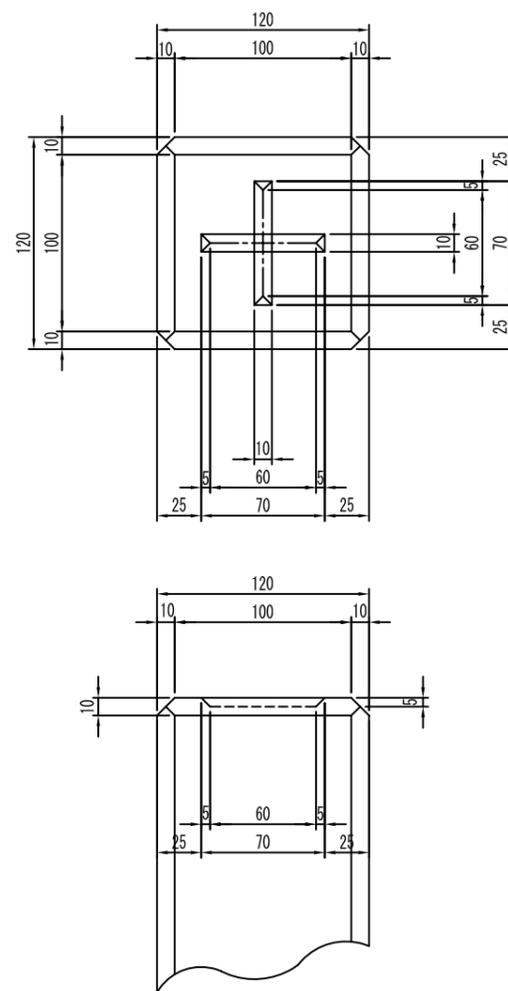
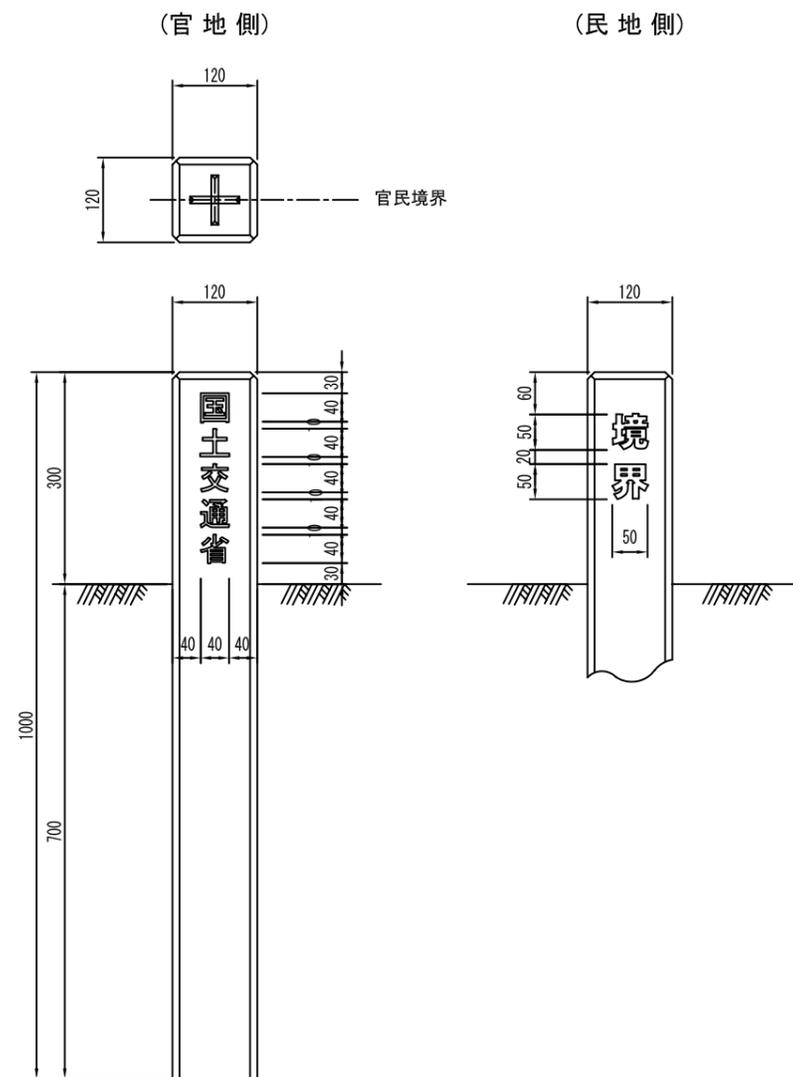
- (注) 1) 材質：アルミ鋳鉄 (A. L. C.)  
2) 破線の数値は境界線 (k) までの距離を示す (下図参照)



# 10. 用地境界杭

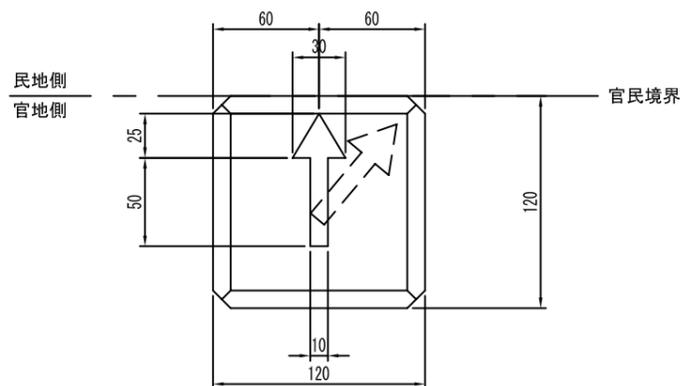
境界杭

S=1/5



特殊境界杭

(用地境界杭の埋設にあたり用地境界杭を隣接民地にまたがって設置することについて、隣接地主との合意が得られない場合の杭頭の表示は、下記のとおりとする。)



(注) 1) 矢印部分は凹形とし深さ5mmとする。

材料表 (100本当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート	(21-8-25)	m <sup>3</sup>	1.42	
鉄筋	φ4及びφ6	kg	119	
型枠		m <sup>2</sup>	38.9	

鉄筋表 (100本当り)

NO.	φ	本数	1本長さ(mm)	全長(mm)	1m当り重量(kg)	重量(kg)	摘要	
①	6	400	1,080	432,000	0.222	95.904		
②	4	600	400	240,000	0.098	23.520		
計							119.424=119kg	

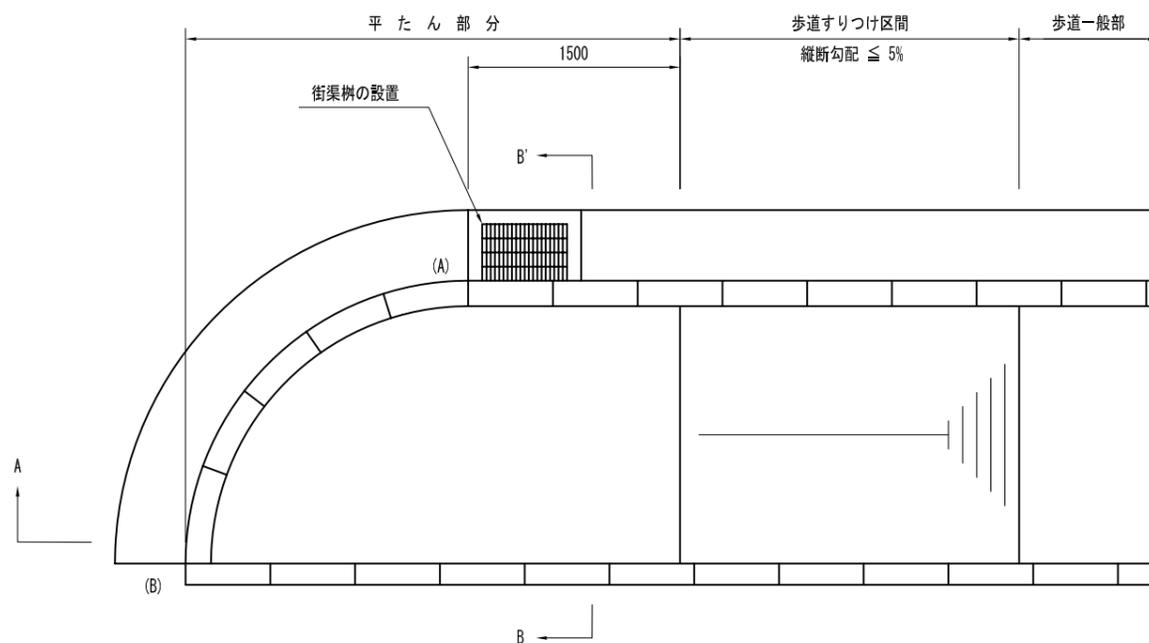
# 1 1 . 歩道切下げ標準図

歩道切下げ標準図		
型式	マウントアップ型式	植樹帯がない場合

S=1/50

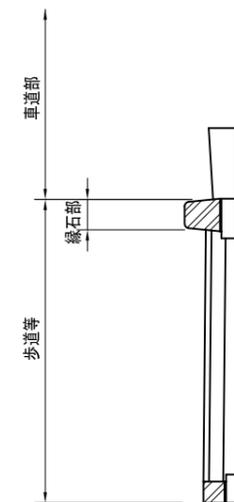
11-1 マウントアップ形式（植樹帯がない場合）

（全幅員を切下げる）



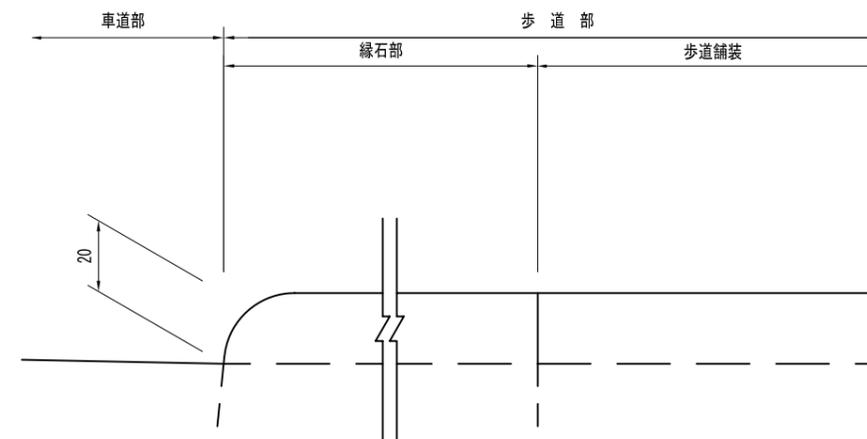
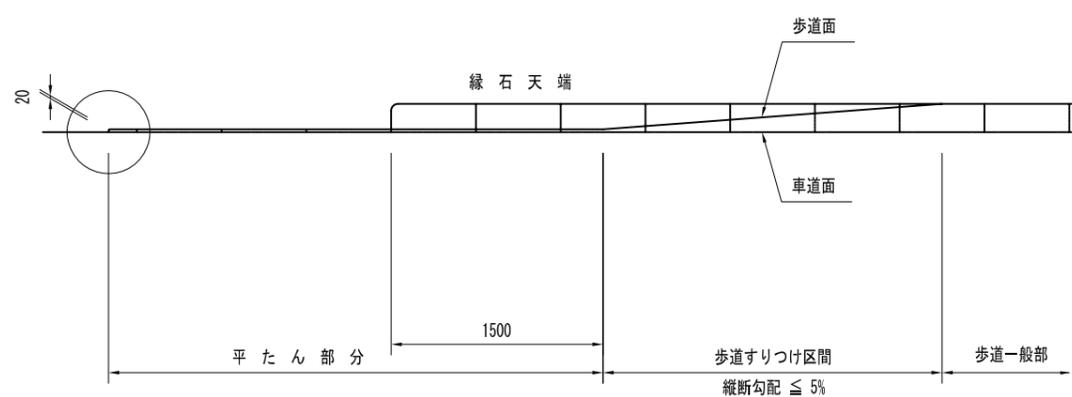
注) 平坦部分については、巻込始点 (A) からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合でも、巻込始点 (B) から最低1.5m程度設ける。

B - B' 断面



A - A' 断面 ○ 部詳細図

A - A' 断面



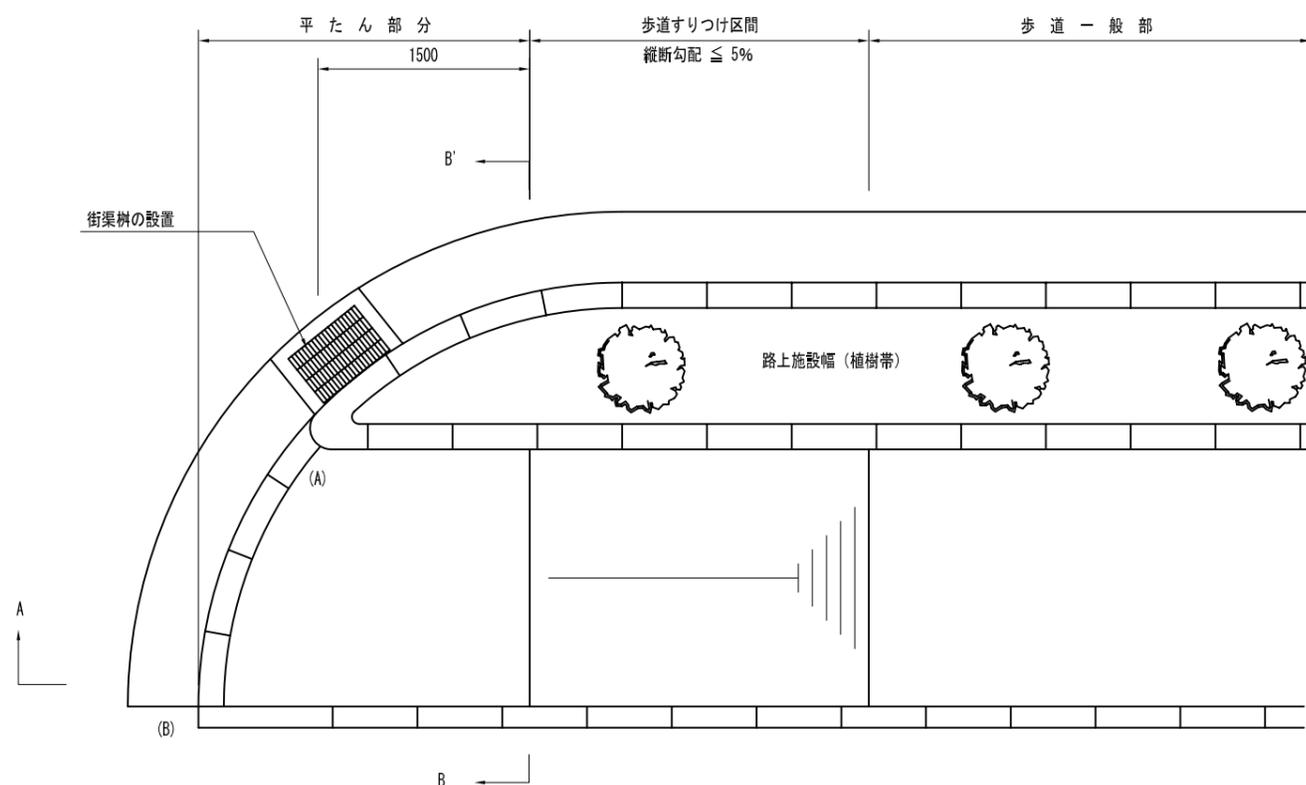
(注) 縁石は平ブロックとする。  
街渠勾配は車道と同一勾配とする。

注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

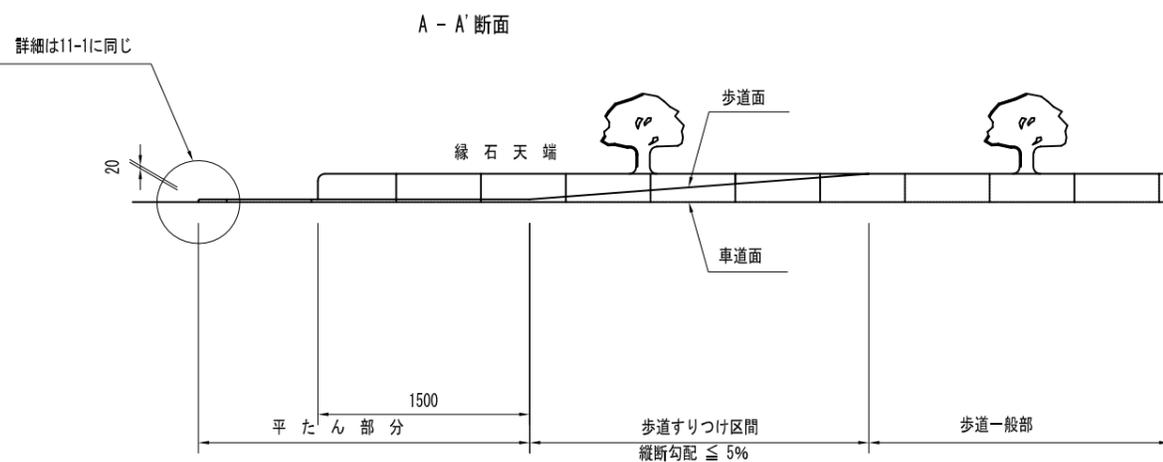
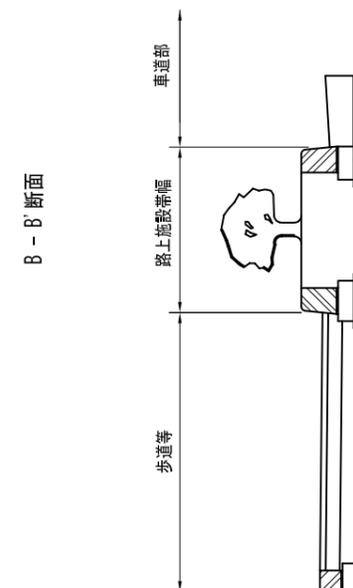
歩道切下げ標準図		
型式	マウントアップ型式	植樹帯がある場合

S=1/50

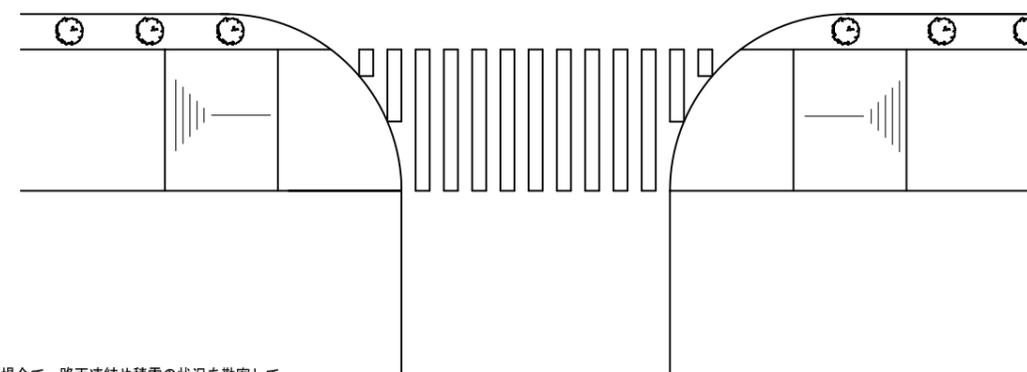
11-2 マウントアップ形式（植樹帯がある場合）



注) 平坦部分については、巻込始点(A)からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合でも、巻込始点(B)から最低1.5m程度設ける。



支道取付部における路面標示との関係

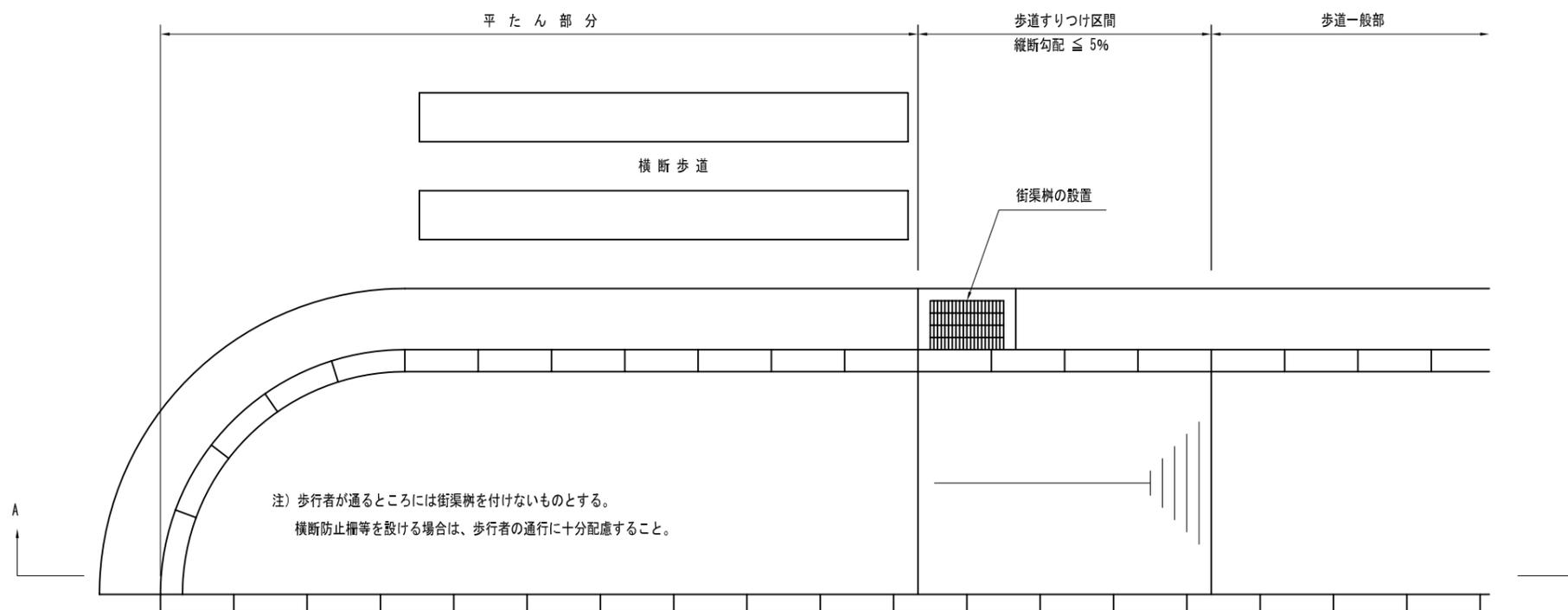


注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

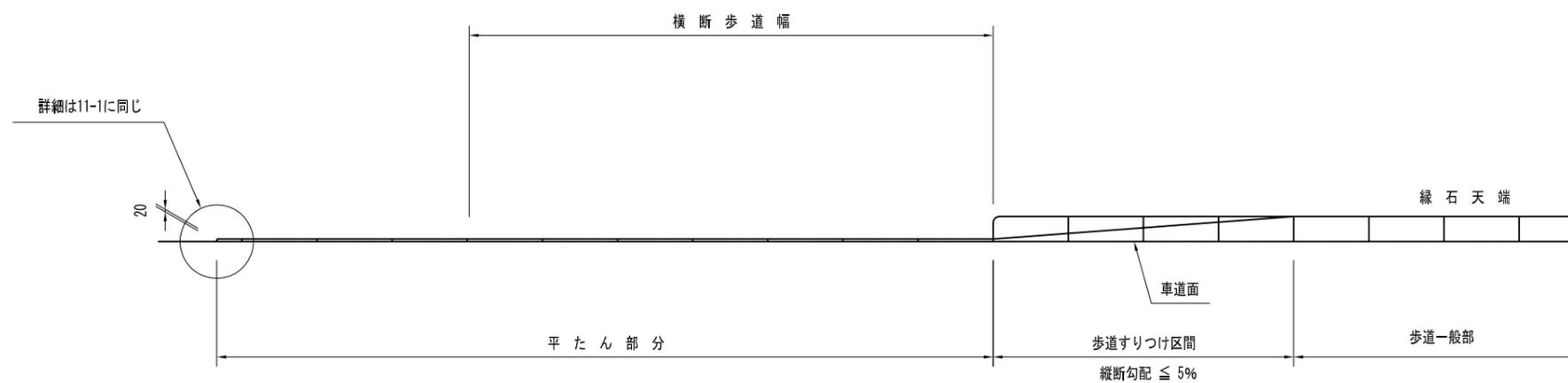
歩道切下げ標準図		
型式	マウントアップ型式	横断歩道がある場合

S=1/50

11-3 マウントアップ形式（横断歩道がある場合）

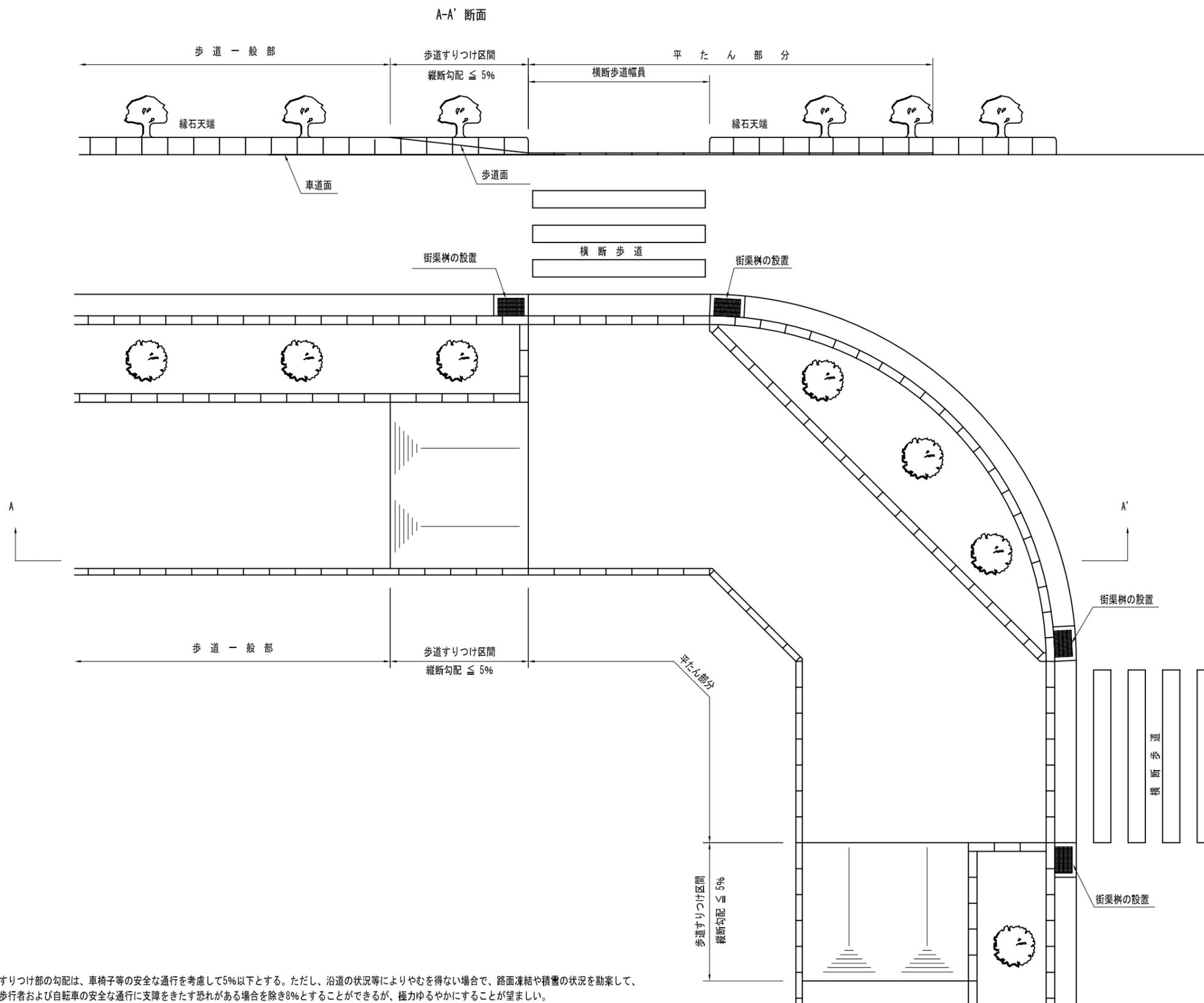


A - A' 断面



注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
 路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

11-4 マウントアップ形式（交差点で横断歩道がある場合）

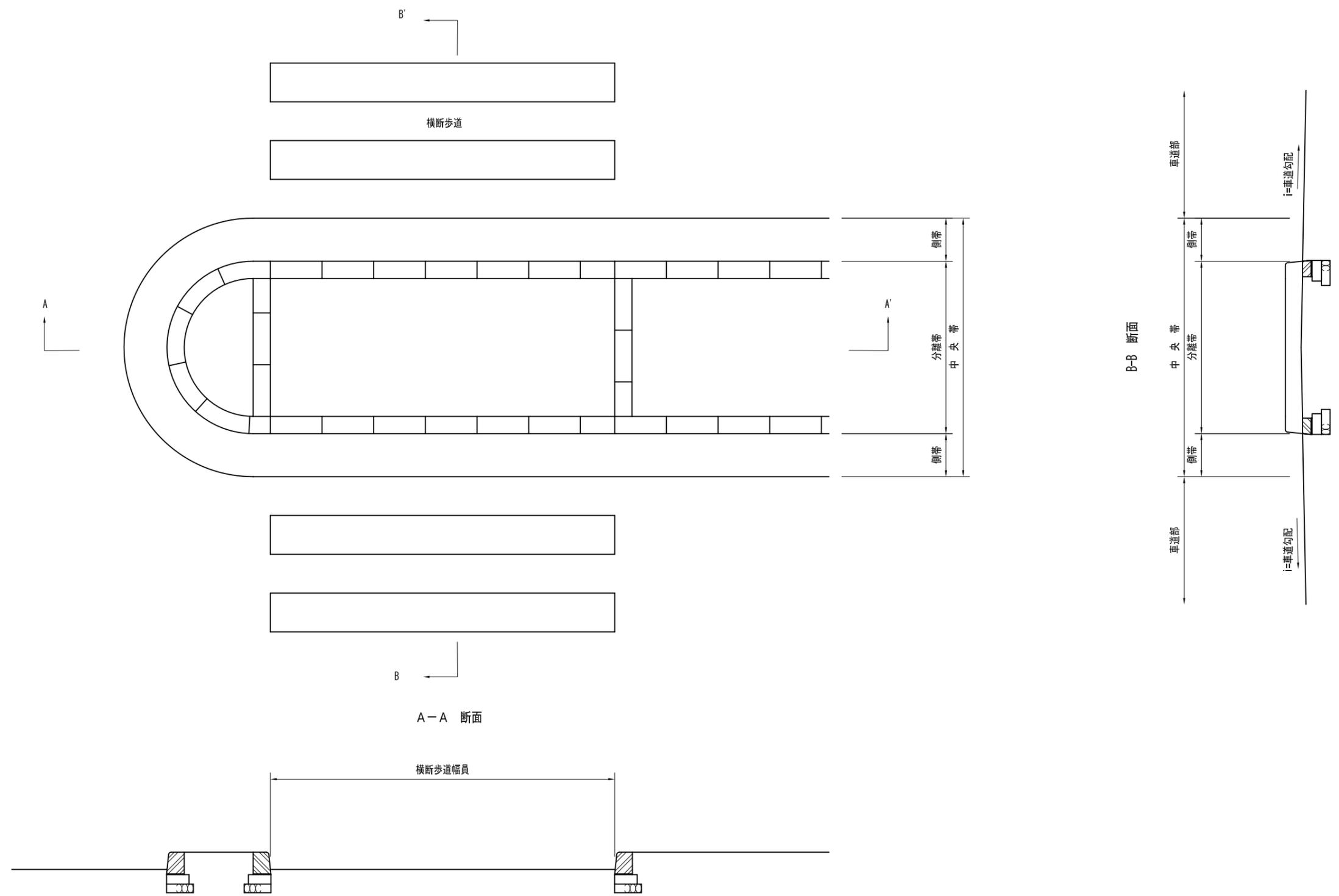


注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
 路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

歩道切下げ標準図		
型式	中央分離帯の切下げ例	

S=1/50

11-5 中央分離帯の切下げ例

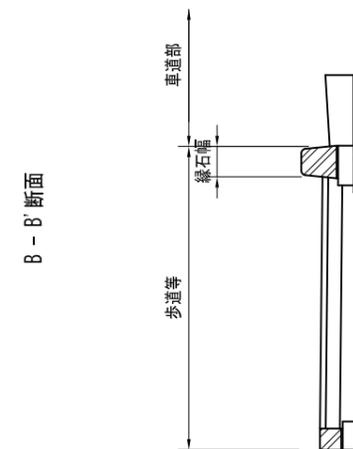
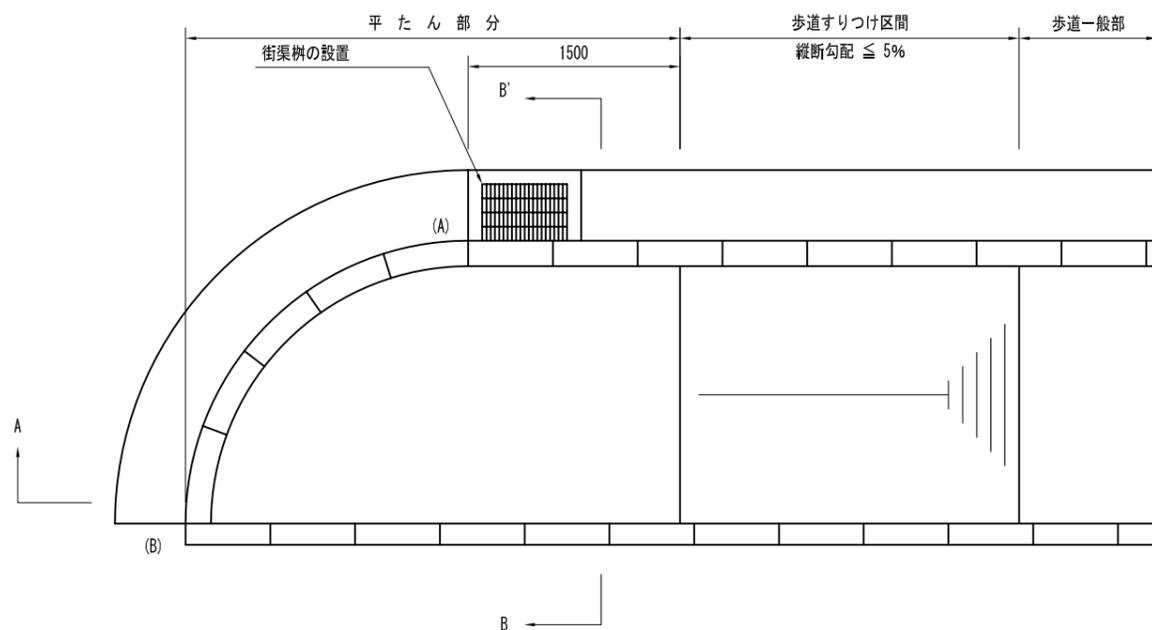


注) 中央分離帯と車道部との段差は付けないものとする。ただし、中央分離帯に歩行者を滞留させる必要がある場合は2cmを標準とする。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。

歩道切下げ標準図		
型式	セミフラット型式	植樹帯がない場合

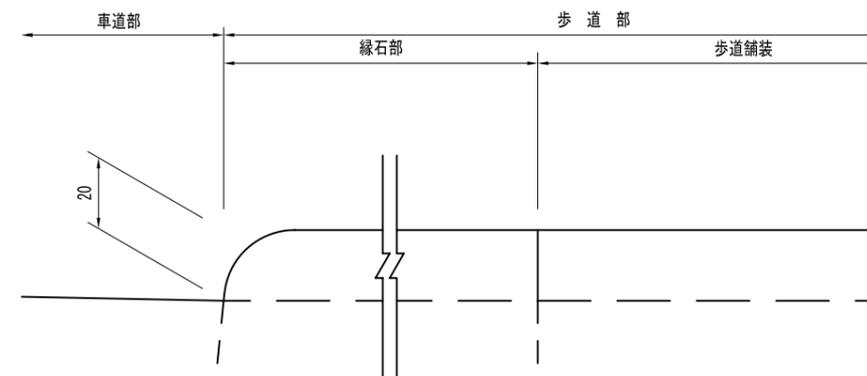
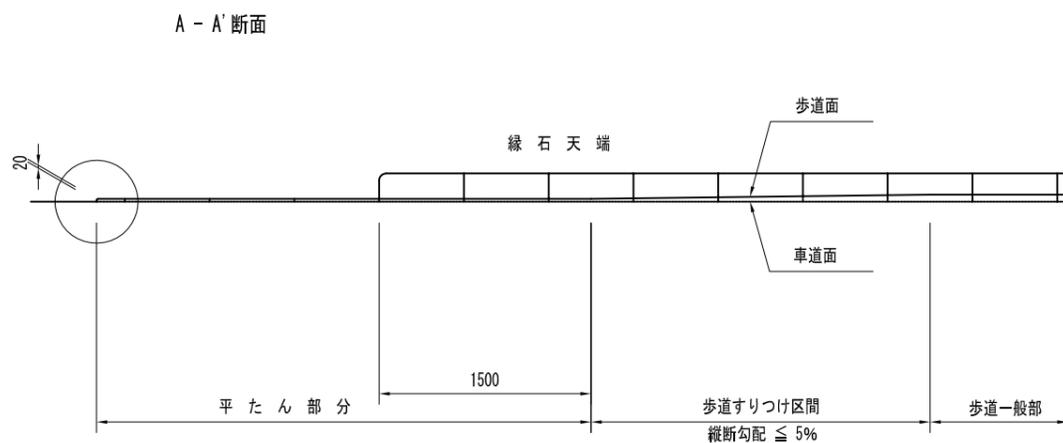
S=1/50

11-7 セミフラット形式（植樹帯がない場合）  
（全幅員を切下げる）



注) 平坦部分については、巻込始点 (A) からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合でも、巻込始点 (B) から最低1.5m程度設ける。

A - A' 断面 ○ 部詳細図



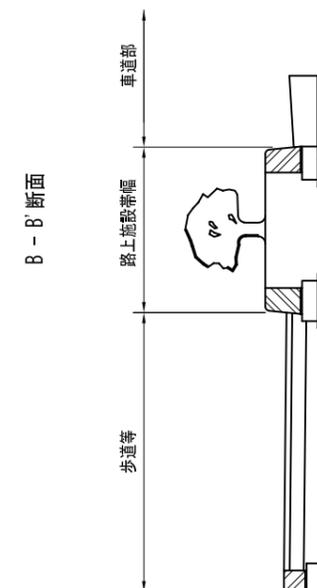
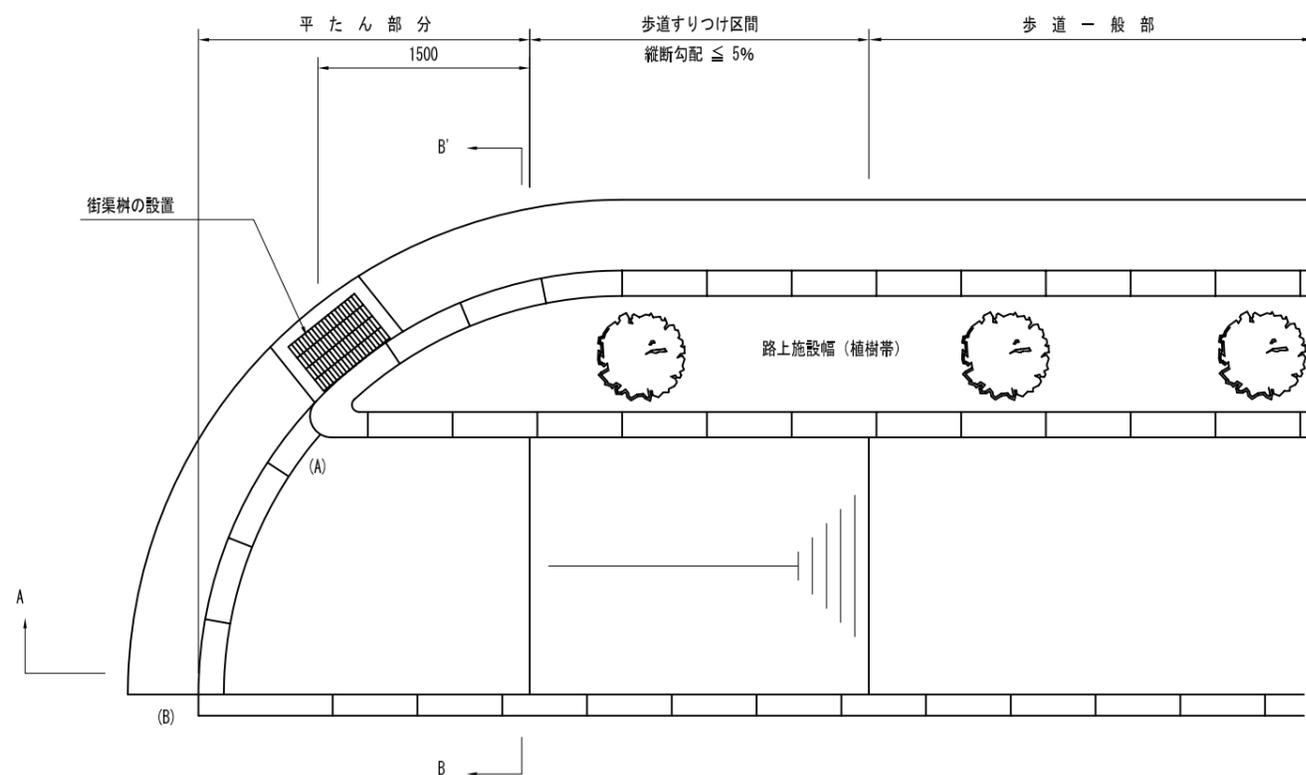
(注) 縁石は平ブロックとする。  
街渠勾配は車道と同一勾配とする。

注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

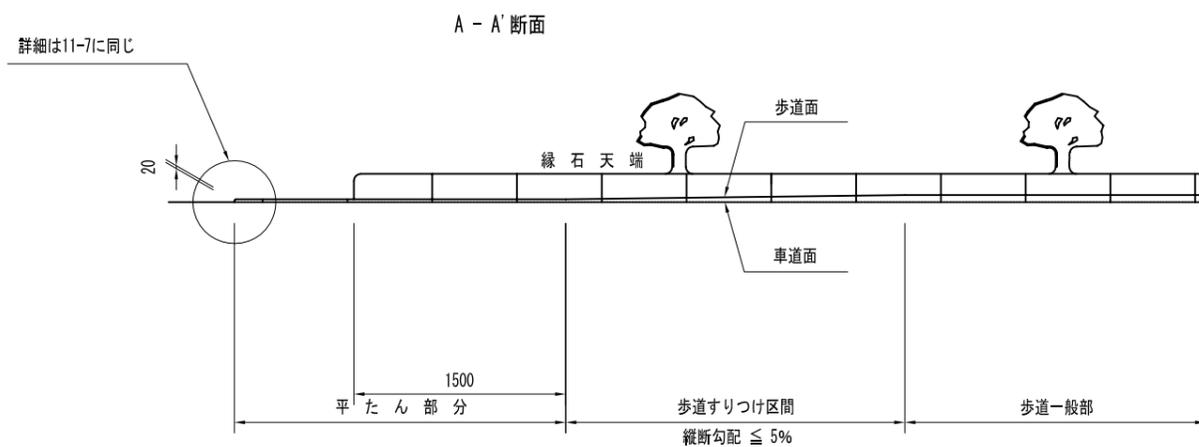
歩道切下げ標準図		
型式	セミフラット型式	植樹帯がある場合

S=1/50

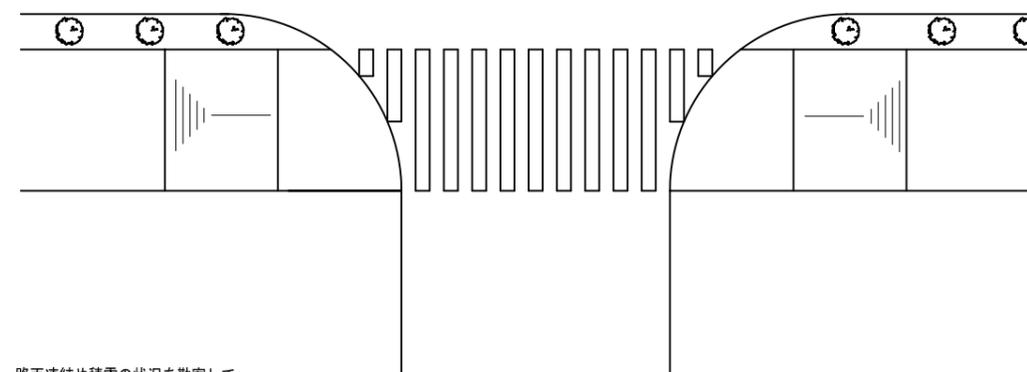
11-8 セミフラット形式（植樹帯がある場合）



注) 平坦部分については、巻込始点 (A) からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合でも、巻込始点 (B) から最低1.5m程度設ける。



支道取付部における路面標示との関係

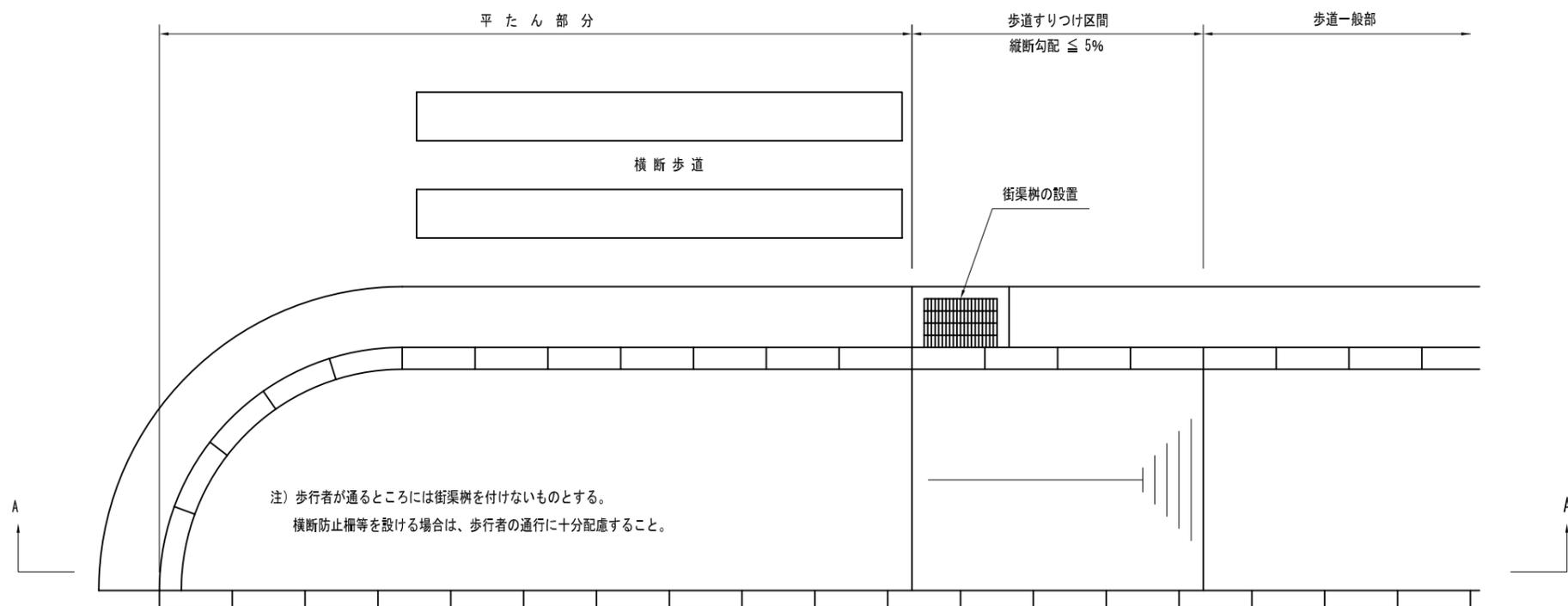


注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
 路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

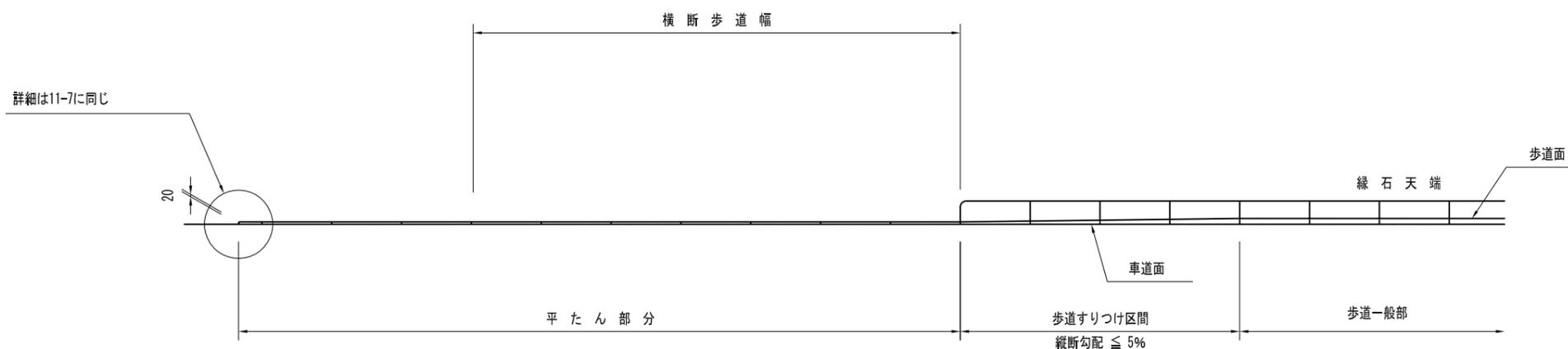
歩道切下げ標準図		
型式	セミフラット型式	横断歩道がある場合

S=1/50

11-9 セミフラット形式（横断歩道がある場合）

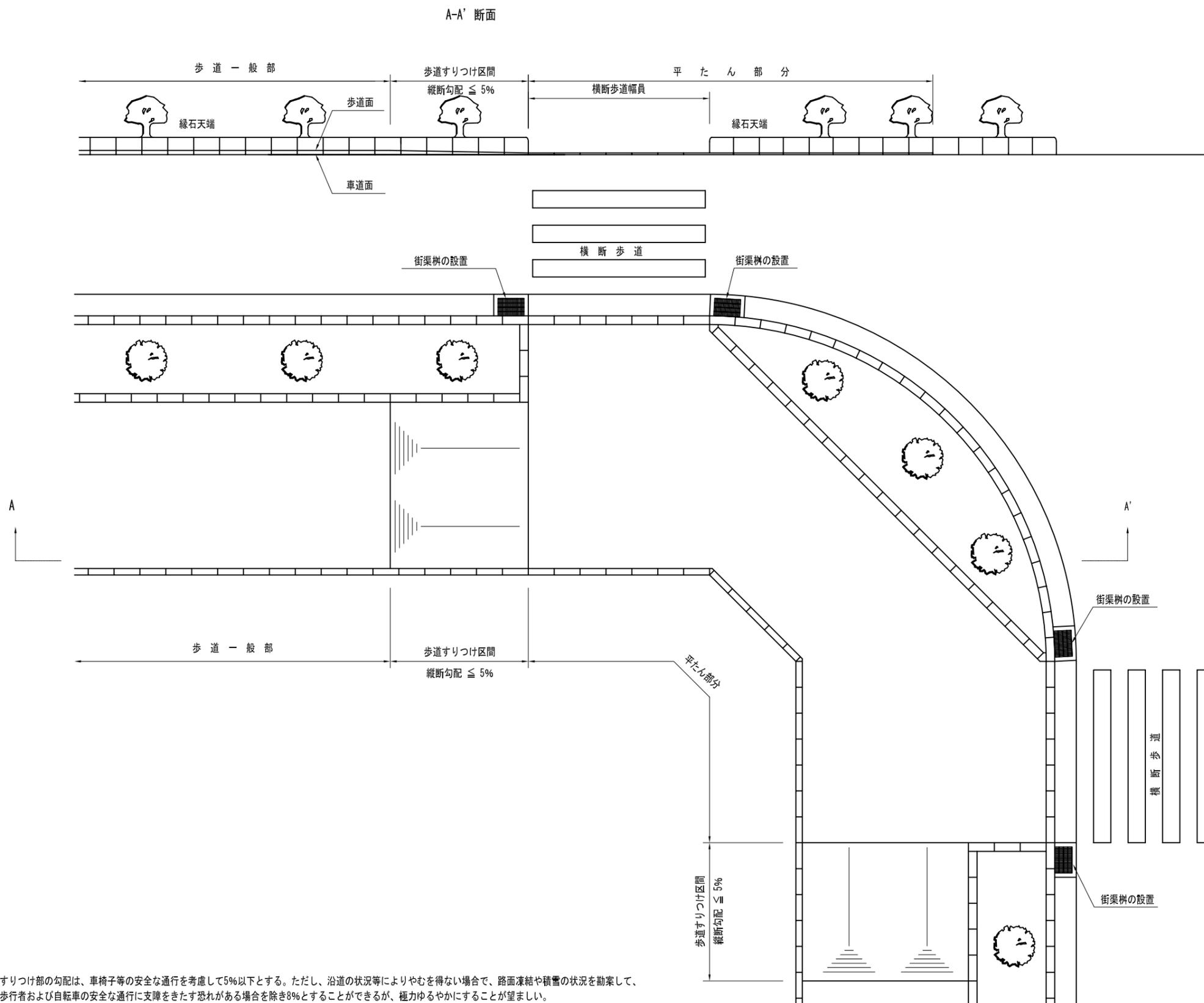


A - A' 断面



注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
 路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

11-10 セミフラット形式（交差点で横断歩道がある場合）



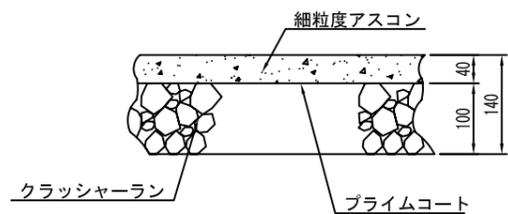
注) すりつけ部の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合で、路面凍結や積雪の状況を勘案して、歩行者および自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き8%とすることができるが、極力ゆるやかにすることが望ましい。  
 視覚障害者誘導用ブロック設置については、道路の移動円滑化ガイドラインおよび、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説によること。  
 路上施設として防護柵等を設ける場合は、「防護柵の設置基準・同解説」により、設置位置・構造形式を決定する。

## 1 2 . 步 道 舖 装

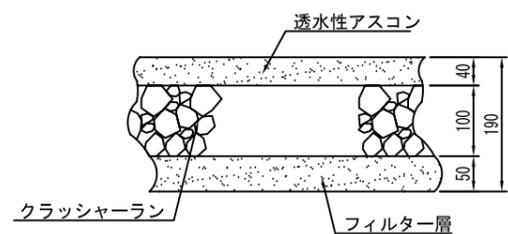
一般部

S=1/5

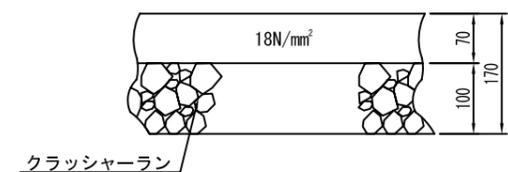
アスファルト舗装



透水性アスファルト舗装



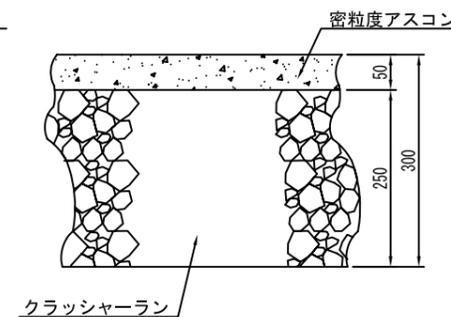
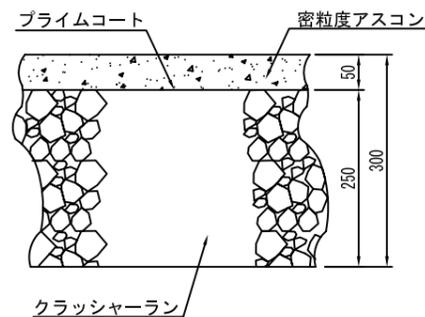
コンクリート舗装



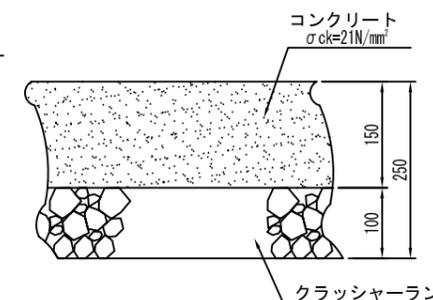
車両乗入部

S=1/5

(乗用車及び小型貨物自動車)  
アスファルト舗装  
透水性アスファルト舗装

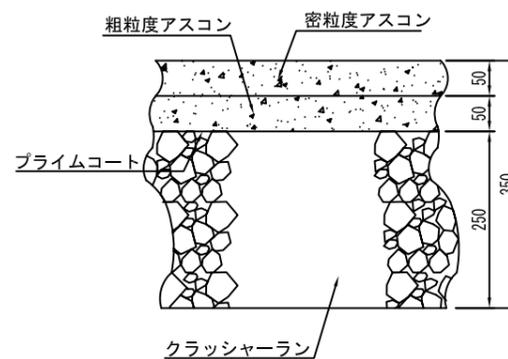


コンクリート舗装

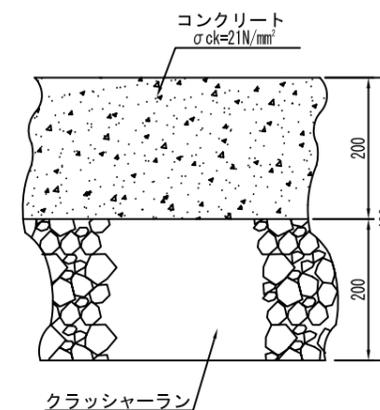


(普通貨物自動車)

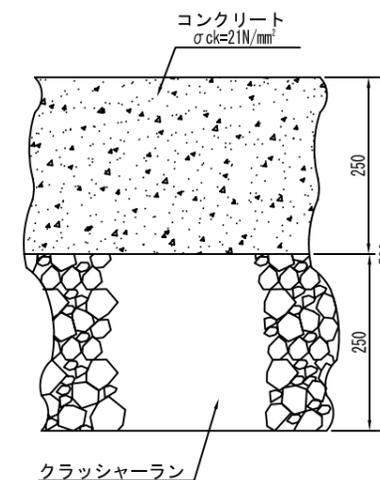
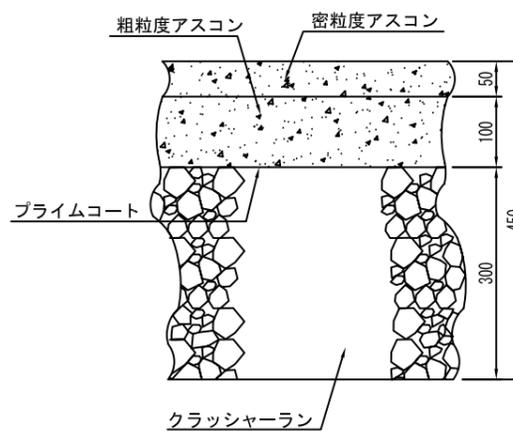
アスファルト舗装



コンクリート舗装



(大型及び中型貨物自動車)

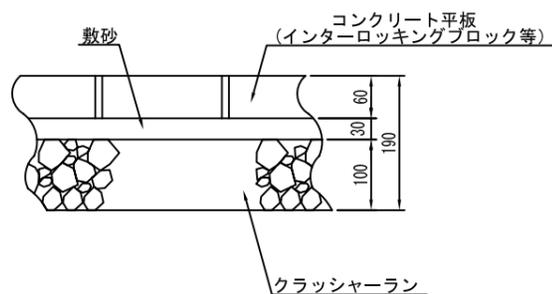


インターlockingブロック舗装

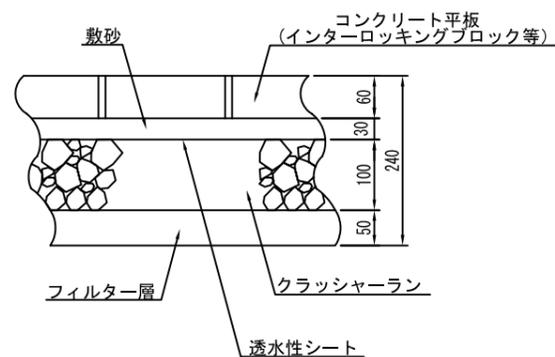
S=1/5

一般部

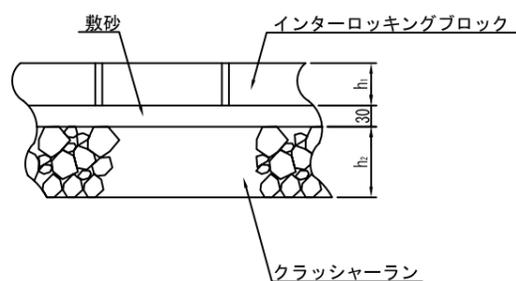
通常舗装



透水性舗装



乗入部



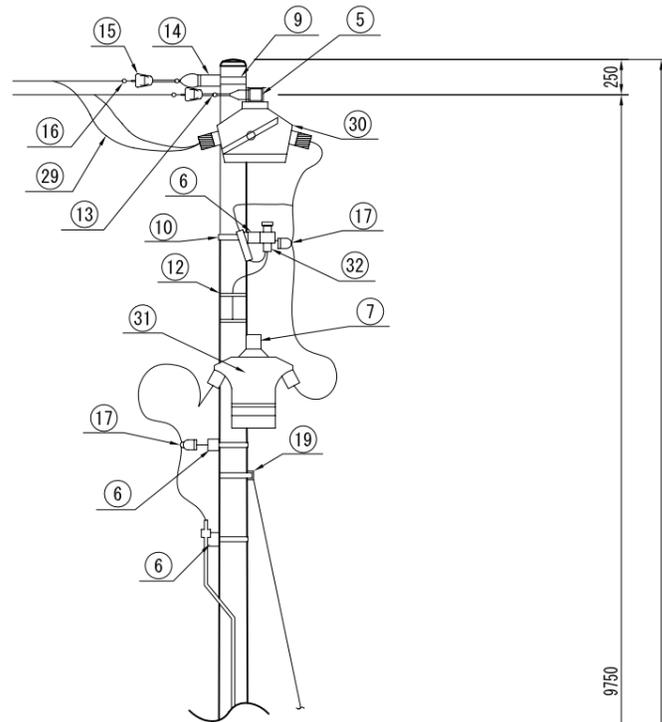
※ I 種乗入以外は、透水性インターlockingブロックは使用しない。

種別	車種	h <sub>1</sub> (mm)	h <sub>2</sub> (mm)
I 種	乗用・小型貨物自動車	60	250
II 種	普通貨物自動車	80	350
III 種	大型及び中型貨物自動車	80	550

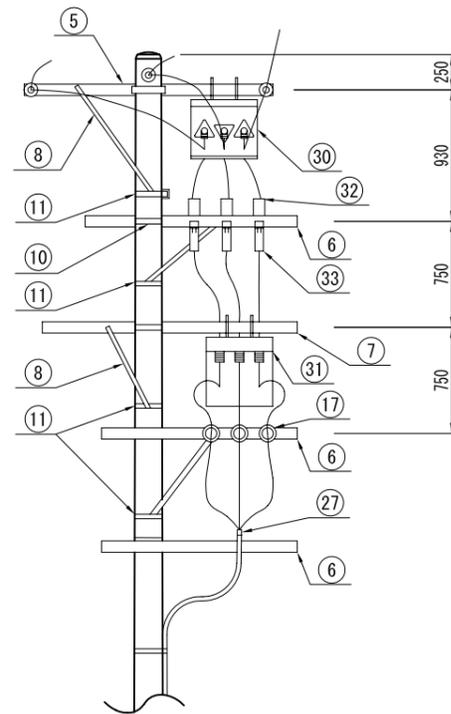
# 1 3 - 1 . 受変電設備

高压引込柱装柱図(1)

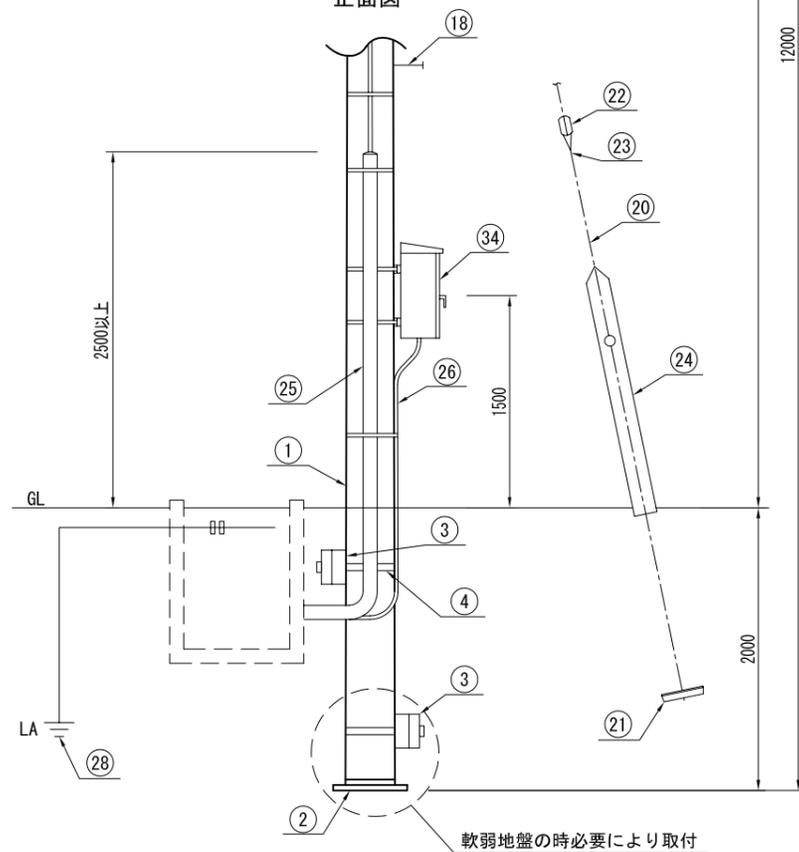
型式 PAS有、VCT有



正面図



側面図



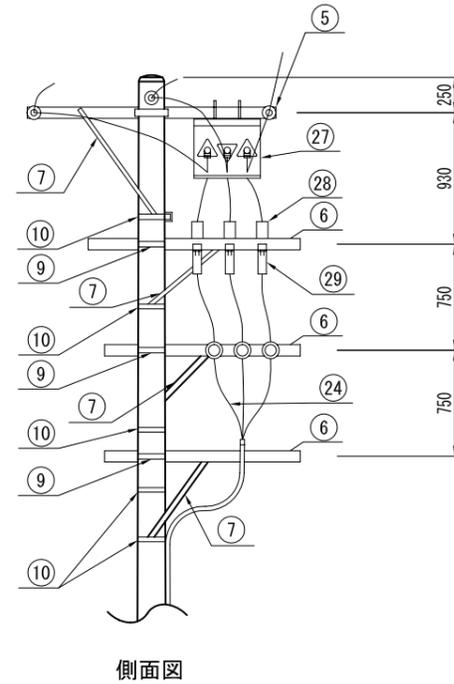
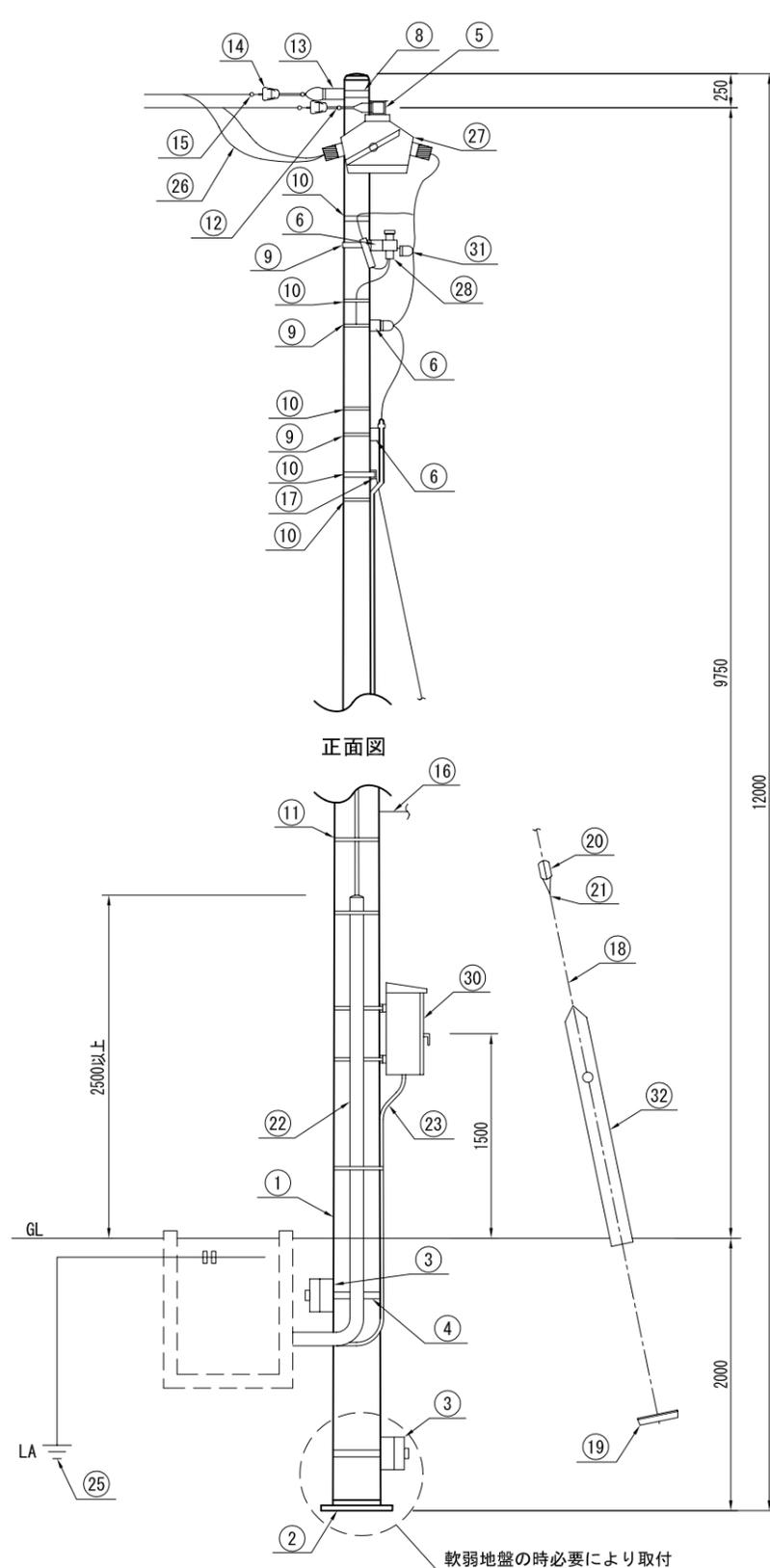
軟弱地盤の時必要により取付

装柱用品

No	品名	仕様	標準数量	備考
1	コンクリート柱	12m-19cm・350kg	1本	
2	ポール底板	丸型 No.1(450)	(1ヶ)	
3	コンクリート根かせ	1,200×240×170mm	1ヶ	
4	コンクリート根かせ用バンド		1ヶ	
5	軽腕金	3.2×75×75×1,800	1本	
6	軽腕金	2.3×75×45×1,500	3本	
7	軽腕金	2.3×75×45×1,800	1本	
8	アームタイ	2.3×25×945	4本	
9	強力バンド	19cm	1ヶ	中線引留金具
10	自在アームバンド	UABD-317	5ヶ	腕金用
11	自在バンド	4BD-D17	5ヶ	支線・アームタイ用
12	自在バンド	IBT-212	10ヶ	ケーブルバンド
13	耐張ストラップ		3組	
14	中線引留金物	CP用	1ヶ	
15	高压耐張碍子	普通型	3ヶ	
16	耐張引留金物		3ヶ	カバー付
17	高压ピン碍子	普通型	6ヶ	
18	足場ボルト	CP用	14本	
19	シンプル	支線用	1ヶ	
20	支線	45° (7/2.9) 第一種	kg	0.365kg/m
21	支線ブロック	700×350	1組	ロッド付
22	玉碍子	大	1ヶ	
23	巻付グリップ	シンプル用・碍子用45°	4ヶ	
24	支線ガード	硬質ポリエチレン	1本	積雪地域では耐雪ガード使用
25	電線管	SC管	1式	
26	硬質塩化ビニル管	VE	1式	立上がり防護管
27	端末処理材	さし込み型	1組	屋外用
28	接地材		1式	
29	J C線		1式	
30	柱上高压気中開閉器		1台	接続材含む
31	電力需給用計器用変成器		1台	電力会社支給品
32	避雷器		3ヶ	取付金具付
33	高压カットアウトスイッチ		3ヶ	取付金具付
34	計器继电器収納箱		1ヶ	

高圧引込柱装柱図(2)

型 式 PAS有、VCT無

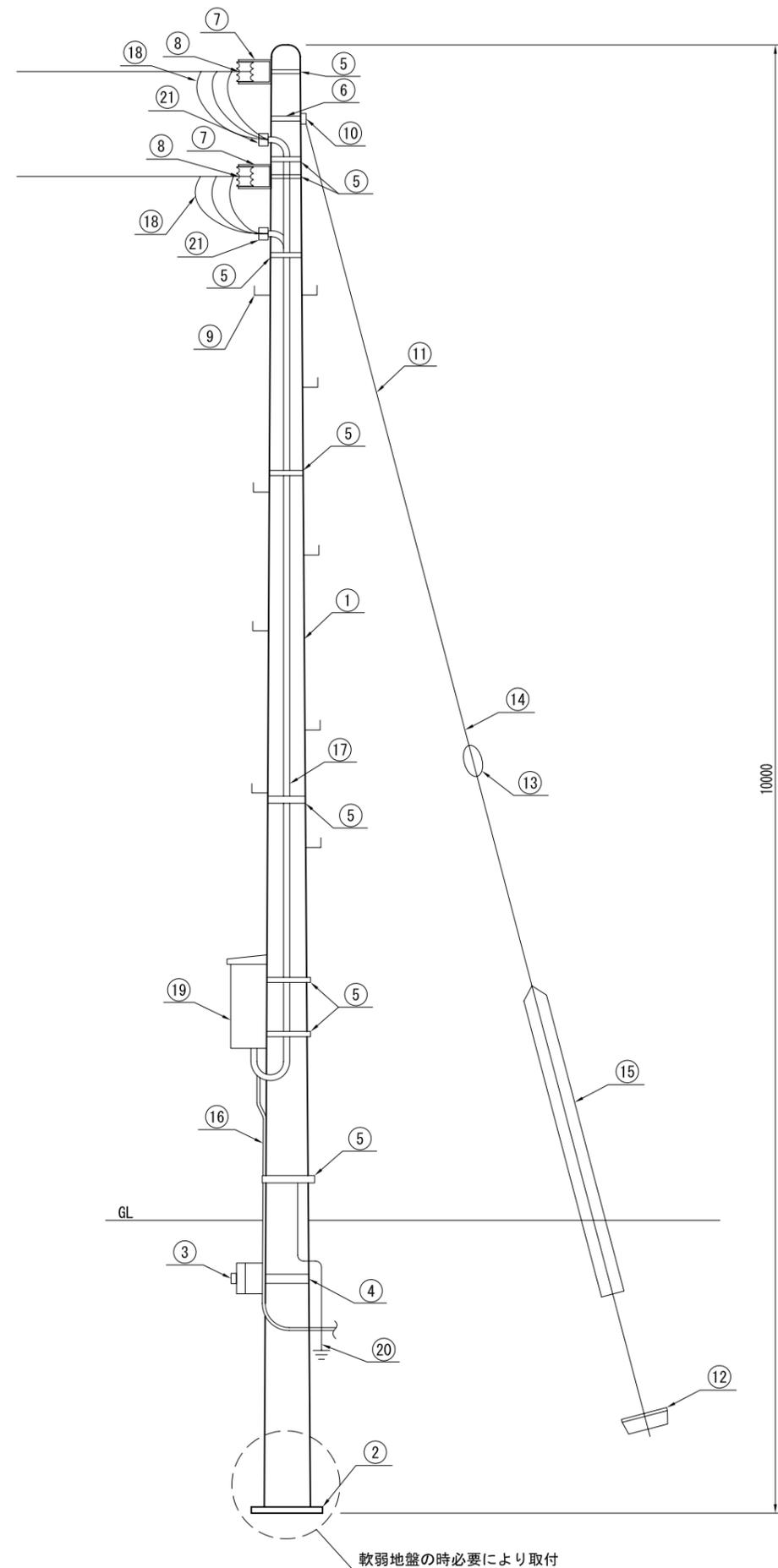


装柱用品

No	品 名	仕 様	標準数量	備 考
1	コンクリート柱	12m-19cm・350kg	1本	
2	ポール底板	丸型 No.1(450)	(1ヶ)	
3	コンクリート根かせ	1,200×240×170mm	1ヶ	
4	コンクリート根かせ用バンド		1ヶ	
5	軽腕金	3.2×75×75×1,800	1本	
6	軽腕金	2.3×75×45×1,500	3本	
7	アームタイ	2.3×25×945	4本	
8	強力バンド	19cm	1ヶ	中間引留金具用
9	自在アームバンド	UABD-317	4ヶ	腕金用
10	自在バンド	4BD-D17	5ヶ	支線・アームタイ用
11	自在バンド	IBT-212	6ヶ	ケーブルバンド
12	耐張ストラップ		3組	
13	中線引留金物	CP用	1ヶ	
14	高圧耐張碍子	普通型	3ヶ	
15	耐張引留金物		3ヶ	カバー付
16	足場ボルト	CP用	14本	
17	シンプル	支線用	1ヶ	
18	支 線	45° (7/2.9)第一種	kg	0.365kg/m
19	支線ブロック	700×350	1組	ロッド付
20	玉碍子	大	1ヶ	
21	巻付グリップ	シンプル用・碍子用45°	4ヶ	
22	電線管	SC管	1式	
23	硬質塩化ビニル管	VE	1式	立上がり防護管
24	端末処理材	さし込み型	1組	屋外用
25	接地材		1式	
26	J C線		1式	
27	柱上高圧気中開閉器		1台	接続材含む
28	避雷器		3ヶ	取付金具付
29	高圧カットアウトスイッチ		3ヶ	取付金具付
30	計器継電器収納箱		1ヶ	
31	高圧ピン碍子	普通型	6ヶ	
32	支線ガード	硬質ポリエチレン	1本	積雪地域では耐雪ガード使用

低圧引込柱装柱図

型 式



軟弱地盤の時必要により取付

装柱用品

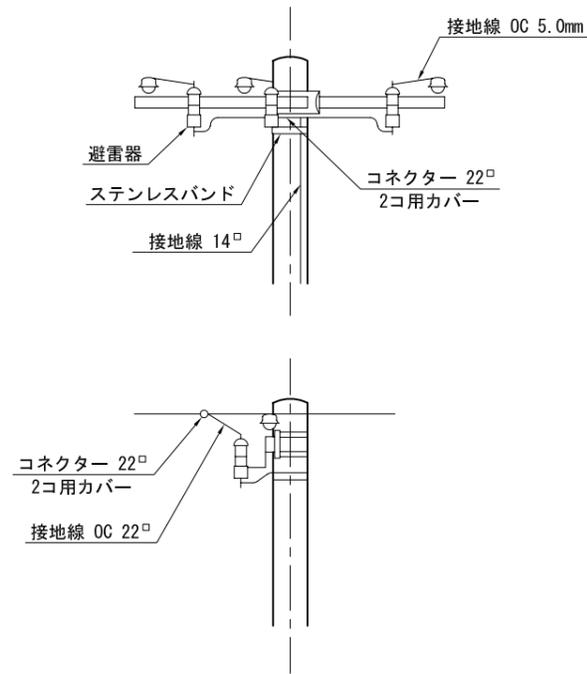
No	品 名	仕 様	標準数量	備 考
1	コンクリート柱	10m-19cm・350kg	1本	
2	ポール底板	丸型 No, 1(450)	(1ヶ)	
3	コンクリート根かせ	1,000×170×140mm	1ヶ	
4	コンクリート根かせ用バンド		1本	
5	自在バンド	IBT-208	9ヶ	低圧ラック・電線管用
6	自在バンド	3BD-HD17	1ヶ	支線用
7	低圧ラック		2個	
8	多溝碍子		2ヶ	
9	足場ボルト	CP用	9本	
10	シンプル	支線用	1本	
11	支 線	38°(7/2.6)第一種	kg	0.294kg/m
12	支線ブロック	500×250	1組	ロッド付
13	玉碍子		1ヶ	
14	巻付グリップ	シンプル用・碍子用38°	4ヶ	
15	支線ガード	硬質ポリエチレン	1本	積雪地域では耐雪ガード使用
16	保護パイプ	SC管	1式	
17	保護パイプ	VE	1式	立上がり防護管
18	低圧端末処理	屋外用	2組	
19	分電盤		1面	
20	接地材		1式	
21	エントラスキャップ		2ヶ	

## 1 3 - 2 . 配電設備

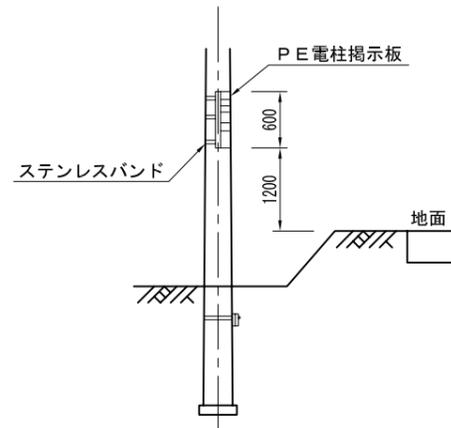
コンクリート装柱図

型式

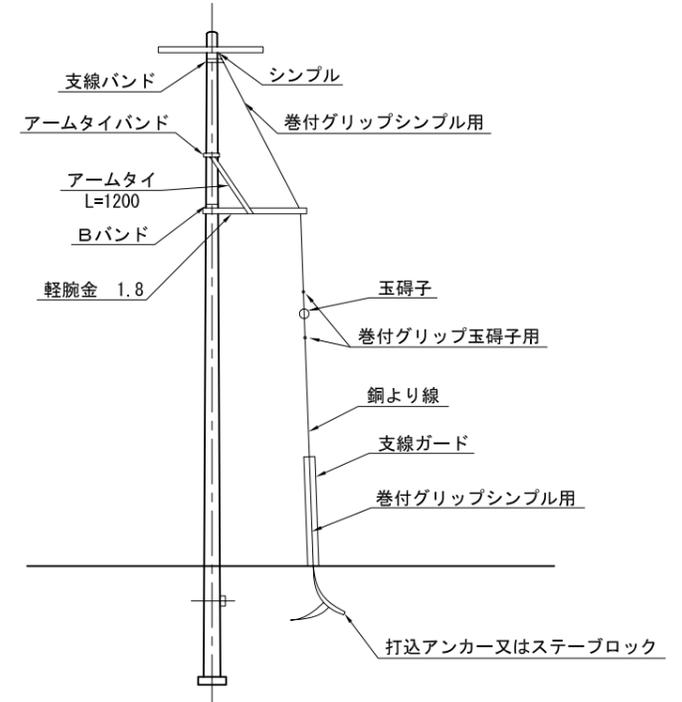
避雷器標準取付図



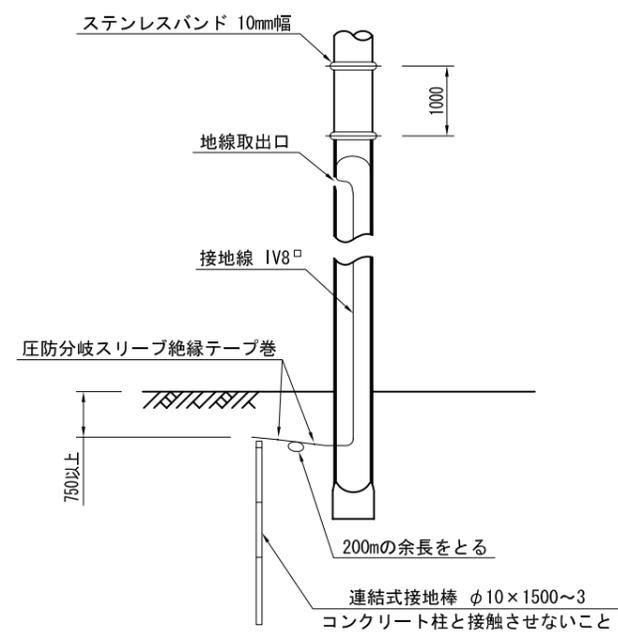
電柱ガード・PE電柱揭示板標準取付図



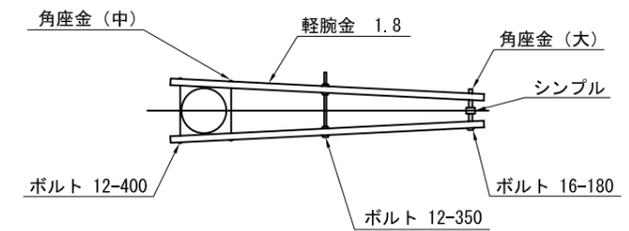
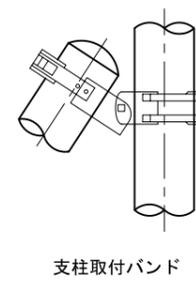
弓支線標準取付図



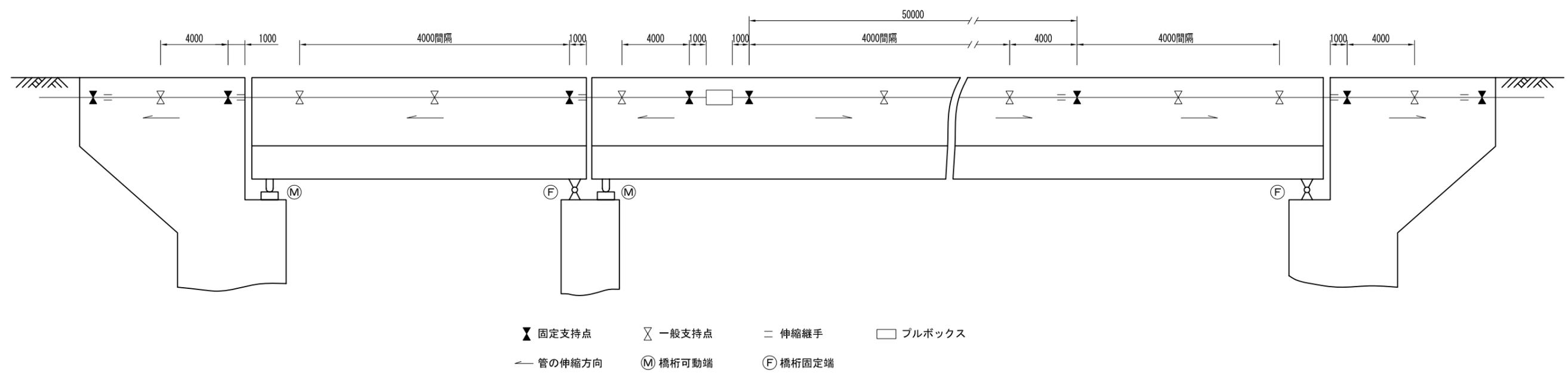
柱上取付避雷器標準接地極附設図



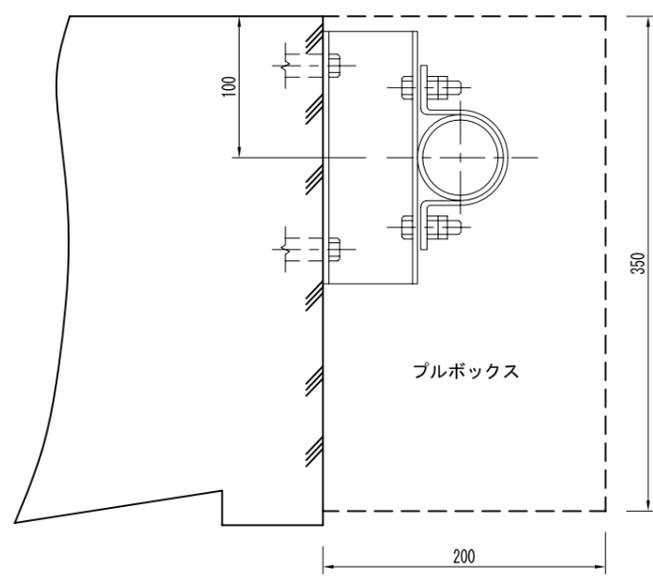
コンクリート柱への支柱取付参考図



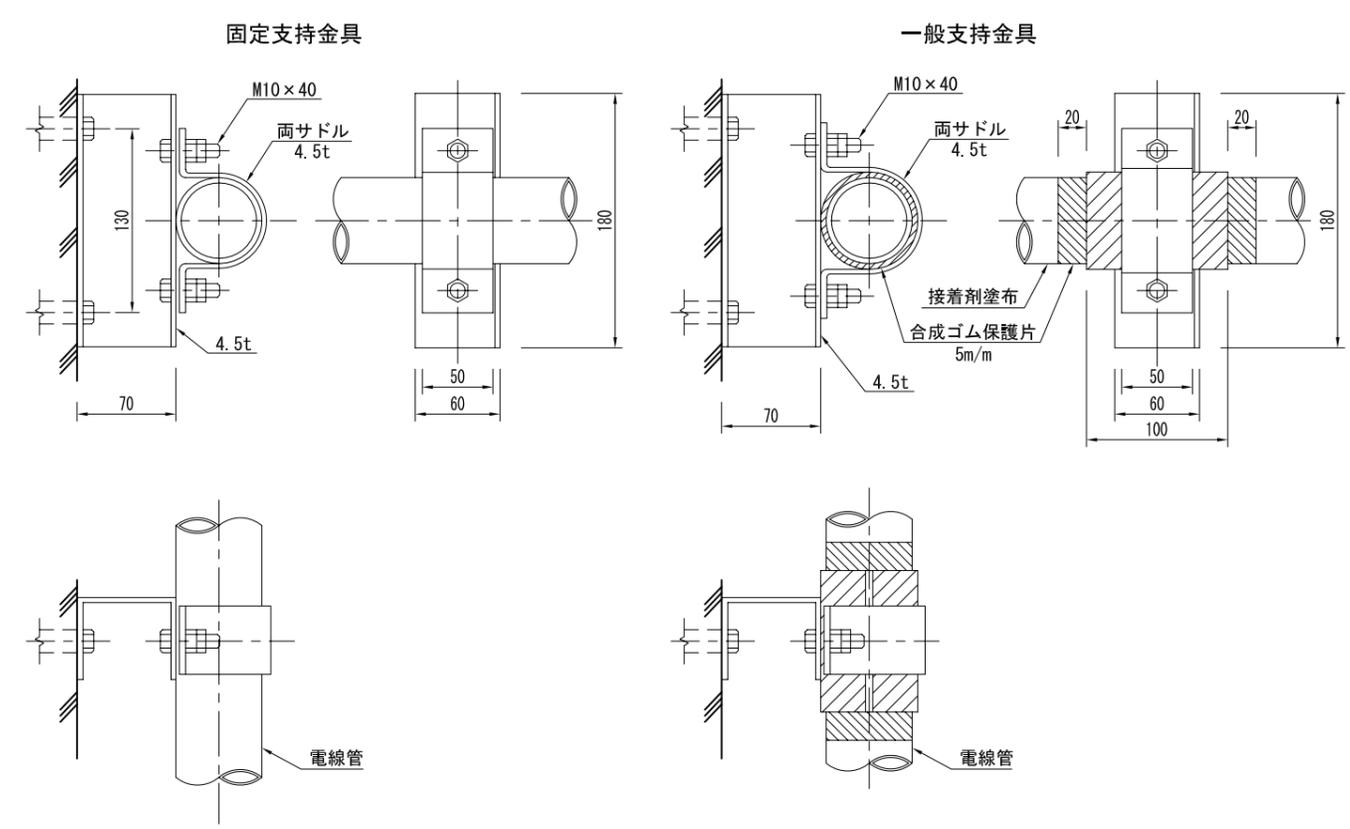
橋架配管図 (1)	
型 式	配管側面支持



取付詳細図

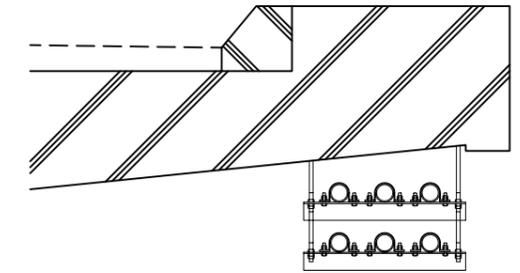
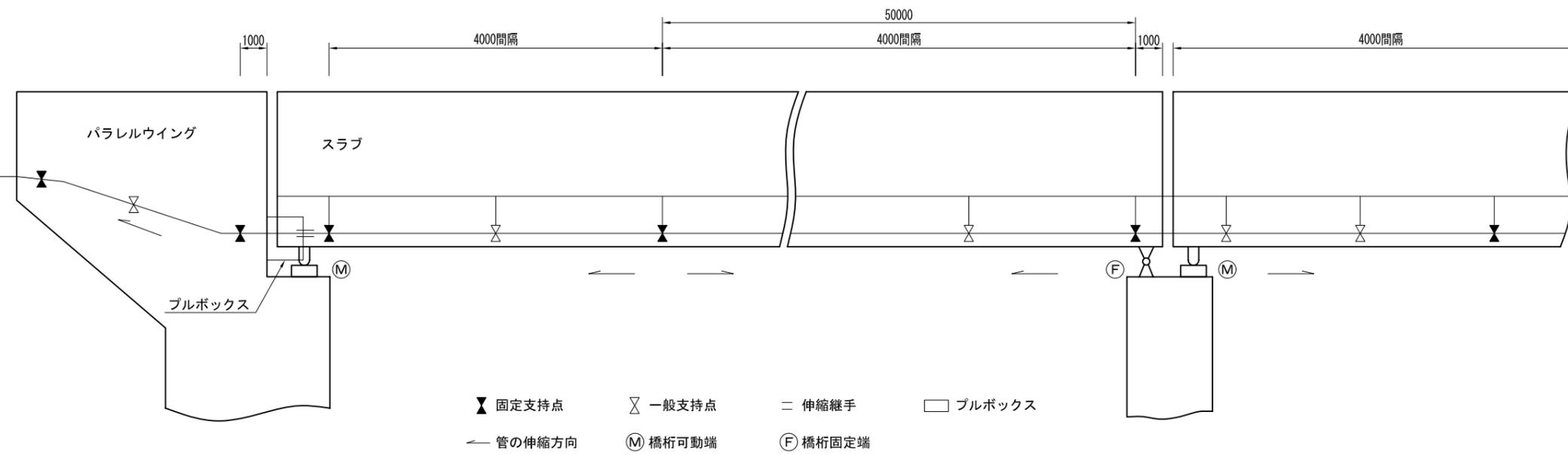


配管支持金具詳細図



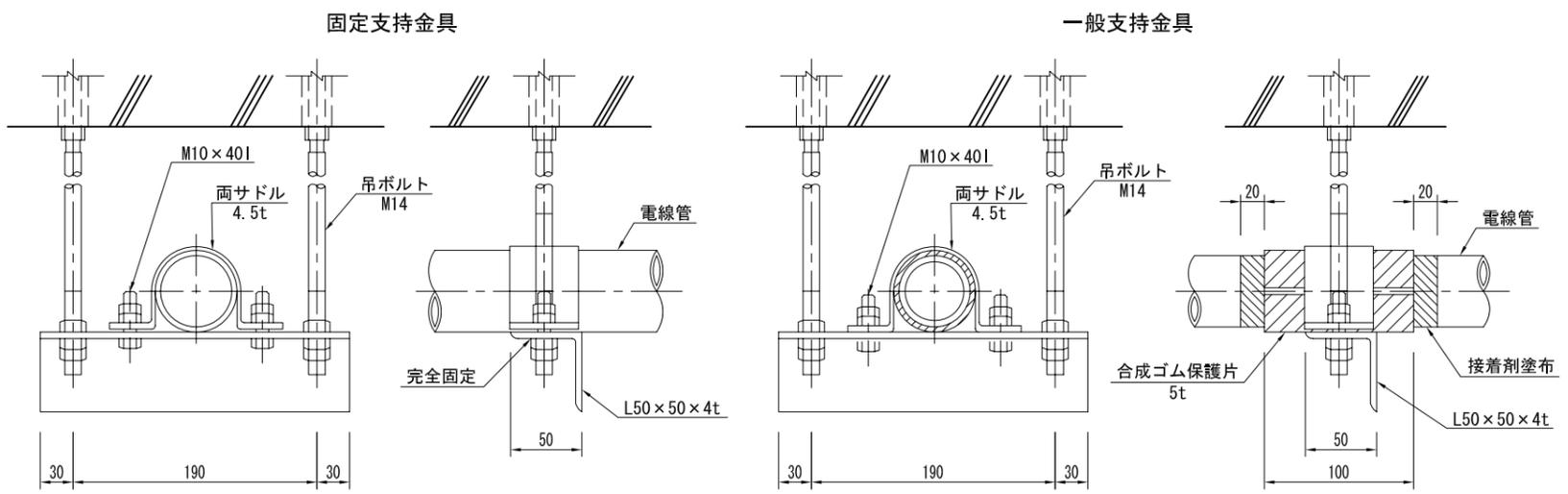
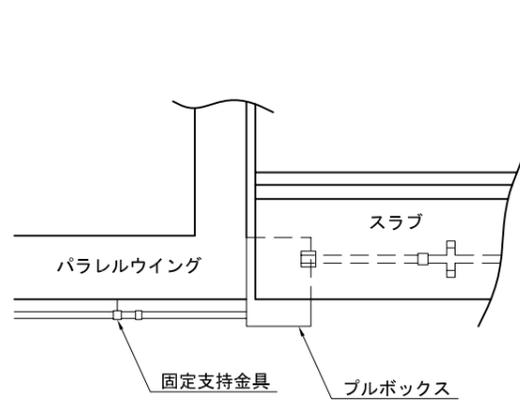
- 注
1. 既設橋梁に適用する。
  2. 橋桁の分割点又は橋台から1m隔った個所に固定支持点(伸縮手側のみ)をおく。
  3. プルボックスがあるときは、プルボックスより1m隔った個所に固定支持点をおく。
  4. 橋桁の中間点に伸縮継手がある場合は、その伸縮継手側に1m隔った個所に固定支持点をおく。
  5. 上で定めた固定支持点の間に4m以内の間隔(なるべく等間隔とする)で一般支持点をおく。
  6. 橋桁の分割点のないところで鋼管添架の50mを越える径間に伸縮継手が1つもないときは、その径間の固定支持点側に伸縮継手を設置する。
  7. 配管支持金具は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H8641 HDZ55C) とする。
  8. 電線管の選定については、設計便覧(案)第4編・電気通信編によること。

橋架配管図 (2)	
型 式	配管吊下げ



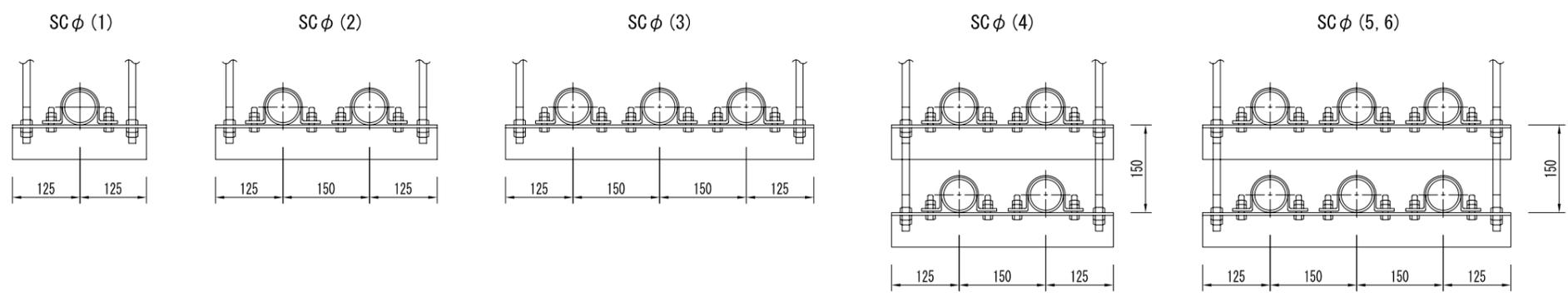
橋架高架両詰配管要領図

配管支持金具詳細図



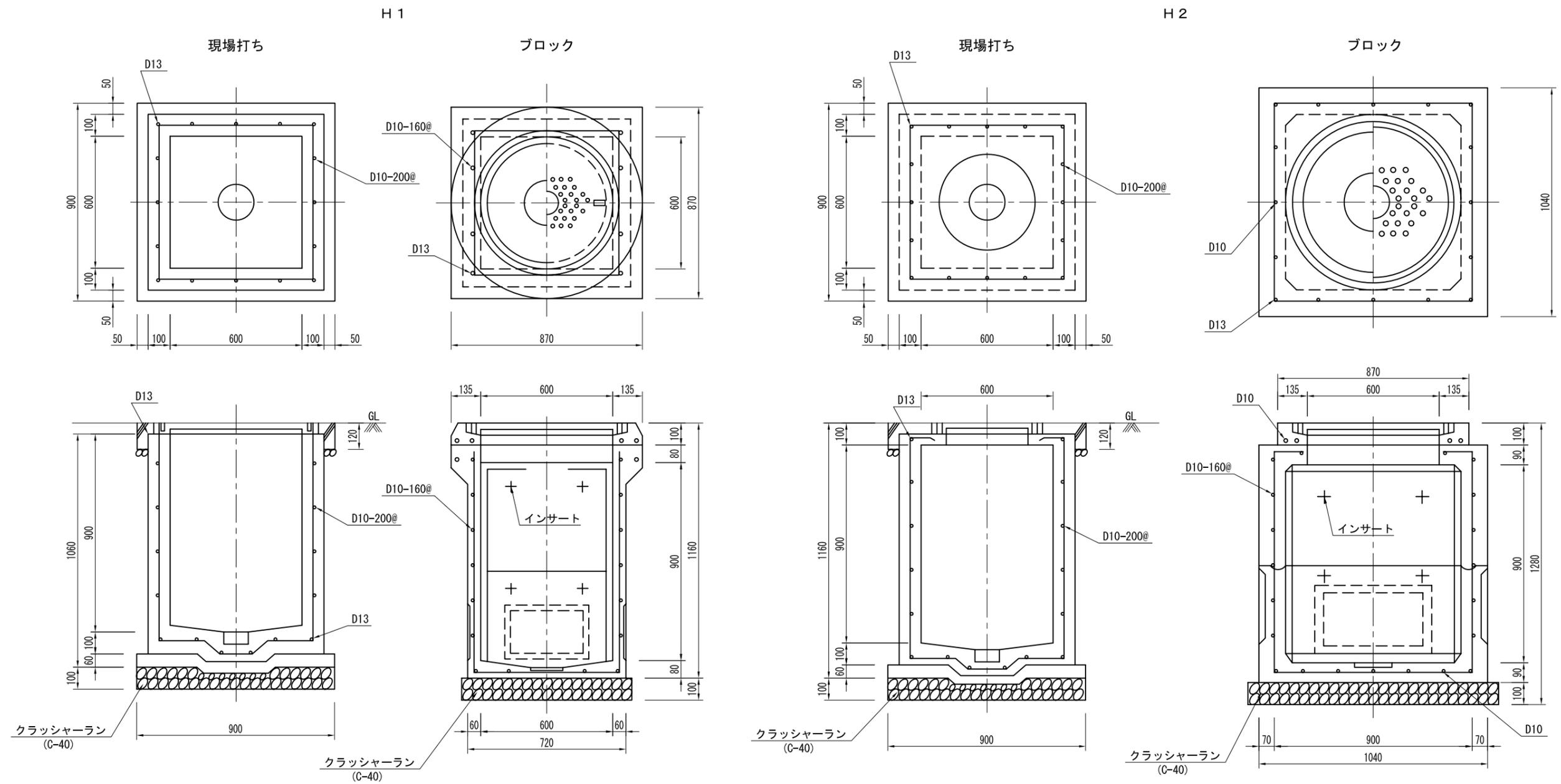
- 注
1. 既設橋梁に適用する。
  2. 橋桁の分割点又は橋台から1m隔った個所に固定支持点 (伸縮手側のみ) をおく。
  3. 橋桁の中間点に伸縮継手がある場合は、その伸縮継手側に1m隔った個所に固定支持点をおく。
  4. 上で定めた固定支持点の間に4m以内の間隔 (なるべく等間隔とする) で一般支持点をおく。
  5. 橋桁の分割点のないところで鋼管添架の50mを越える径間に伸縮継手が1つもないときは、その径間の固定支持点側に伸縮継手を設置する。
  6. 配管支持金具は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H8641 HDZ55C) とする。
  7. 電線管の選定については、設計便覧 (案) 第4編・電気通信編によること。

配管布設図



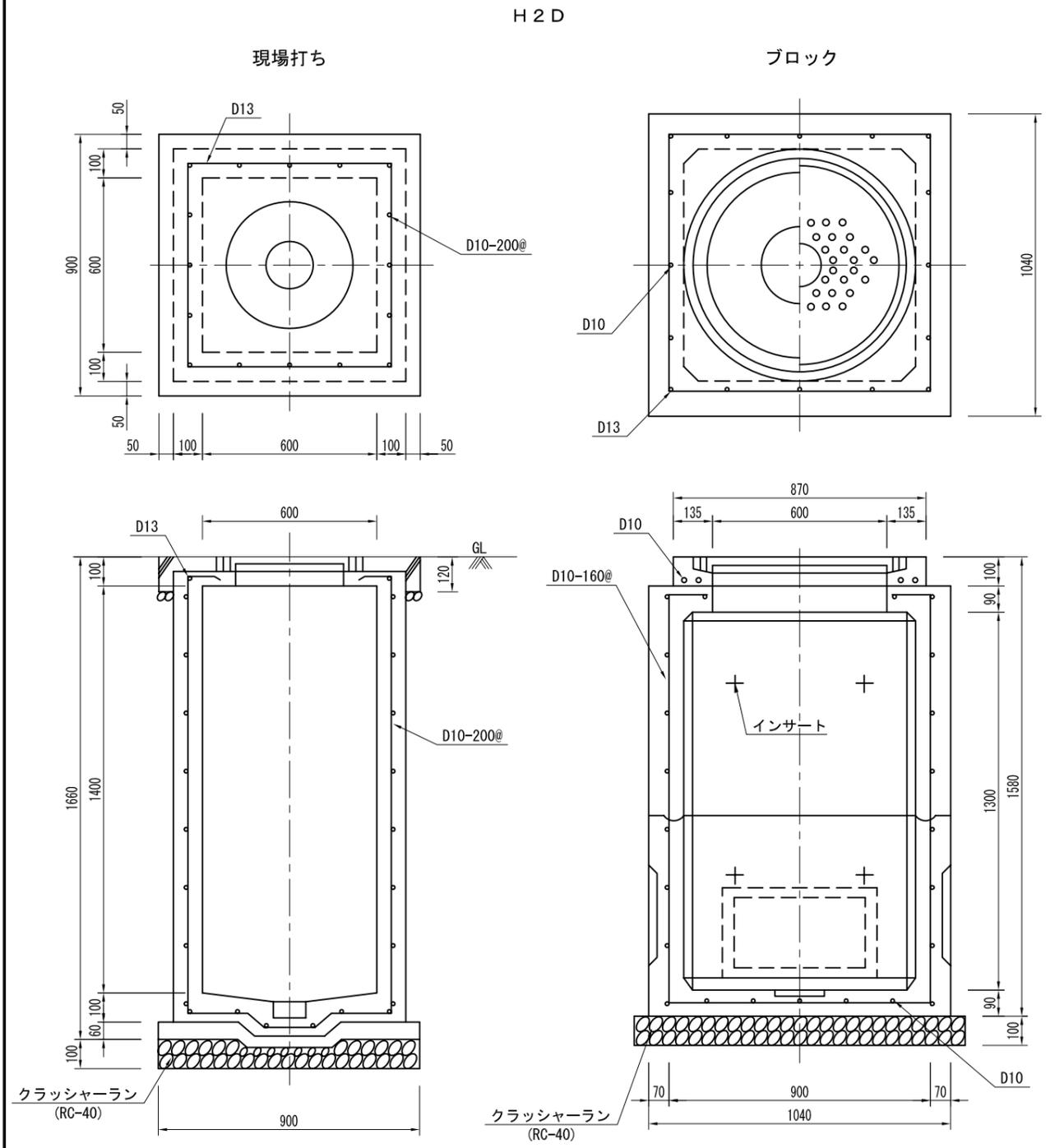
配管受け金具 : L50×50×4t  
吊ボルト : M14

型式

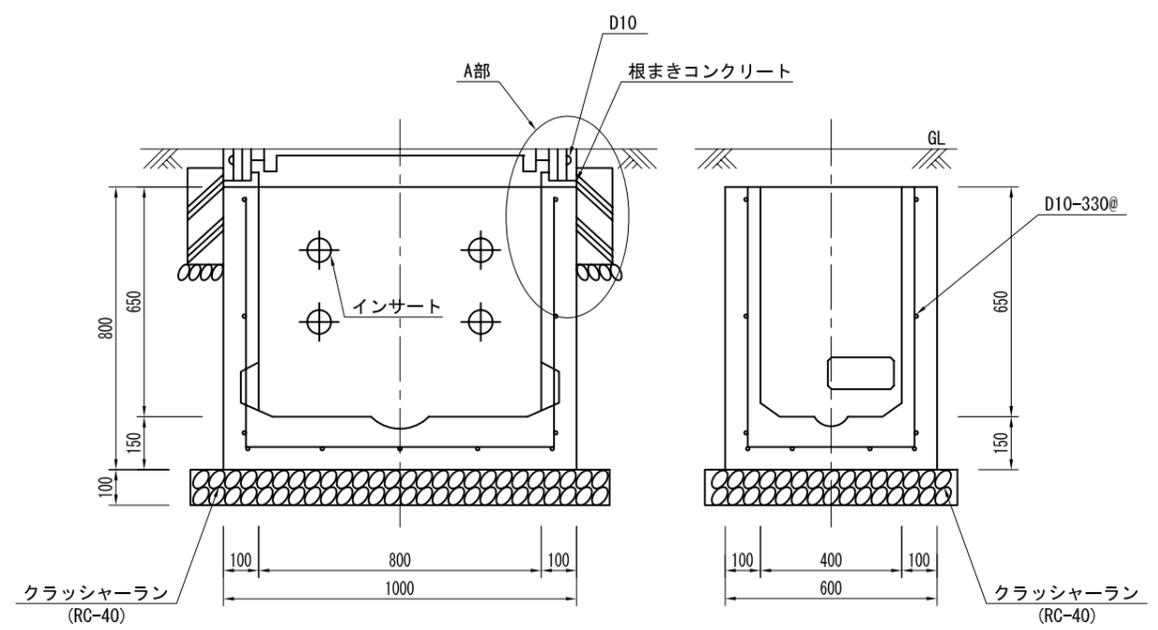


- [備考] (1) 図のいずれでもよい  
 (2) ブロックハンドホールのコンクリート設計基準強度は材令28日、圧縮強度  $240 \text{ kgf/cm}^2$  以上とする。  
 (3) ブロックハンドホールは、丸ふた (R) の例を示す。  
 (4) ブロックハンドホールの図は、2分割形を示すが、多分割形でもよい。  
 (5) ブロックハンドホールのコンクリート相互間などは、モルタル又はエポキシ系樹脂接着材により接着する。

ハンドホール施工図 (例・2)	
型 式	

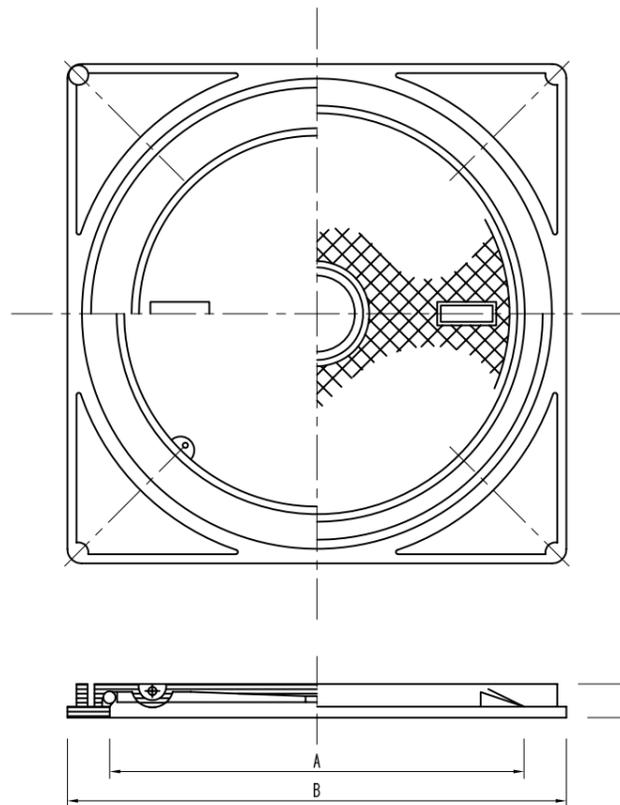


- [備考] (1) 図のいずれでもよい  
 (2) ブロックハンドホールのコンクリート設計基準強度は材令28日、圧縮強度  $240 \text{ kgf/cm}^2$  以上とする。  
 (3) ブロックハンドホールは、丸ふた (R) の例を示す。  
 (4) ブロックハンドホールの図は、2分割形を示すが、多分割形でもよい。  
 (5) ブロックハンドホールのコンクリート相互間は、モルタル又はエポキシ系樹脂接着材により接着する。



- [備考] (1) 側壁上にレンガ積みを行い、ふたの表面が路面と一致するように設置してもよい。  
 (2) A部はその1、その2のいずれでもよい。  
 (3) コンクリート設計基準強度は材令28日、圧縮強度  $240 \text{ kgf/cm}^2$  以上とする。  
 (4) 図は、分割しない形を示すが、多分割形でもよい。  
 (5) コンクリート相互間などは、モルタル又はエポキシ系樹脂接着材により接着する。

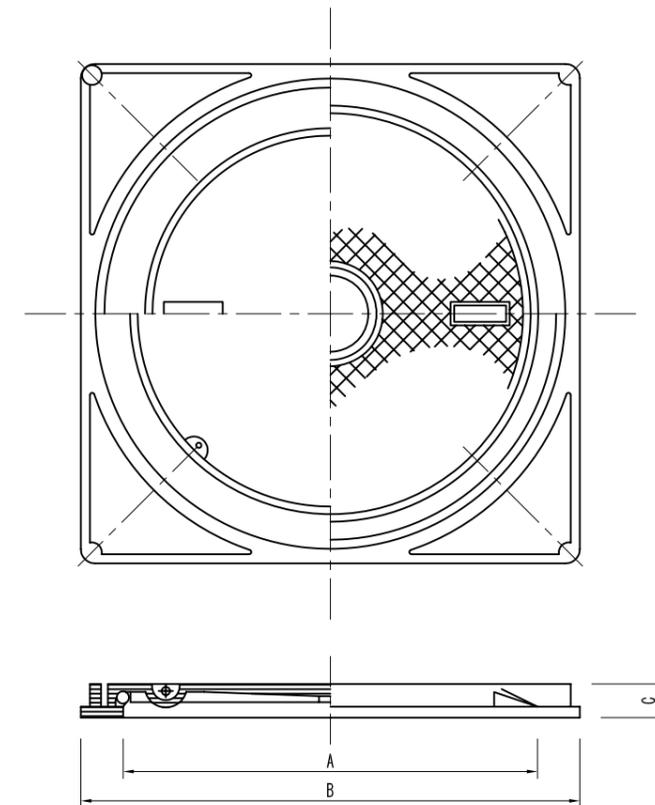
S2K



鉄蓋に下記マークを入れる



S8K



[単位 mm]

記号	寸法		
	A	B	C
S2K-60	600	680~720	45~60
S2K-90	900	1020~1050	55~80

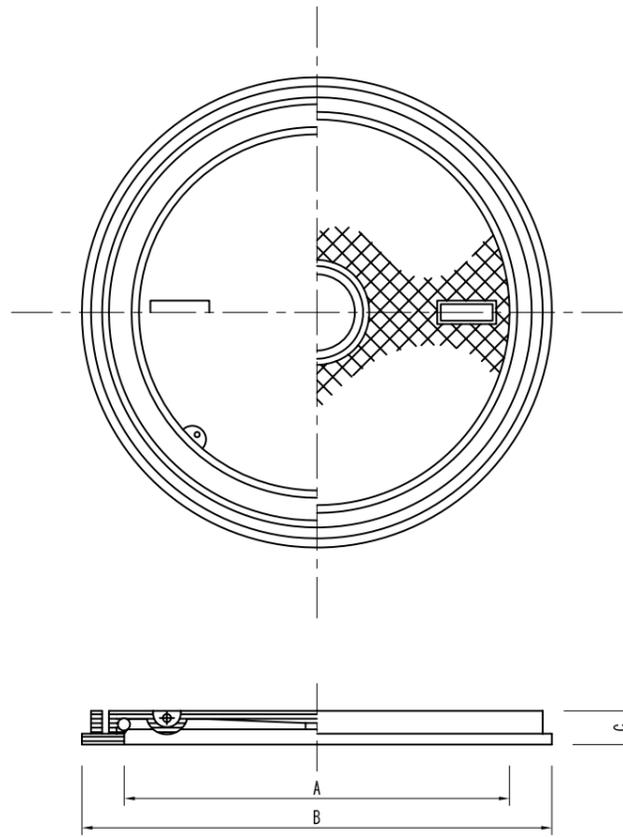
- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重2000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリで連結する。  
 (4) ふたの様子は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。

[単位 mm]

記号	寸法		
	A	B	C
S8K-60	600	700~730	50~65
S8K-90	900	1030~1080	60~80

- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重8000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリで連結する。  
 (4) ふたの様子は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。

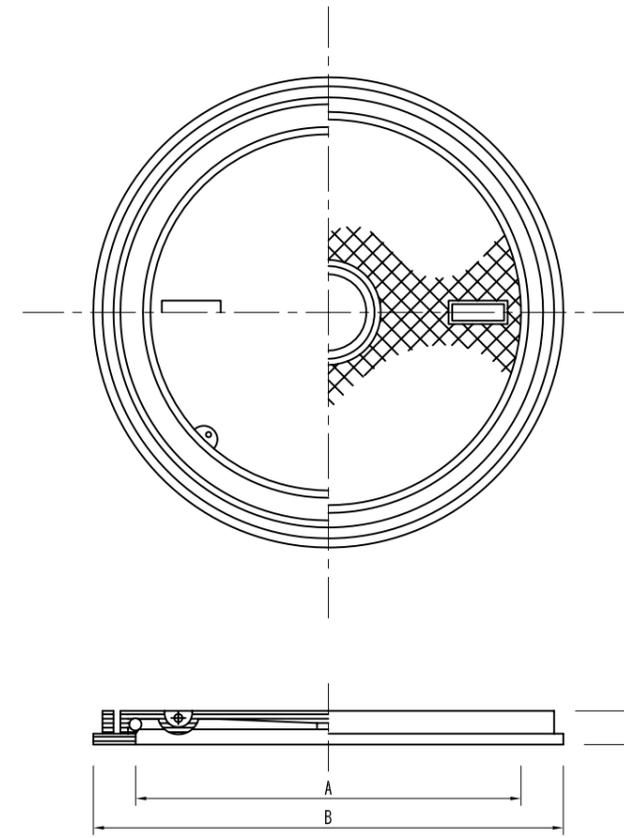
R 2 K



鉄蓋に下記マークを入れる



R 8 K



[単位 mm]

記 号	寸 法		
	A	B	C
R 2 K-60	600	690~730	45~60
R 2 K-90	900	1020~1050	55~80

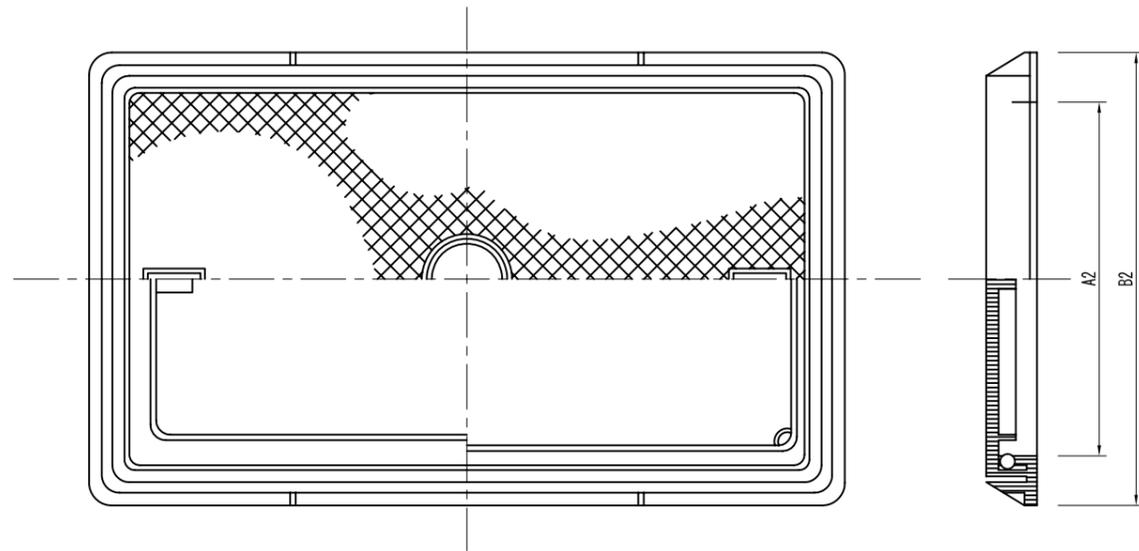
- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重2000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリで連結する。  
 (4) ふたの模様は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。

[単位 mm]

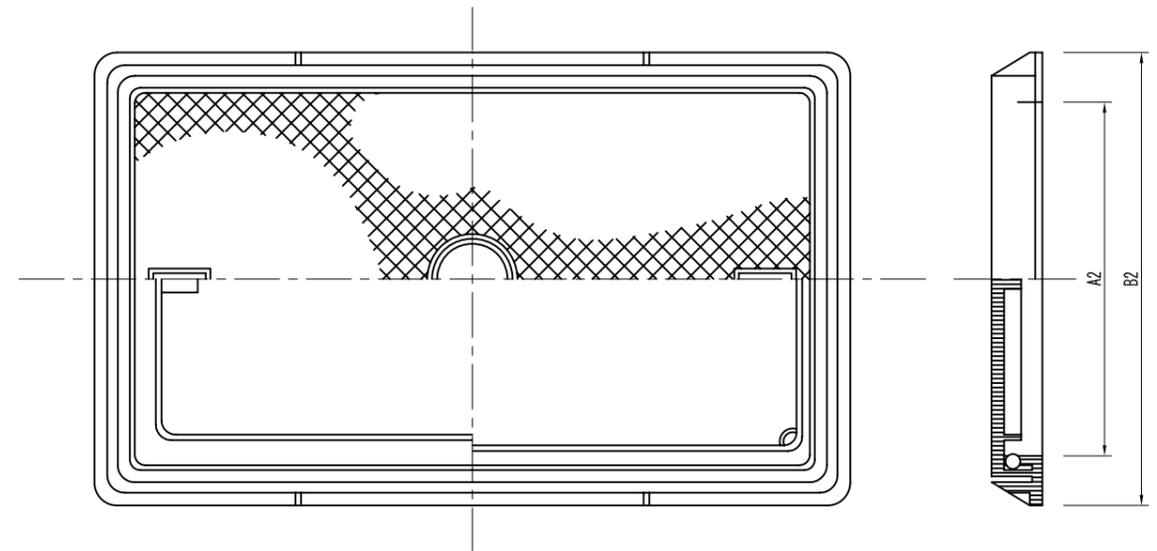
記 号	寸 法		
	A	B	C
R 8 K-60	600	700~740	50~65
R 8 K-90	900	1040~1080	60~80

- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重8000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリで連結する。  
 (4) ふたの模様は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。

N2K



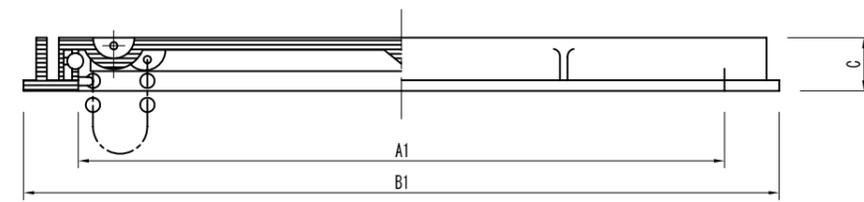
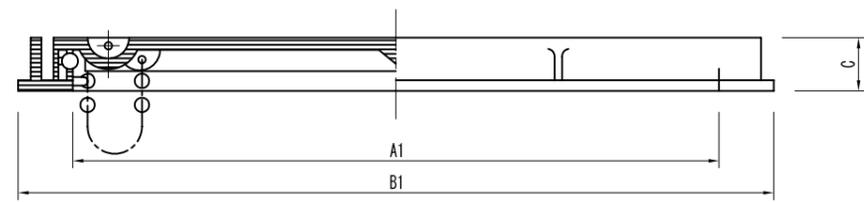
N8K



鉄蓋に下記マークを入れる



電気



[単位 mm]

記号	寸法				
	A1	A2	B1	B2	C
N2K-8	800	400	920~960	520~620	55~65
N2K-12	1200	600	1330~1360	730~820	55~65

[単位 mm]

記号	寸法				
	A1	A2	B1	B2	C
N8K-8	800	400	950~980	550~620	60~70
N8K-12	1200	600	1360~1400	760~820	60~80

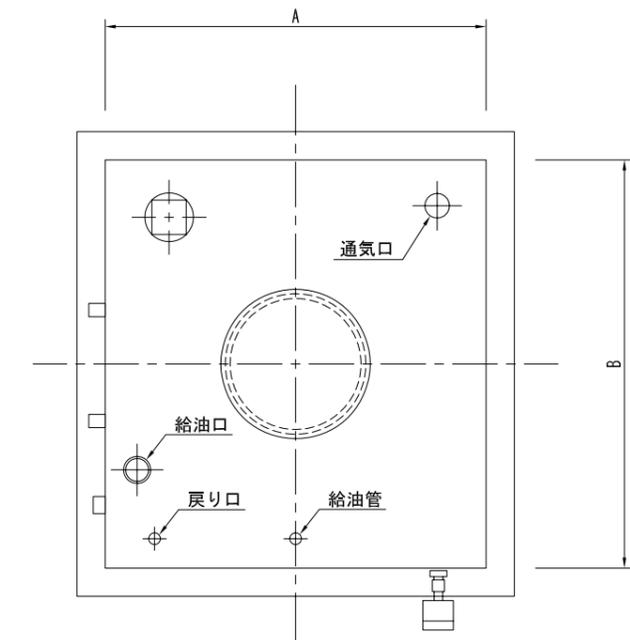
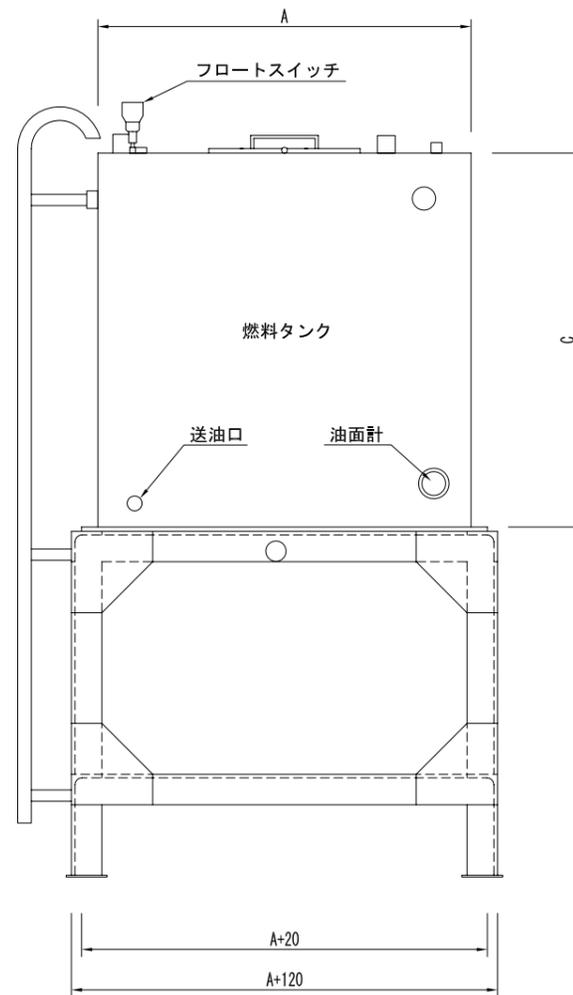
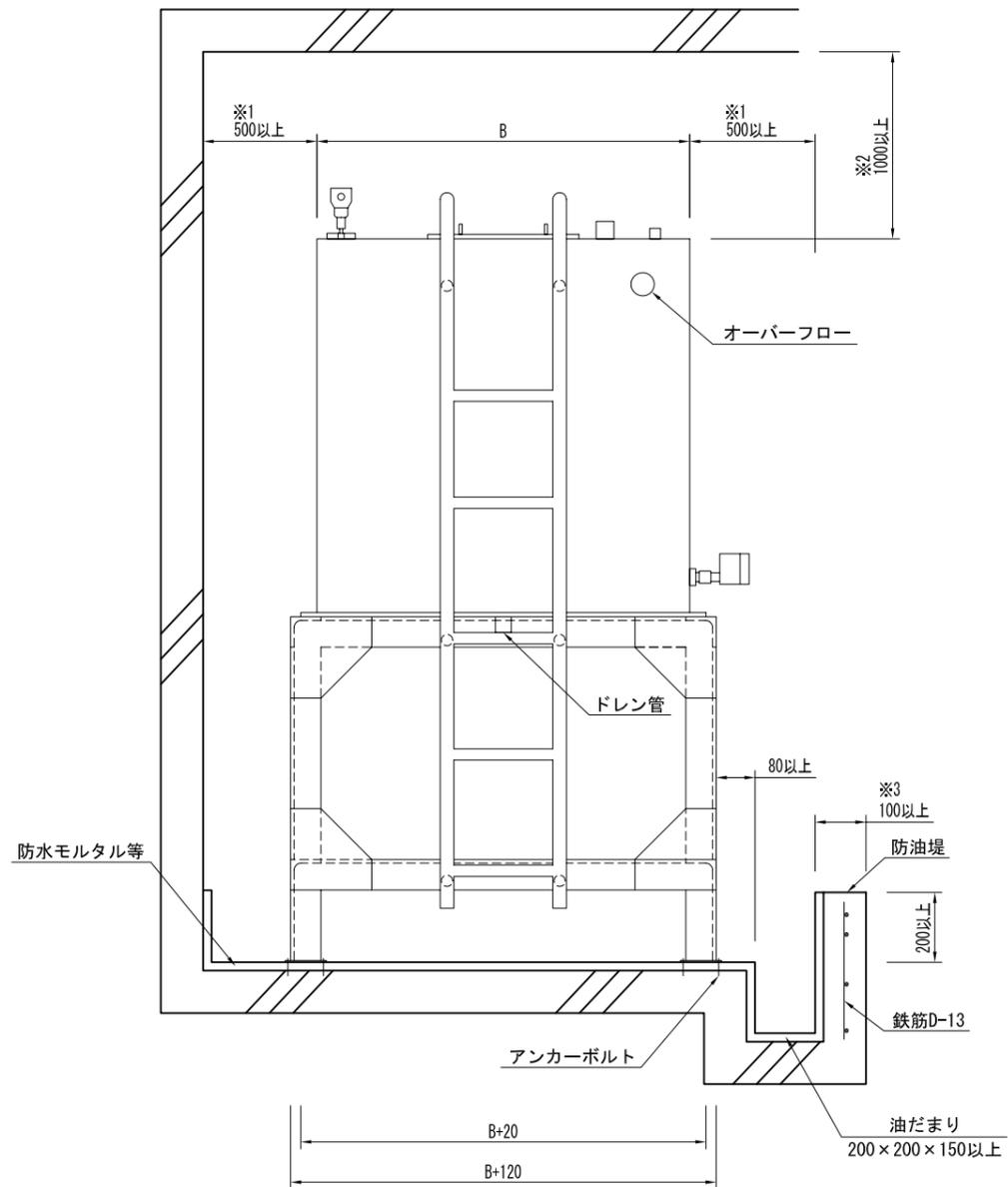
- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重2000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリ又はちょう番で連結する。  
 (4) ふたの様子は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。  
 (5) N2K-12のふたは2分割でもよい。

- [備考] (1) ふた中央部に直径150φの加圧面で耐荷重試験を行った時、破壊荷重8000kg以上とする。  
 (2) 簡易防水形とする。  
 (3) 枠とふたをクサリ又はちょう番で連結する。  
 (4) ふたの様子は、一例を示す。  
 (5) ふたはリブなしを示すが、リブ付でもよい。  
 (5) N8K-12のふたは2分割でもよい。

## 1 3 - 3 . 予備発電設備

燃料小出槽設置要領図

型式



燃料タンク外形寸法

容量	Amm	Bmm	Cmm	質量(約)
390ℓ	700	800	790	105kg
400ℓ	700	800	807	110kg
490ℓ	700	800	995	130kg
600ℓ	800	900	955	200kg
700ℓ	900	1000	890	240kg
800ℓ	900	1000	1015	280kg
900ℓ	700	1200	1225	290kg

(注)

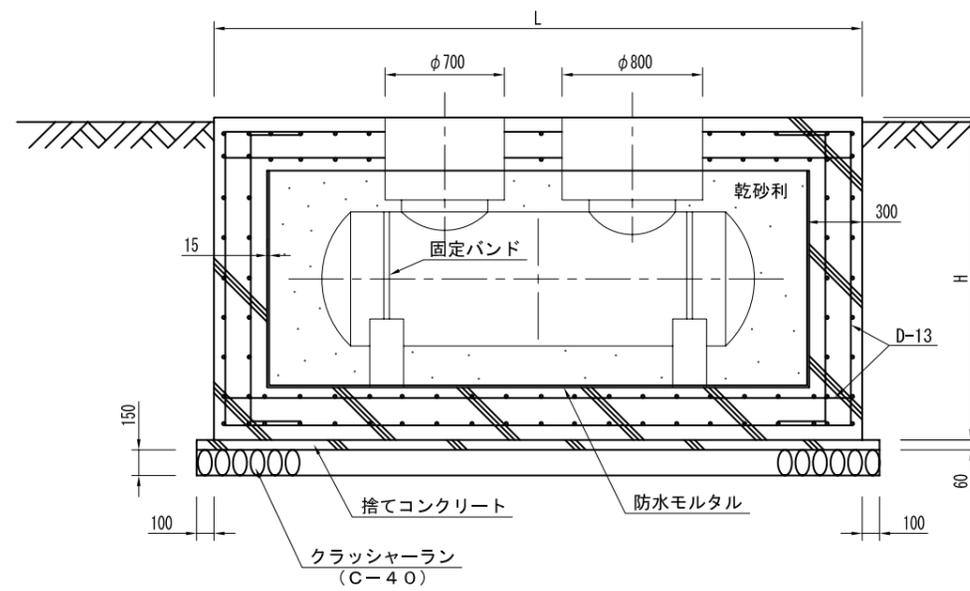
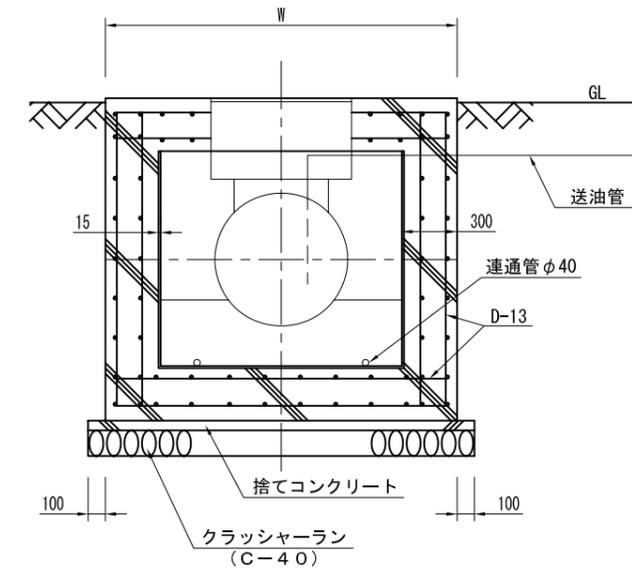
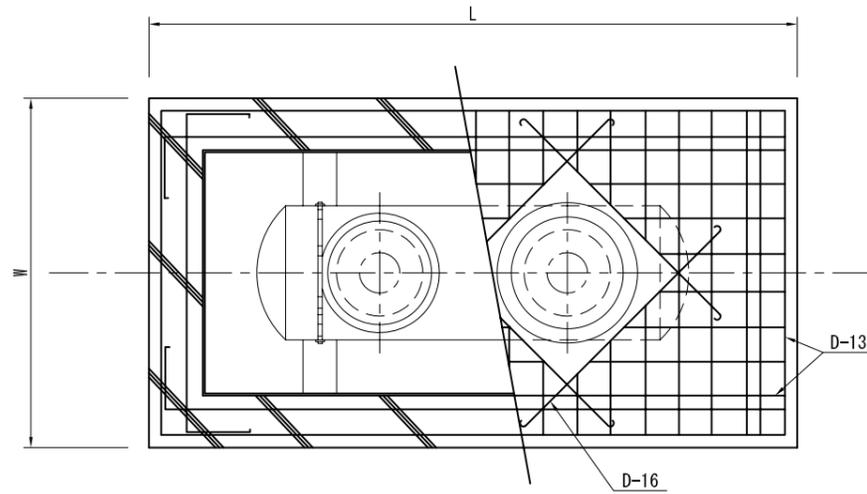
- ※1 条例により検討する。
- ※2 メンテナンススペースを確保する。
- ※3 コンクリート又はコンクリートブロックの場合。

[備考]

- (1) 防油堤により貯められる油量は、燃料小出槽の容量以上となるようにする。
- (2) 架台は、燃料小出槽のみの場合とする。
- (3) 図は、一例を示す。

地下貯油槽設置図

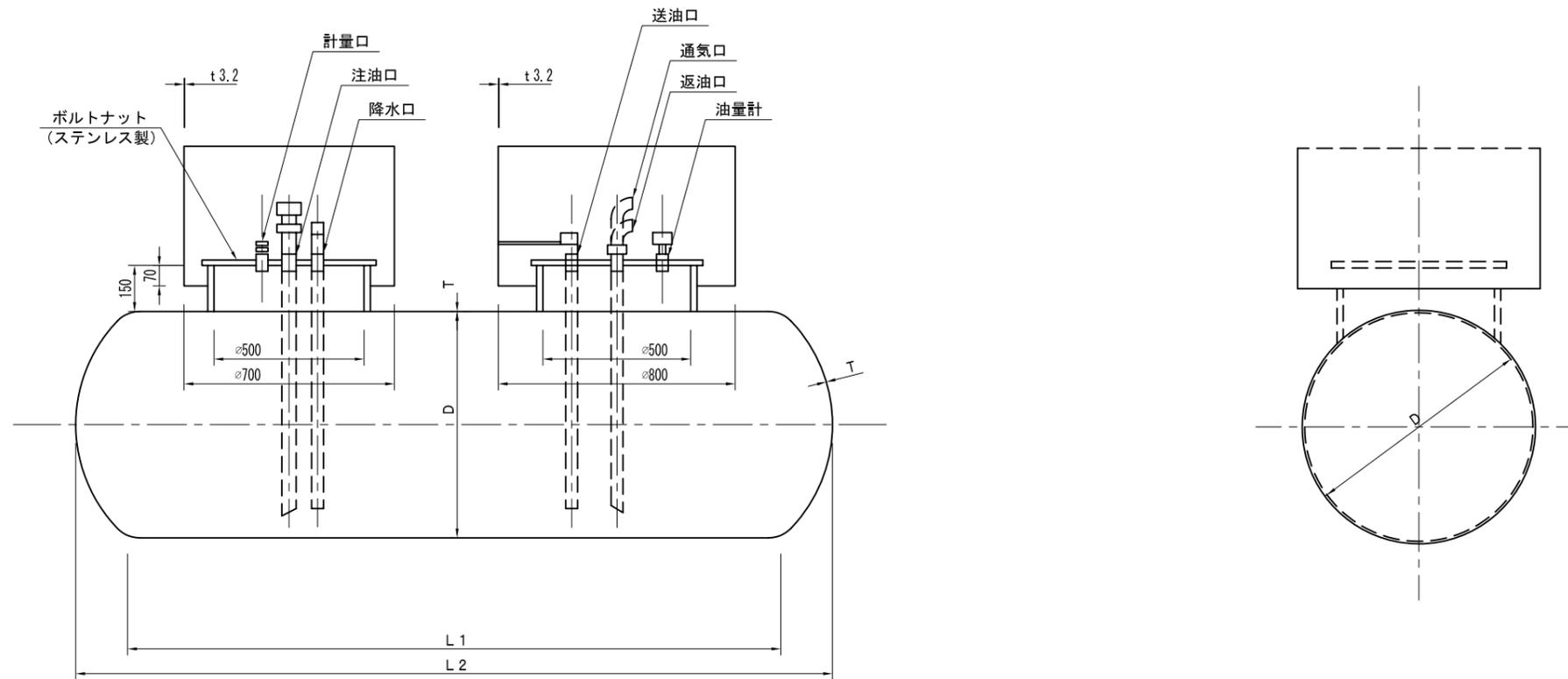
型式



地下燃料貯油槽タンク室の寸法

(単位：mm)

容量 (ℓ)	L	W	H
950	3800	2000	1850
1500	4300	2100	1950
1900	4350	2200	2050
3000	4450	2450	2300
4000	4800	2550	2400
5000	5600	2550	2400



燃料貯油槽（地下貯油槽）各部の標準寸法

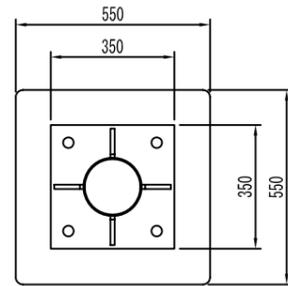
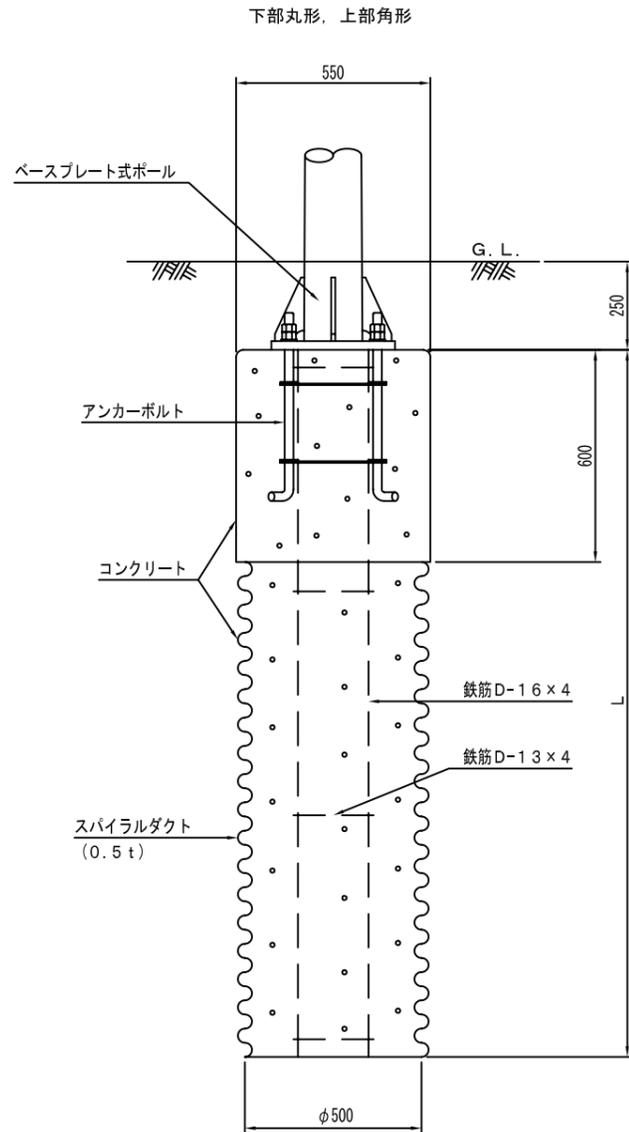
(単位mm)

容量 ( $\ell$ )	D	L 1	L 2 (参考寸法)	T	注油口 (A)	計量口 (A)	送油口 (A)	返油口 (A)	通気口 (A)	降水口 (A)
950	750	2200	2540	4.5	65	32	25	40	32	40
1500	850	2700	3080	4.5	65	32	25	40	32	40
1900	950	2700	3120	6.0	65	32	25	40	32	40
3000	1200	2700	3218	6.0	65	32	25	40	32	40
4000	1300	3000	3556	6.0	65	32	25	40	32	40
5000	1300	3800	4356	6.0	65	32	25	40	32	40

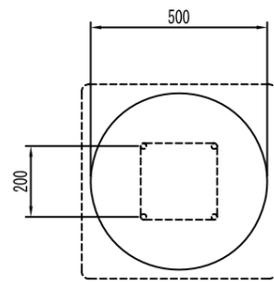
## 1 4 . 道路照明設備

照明柱基礎図

型式 土工部

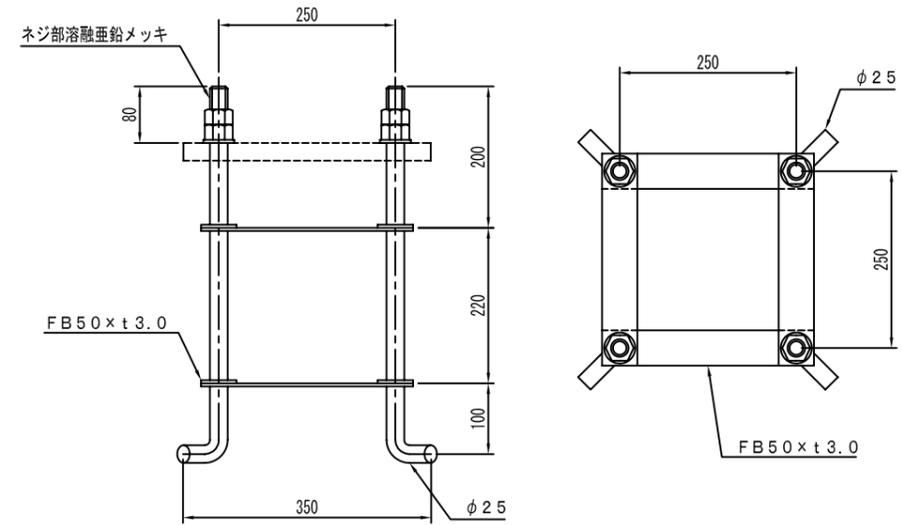


上部断面



下部断面

アンカーボルト構造図

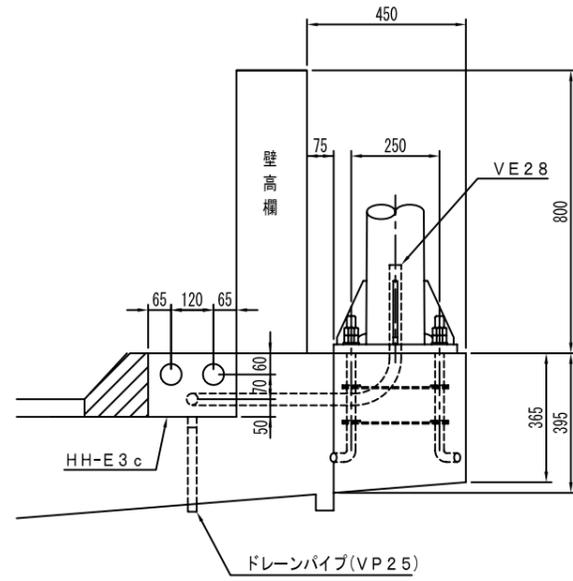


記号	ポール規格	L (mm)	材料表 (1基当たり)				アンカーボルト一式重量 (kg)
			コンクリート (18-8-40) (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	スパイラルダクト (mm)	鉄筋 13 (kg)	
B-1	8m型	1,600	0.38	1.32	1,000	3.18	9.98
B-2	10m型	2,100	0.48		1,500		13.1
B-3	12m型	2,400	0.54		1,800		14.98
B-4	8m Y型	1,800	0.42		1,200		11.23
B-5	10m Y型	2,100	0.48		1,500		13.1
B-6	12m Y型	2,400	0.54		1,800		14.98
B-7	8 ASB	1,500	0.36		900		9.36
B-8	10 ASB	1,700	0.40		1,100		10.61
B-9	12 ASB	2,000	0.46		1,400		12.48
B-10	8.1 ASYB	1,600	0.38		1,000		9.98
B-11	10.1 ASYB	1,800	0.42		1,200		11.23
B-12	12.1 ASYB	2,100	0.48		1,500		13.1

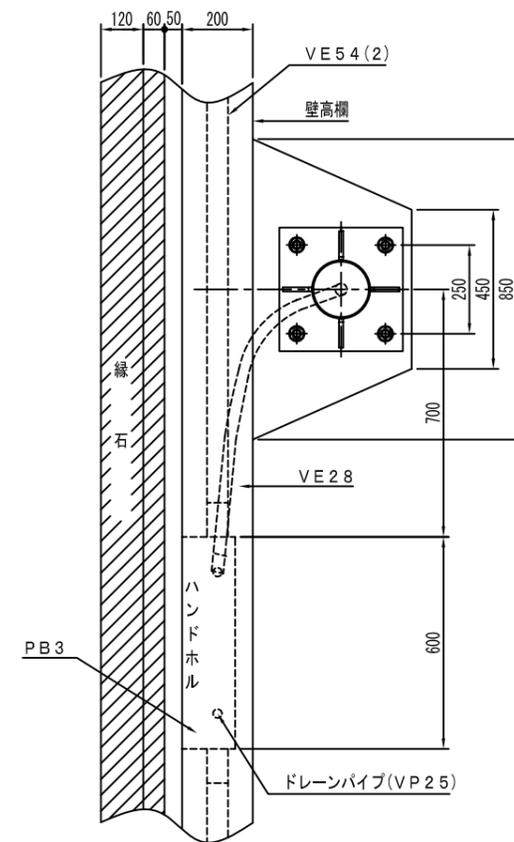
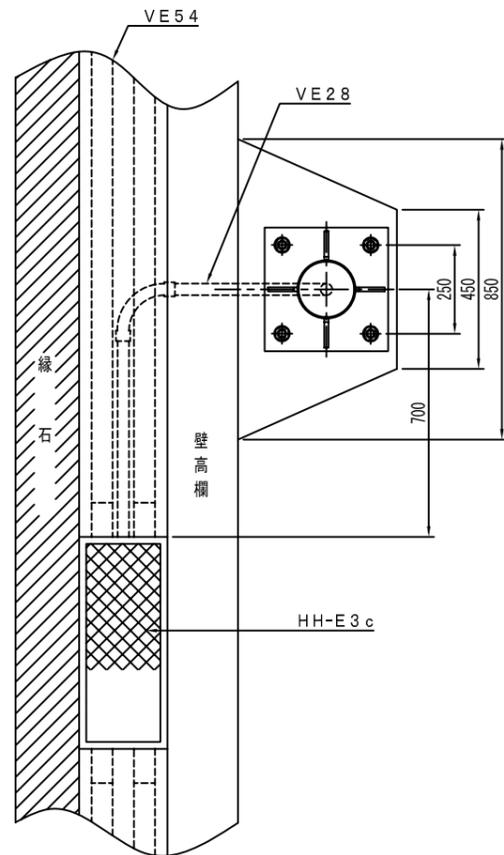
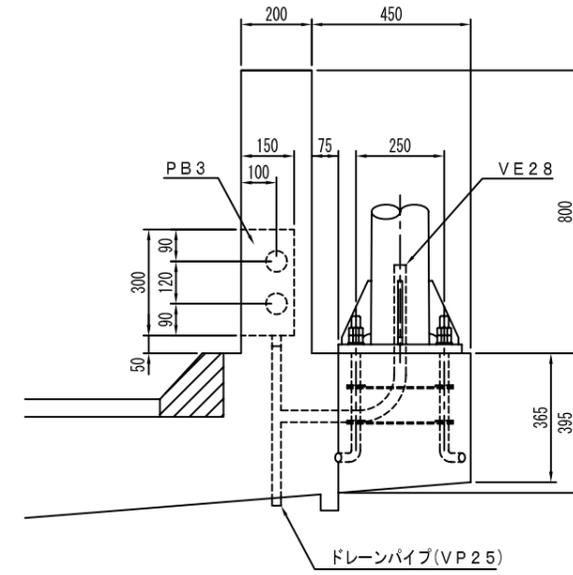
1. 上部は角形基礎とし、アース・オーガによる機械掘削の場合とする。
2. アンカーボルトは、ダブルナット及びワッシャー付とする。
3. アンカーボルト一式重量はアンカーボルト(4本)及び平鋼を含む重量とする。
4. 設置場所が歩道等でベースプレートが通行に支障がある場合はグリスキップをかぶせて埋設することが出来る。
5. アンカーボルトのネジ部の溶融亜鉛メッキは、JIS H8641 2種 (HDZ55)とする。

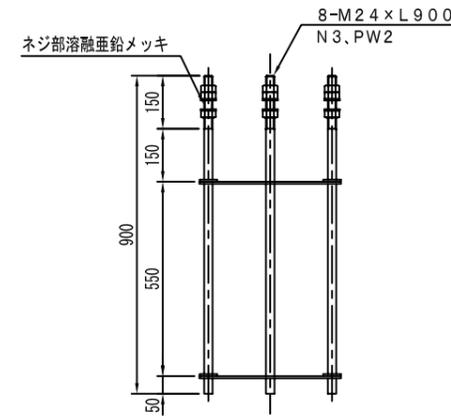
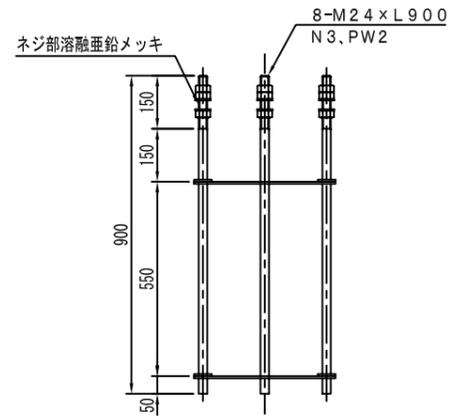
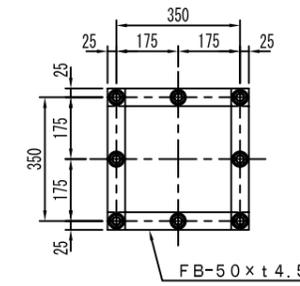
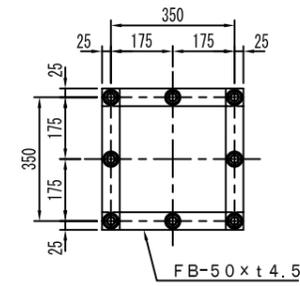
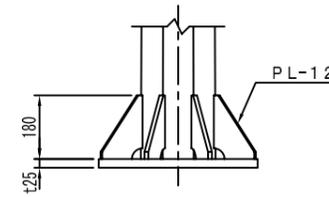
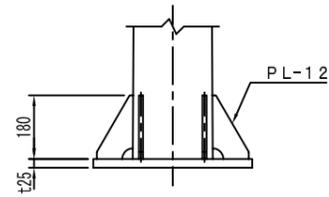
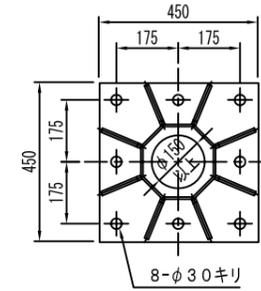
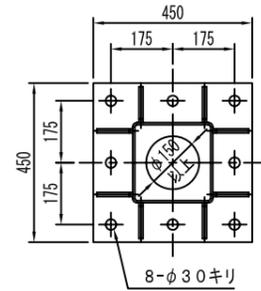
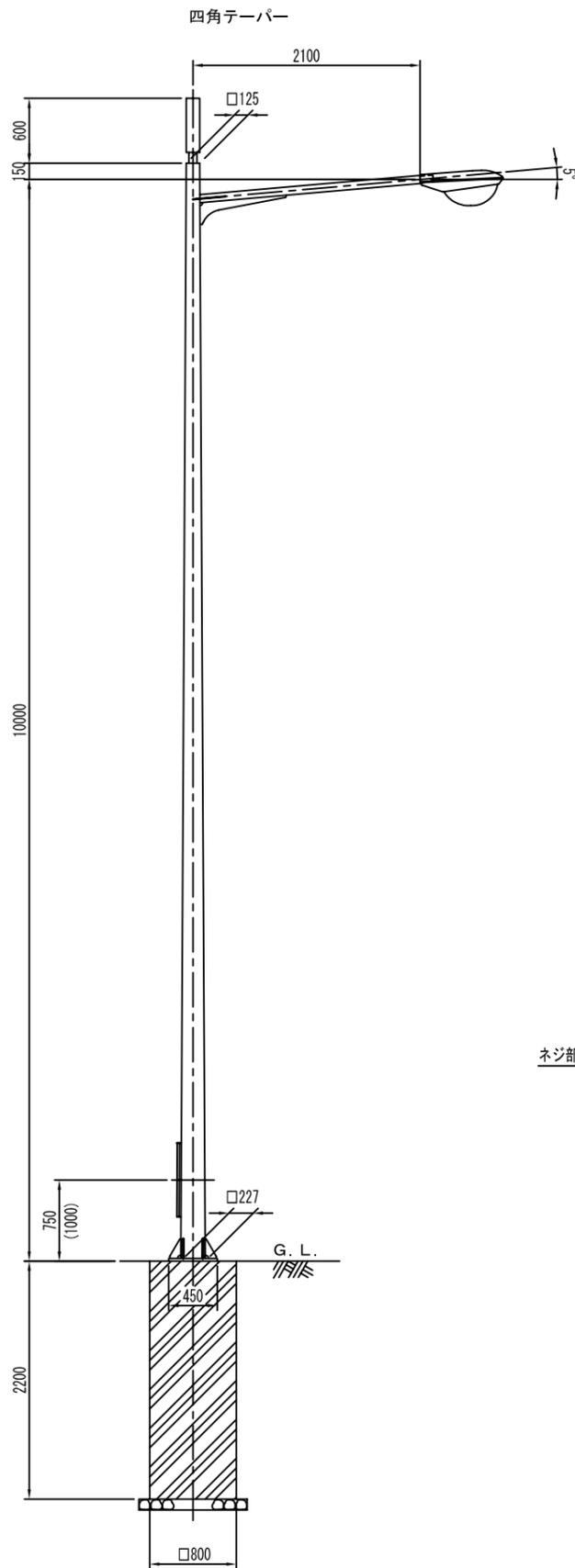
照明柱基礎図		
型式	橋梁高架部	

取付詳細図 1



取付詳細図 2



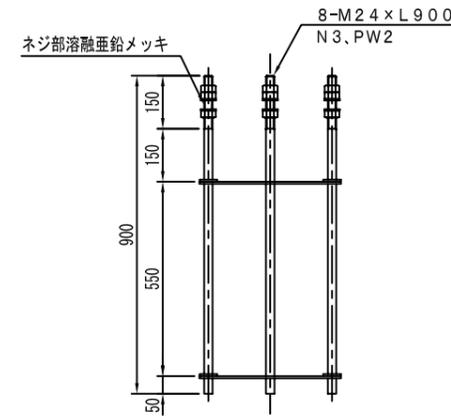
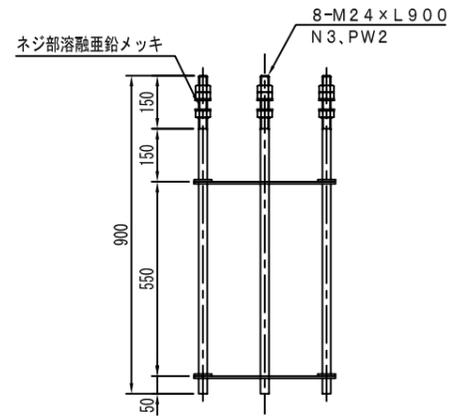
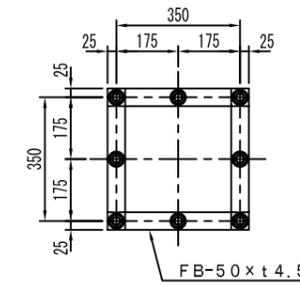
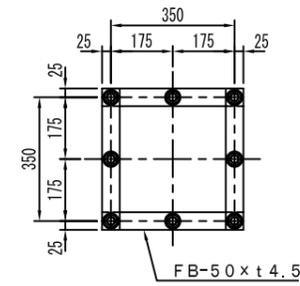
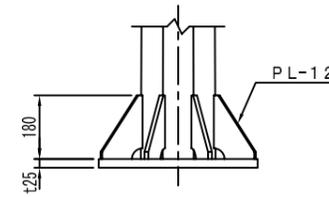
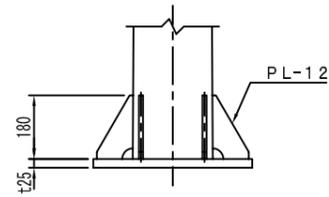
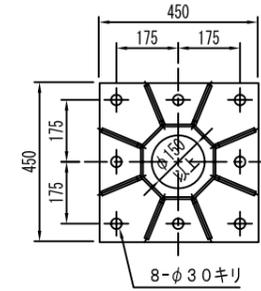
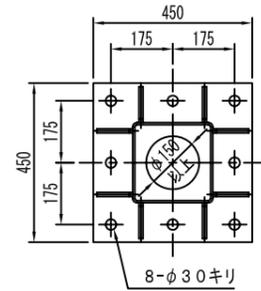
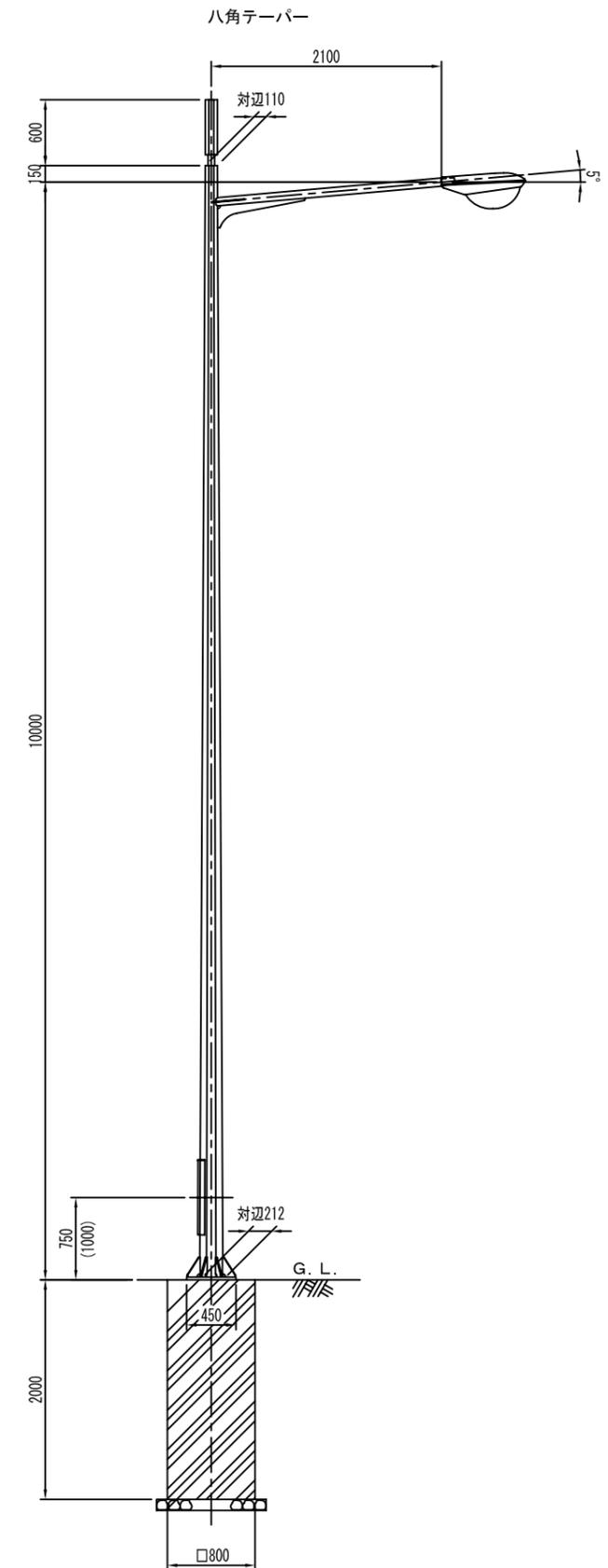


アンカーフレーム詳細図

アンカーフレーム詳細図

ネジ部の溶融亜鉛メッキは、J I S H 8 6 4 1 2種(HDZ 35) とする

(注) ( ) はベースプレートを埋設の場合



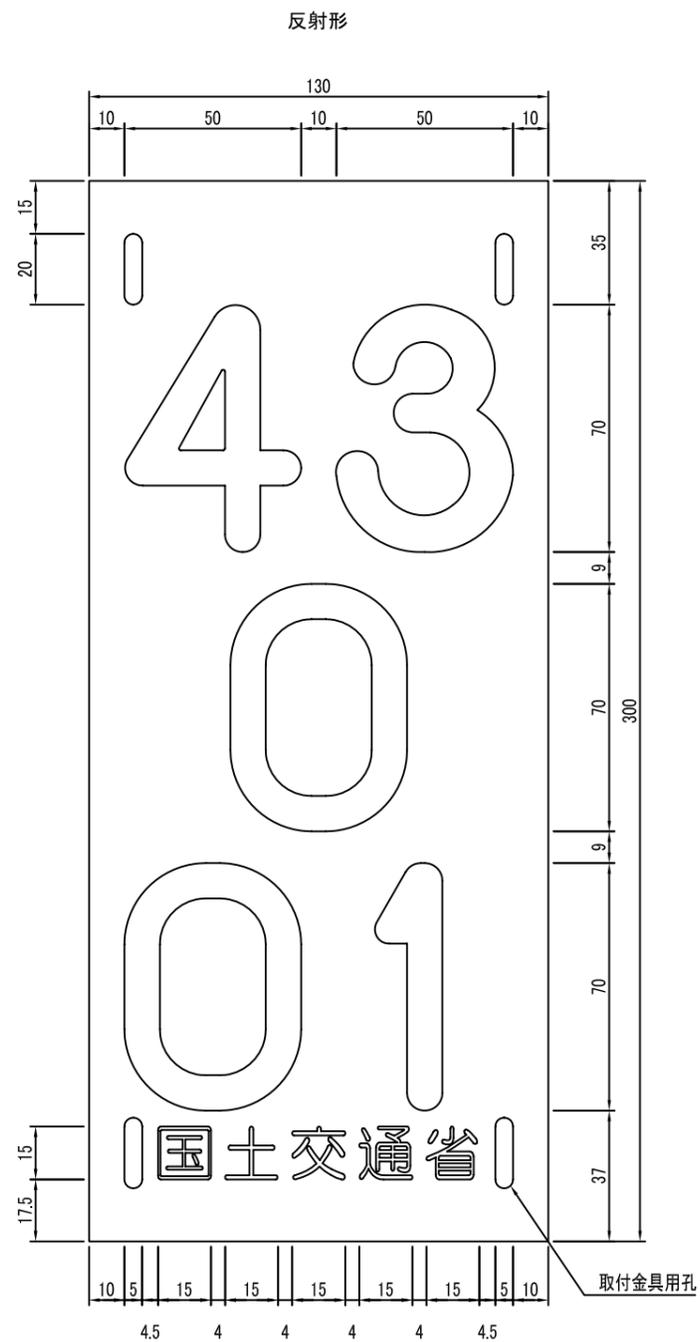
アンカーフレーム詳細図

アンカーフレーム詳細図

ネジ部の溶融亜鉛メッキは、J I S H 8 6 4 1 2種(HDZ 35) とする

(注) ( ) はベースプレートを埋設の場合

型式

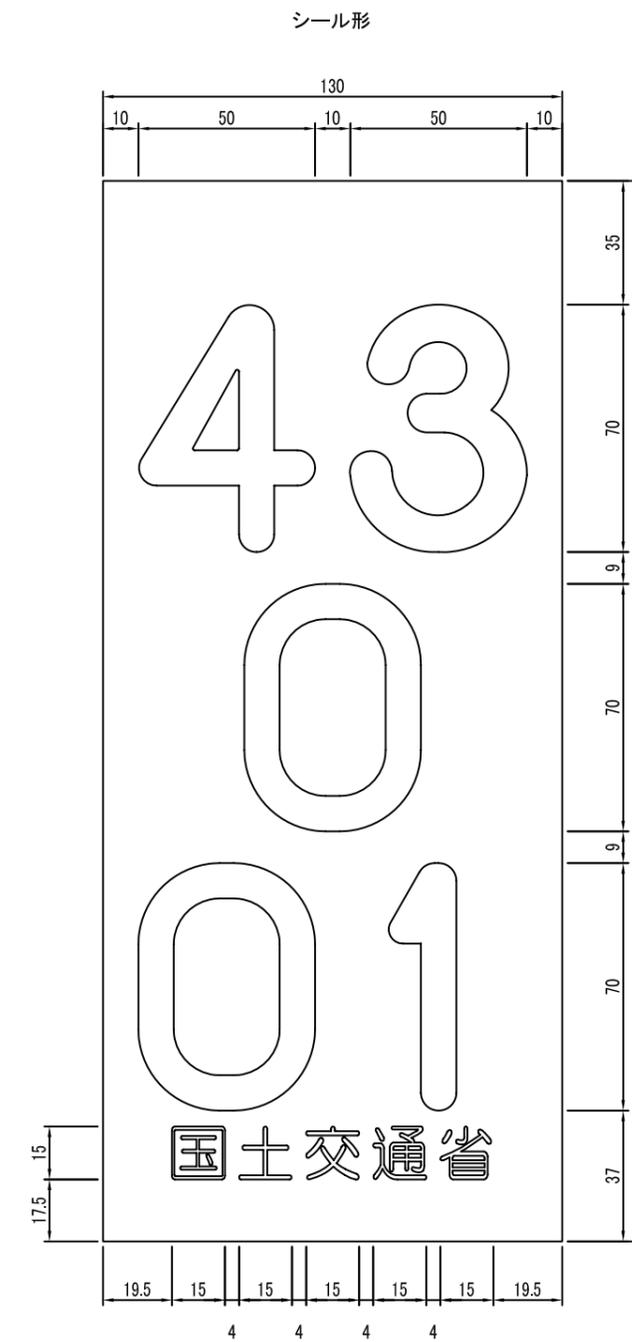


備考

- イ 上段の数字は号線別の地点距離で表す(km)。3桁距離の場合は下位2桁で整理する。
  - ロ 中段の数字は地点距離で100m単位に上位1桁で整理する。
  - ハ 下段数字の2桁目は設置場所別番号とする。
- |     |   |      |   |
|-----|---|------|---|
| 一般部 | 0 | 中央部  | 1 |
| 側道部 | 2 | 側々道部 | 3 |
| 取付部 | 4 | I.C部 | 5 |
- ニ 下段数字の1桁目は灯数番号とする。  
ロに設置している灯数番号で、通し番号で次のように整理する。
- |       |        |               |
|-------|--------|---------------|
| 上り車線側 | 始点より偶数 | 0, 2, 4, 6, 8 |
| 下り車線側 | 始点より奇数 | 1, 3, 5, 7, 9 |

仕様

1. 材質：アルミ板、厚さ0.5mm
2. 数字：横50mm、縦70mm丸ゴシック体、太さ1.0mm赤色  
(文字貼付後コーティングによる仕上)
3. この管理番号は、照明ポール、電柱等の構造物に取付けるもので材質がアルミ板の場合は取付金具(バンド)はステンレス製品とする
4. 現地表示高さは、照明ポール等道路管理者のものには、2.5m、その他電柱等管理者以外のは別途指示する



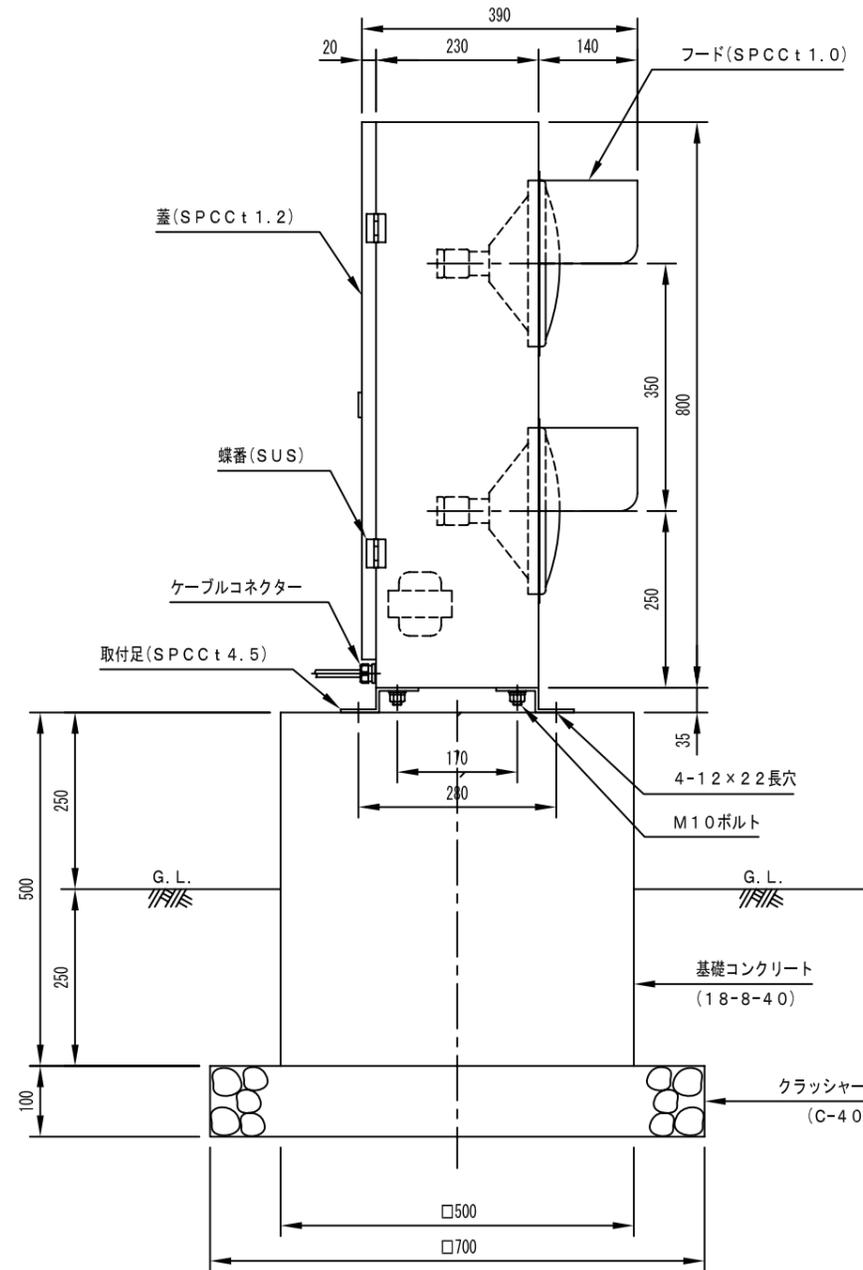
仕様

1. 材質：スコッチカルシート(白色)
2. 文字：丸ゴシック体(黒色)
3. 数字：丸ゴシック体(赤色)
4. 耐候性ポールは別途指示

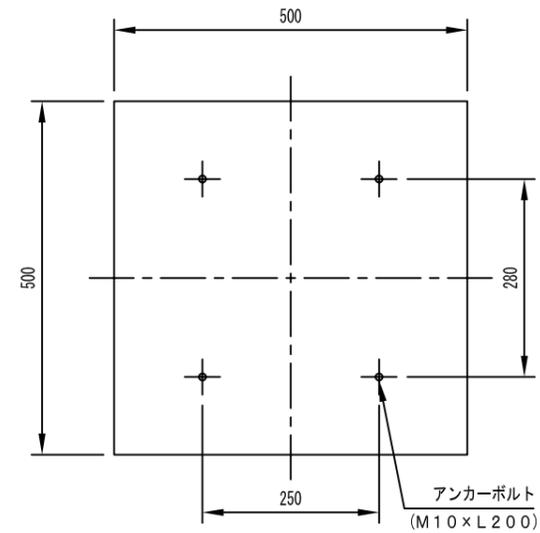
プリンカーライト外形図

型式	自立式	白熱灯
----	-----	-----

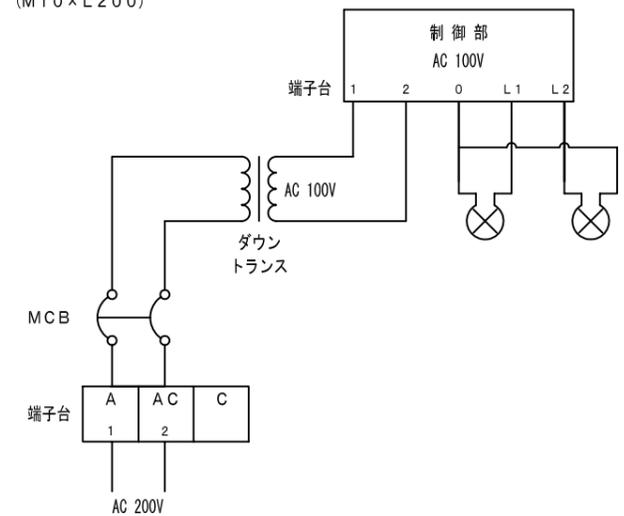
プリンカーライト姿図



基礎標準ピッチ



内部結線図



仕様

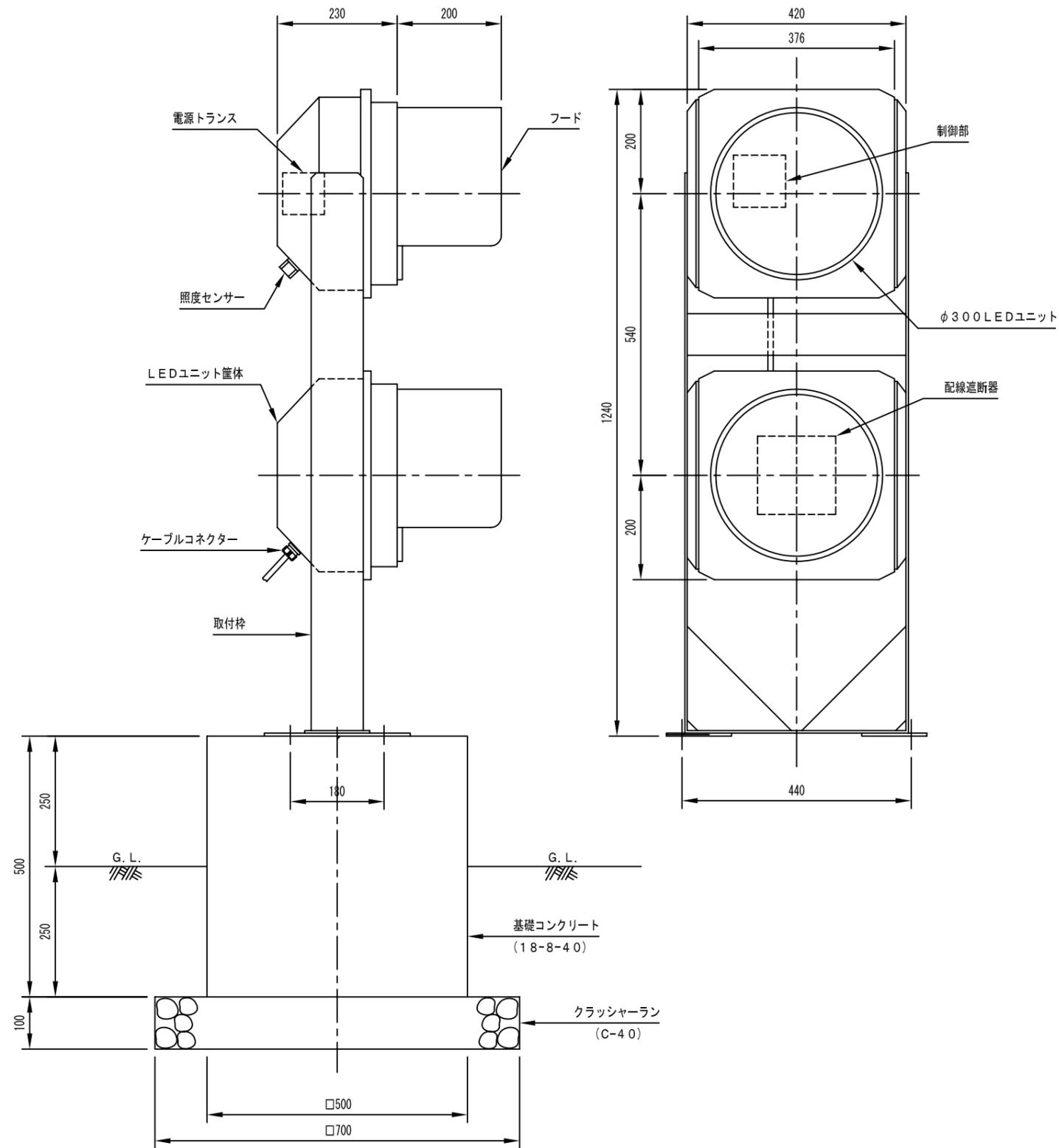
1. 電源電圧 : AC 200V
2. 点滅比及び周期 1 : 1 45 + 10回/分
3. 口出線 : 2PNCT 2芯 1.25mm<sup>2</sup>を出口より1m付属する
4. 塗装色 : マンセル記号 3.5Y8/14 (黄色)
5. 使用電球 : 100W (信号機用電球)

基礎深さ (mm)	材料表 (1基当り)		
	コンクリート (18-8-40) (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	クラッシャーラン (C-40) (m <sup>3</sup> )
500	0.125	1.00	0.05

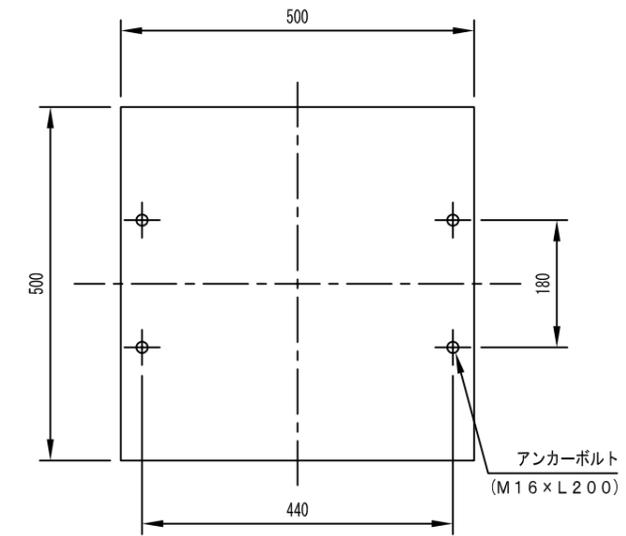
プリンカーライト外形図

型式	自立式	LED参考図
----	-----	--------

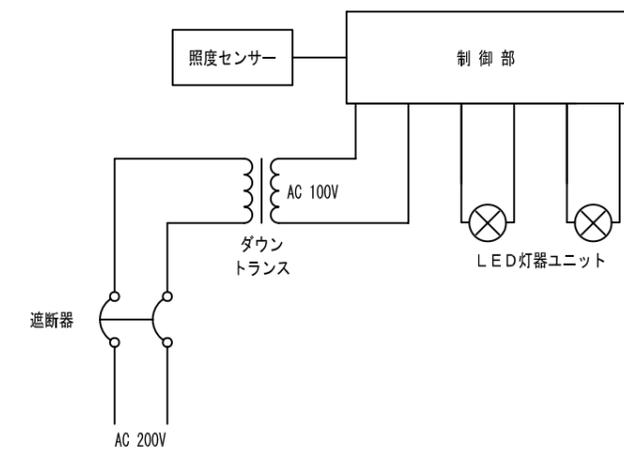
プリンカーライト姿図



基礎標準ピッチ



内部結線図



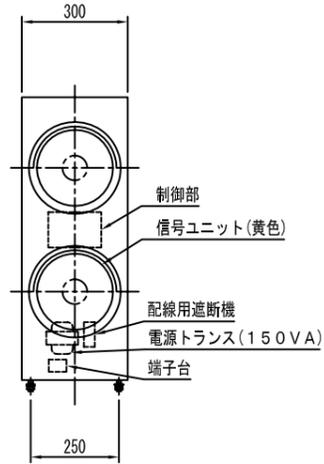
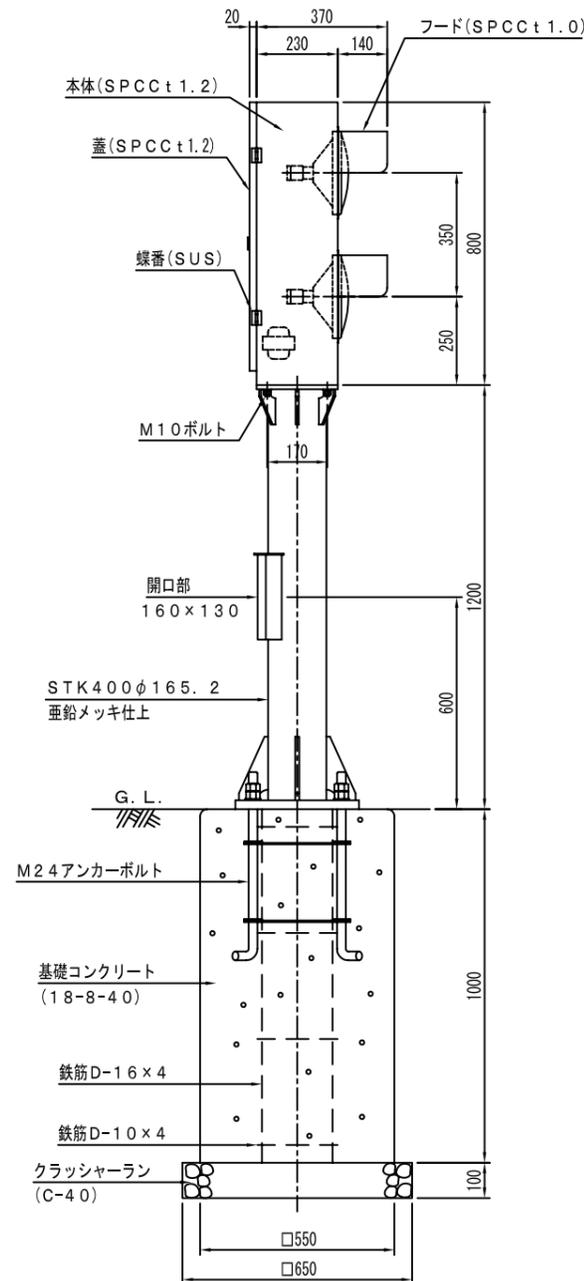
仕様

1. 電源電圧：AC200V
2. 点滅比及び周期 1：1 60±5回/分
3. 口出線：2PNCT2芯1.25mm<sup>2</sup>を出口より1m付属とする
4. 塗装色：マンセル記号3.5Y8/14(黄色)
5. 発光体：有効直径φ300mmLEDユニット

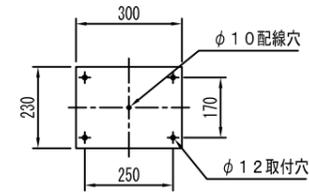
基礎深さ (mm)	材料表(1基当り)		
	コンクリート (18-8-40) (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	クラッシュラン (C-40) (m <sup>3</sup> )
500	0.125	1.00	0.05

プリンカーライト外形図		
型式	スタンド式	白熱灯

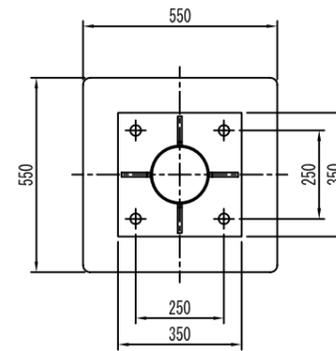
プリンカーライト姿図



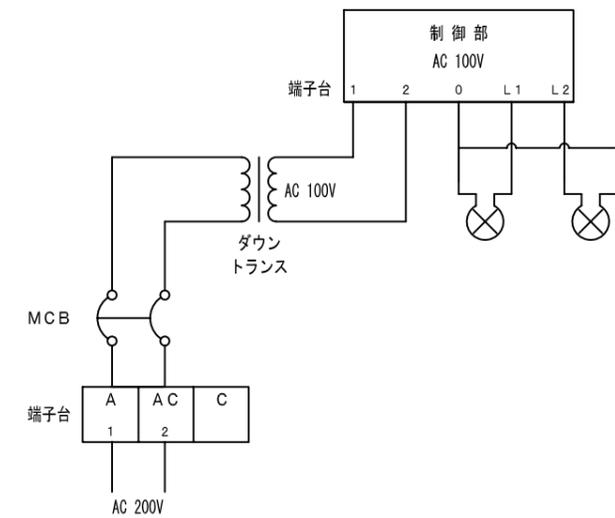
フランジピッチ



基礎上部断面



内部結線図



仕様

1. 電源電圧：AC 200V
2. 点滅比及び周期 1：1 45+10回/分
3. 口出線：2PNCT 2芯1.25mm<sup>2</sup>を出口より1m付属とする
4. 塗装色：マンセル記号3.5Y8/14(黄色)
5. 使用電球：100W(信号機用電球)

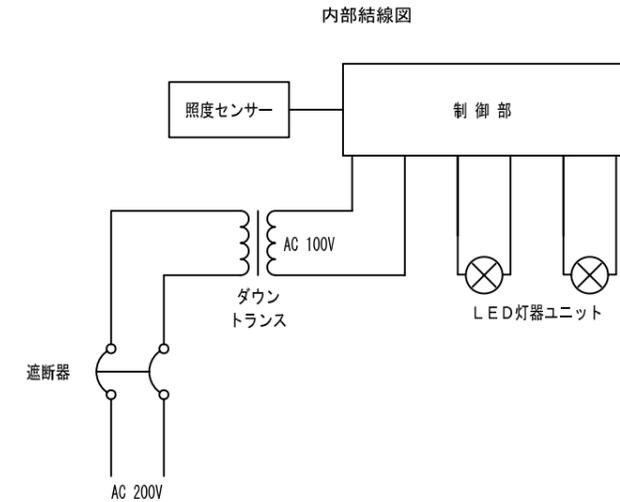
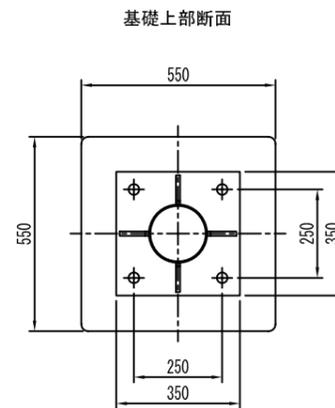
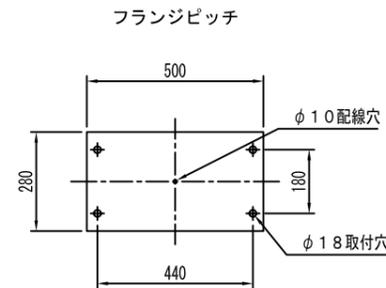
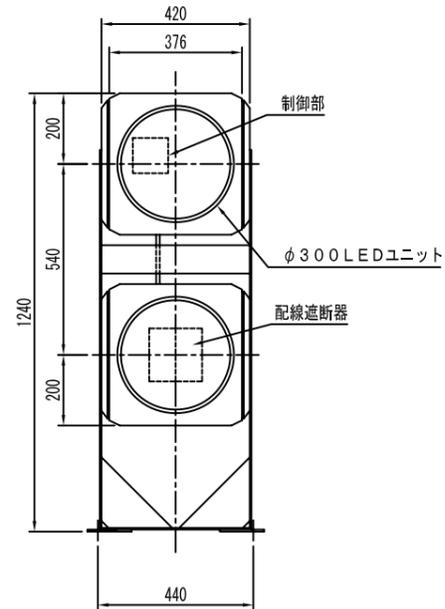
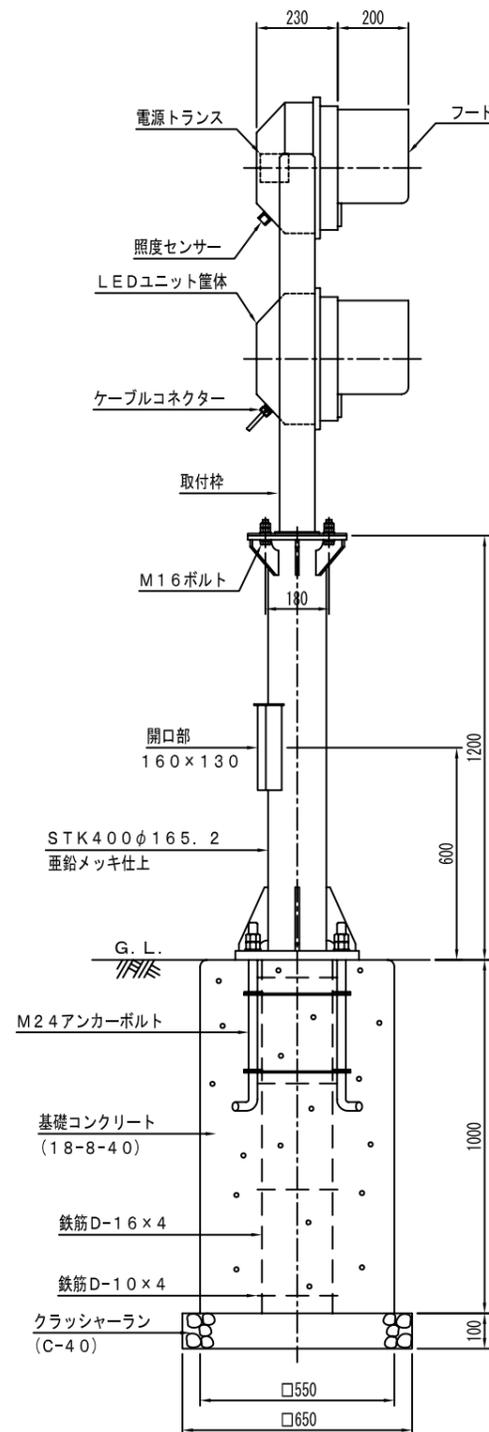
基礎深さ (mm)	材料表(1基当り)					アンカーボルト 一式重量 (kg)
	コンクリート (18-8-40) (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	クラッシャーラン (C-40) (m <sup>3</sup> )	鉄筋10 (kg)	鉄筋16 (kg)	
1,000	0.30	2.20	0.04	1.79	6.24	11.14

アンカーボルトの構造は照明柱基礎に準ずる

プリンカーライト外形図

型式	自立式	LED参考図
----	-----	--------

プリンカーライト姿図



仕様

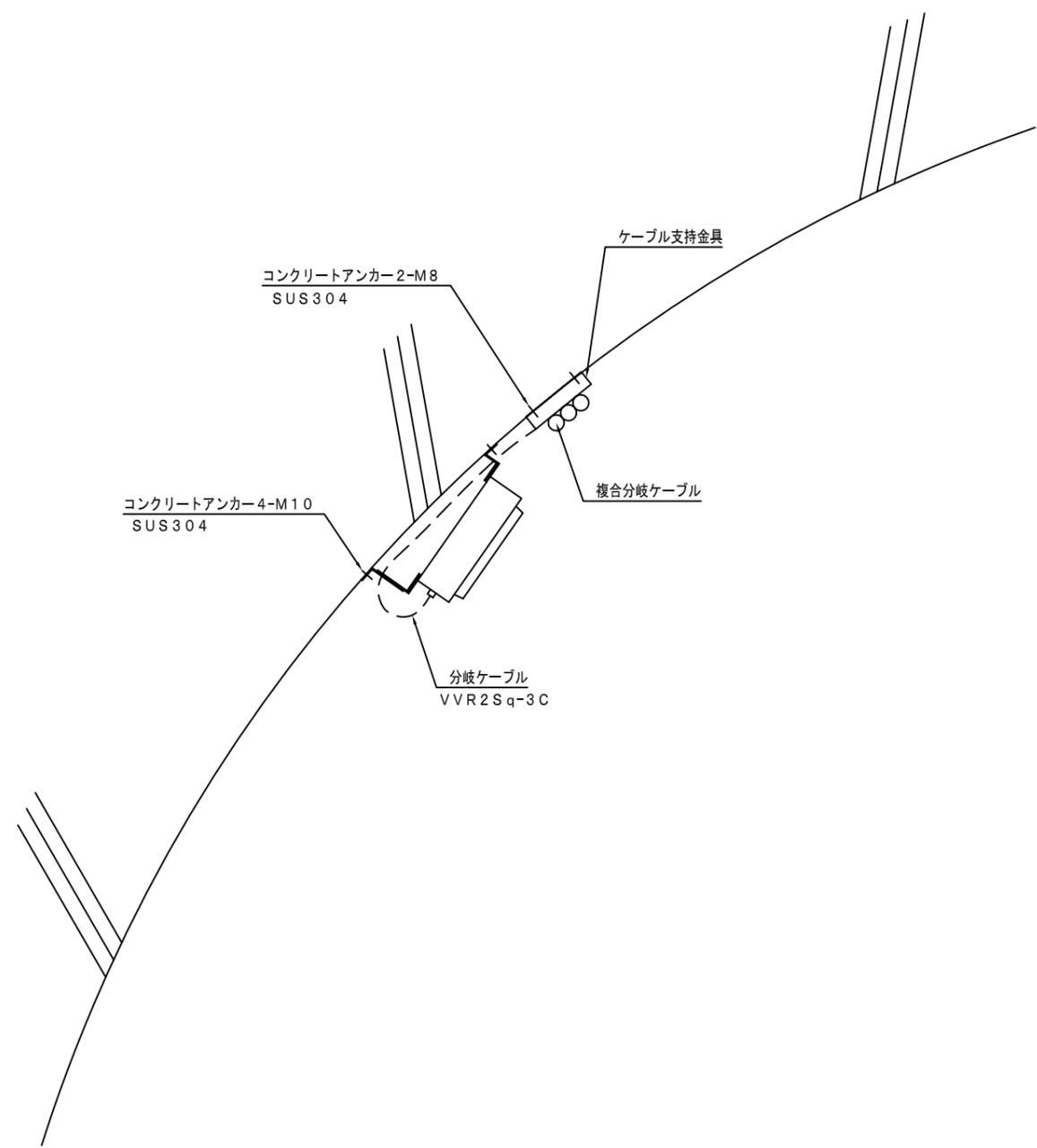
1. 電源電圧：AC200V
2. 点滅比及び周期 1：1 60±5回/分
3. 口出線：2PNCT2芯1.25mm<sup>2</sup>出口より1m付属とする
4. 塗装色：マンセル記号3.5Y8/14(黄色)
5. 発光体：有効直径φ300mmLEDユニット

基礎深さ (mm)	材料表(1基当り)					アンカーボルト 一式重量 (kg)
	コンクリート (18-8-40) (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	クラッシャーラン (C-40) (m <sup>3</sup> )	鉄筋10 (kg)	鉄筋16 (kg)	
1,000	0.30	2.20	0.04	1.79	6.24	11.14

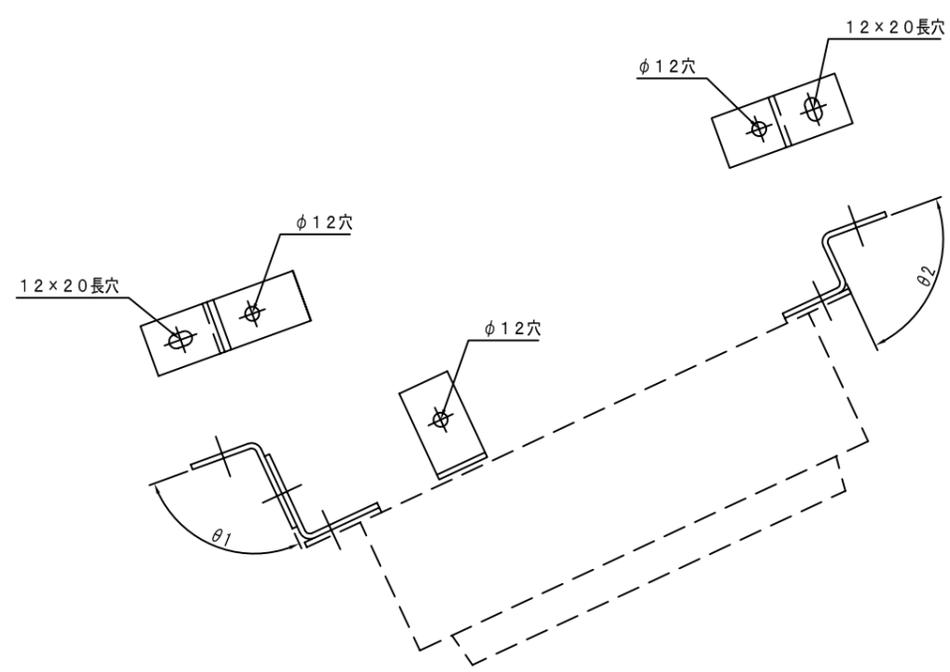
アンカーボルトの構造は照明柱基礎に準ずる

型 式	
-----	--

照明器具取付要領図



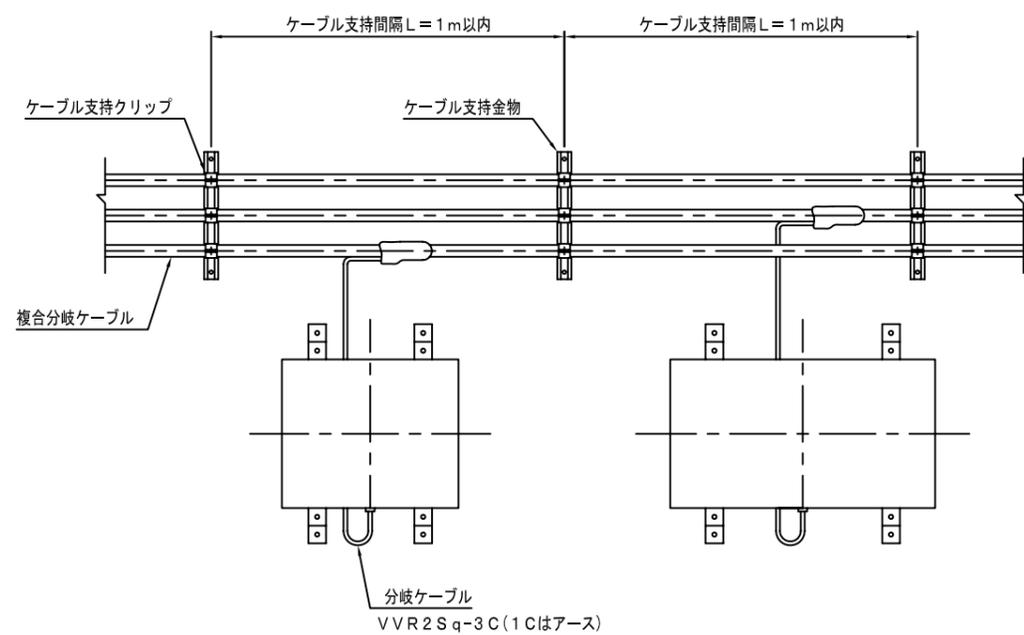
照明取付金物図



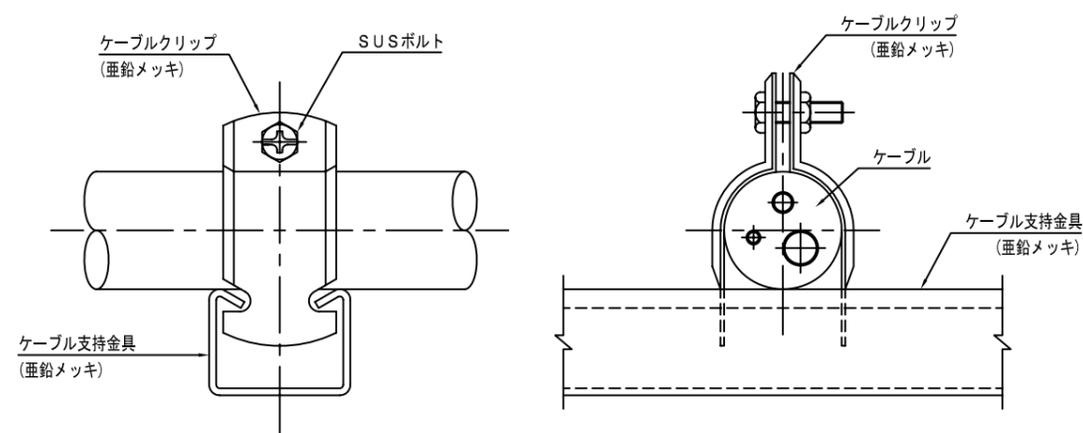
※θ1、θ2は現地合せとする

型 式	
-----	--

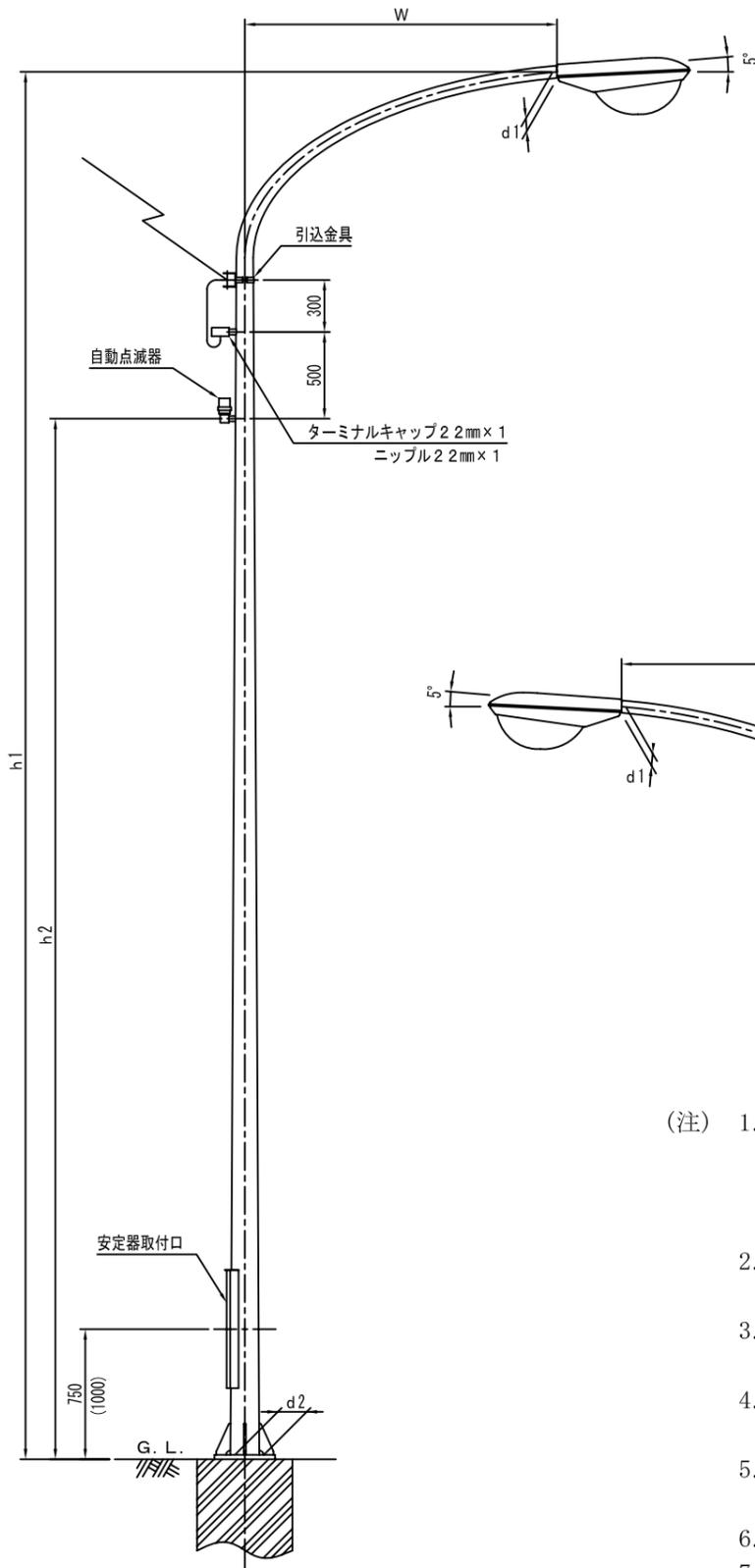
照明器具取付配線図



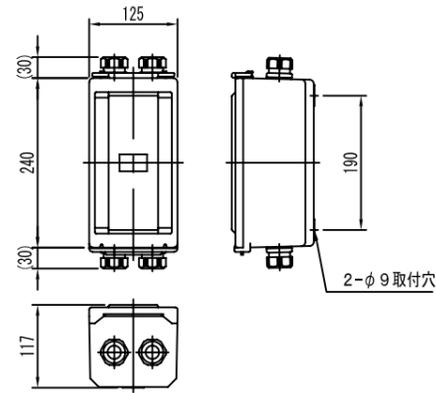
ケーブル支持クリップ図



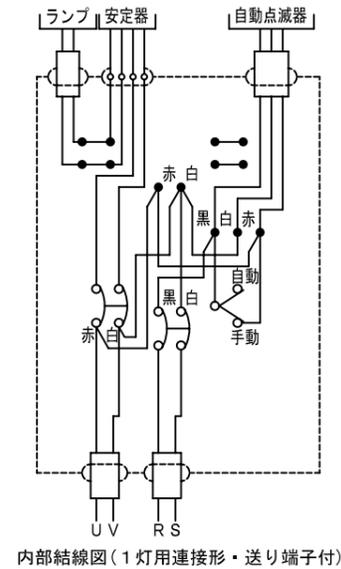
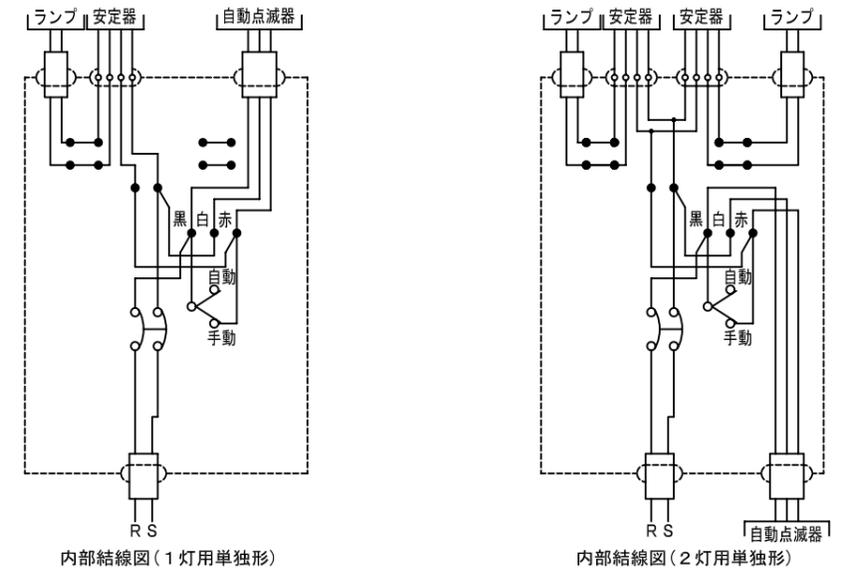
ポール内配線図			
型式	長円形	単独型	



スイッチボックス外観図(参考図)



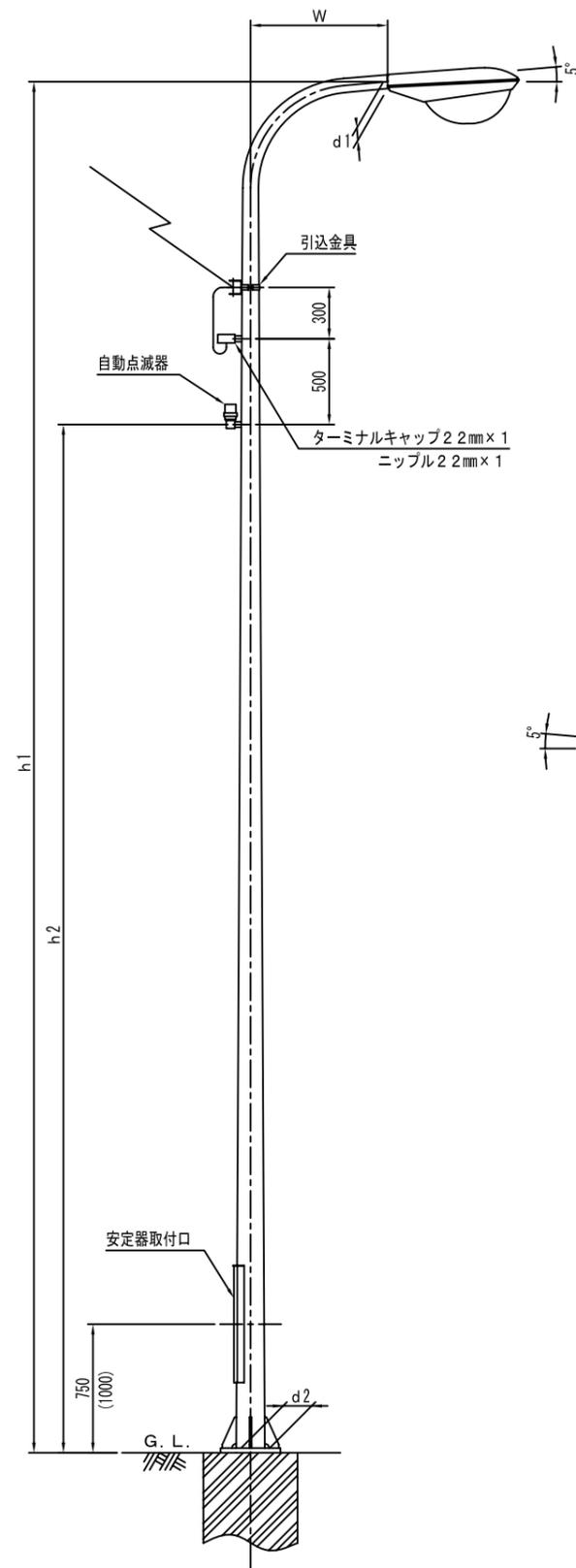
スイッチボックス結線図



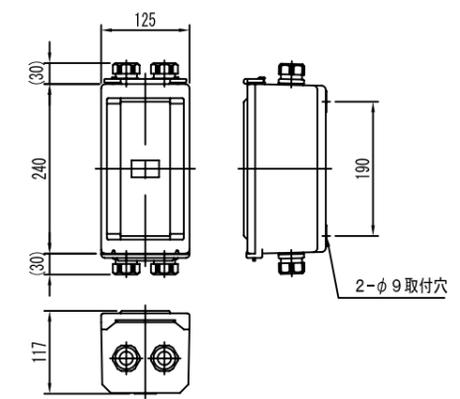
- (注) 1. 引込口からスイッチボックスまでの配線は VVR 2mm×2 芯とする。  
その他のポール内配線は VVR 1.6mm×2 芯又は 3 芯とする。  
2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。  
3. h2の取付高さを変更する場合は特記仕様により明記する。  
4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。  
5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを 0.75mとし(直線m数-0.75)とした。  
6. ( )はベースプレートを埋設の場合  
7. リード線式自動点滅器を使用する場合ケーブル引出口にターミナルキャップ(2.2mm×1)を取り付ける。

記号	ポール形式	h1	d1	d2	W	h2	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	引込回路 VVR 2mm × 2 (m)	点滅器回路 VVR 1.6mm × 3 (m)	塗装面積 (m <sup>2</sup> )
A-1	8-18B	8,000	75	167	1,800	6,000	9	6	6	3.5
A-2	8-18YB						18	6	6	4.1
A-3	10-21B	10,000	75	189	2,100	6,000	11	6	6	4.7
A-4	10-21YB						22	6	6	5.5
A-5	10-23B	10,000	75	190	2,300	6,000	11	6	6	4.8
A-6	10-23YB						22	6	6	5.6
A-7	12-23B	12,000	75	210	2,300	6,000	13	6	6	6.0
A-8	12-23YB						26	6	6	6.8
A-9	12-28B	12,000	75	213	2,800	6,000	13	6	6	6.2
A-10	12-28YB						26	6	6	7.2

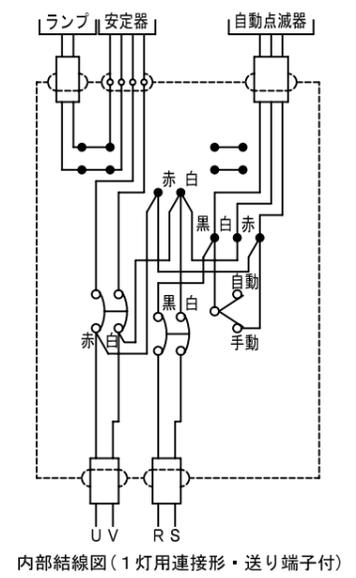
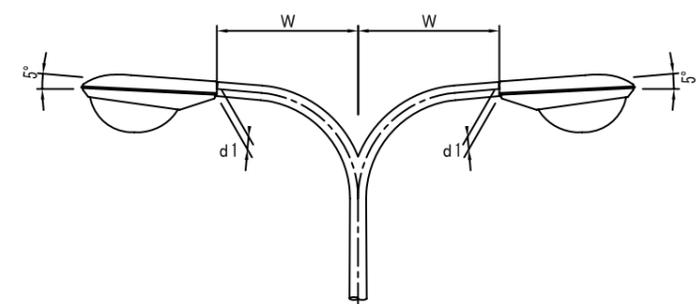
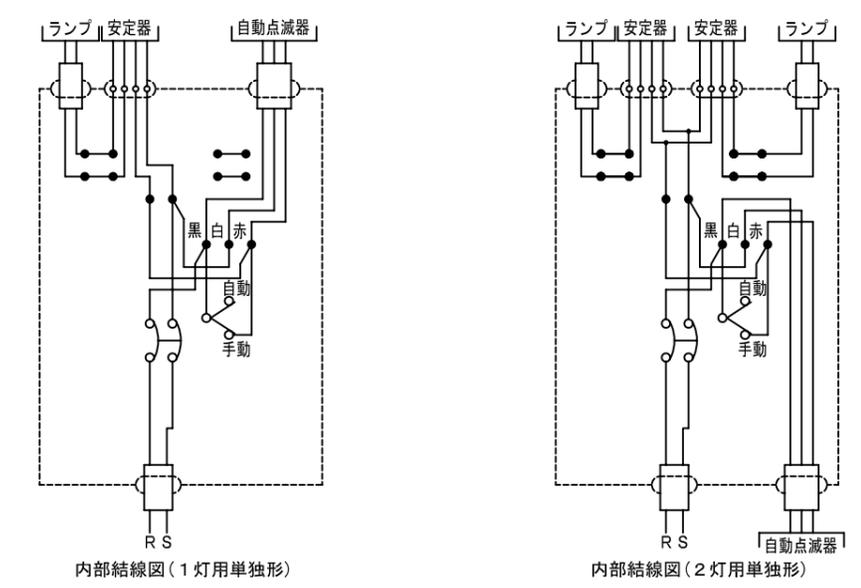
ポール内配線図		
型式	円弧形	単独型



スイッチボックス外観図(参考図)



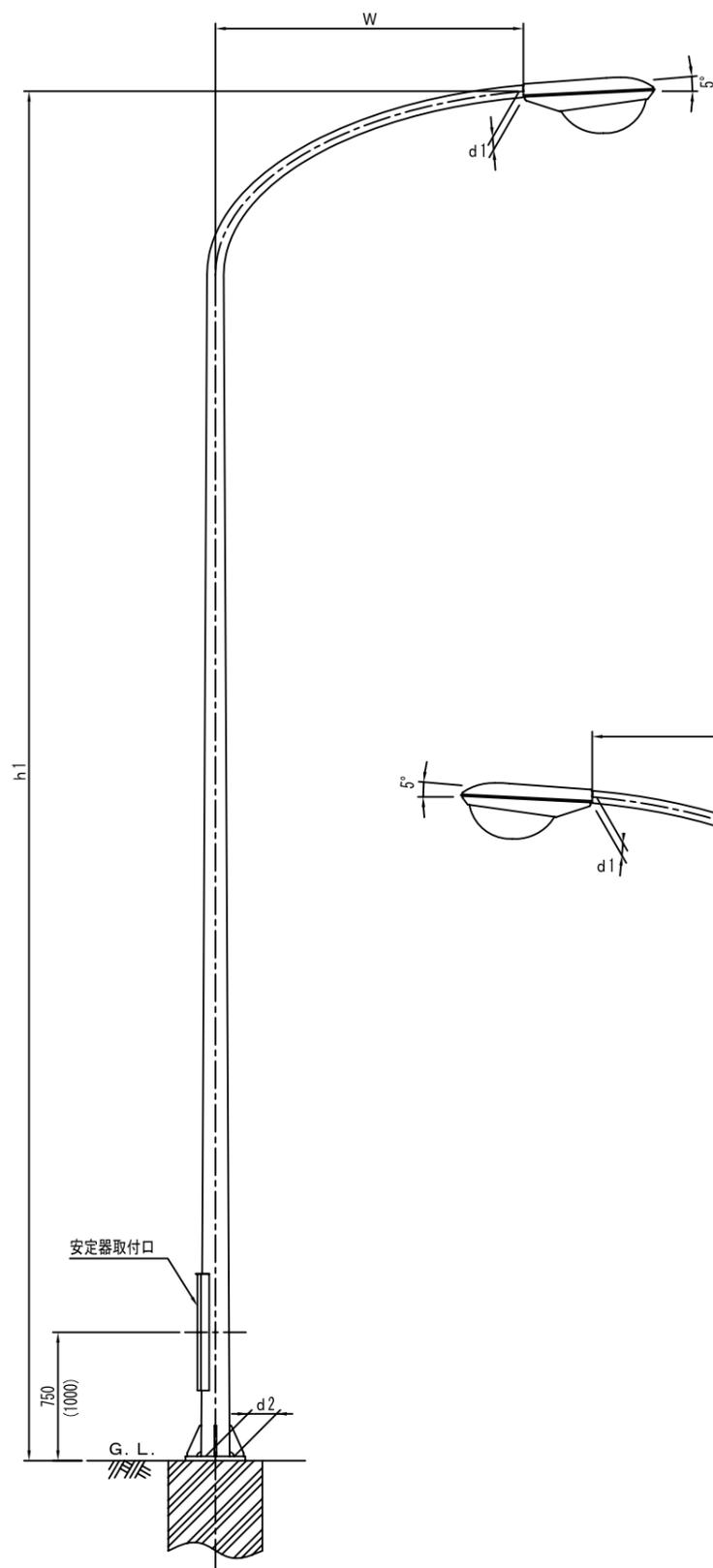
スイッチボックス結線図



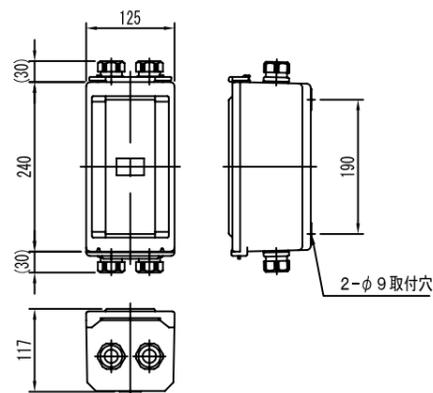
- (注) 1. 引込口からスイッチボックスまでの配線は VVR 2mm×2 芯とする。  
その他のポール内配線は VVR 1.6mm×2 芯又は 3 芯とする。  
2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。  
3. h2の取付高さを変更する場合は特記仕様により明記する。  
4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。  
5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを 0.75mとし(直線m数-0.75)とした。  
6. ( )はベースプレートを埋設の場合  
7. リード線式自動点滅器を使用する場合ケーブル引出口にターミナルキャップ(2.2mm×1)を取り付ける。

記号	ポール形式	h1	d1	d2	W	h2	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	引込回路 VVR 2mm × 2 (m)	点滅器回路 VVR 1.6mm × 3 (m)	塗装面積 (m <sup>2</sup> )
B-1	8-8 B	8,000	80	165	800	6,000	8	6	6	3.3
B-2	8-8 YB						16			
B-3	10-8 B	10,000	75	180	800	6,000	10	6	6	4.2
B-4	10-8 YB						20			
B-5	12-8 B	12,000	75	200	800	6,000	12	6	6	5.4
B-6	12-8 YB						24			

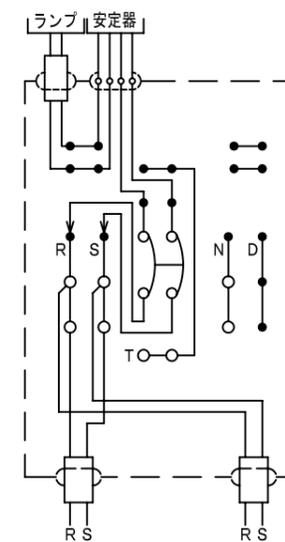
ポール内配線図		
型式	長円形	連続型



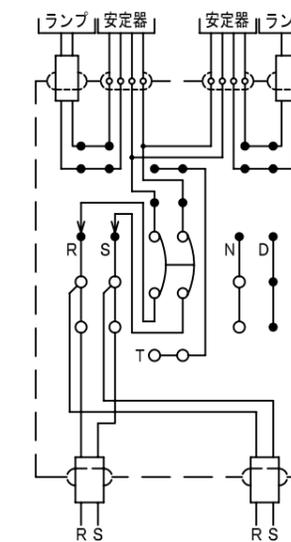
スイッチボックス外観図(参考図)



スイッチボックス結線図



内部結線図(1灯用接続形)

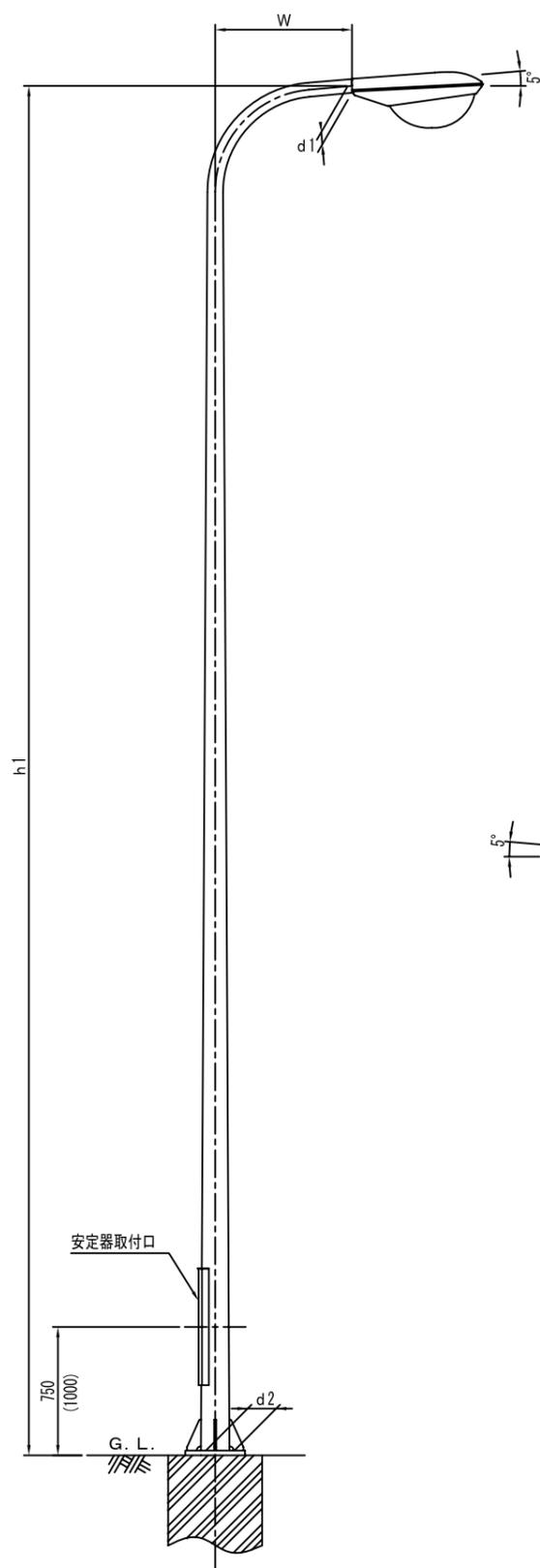


内部結線図(2灯用接続形)

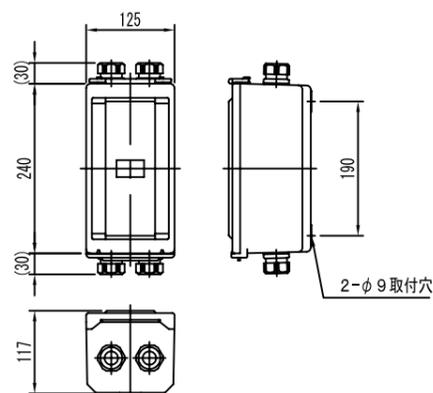
- (注)
1. ポール内配線はVVR 1.6mm×2芯とする。
  2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。
  3. 調光用安定器を使った場合のスイッチボックスは上図を参考にした結線構造とする。
  4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。
  5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを0.75mとし(直線m数-0.75)とした。
  6. ( )はベースプレートを埋設の場合

記号	ポール形式	h1	d1	d2	W	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	塗装面積 (㎡)
C-1	8-18B	8,000	75	167	1,800	9	3.5
C-2	8-18YB					18	4.1
C-3	10-21B	10,000	75	189	2,100	11	4.7
C-4	10-21YB					22	5.5
C-5	10-23B	10,000	75	190	2,300	11	4.8
C-6	10-23YB					22	5.6
C-7	12-23B	12,000	75	210	2,300	13	6.0
C-8	12-23YB					26	6.8
C-9	12-28B	12,000	75	213	2,800	13	6.2
C-10	12-28YB					26	7.2

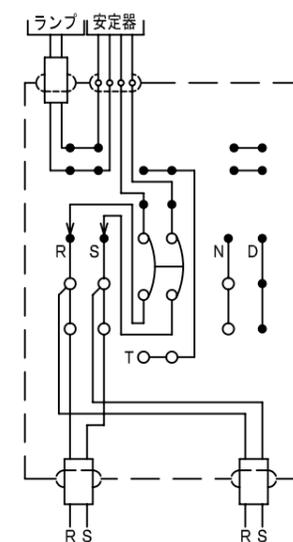
ポール内配線図		
型式	円弧形	連続型



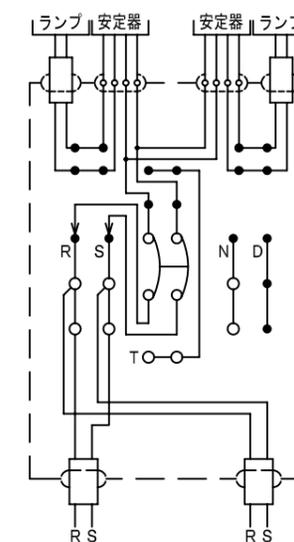
スイッチボックス外観図(参考図)



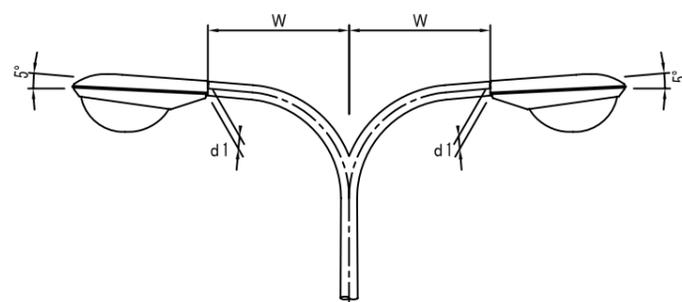
スイッチボックス結線図



内部結線図(1灯用接続形)



内部結線図(2灯用接続形)

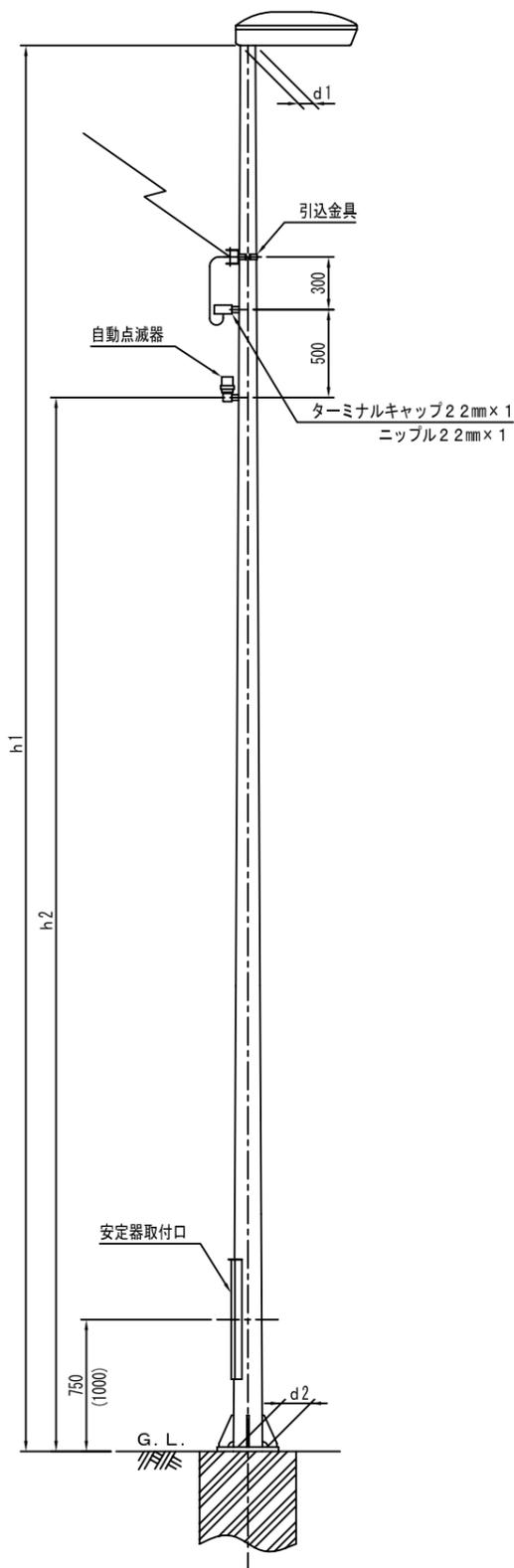


- (注) 1. ポール内配線はVVR 1.6mm×2芯とする。  
 2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。  
 3. 調光用安定器を使った場合のスイッチボックスは上図を参考にした結線構造とする。  
 4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。  
 5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを0.75mとし(直線m数-0.75)とした。  
 6. ( )はベースプレートを埋設の場合

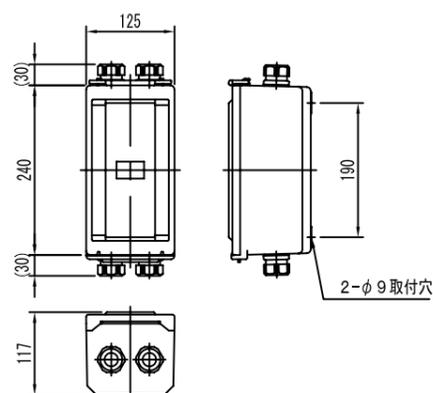
記号	ポール形式	h1	d1	d2	W	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	塗装面積 (㎡)
D-1	8-8B	8,000	80	165	800	8	3.3
D-2	8-8YB					16	3.5
D-3	10-8B	10,000	75	180	800	10	4.2
D-4	10-8YB					20	4.5
D-5	12-8B	12,000	75	200	800	12	5.4
D-6	12-8YB					24	5.6

ポール内配線図

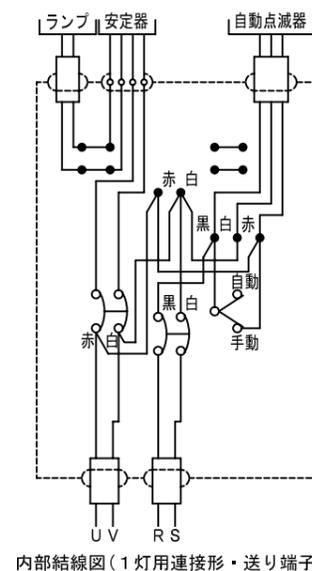
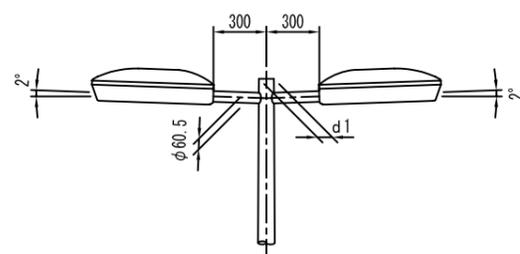
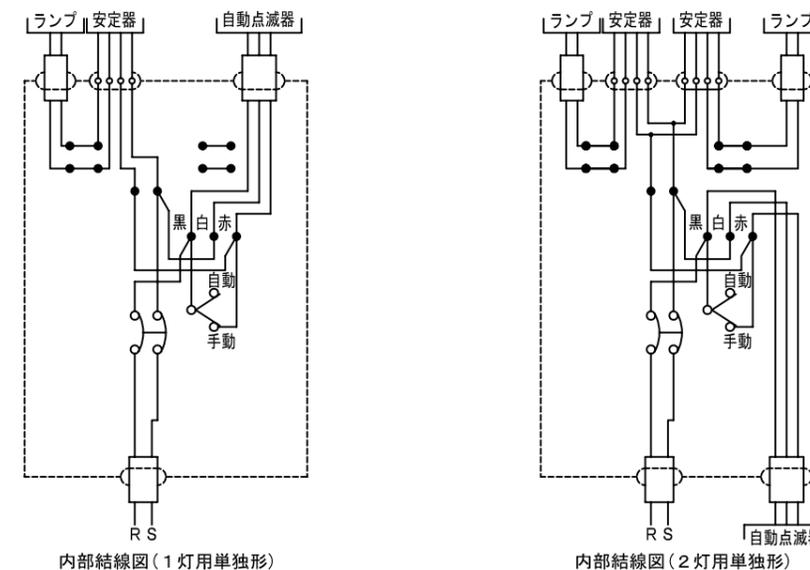
型式 直線形 単独型



スイッチボックス外観図(参考図)



スイッチボックス結線図

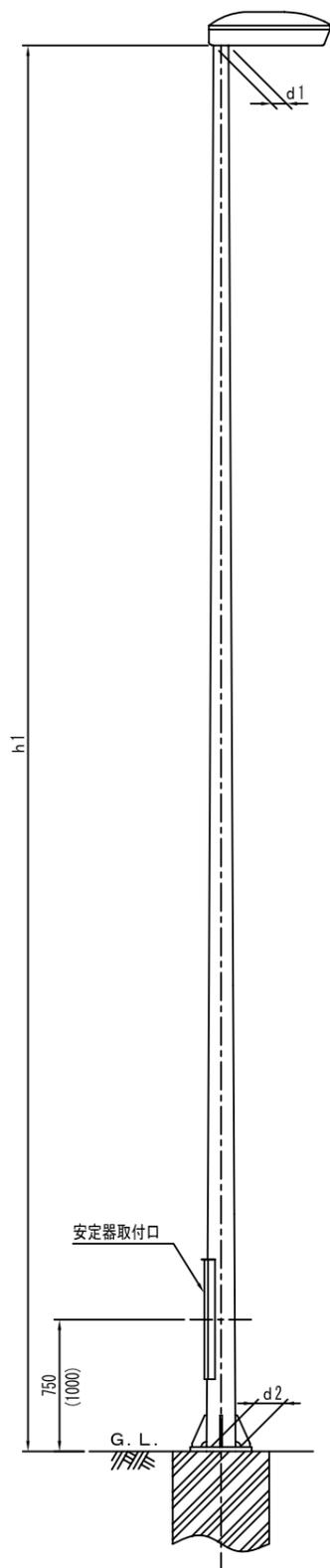


- (注) 1. 引込口からスイッチボックスまでの配線は VVR 2mm×2 芯とする。  
その他のポール内配線は VVR 1.6mm×2 芯又は 3 芯とする。  
2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。  
3. h2の取付高さを変更する場合は特記仕様により明記する。  
4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。  
5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを 0.75m とし(直線m数-0.75)とした。  
6. ( )はベースプレートを埋設の場合  
7. リード線式自動点滅器を使用する場合ケーブル引出口にターミナルキャップ(2.2mm×1)を取り付ける。

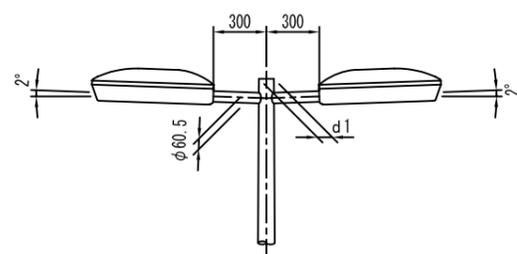
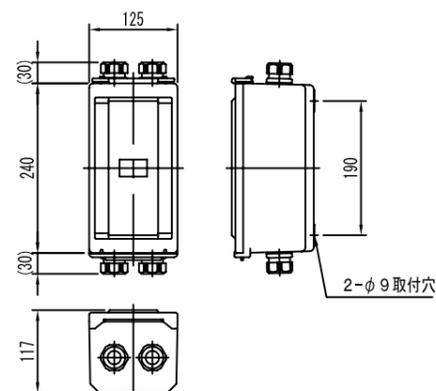
記号	ポール形式	h1	d1	d2	h2	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	引込回路 VVR 2mm × 2 (m)	点滅器回路 VVR 1.6mm × 3 (m)	塗装面積 (m <sup>2</sup> )
E-1	8ASB	8,000	85	165	6,000	8	6	6	3.1
E-2	8.1ASYB	8,100		166		16	6	6	3.3
E-3	10ASB	10,000	75	175	6,000	10	6	6	3.9
E-4	10.1ASYB	10,100		176		20	6	6	4.1
E-5	12ASB	12,000	75	195	6,000	12	6	6	5.1
E-6	12.1ASYB	12,100		196		24	6	6	5.3

ポール内配線図

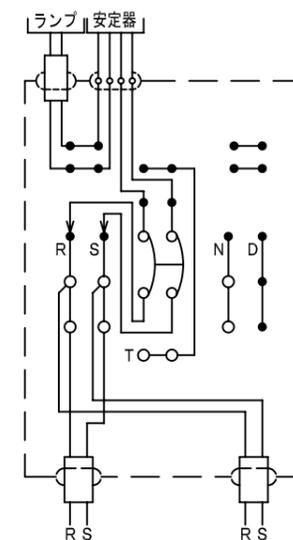
型式	直線形	連続型
----	-----	-----



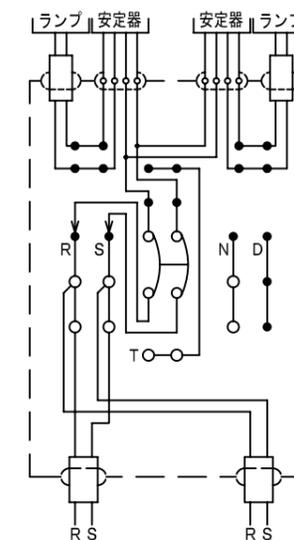
スイッチボックス外観図(参考図)



スイッチボックス結線図



内部結線図(1灯用接続形)



内部結線図(2灯用接続形)

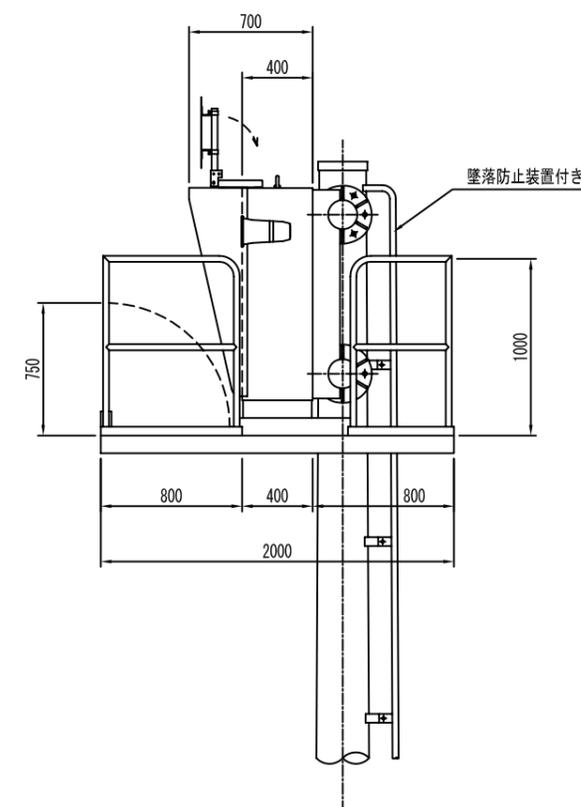
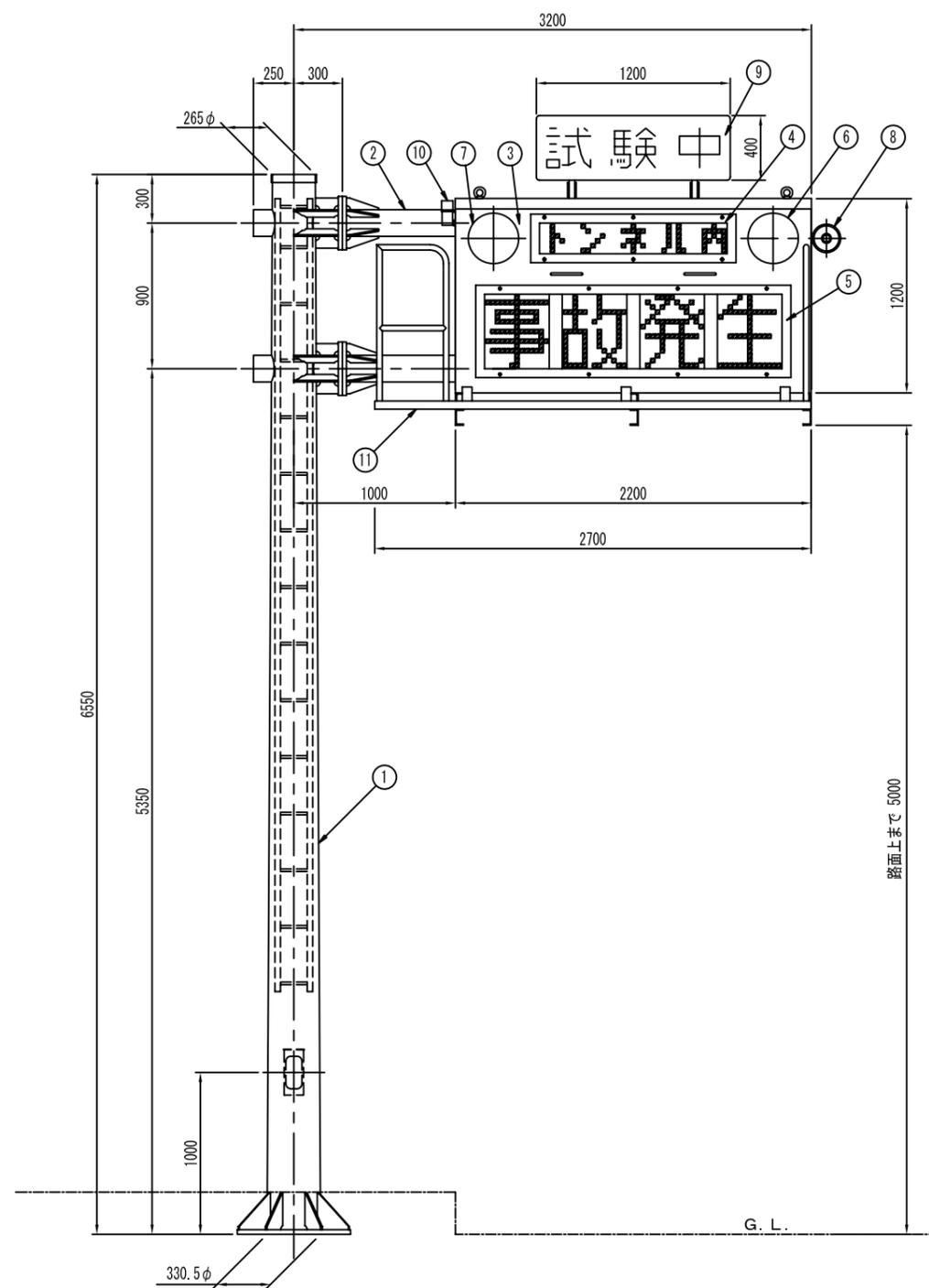
- (注) 1. ポール内配線はVVR 1.6mm×2芯とする。  
 2. ポール内は上図のスイッチボックスを用いて結線する。  
 3. 調光用安定器を使った場合のスイッチボックスは上図を参考にした結線構造とする。  
 4. 塗装面積は、地上の表面積とし、ベースプレートの表面積は含まない。  
 5. ポール内ケーブルは、GLより安定器窓までを0.75mとし(直線m数-0.75)とした。  
 6. ( )はベースプレートを埋設の場合

記号	ポール形式	h1	d1	d2	ランプ回路 VVR 1.6mm × 2 (m)	塗装面積 (m <sup>2</sup> )
F-1	8 ASB	8,000	85	165	8	3.1
F-2	8.1 ASYB	8,100		166	16	3.3
F-3	10 ASB	10,000	75	175	10	3.9
F-4	10.1 ASYB	10,100		176	20	4.1
F-5	12 ASB	12,000	75	195	12	5.1
F-6	12.1 ASYB	12,100		196	24	5.3

## 1 5 . 道路管理設備

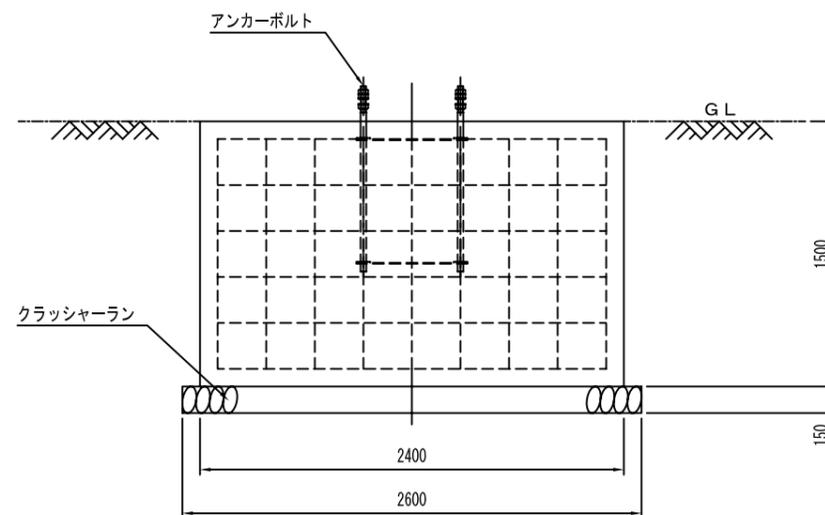
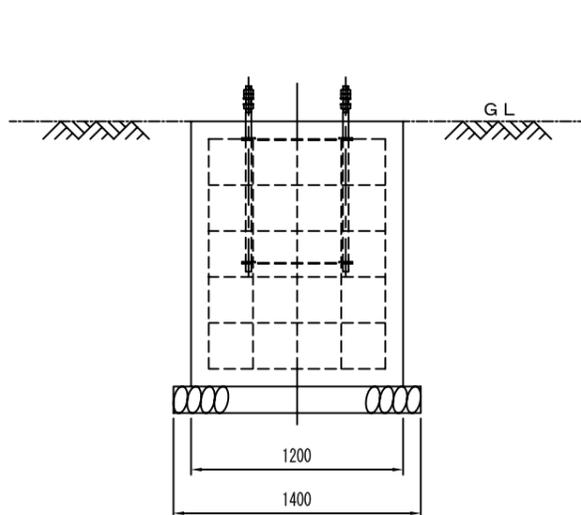
警報表示板装柱図 (参考)

型 式

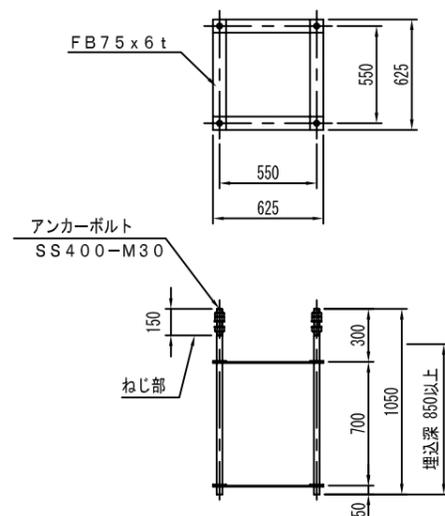


1	11	点検台	SS400		
1	10	自動点滅器			
1	9	「試験中」看板	AIP2t		
1	8	サイレン用スピーカー			
1	7	黄色注意灯			
1	6	赤色注意灯			
1	5	ランプブロックユニット (下段)			
1	4	ランプブロックユニット (上段)			
1	3	警報表示板	SPCC2.3t		
2	2	アーム	STK400	165.2φ x 5.0t	
1	1	支柱 (1/100テーパ管)	SS400	t=6.0	
数量	部番	部品名	材質	図番・仕様	備考

型式	
----	--



アンカーボルト詳細図



(注) ねじ部は溶融亜鉛メッキとする

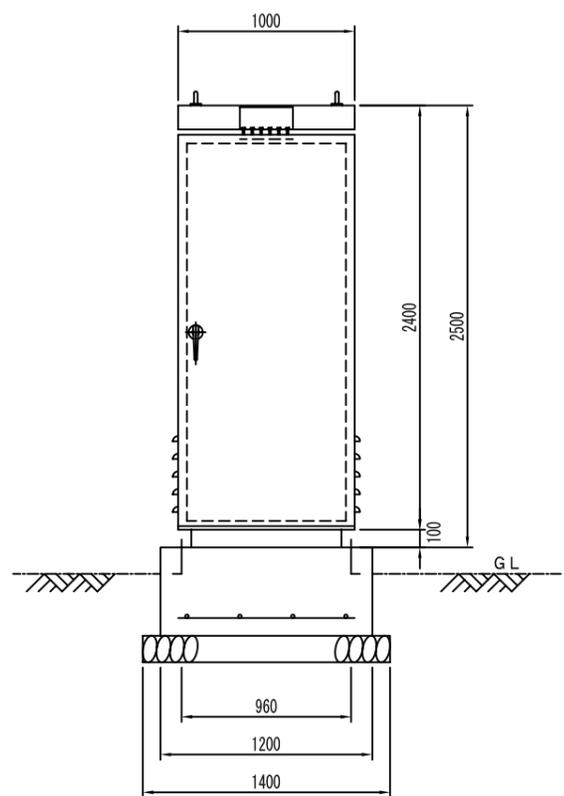
基礎数量

項目	規格	単位	数量
コンクリート	24-8-25	m <sup>3</sup>	4.32
クラッシャーラン	C-40	m <sup>3</sup>	0.55
型枠		m <sup>2</sup>	10.8
アンカーボルト	SS400M30	kg	50.4

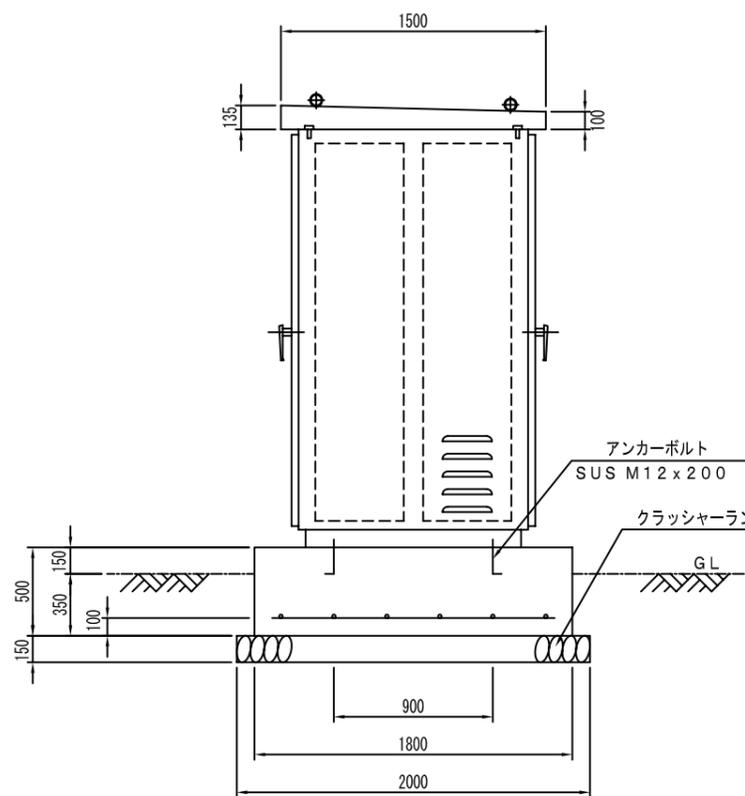
1. アンカーボルトの重量は、アンカーボルト (4本) 及び平鋼を含む重量とする。
2. アンカーボルトのネジ部の溶融亜鉛メッキは、JIS H8641 2種 (HDZ35) とする。

型式

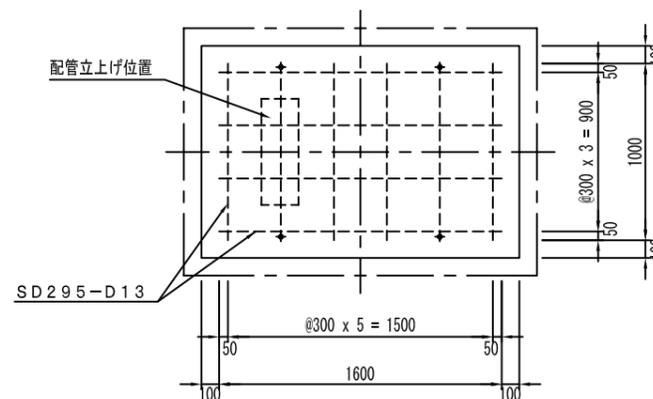
正面図



側面図



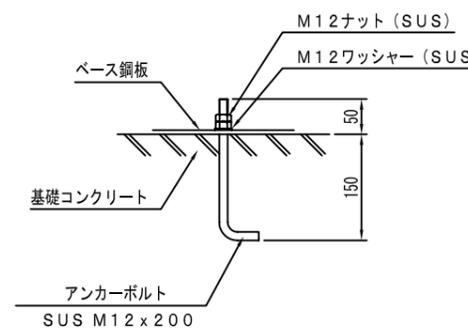
基礎詳細図



基礎数量

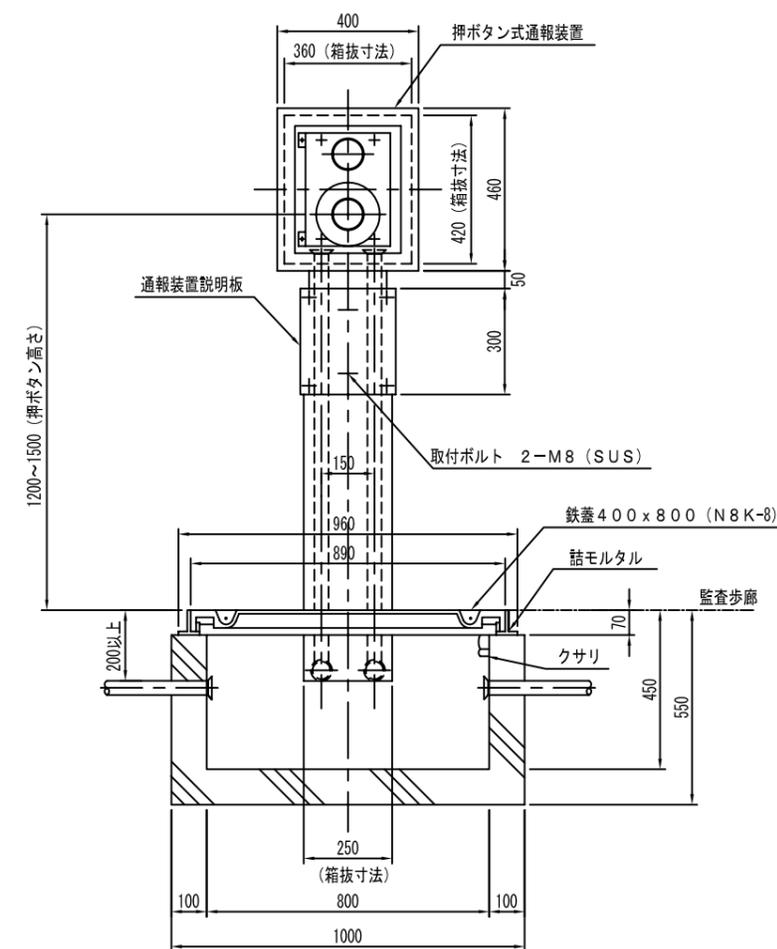
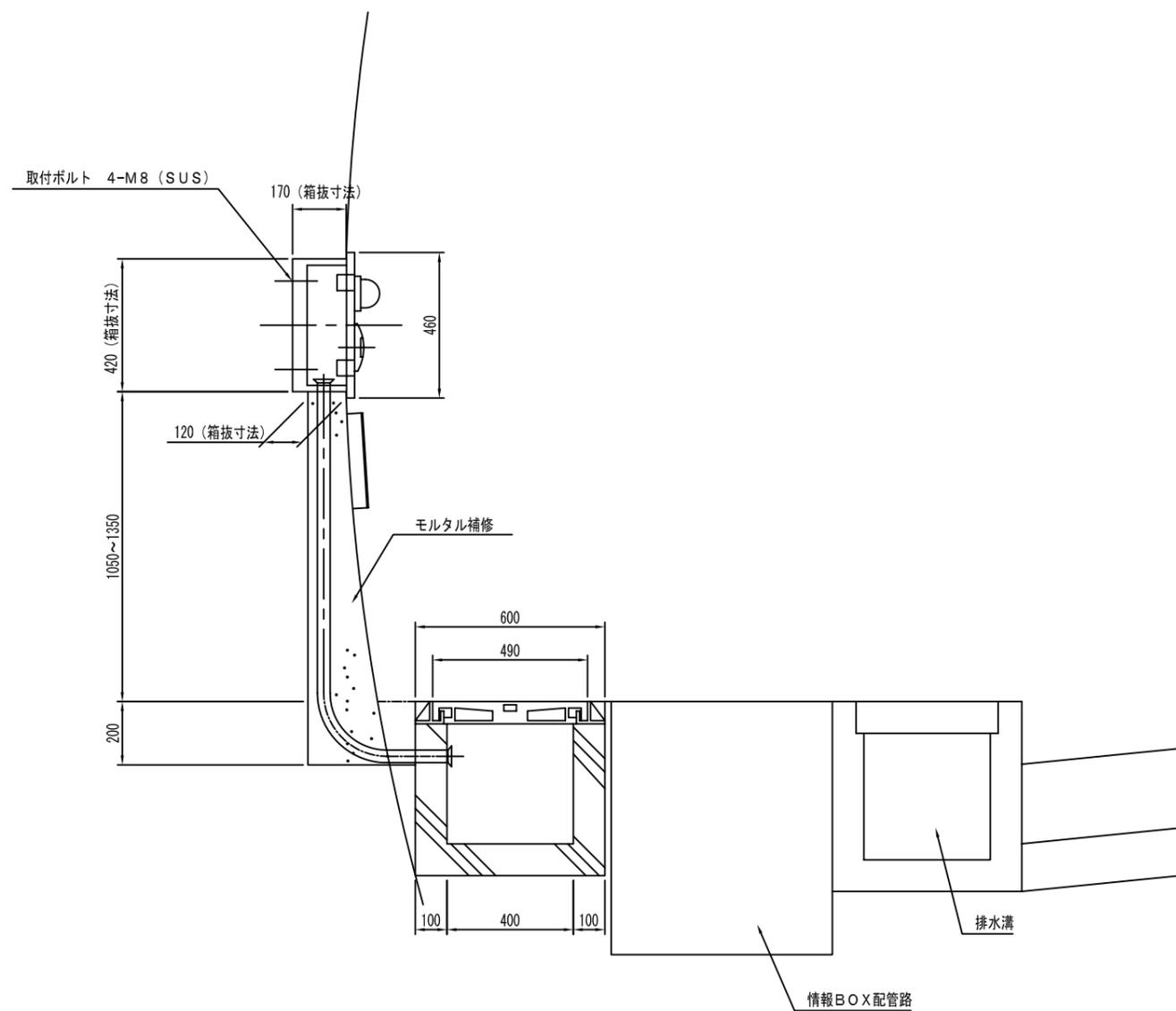
項目	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40	m <sup>3</sup>	1.08
クラッシャーラン	C-40	m <sup>3</sup>	0.42
型枠		m <sup>2</sup>	3
アンカーボルト	SUS304 M12	kg	1.04

アンカーボルト埋込詳細図 S=1/5



押ボタン式通報装置取付図

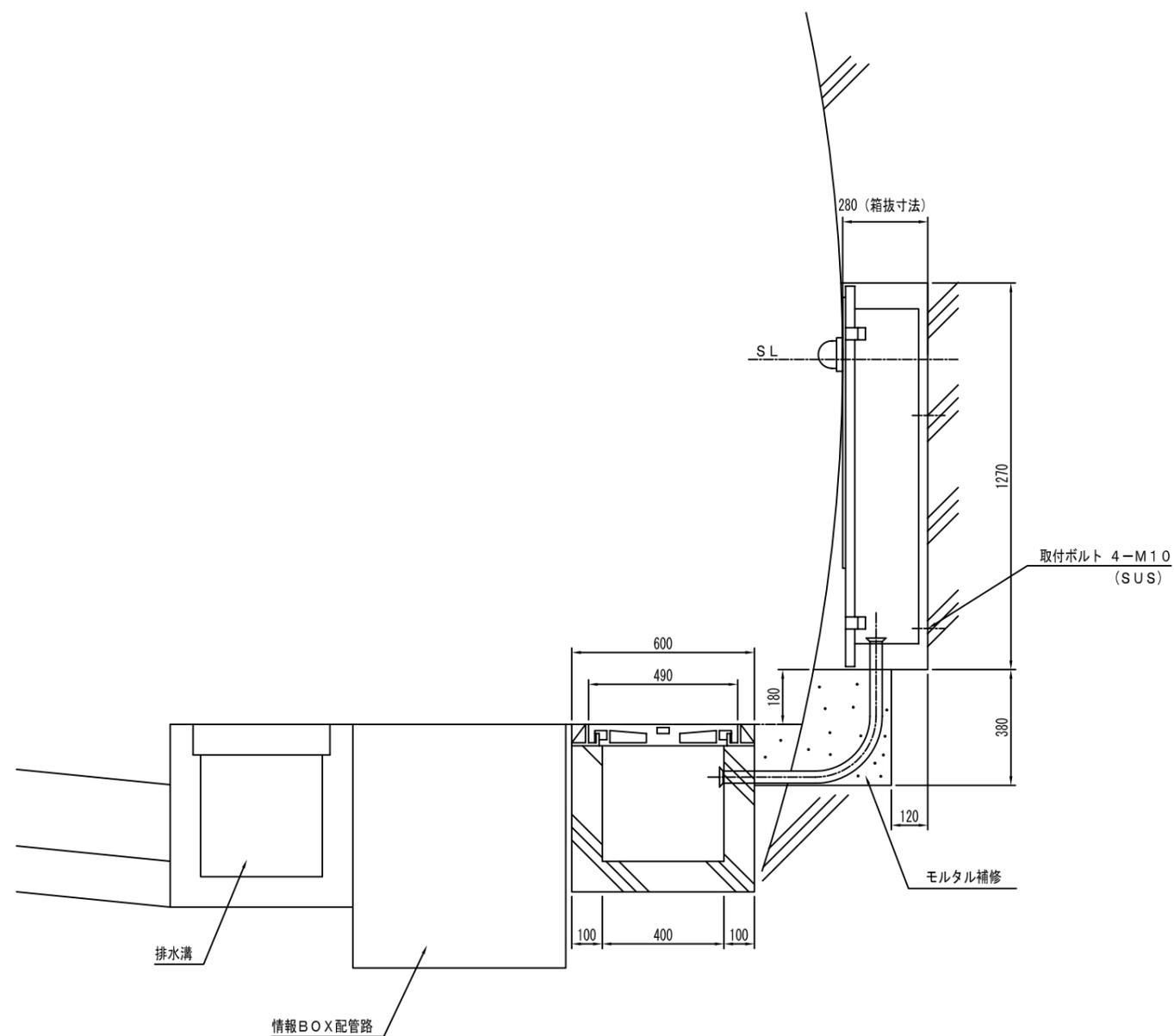
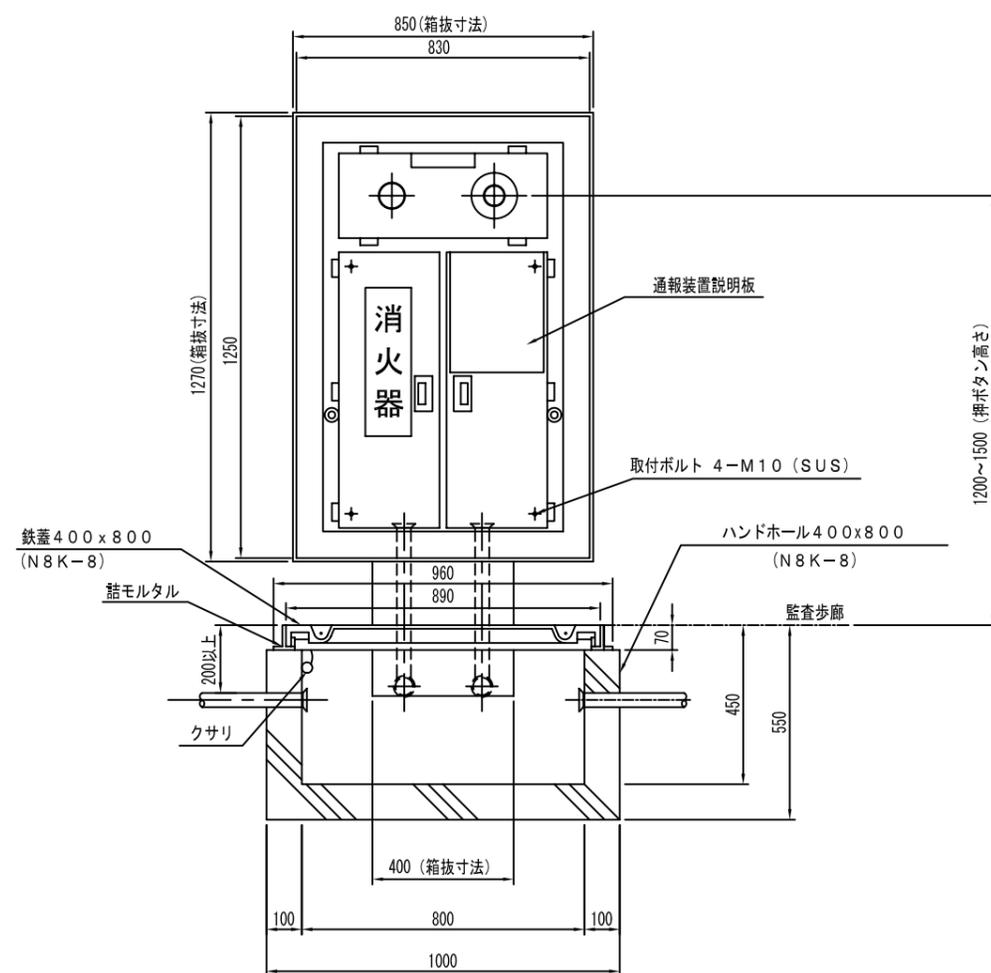
型式	下配線式
----	------



注 点線部は箱抜き機器取付・施工後  
モルタル復旧とする

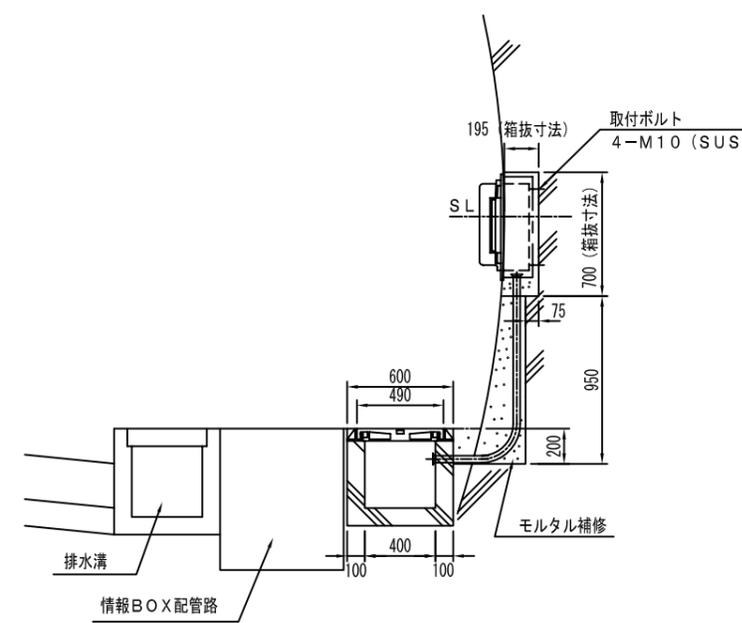
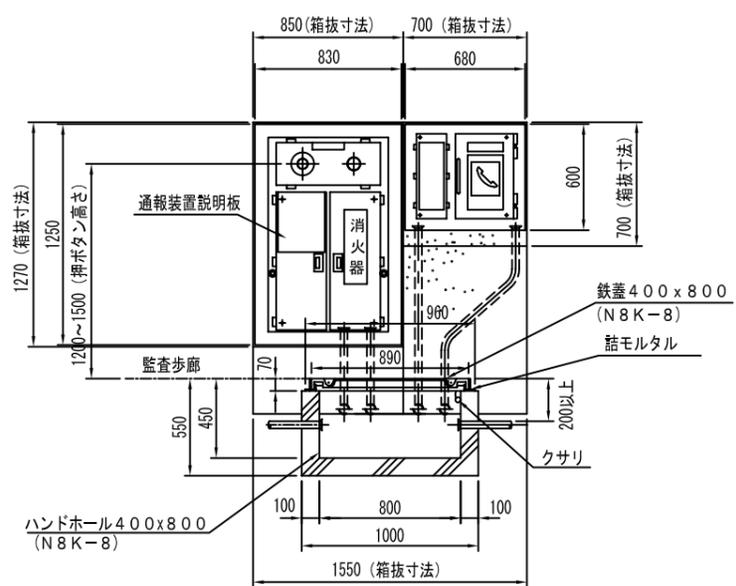
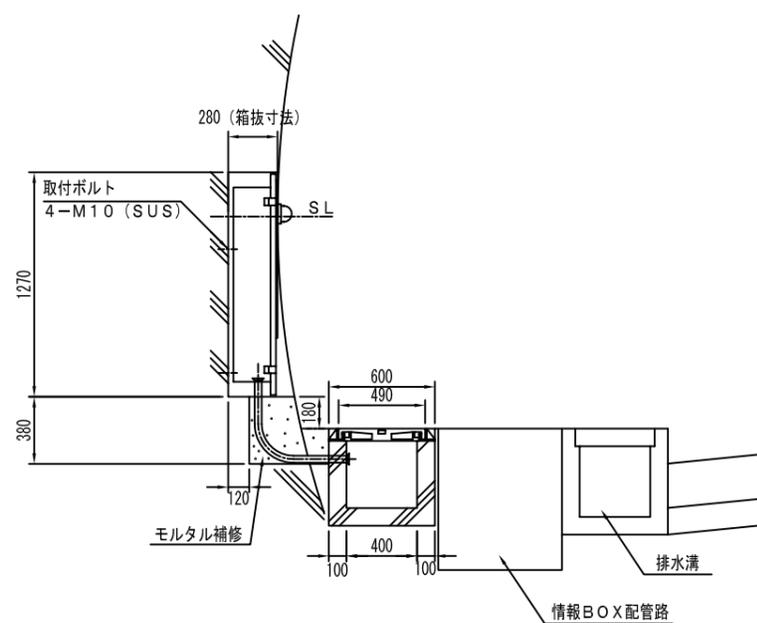
押ボタン式通報装置・消火器取付図

型式	下配線式
----	------



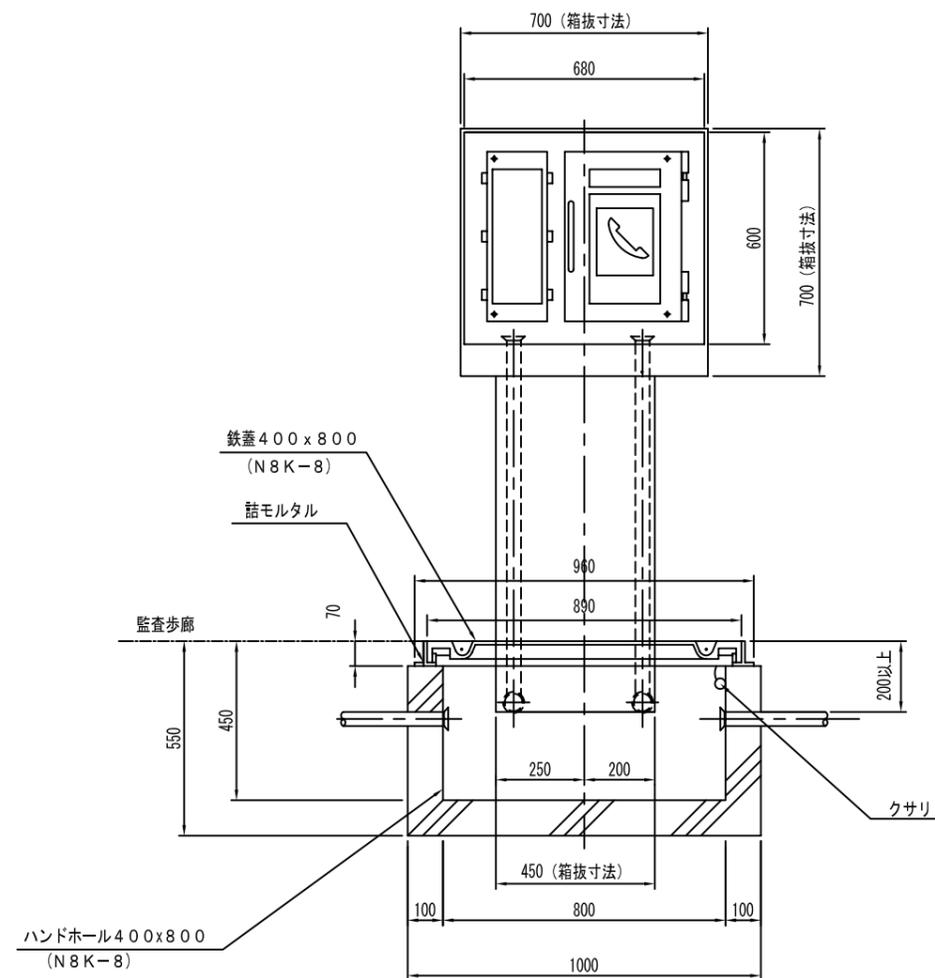
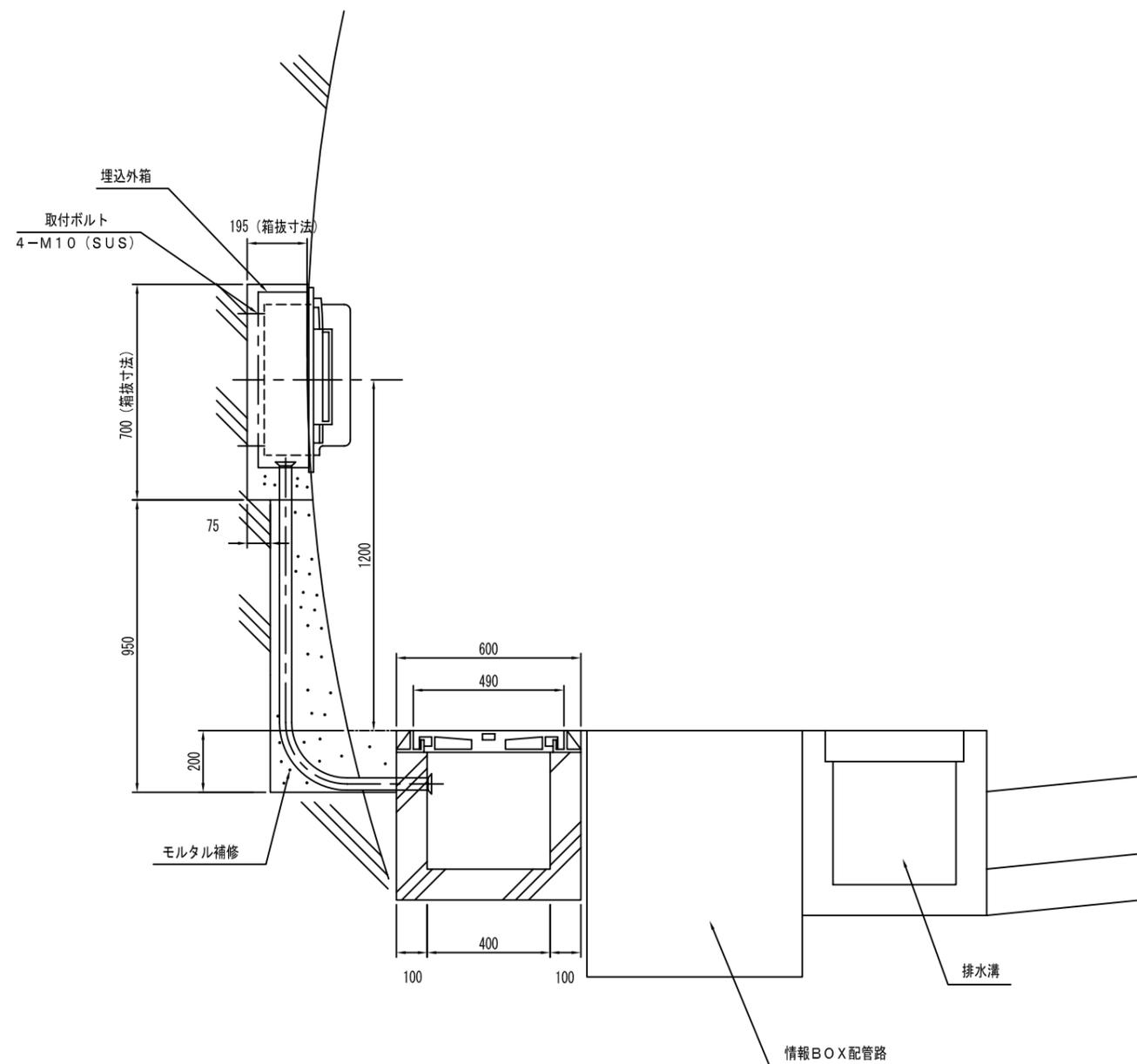
注 点線部は箱抜き機器取付・配管施工後  
モルタル復旧とする

型式	下配線式
----	------



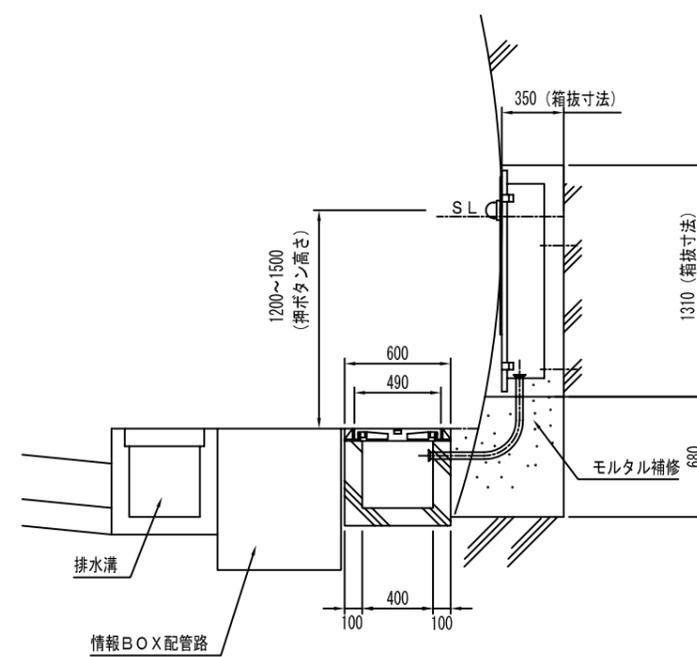
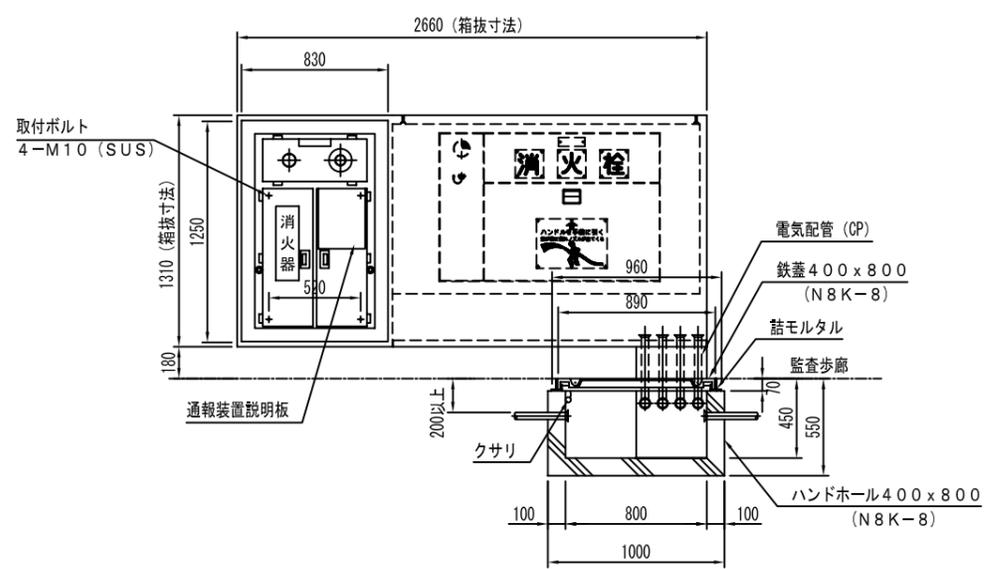
注 図中の点線部分は箱抜き機器取付・配管施工後モルタル復旧とする

非常電話機取付図	
型 式	下 配 線 式



注 □部は箱抜き機器取付・配管施工後  
モルタル復旧とする

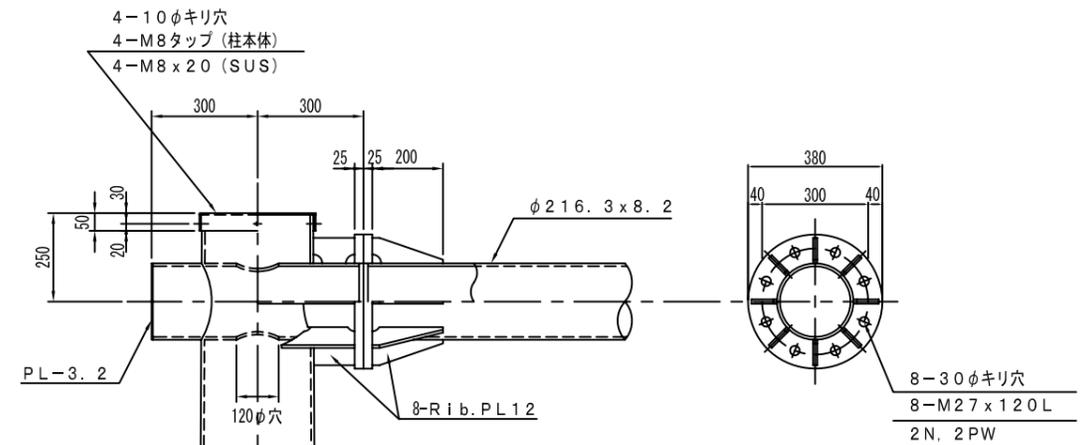
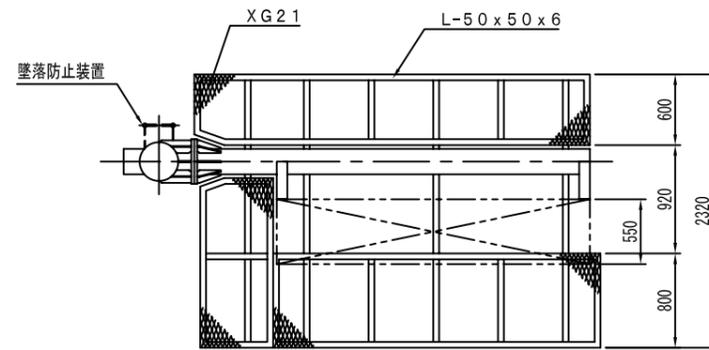




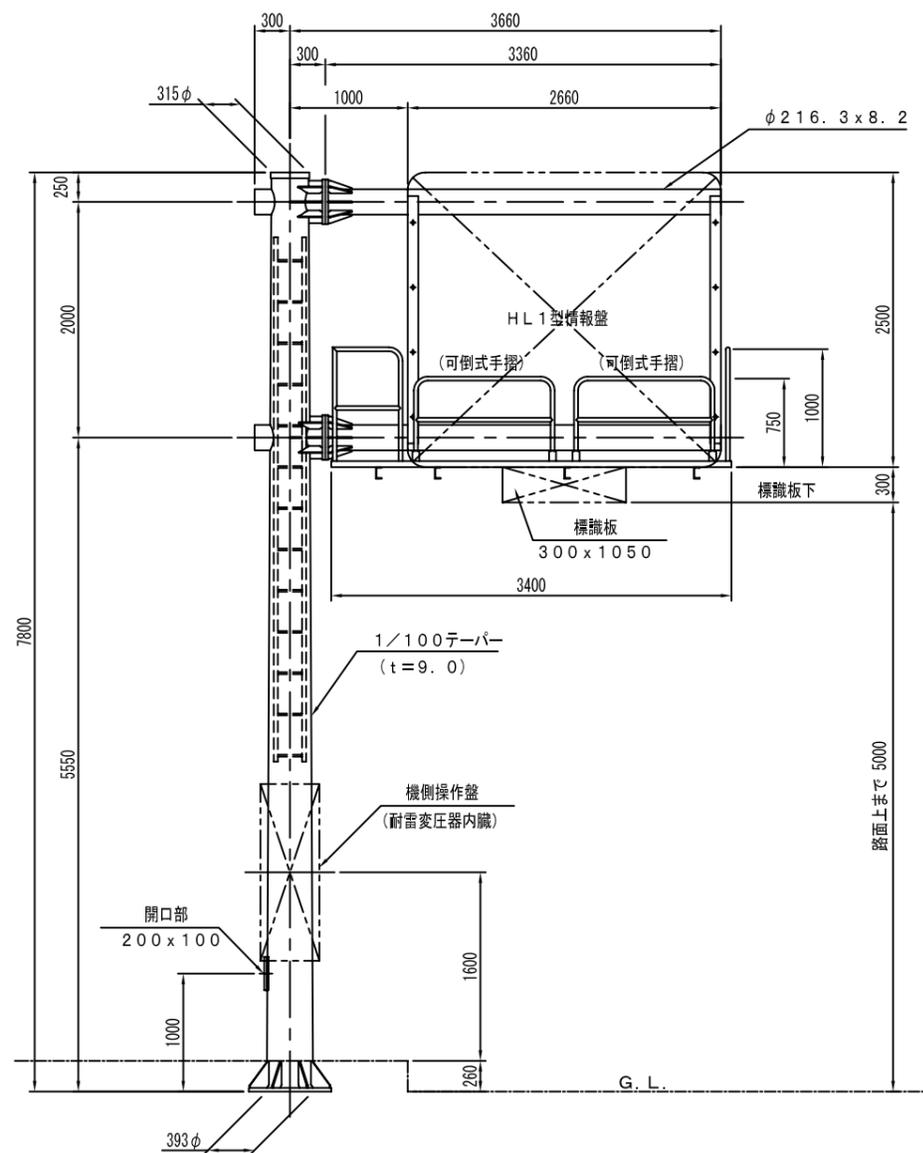
注  部は箱抜き機器取付・配管施工後  
モルタル復旧とする

道路情報表示板 F 型柱

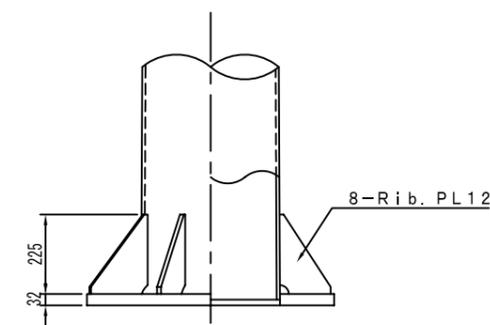
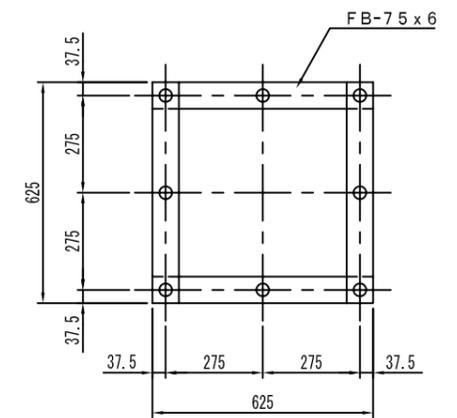
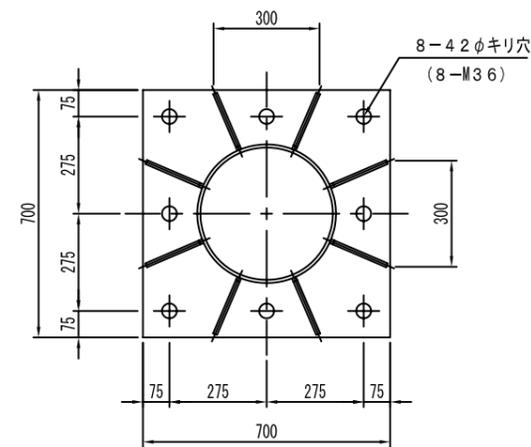
型式 HL 1 型



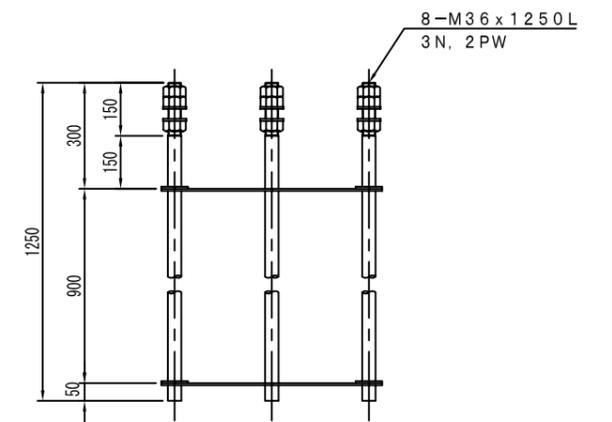
柱・梁接合部詳細図



HL 1 型支柱姿図



ベースプレート詳細図



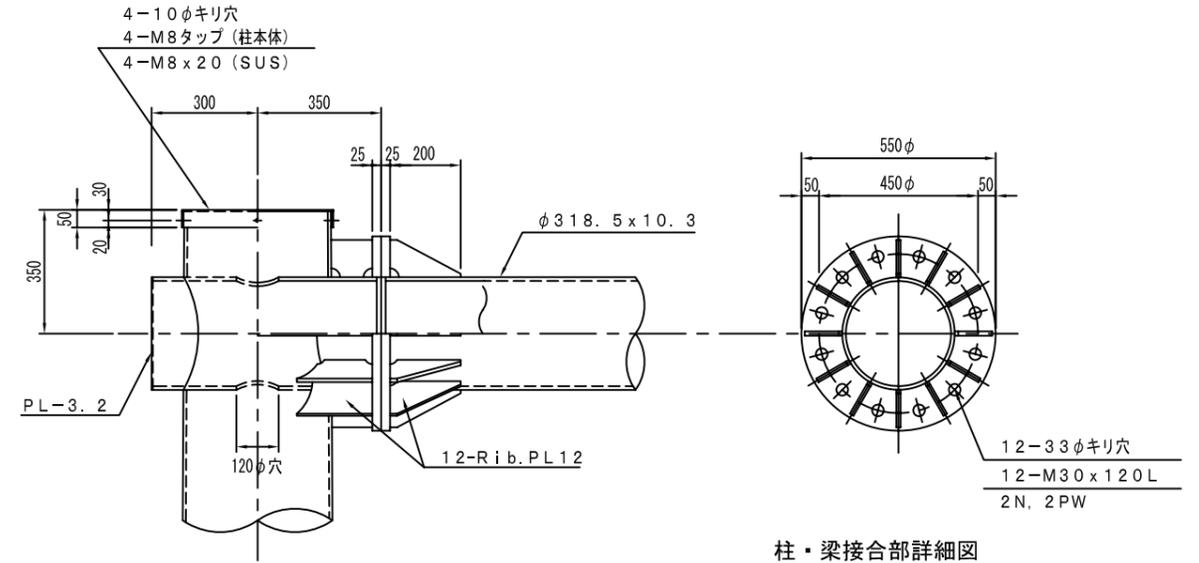
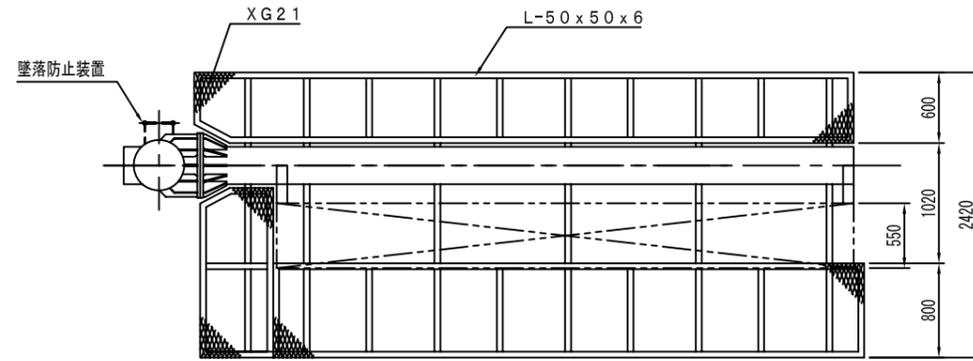
アンカーフレーム詳細図

(注) 歩道上への設置の場合はリブ上端まで埋設する。

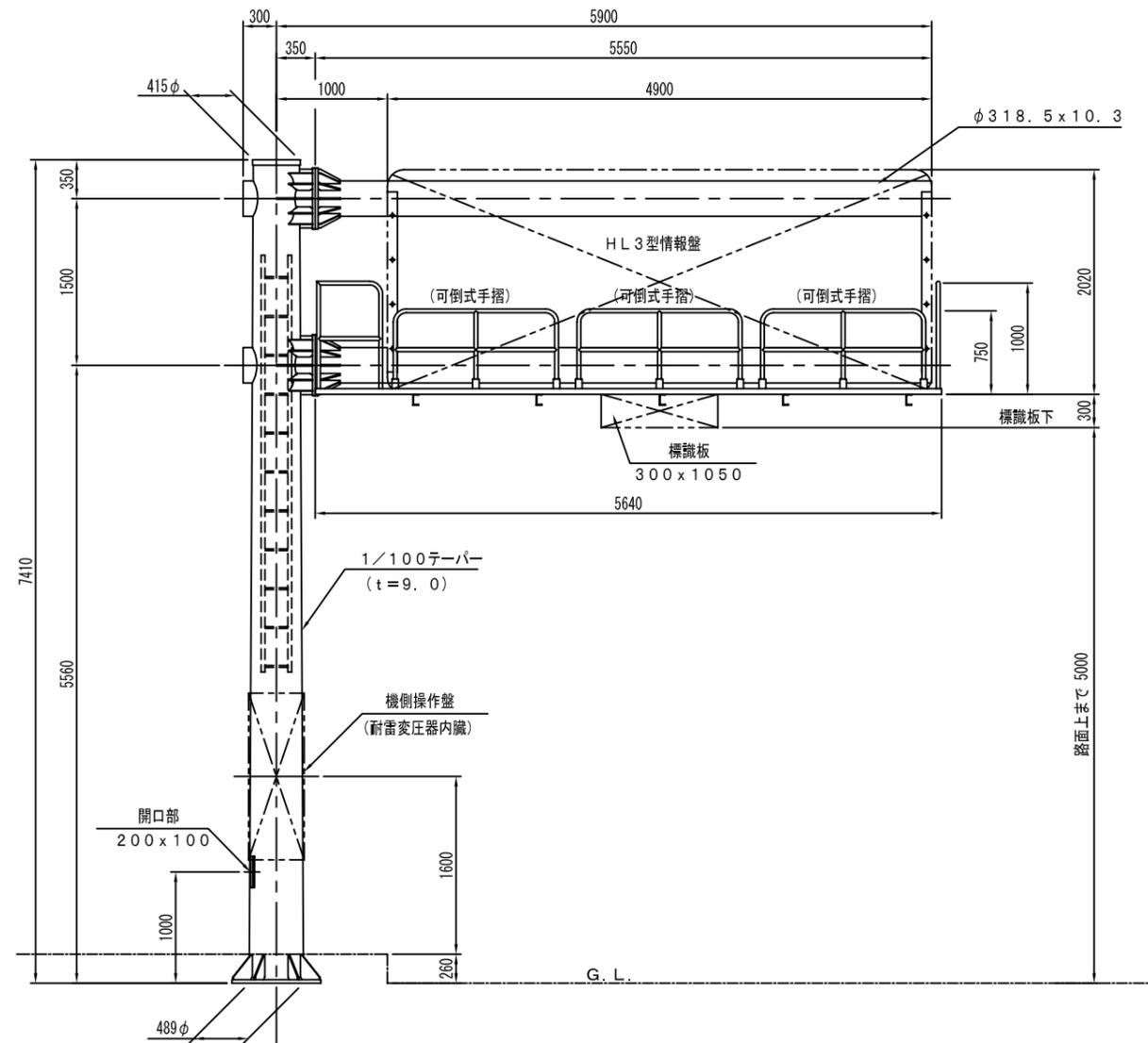


道路情報表示板 F 型柱

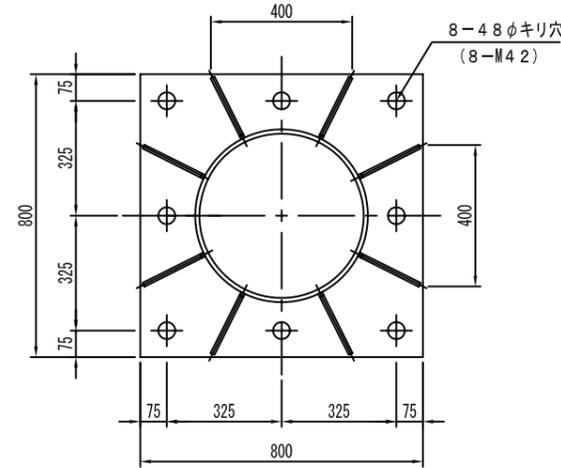
型式 HL 3 型



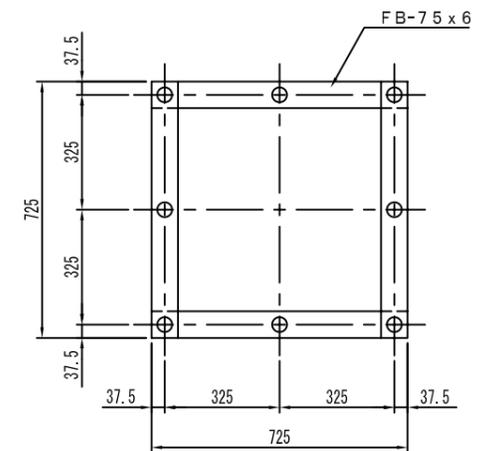
柱・梁接合部詳細図



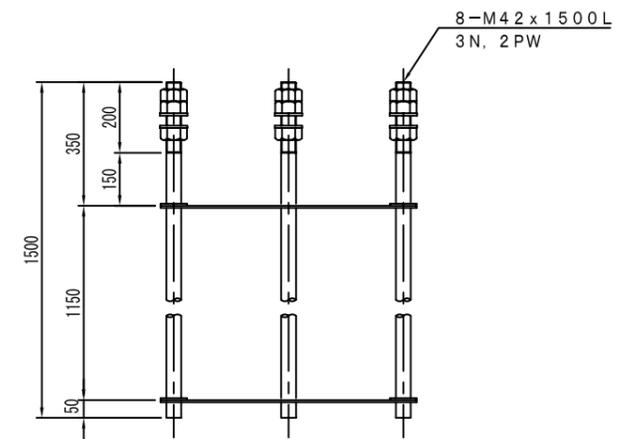
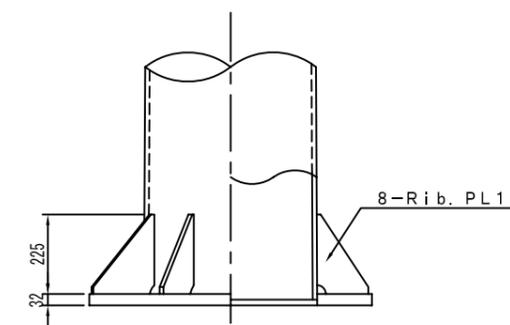
HL 3 型支柱姿図



ベースプレート詳細図



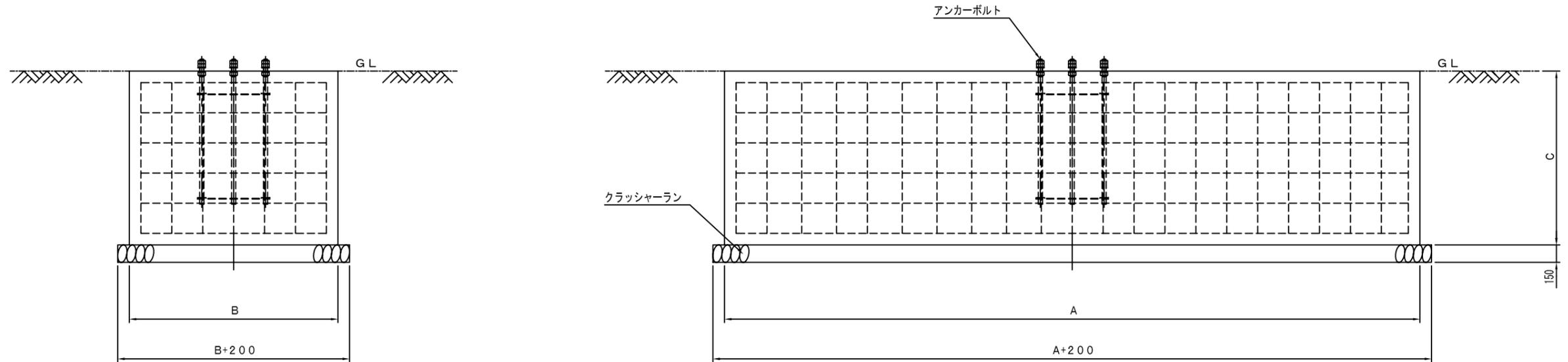
アンカーフレーム詳細図



(注) 歩道上への設置の場合はリブ上端まで埋設する。

表示板基礎詳細図

型式 HL型



基礎数量

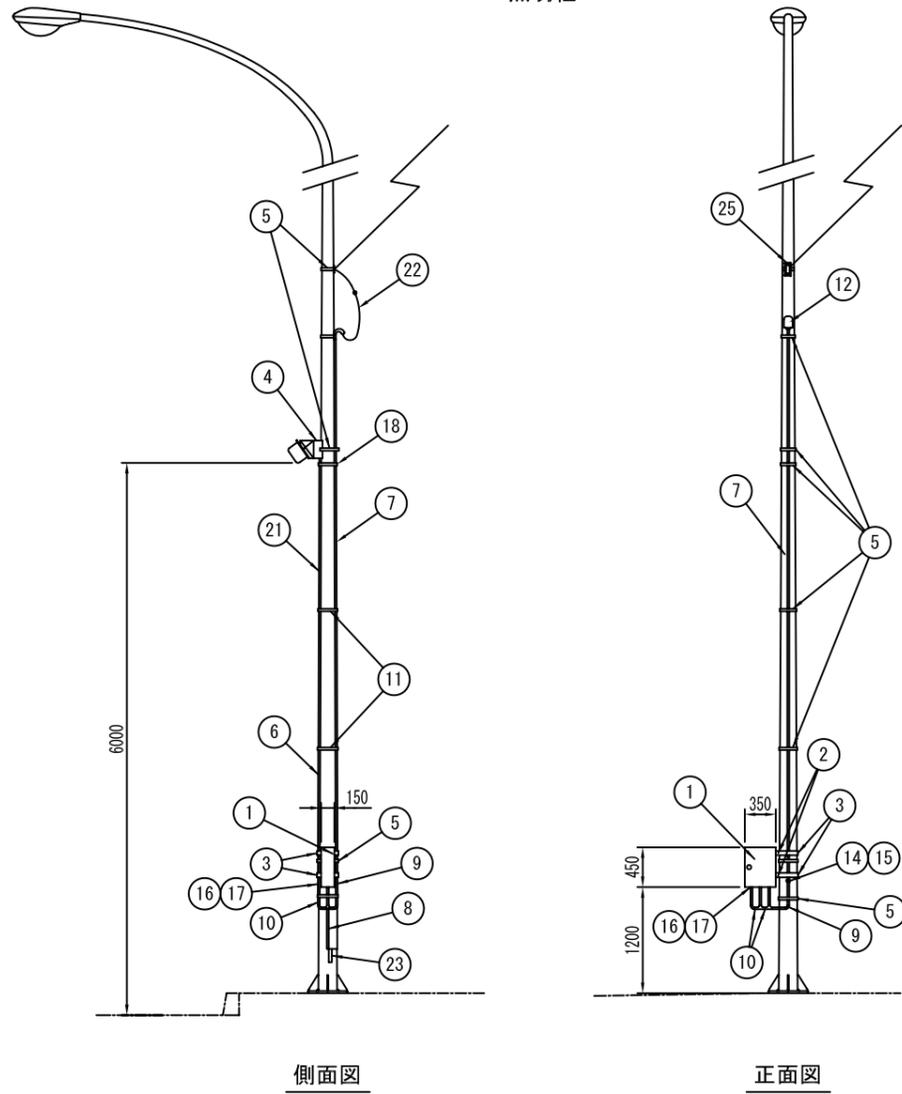
項目	規格	単位	HL1型	HL2型	HL3型
コンクリート	24-8-25	m <sup>3</sup>	16.2	18.9	21.0
クラッシャーラン	C-40	m <sup>3</sup>	1.86	2.16	2.38
型枠		m <sup>2</sup>	23.4	26.4	27.0
アンカーボルト	SS400M36	kg	117.6	136.8	—
アンカーボルト	SS400M42	kg	—	—	181.3

表示板基礎寸法表

項目	A	B	C
HL1型	6000	1800	1500
HL2型	7000	1800	1500
HL3型	7000	2000	1500

1. アンカーボルトの重量は、アンカーボルト(8本)及び平鋼を含む重量とする。
2. アンカーボルトのネジ部は溶融亜鉛メッキ J I S H 8 6 4 1 2種(HDZ 35)とする。

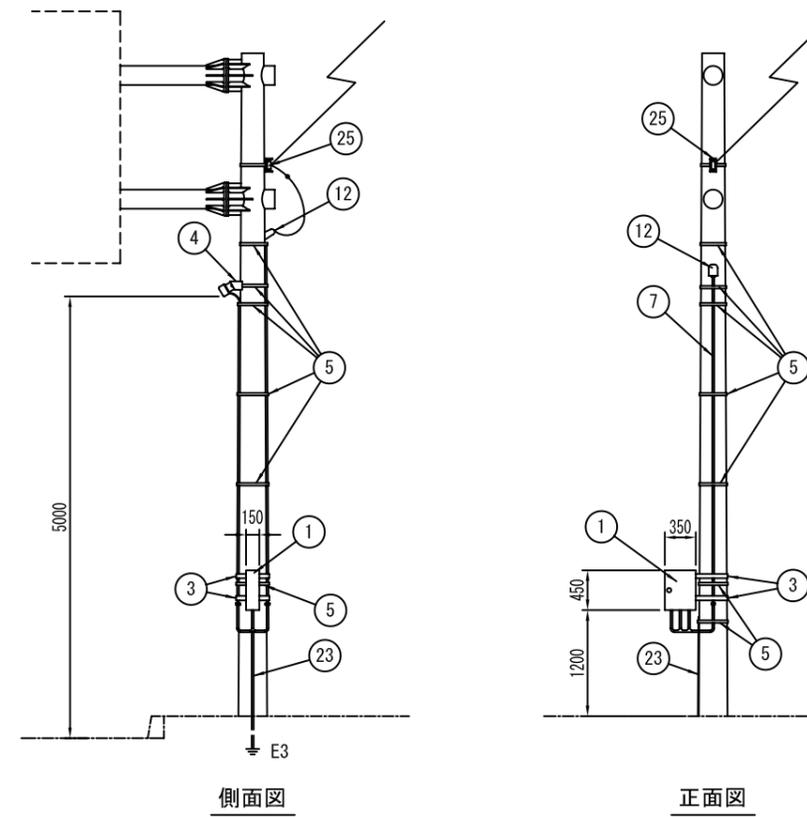
照明柱



照明柱取付材料表

番号	品名	規格	数量	番号	品名	規格	数量
1	ビーコン送信機	(アンテナ含む)	1式	14	エオンカップリング	VUC-24φ	4個
2	送信機取付金具	TCS-2相当品(上下組)	1組	15	エオンボックスコネクタ	UBC-24φ	4個
3	送信機取付バンド	TCSB-14相当品	2個	16	エオンカップリング	VUC-30φ	2個
4	路上アンテナ取付金具	特注品	1個	17	エオンボックスコネクタ	UBC-30φ	2個
5	自在バンド	IBT-306相当品	6本	18	ステンレスバンド	SFT-206相当品	1.0m
6	電線管	CP-28φ	7.3m	19	ロックナット	16	1個
7	電線管	CP-22φ	7.3m	20	ブッシング	16, 22, 24	7個
8	電線管	CP-16φ	2.0m	21	同軸ケーブル	LHPX-80相当品	12m
9	可とう電線管	二種ビニール被服24	3.0m	22	電源用電線	VVR-3.5Sq2c	8.0m
10	可とう電線管	二種ビニール被服30	2.0m	23	アース線	IV-2	8.0m
11	電線管止金具	RAUS-19相当品	1.5個	24	アース線	10φ-500φトつき	1本
12	エントランスキャップ	2.2φ	2個	25	低圧引込金具	RL-0相当品	2個
13	カップリング	2.2φ	2個				

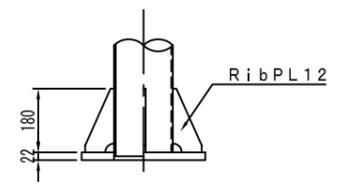
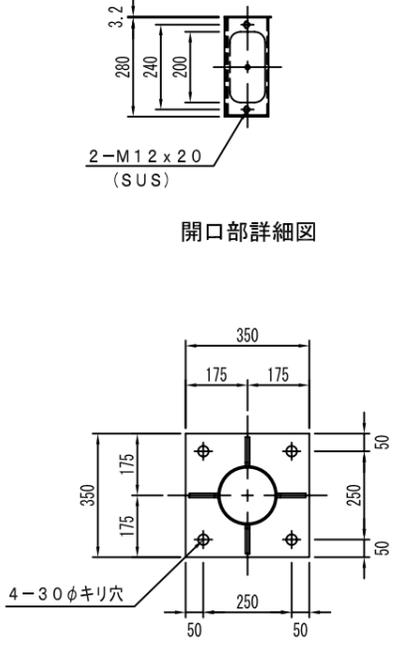
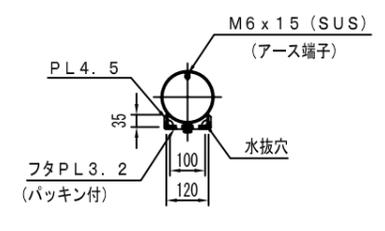
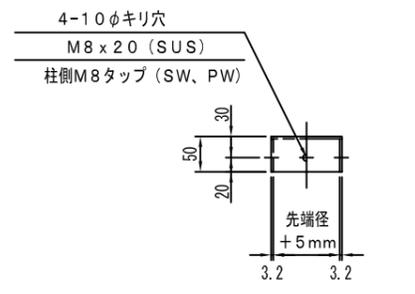
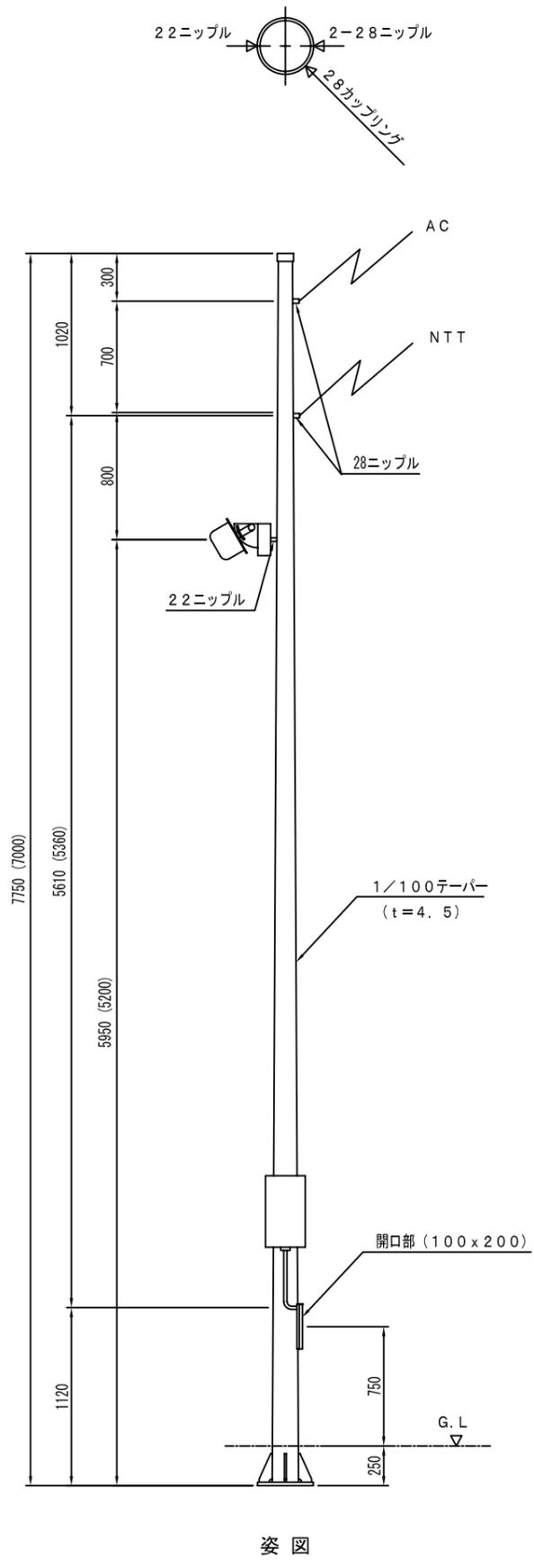
F型柱



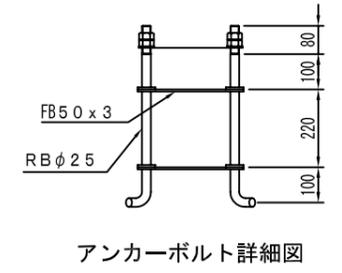
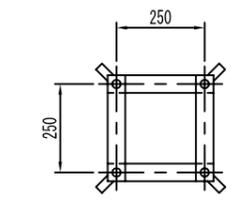
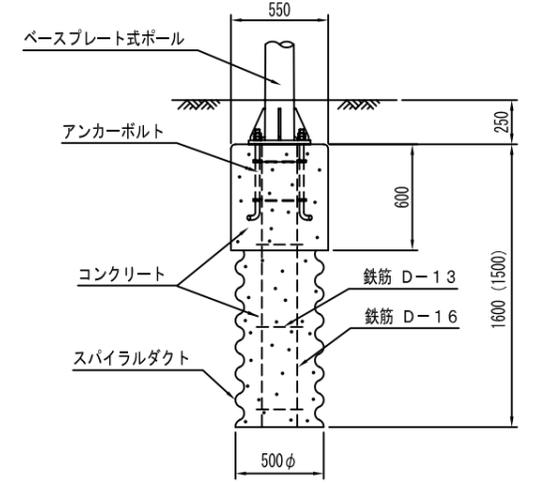
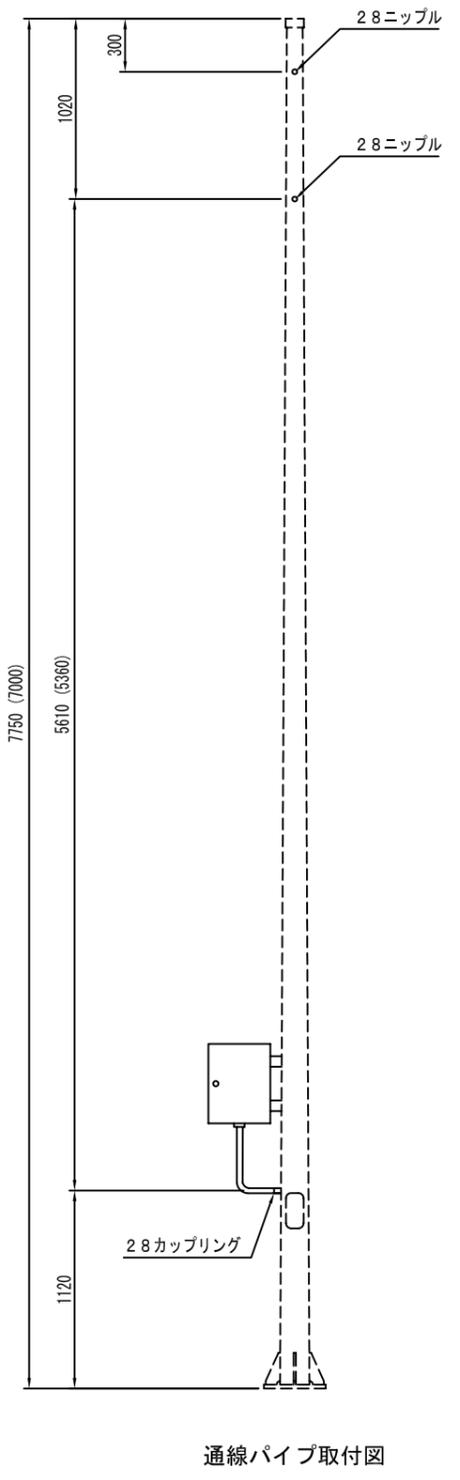
F型柱取付材料表

番号	品名	規格	数量	番号	品名	規格	数量
1	ビーコン送信機	(アンテナ含む)	1式	14	エオンカップリング	VUC-24φ	4個
2	送信機取付金具	TCS-2相当品(上下組)	1組	15	エオンボックスコネクタ	UBC-24φ	4個
3	送信機取付バンド	TCSB-14相当品	2個	16	エオンカップリング	VUC-30φ	2個
4	路上アンテナ取付金具	特注品	1個	17	エオンボックスコネクタ	UBC-30φ	2個
5	自在バンド	IBT-306相当品	6本	18	ステンレスバンド	SFT-206相当品	1.0m
6	電線管	CP-28φ	7.3m	19	ロックナット	16	1個
7	電線管	CP-22φ	7.3m	20	ブッシング	16, 22, 24	7個
8	電線管	CP-16φ	2.0m	21	同軸ケーブル	LHPX-80相当品	12m
9	可とう電線管	二種ビニール被服24	3.0m	22	電源用電線	VVR-3.5Sq2c	8.0m
10	可とう電線管	二種ビニール被服30	2.0m	23	アース線	IV-2	8.0m
11	電線管止金具	RAUS-19相当品	1.5個	24	アース線	10φ-500φトつき	1本
12	エントランスキャップ	2.2φ	2個	25	低圧引込金具	RL-0相当品	2個
13	カップリング	2.2φ	2個				

ビーコン設置図	
型式	専用柱



注. ( ) 書きの数値は7m型のものを示し、その他は7mと7.75mに共通である。



28カップリング